

# 大学演習林年報

第40号

< 2025 >

---

---

## 目次

大学演習林年報第40号の発刊にあたって .....	会長 揚妻 直樹
1. 演習林の最近の話題 .....	1
2. 令和6年度研究業績 .....	21
3. 演習林所属教員専門分野・キーワード一覧 .....	83
4. 令和7年度春季理事会	
(1) 理事会日程、議題等 .....	99
(2) 令和6年度決算及び令和7年度予算 .....	100
(3) 議事要旨 .....	101
5. 令和7年度秋季総会	
(1) 秋季各種委員会・技術職員連絡会議・理事会日程 .....	105
(2) 総会日程、議題等 .....	106
(3) 議事録 .....	107
6. 各演習林における運営状況についてのアンケート結果 .....	111
7. 公開森林実習の報告 .....	127
8. 全国大学演習林協議会規約 .....	135
9. 森林管理技術賞授与規程 .....	137
10. 公開森林実習運営委員会内規 .....	139
11. 全国大学演習林協議会技術職員連絡会議会則 .....	140
12. 全国大学演習林協議会の役員選出に関する申し合せ .....	141
13. 会員名簿 .....	142

---

---

令和8年3月

全国大学演習林協議会

## 大学演習林年報 40 号の発刊にあたって

日頃より、全国演習林協議会（以下、全演協）の活動にご協力をいただき、ありがとうございます。

今年度の全演協の活動として、春の理事会を北海道大学北方生物圏フィールド科学センターにてハイブリッド方式で実施し、秋の理事会・各種委員会・総会は宇都宮市のホテルニューイタヤにおいてハイブリッド方式で実施しました。翌日のエクスカージョンでは、宇都宮大学農学部附属船生演習林、栃木県民の森、デカーレ矢板（榎トーセン）などを見学しました。秋の理事会・総会、懇親会、エクスカージョンでは、宇都宮大学農学部附属演習林の教職員の皆様に多大なるご協力を頂きました。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

総会に先立ち、文部科学省高等教育局専門教育課の村上寛和さまから、最新の文部科学行政の動向についてご講演いただきました。

次に行われた森林管理技術賞授賞式では、特別功労賞 2 名、技術貢献賞 4 名、学術貢献賞 3 名、若手奨励賞 5 名の表彰が行われました。受賞理由としてドローンや DX など最新技術に関わる業績が目立っていたのが印象的でした。

総会では 6 つの議題が審議されました。議題 2 の教育関係共同利用拠点については、現在、北海道大学、岩手大学、新潟大学、筑波大学、信州大学、静岡大学、京都大学、宮崎大学、鹿児島大学の 9 大学が認定されています。この中で、信州大学・宮崎大学・鹿児島大学が令和 10 年度まで、京都大学が令和 11 年度まで、岩手大学が令和 10 年度まで再認定されることが報告されました。議題 3 では、公開森林実習の令和 6 年度実績として、単位互換協定を結んでいる大学の学生 115 名、協定外の学生 48 名の合計 163 名が、各演習林が開講しているプログラムに参加したことが報告されました。昨年度を上回る学生が公開森林実習していました。議題 6 として、演習林分野における文部科学大臣表彰制度の設置について文部科学省に働きかけることが提案され、了承されました。

報告事項では、災害発生状況の報告などのほか、会員校に対して行った運営状況に関するアンケート結果が公表されました。昨年度同様に、ほとんどの演習林では運営費や人員不足のため厳しい運営が続いていることが示されました。なお、このアンケート結果は、後日、開催されました全国農学系学部長会議でも報告して参りました。最後に、次期会長として九州大学の久米先生が推薦され、承認されました。

来年度の春季理事会は 2026 年 5 月 15 日に九州大学福岡演習林においてハイブリッド形式で、秋の理事会・各種委員会・総会は 2026 年 9 月 28 日に、エクスカーションは 9 月 29 日にそれぞれ福岡市内またはその近郊で開催される予定となります。会員校の関係者の皆さまは奮ってご参加ください。

各大学のトピックス・研究業績は、本年報 40 号で紹介しておりますので、ぜひご覧ください。年報の主要な部分をウェブ公開しておりますのでご活用下さい。

最後になりましたが、文部科学省高等教育局専門教育課のみなさまほか関係各位、演習林が所属する各大学、農学部等の所属部局の教職員の皆さま、演習林が立地する自治体や地域の皆さまには、大学演習林に対して、引き続き、ご支援・ご指導をお願い申し上げます。

2026 年 3 月 全国大学演習林協議会長 揚妻直樹

## <演習林の最近の話題>

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	3
宇都宮大学農学部附属演習林	4
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	6
信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター	7
東京農業大学地域環境科学部奥多摩演習林	8
玉川大学農学部農産研究センター北海道弟子屈演習林	11
名古屋大学大学院生命農学研究科	
附属フィールド科学教育研究センター稲武・設楽フィールド	12
三重大学大学院生物資源学研究科	
附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設演習林	13
京都大学フィールド科学教育研究センター	14
鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター	16
愛媛大学農学部附属演習林	17
高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター	18
九州大学農学部附属演習林	19

北海道大学

## 大阪・関西万博パブリックアート作品のための原木の提供

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

北海道白老町を拠点に活動する彫刻家・国松希根太氏が大阪・夢洲で開催された「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博：会期 2025年4月13日～10月13日）」に出展する木彫作品「WORMHOLE（ワームホール）」の制作のため、北海道大学・雨龍研究林はミズナラの原木を提供しました。国松氏はその推定樹齢300年のミズナラの伐採から立ち合い、およそ2カ月半の制作期間を経て、高さ4メートルの大作を完成させました。

万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に呼応する本出展について、国松氏は新聞取材に対し、「人間の時間スケールをはるかに超えて大地に根を張り、歴史や時代を見つめ続けてきた木の姿を想像するきっかけになれば」と語っています。悠久の時間を宿す素材と現代の創造行為が交差することで、私たちの未来社会を考える新たな視座がもたらされることを期待しています。

本学は今後も、研究と教育を礎に、芸術文化をはじめとする多様な領域への貢献を着実に進めてまいります。



写真 国松氏のウェブサイト (<https://kinetakunimatsu.com/>) より

## 宇都宮大学

### 宇都宮大学農学部附属演習林トピック（令和6年度）

宇都宮大学農学部附属演習林

#### ○公開森林実習を令和6年度より開講

宇都宮大学農学部附属演習林では、令和6年度から全国大学演習林協議会の公開森林実習を開講した。令和6年度は、9月18日～20日の2泊3日で実施し、協定校から9名、協定校外から3名、本学学生3名の合計15名の参加があった。

1日目は、開講式後に山本演習林長による「里山林が育む食を学ぶ」の講義を行い、船生演習林へ移動し、シイタケ栽培地、炭焼き窯、宇都宮市特産の大谷石を利用したピザ窯等を見学した。夕食には、ピザ窯を利用した森の恵みの食体験（地産食材を使ったピザづくり）を行った。2日目は、日光杉並木保護管理の現地見学後、日光演習林へ移動し、東北農林専門職大学大久保教授による「奥山林が育む環境を学ぶ」の講義を行った。そして、太郎山演習林内の植物相、治山施設、並びに戦場ヶ原湿原を見学した。3日目は、再度船生演習林へ戻り、大島演習林次長による「里山林が育む住を学ぶ」の講義後、持続可能な森林経営実習として高性能林業機械の操作体験、スギの間伐実習を行った。

参加者からは、全体的に大変満足であったと評価され、特に食に関しては高評価を受けてた。しかし、6年度は初めての開講ということもあり、若干内容を詰め込みすぎ、時間的にタイトなスケジュールであったため、次年度以降の実施内容についての反省点があげられた。

令和7年度は、冬の里山・奥山に関連した内容で令和8年2月に実施予定である。



#### ○日光演習林（戦場ヶ原演習林、太郎山演習林）の経営計画を策定

懸案であった日光演習林の経営計画について、令和6年3月に策定し、同年4月から実行を開始した。

#### ○船生演習林内においてナラ枯れの発生及び対策実施

船生演習林6林班及び樹木園でナラ枯れが確認され、ナラ類113本について栃木県及び塩谷町からの補助金を受けて、立木くん蒸などの対策を行った。

○地元消防団による送水訓練に協力

船生演習林で山林火災を想定した塩谷町消防団による送水訓練が行われ、演習林は訓練場所及び関係者の駐車スペースを提供した。

この送水訓練は、水口から火元までを消防団所有のポンプ車約 10 台を送水ホースで連結して行われた。



東京大学

## 東京大学演習林の近況

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

千葉演習林と西松建設株式会社が共同研究契約を締結

森林資源を利活用した循環型社会の構築を目指し、西松建設株式会社と、千葉演習林を対象とした社会実験型実証研究に向けた共同研究契約を締結しました。

北海道演習林創設 125 周年記念誌，生態水文学研究所 100 周年記念誌の発行

Web サイトにも掲載されています。

富士癒しの森研究所 100 周年記念式典

2025 年 10 月 24 日に開催し，70 名を超える関係者の皆さまにお越しいただきました。

第 2 回アジア森林 GX/DX 国際シンポジウム開催

2025 年 10 月 27, 28 日の 2 日間，韓国・ソウル国立大学校において，「第 2 回アジア森林 GX/DX 国際シンポジウム」と「第 10 回アジア大学演習林コンソーシウムシンポジウム (SAUFC)」を合同で開催しました。



写真 1 富士癒しの森研究所 100 周年記念式典



写真 2 第 2 回アジア森林 GX/DX 国際シンポジウム

信州大学農学部附属演習林における 2024 年のトピック

信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター

信州大学の学内公募である教育研究系技術職員イニシアチブファンドに、演習林技術職員と工学部技術職員が共同して申請した課題「統合技術院内での異分野連携による棚沢川流域住民の防災・減災力の向上に資する河川流量のリアルタイム観測システムの構築」が採択された。本研究では演習林を水源とする棚沢川の流量をインターネットを利用してリアルタイムでモニタリングし、河川の氾濫による土砂災害や洪水の危険性を地域社会へ積極的に公開していくことを目的としている。地域住民の要請により、8月3日の豪雨によって発生した棚沢川の濁り水の原因究明に本システムのデータを使用した。信州大学農学部で開催された「青少年のための科学の祭典2025伊那大会」に演習林技術職員がブースを出展した。小学生を対象に滑車模型を使って丸太をつり上げる経験や技術職員の森の仕事について説明した。信州大学見本市への出展のために農場技術職員と共同してアルプス圏フィールド科学教育研究センターの紹介ビデオとポスターの作成を行った。

令和7年度教育研究系技術職員イニシアチブファンドを活用した

統合技術院内での異分野連携による棚沢川流域住民の  
防災・減災力の向上に資する河川流量の  
リアルタイム観測システムの構築

【背景】

演習林内を流れる棚沢川には土砂流出を防ぐために堰堤が設置され、一定の効果を発揮しているものの、これまで大雨や豪雨になると土砂が下流域の水田や揚水ポンプへと流入する事象が発生し、農家や地域住民の間では懸念事項となっている。  
今までは、どれだけの土壌侵食が発生しているか把握が困難であり、手良沢山ステーションとしての土砂流出への対応が遅れていた。そこで棚沢川からの土砂流出量を可視化するための観測システムの構築が希求されている。

【目的】

棚沢川の源流が位置している知の拠点として、上流の気象条件と土砂流出量の関係性の導出や下流の水位上昇予測を発信することで、下流住民の懸念・不安に対するの説明責任を果たすと共に、防災減災への意識向上のきっかけとする。

【方法】

これまで手良沢山ステーションで実施してきた気象および水文観測に、棚沢川の流量・濁度測定を組み込み、それらを統合させることで土砂流出量を測定するための観測基盤を構築する。

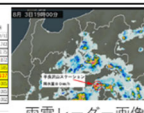


この機の下が棚沢川




第一段階として赤矢印の部分に橋の下に流速計を設置した(2025年7月31日)。第二段階として濁度計の設置を予定している。

【結果】




8月3日19:00の最大雨量観測後、土砂が80cm埋没し以降流速データは欠測。



【まとめ】

2015年8月6日短時間的大雨時の棚沢川の降水量と水位



〇〇〇〇年以降継続して雨量と水位を測定中

雨量 × 水位濁度流速 = 土砂流出量の可視化

↑  
土砂量

過去の流速と水位データがあるため、どの程度の土砂が流出したかについても推測できる。

## 東京農業大学奥多摩演習林研修センターの利用停止について

東京農業大学地域環境科学部奥多摩演習林

2025年4月に研修センター事務室周辺において地盤の陥没を発見したため、演習林の利用を一時停止しました。その後、応用地質（株）による目視調査の結果、研修センター立地の盛土陥没と亀裂との関係が示唆された一方で、資料館への影響は無いことが報告されました。これを受け、演習林では研修センターを使用しない日帰り利用のみの受け入れを開始し、同時に応用地質（株）による本格的な地盤調査を実施しました。その結果、懸念されていた床下亀裂については、建物の安全性に問題はなく、陥没箇所につきましても、現在確認されている長さ3.2m、幅0.8m、深さ1.5mの陥没以外の場所に空洞は存在しないことが確認されました。2025年11月現在、陥没箇所に対して修繕工事を実施する手続きを進めています。

### 演習林立地と利用者対応に関するアンケート結果

東京農業大学奥多摩演習林の将来構想作成の参考資料のために、2025年11月に全国演習林協議会加盟演習林を対象に「演習林の立地と利用者対応に関するアンケート」を実施しました。17件の回答があり、結果の概要は以下の通りです。ご協力ありがとうございました。

質問1. 演習林へのアクセスについて、最寄り駅からの徒歩および車での移動時間を教えてください。

最寄り駅から徒歩での移動時間は、15分～6時間40分と幅があり、15～20分程度が最も多かった（5件）。最寄り駅から車での移動時間は、5分以下～1時間50分までの幅があった。80%は30分以内の移動時間であり、5分以下～10分までが最も多かった（7件）。

質問2. 演習林へのアクセスについて、演習林までの道路状況について教えてください。（常時通行可／凍結で通行止めあり／土砂で不安定等）

全ての回答において演習林までのアクセスは「常時通行可」であった。一方で、少数（5件）ではあるが、常時通行可ではあるが積雪や土砂崩れなどによる通行止め等でアクセスに制限が発生する場合もあることが報告されていた。

質問3. 演習林（林地。以下、敷地内）と事務所、宿泊施設の位置関係について、次のうち該当するものを選んでください。

最も多かった回答は「②演習林敷地外に事務所と宿泊施設があり、両者は同一建物内または隣接している。」で7件であった。次いで、「①演習林敷地内に、事務所を併設した宿泊施設がある。」

が多く、5件であった（図1）。この2つの回答が全体の約71%を占めていた。

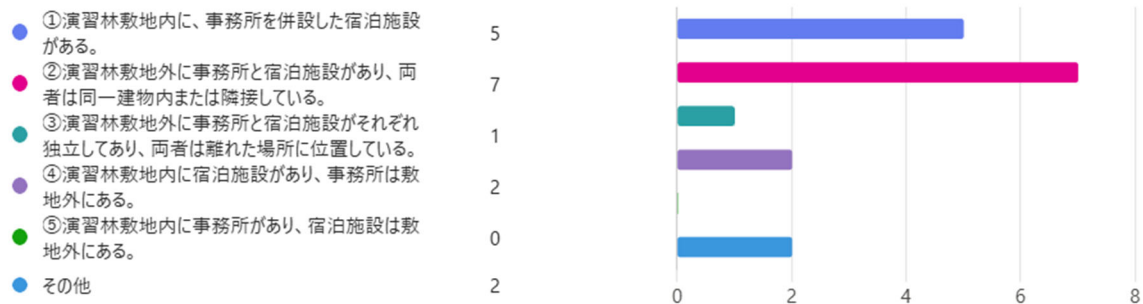


図1. 質問3の回答とその件数

質問4. 質問3において、①以外を回答した方に質問です。演習林と事務所、宿泊施設が離れた場所にある経緯をわかる範囲でお聞かせください。

12件の回答が得られた。経緯が不明という回答が4件あった。経緯が分かっているものでは、演習林の立地におけるインフラやアクセスの悪さからそれらが整っている集落部に事務所等を設置したという回答が多かった（4件）。

質問5. 演習林と事務所、宿泊施設が離れていて良い点と悪い点について、お気づきの点がありましたらお聞かせください。

良い点については、事務所等が集落部にあることでアクセス等の利便性が上がること（4件）や、災害時の安全確保が容易である点（2件）が上がっていた。一方で、良い点はないという回答も3件あった。悪い点については、演習林と事務所等の間の移動に時間がかかる点（3件）や事務所等から演習林の状況を確認できない点（2件）が上げられた。また、悪い点がないという回答が2件あった。

質問6. 宿泊施設がある場合、宿泊可能人数を教えてください。

宿泊可能人数には、約20~70名の幅があった。最も多かった回答は、約30~50名であった（11件、約65%）。

質問7. 年間の利用者数を教えてください。（貴学学生延べ人数、および外部利用者）

一つの演習林当たりの年間の利用者数は、約800~2600人であった。最も回答数が多かったのは、約1000~2000人（11件、約52%）であった。利用者の内、学内利用者は、約400~1400人であり（回答10件）、最も多かった回答は約500~1000人（6件、60%）であった。学外利用者は、約100~1100人であり（回答10件）、約100~500名（5件、50%）が最も多かった。また、学外より学内の利用者の方が多いという回答が全体の80%（8件）を占めていた。

質問8. 演習林利用者の入退林管理や安全管理をどのように行っているか教えてください。また、学内関係者（学生を含む）と学外関係者で対応が異なる場合は、その違いを教えてください。

最も多かった回答は、入林届等によって事前に申請する形式であった（6件、約32%）。次に多かった回答は、演習林の窓口における受付であった（4件、約21%）。これら以外に、ホームページなどのインターネットを用いた利用申請やキャンパスでの受付、無線や電話等での演習林への連絡が回答されていた。

質問 9. 演習林利用者が来演した際の対応について、受付方法（受付場所や手続き方法など）を教えてください。

来演した際の対応については、事務所の窓口等で受付を行っている場合が最も多かった（12件、約67%）。他に、メールやFAXなどを用いた連絡のみの場合やキャンパスで受付を行う場合があった。

質問 10. 演習林利用者が来林した際の対応について、演習林敷地内までの移動方法（送迎の有無、自家用車利用の可否など）を教えてください。

来林した際の対応については、送迎を行っているという回答が4件、学生のみ送迎を行っているという回答が1件、利用人数が多い等の特別な場合のみ送迎を行っているという回答が3件、送迎を行っていないという回答が4件であった。また、送迎以外での演習林敷地内までの移動方法として自家用車を利用している場合が最も多く（14件）、他にバスや徒歩、貸出の自転車等が上げられた。

質問 11. 宿泊者の食事について教えてください。（自炊、施設で調理して提供等）

宿泊施設がある演習林（16件）では、食事を基本的に自炊とする回答がほとんどであった（15件）。1件は施設で食事を提供していた。また、実習時のみ施設から食事が提供されるという回答が3件、実習時のみ学外業者による食事提供を行っているという回答が4件であった。

質問 12. 宿泊利用者がいる時に職員がどのような対応をしているか教えてください。（学生の場合、宿泊施設に宿直職員を配置する等）

宿泊利用者がいる時の対応については、宿直等の就業時間外の特別な対応をしていないという回答が最も多く（7件、約37%）、次いで指導担当教員が対応するという回答が多かった（6件、約32%）。

## 北海道弟子屈農場・演習林における 2025 年度のトピックについて

玉川大学 農学部農産研究センター北海道弟子屈演習林

### 【美留和地区】

釧路川沿いの河畔林において、植生保護などのため 2000 年代に設置した木道の経年劣化が著しくなり、業者委託により全面更新した（写真 1）。当地は釧路川源流部に位置し、貴重な草本植物が複数自生しているため、教育と研究面も含めて今後も管理を行う。

山間部の針広混交林では、林縁部に自生するイタヤカエデの樹液を 2～3 月にかけて回収と一時冷凍保存の上で解凍・加熱し、メープルシロップを試作した（写真 2）。円滑な回収と保存方法の検討と、回収時期による成分変化にも注目し、今後も研究を継続する。

### 【屈斜路地区】

美留和地区含め、周辺地域においてヒグマの目撃件数が増加傾向にある。演習林内での業務・実習中の発見や被害は現段階で発生していないが、これまで以上に人間の行動圏に進出していると考えられるため、防衛対策の強化を進めている。



写真 1. 河畔林内の木道



写真 2. メープルシロップ

## 令和7年度東海地区大学演習林等技術職員研修会の開催

名古屋大学大学院生命農学研究科  
附属フィールド科学教育研究センター稲武・設楽フィールド

令和7年10月14日（火）～10月16日（木）に、名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター稲武・設楽フィールドにて、令和7年度東海地区大学演習林等技術職員研修会が開催された。東京大学樹芸研究所から1名、静岡大学天竜フィールドから1名、京都大学上賀茂試験地から1名、高知大学嶺北フィールドから1名、名古屋大学稲武フィールドから2名、計6名が参加した。宿泊場所の稲武フィールド庁舎では、夕食をとりながら情報交換し、懇親も深めた。

主な研修内容を以下に示す。まず1日目に設楽フィールドで、講義1「森林樹木の産地試験」として、全国大学演習林協議会共同研究「ダケカンバ産地試験」の設楽試験地の見学（写真1）を行った。翌日の2日目に稲武フィールドで、講義2「笹の一斉結実・枯死と森林生態系」として、スズタケの120年ぶりの結実・枯死による環境変化、野ネズミなどへの影響についての紹介（スライド発表）、講義3「古橋林業」として、愛知県内最古の（天保の飢饉を教訓に生まれた）人工林と非皆伐複層林の見学（写真2）、講義4「樹木の根の最新観察技術」として、樹木の根の広がりや役割、クロマツ・スギなどの根系構造評価方法についての解説（写真3）、をそれぞれ実施した。最後の3日目に名古屋市近郊にある木材機械関連会社で、講義5「板材加工の独自技術」として、ロータリーレースによる原木の切削・画像処理による単板の自動選別装置の見学（写真4）を行った。

今回はオムニバス形式で、それぞれの内容の実施時間は相対的に短くなったが、各現場でアクティブに進行中のテーマを選抜して取り扱ったことから、幅広く多様な知識・技術を網羅的に体得できたものと思われる。関係各位にこの場を借りて深く御礼申し上げます。



写真1



写真2



写真3



写真4

## 演習林の最近の話題

三重大学大学院生物資源学研究科  
附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設演習林

令和7年度の学生実習の多くはコロナ前の規模・日数での開催が計画されている。三重大学生物資源学部の令和6年度の改組によって、演習林を訪問し実習・演習を行う学生数がやや増加した。1年時に行う日帰りの体験演習の学生が30～40名程度増加したため、演習の実施回数を増やして対応している。また、令和6年度に入学した学生の年次があがり、令和7年度からは森林科学専修に所属した学生に対する専門的な実習がはじまる。森林科学専修の学生の人数も1～2割程度増加したため、宿泊や食事への対応が必要となっている。

令和2年度から令和6年度にかけて演習林内の作業道の延伸・拡幅工事を実施した。林業機械が進入できるエリアが拡張されたことにより、より効率的な伐採・搬出作業が可能となった。今後は維持管理を中心に進め、将来的には作業道の延長を計画している。



延伸・拡幅した作業道の必要性について実習で技術職員が解説する様子

京都大学

## 和歌山研究林返還記念イベント 「100年目からの新たな歩み～99年を振り返る～」

京都大学フィールド科学教育研究センター

2024年11月28日(木)に有田川町清水文化センターにおいて、和歌山研究林地上権返還記念イベント「100年目からの新たな歩み～99年を振り返る～」を開催しました。

和歌山研究林は、1926(大正15)年1月に、和歌山県有田郡八幡村の海瀬氏所有の山林564haに、99年間の地上権が設定されたことに始まります。1942(昭和17)年には同じく海瀬氏所有の隣接する山林が追加設定され、約840haにわたる広大な森林を大学での教育研究に活用してきました。2025(令和7)年1月に地上権設定の期限を迎えることになり、契約延長を含め、様々な可能性を検討してきましたが、諸般の事情により99年間の期限をもって、所有者(現在はマルカ林業株式会社)に返還させていただくこととなりました。

99年間にわたる教育研究について、所有者や地域の皆様へのご報告とお礼を兼ね、有田川町様と共催の形で、「100年目からの新たな歩み～99年を振り返る～」と題したイベントを開催した次第です。本イベントには、有田川町の林業や教育に関わる地域の皆様や、かつて和歌山研究林で研究を行った卒業生、研究林に勤務してくださった職員OBの皆さんにもご参加いただき、終始和やかで前向きな会とさせていただくことができました。

第1部では、有田川町の中山正隆町長にご挨拶いただき、担当教員である長谷川尚史准教授からの概要説明の後、和歌山研究林で長期的に行ってこられた生態学研究センターの佐藤拓哉准教授から、「森と川と海をつなぐ細い糸ー和歌山研究林での大規模実験の日々」と題し、和歌山研究林だからこそ可能であった世界的な研究についてご紹介いただきました。またマルカ林業株式会社海瀬隆太郎社長にもご登壇いただき、京大総長からの感謝状を贈呈しました。

続く第2部では、「森林と教育：地域の未来と大学への期待」をテーマに、長谷川准教授の司会で、有田川町の中平教育部長、上田林務課長、清水森林組合道上組合長、マルカ林業海瀬社長と和歌山研究林徳地林長とで、パネルディスカッションを行いました。パネラーの皆様から有田川町と研究林のつながりについて、これまで研究林で行ってきた小中学生や分校の高校生への出前授業や森林体験などを高く評価していただき、急速に過疎化が進行している当地域において、今後も京都大学が積極的な関わりを続けることや、林業に関しても大学の知見を地域に還元していくことへの期待が語られました。

和歌山研究林は林業の先進的な地域であるため人工林の造成について教育研究するように設定された場所で、これまで樹下植栽をはじめ人工造林などについて多くの研究が行われてきました。学生たちは、実際の自然環境を通じて、環境科学や生態学、持続可能な開発について学び、実習を通じて実践的な経験を積むことができました。人工造林が主流でなくなった近年では、造林した人工林のモニタリングだけでなく、環境省のモニタリングサイト1000のコアサイトとして森林動態の長期モニタリングや、佐藤准教授のアマゴによる森と川のつながりの研究など多くの研究がなされてきました。地上権をお返しした後は、常勤職員の配置がなくなることや林道の問題などで現地での利便性は低くなるものの、なんとか研究を続けていけるような手続を進めています。和歌山研究林で2002(平成14)年に始まった地域の高校生への教育プログラムであるウッズサイエンスも、有田川町や和歌山県、さらには地域の林業事業体の皆様とともに実施していくことになっています。今後も地域との連携を絶や

さず、次の 100 年につなぐ京都大学の窓として活動する和歌山研究林を、引き続き、どうかよろしくおねがいたします。



第1部 感謝状贈呈



第2部 パネルディスカッション

## 鳥取大学教育研究林の近況

鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター

学内実習がコロナ禍前の水準に戻り、延べ利用者はコロナ禍前の水準に回復しつつあったが、令和6年度は約1,100人と前年度よりも減少した。しかし、外部利用者に関してはコロナ禍以降初めて100名を超え、約170名となった。宿泊利用者数は約750人と前年度の約1.5倍に増加した。

教育研究林蒜山の森で続いていたナラ枯れ被害は沈静化に向かいつつあるが、依然被害木の発生が認められる。被害木については低質間伐材などと一緒に燃料用チップ用に初めて出荷したが、とくに問題点は見られなかったため、今後も継続していく予定である。また、林内で使用しているグラブが老朽化していたが、更新することができた。他の重機も老朽化が著しいため、今後の更新が課題となっている。



写真1 燃料用チップとして出荷した木材



写真2 更新したグラブ

## 最近の話題

愛媛大学農学部附属演習林

### 炭焼き体験の開催

地域貢献活動の一環として、地元中学校の生徒を対象に炭焼き体験を実施した。この中学校では、地域産業である炭焼き技術の継承を目的に、毎年炭窯を用いた炭焼きをおこなってきた。しかし、夜間の火の管理や教員側の技術継承が難しくなったことから、授業の継続が困難になっていた。そこで当演習林では、短時間で炭焼きが可能で過去にも実施した経験のあるドラム缶方式を採用し、炭焼き体験をおこなうこととした。中学生には、ドラム缶窯の作成から火入れまでを体験してもらい、着火直後と炭化が進んだ終盤での煙の変化も観察してもらった。火の管理がほとんど不要となる中盤の時間には、実験林を散策し、林内の動植物を観察した。

この中学校との連携による炭焼き体験は、来年度以降も毎年開催される予定である。今後も、地域の伝統行事の継承に貢献できるよう、活動を続けていきたい。

### 高所作業車での作業

苗畑試験地内にあるクヌギ（直径 40cm、樹高 18m）の枝が越境し、さらに電線の上を通過していたため、技術職員が伐採作業をおこなうこととなった。伐倒作業に先立ち、作業の支障となる高所の枝を切り落とす必要があったため、新たに高所作業車の資格を取得した上で作業に臨んだ。クヌギは境界の外側へ傾いていたため、敷地内側へ倒すことが難しかった。そこで、エンジンウインチとチルホールを併用して牽引し、さらに追口にジャッキを設置して伐倒方向を制御することで、安全に伐倒を完了させた。

近年、当演習林には他学部・他部署からの支障木伐採の依頼が増えている。今後も山林以外での伐採機会が増えることが予想されるため、今回得た経験を今後の業務に活かしていきたい。



炭焼き体験



高所作業

## 演習林の近況（令和7年度）

高知大学農林海洋科学部  
附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター森林生産環境部門

高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター（以下 FSC）には、演習林に関係する森林生産環境部門（嶺北フィールド）と農場に関係する循環型暖地農業生産部門（南国フィールド）がある。これまで、技術職員はいずれかの部門を専任で担当していたが、近年はより柔軟に業務に対応するため両部門を共通して担当できるように体制を整えつつある。

本年度に新規採用された石谷菜津美技術職員には、両分野の業務を担当することでどちらの業務にも対応できるよう経験を積んでいただくようにしている。嶺北フィールドに関係する業務では、演習林実習や樹木学実習など森林科学関係の実習支援がある。当該技術職員の前職は森林・林業以外の分野であったため、演習林業務のみでなく農場業務についても習得しなければならない事項が多くある。しかし、着任早々にも関わらず、本学農林海洋科学部農林資源科学科フィールド科学コース前期の3年生向け実習科目である樹木学実習にほぼフルで参加していただき、樹木学実習の支援のかたわら、学生同様標本の採取・作成も行い、教職員として指導の任に堪えるほどの樹木識別の技能を取得されている。

9月中旬には、昨年は台風のため中止となった公開森林実習を実施した。本学では公開森林実習は、中四国地区の複数の農学系学部がある大学で開催している「中国・四国地区大学間連携フィールド演習」の高知大学実施実習と併催で行っている。今年度の参加者は、公開森林実習として5名、中国・四国地区大学間連携フィールド演習として8名の計13名であった（写真1、写真2）。実習の4日間のうちには雨が降る日もあったが、東団地林道を歩きながら本学演習林の多様な林分・植生や施業の様子を観察する踏査（写真1）や、毎木調査は行うことができなかったものの演習林内に設けている固定プロットの見学はできたため、プロットの過去データを用いて森林遷移に関わるプレゼンテーションを各班別に行う（写真2）など、予定していた内容はおおむね実施することができた。

また、嶺北フィールドの浦部光治係長が、今年度の全国大学演習林協議会森林管理技術賞を受賞したことは、我々関係スタッフにとって望外の喜びであった。関係各位にこの場を借りてお礼申し上げる。（森林生産環境部門長 鈴木保志）



写真1 公開森林実習における演習林内での実習風景



写真2 公開森林実習における宿舎での受講生のグループ別プレゼンテーション

## 宮崎演習林 × 大河内小学校：宿泊体験と森林学習

九州大学宮崎演習林

九州大学宮崎演習林では毎年、宮崎県椎葉村立大河内（おおかわうち）小学校の体験宿泊を受け入れています。宮崎演習林の事務所のある椎葉村大河内地区には小学生 10 人（2025 年 11 月現在）が通う大河内小学校があります。小学生全員が 1 泊 2 日で宮崎演習林の宿舎に泊まり、夕飯にはカレーライスを自分たちで作り、夜はライトトラップなどを実施し、次の日は森に出て森林生態系について学びます。

2009 年頃から始まり、今では毎年の恒例行事となりました。子供たちが作ってくれるカレーライスは演習林職員も一緒にいただきます。夜のライトトラップは大人気ですが、あいにく雨が降ることが多く、今年もライトトラップが出来ず、ラミネートを使った葉っぱのしおりづくりなどを実施しました。

最近の森のアクティビティは葉っぱのビンゴです。9 樹種の葉っぱの説明書を渡し、森に出て実際にその木を探します。9 樹種見つけられたらお手本どおりに葉っぱを並べて完成します。少しずつでも樹木に親しみを持ってもらえると良いなと思っています。夏には夏の楽しさが、冬には冬の楽しさが森にはあります。昨年度は冬の森に出て、大きなツララで遊びました。今年は何の葉っぱが好きですか？と聞くと、ミズナラやカエデが人気でした。

この取組みにより大河内小学校は宮崎県学校林等活動優秀校として表彰されたこともあります。大自然の中で育つ子供たちが、その素晴らしさを理解し、大人になってまた椎葉に戻って来てくれると良いなと思います。この活動がその様なきっかけに少しでもなれることを願っています。



## <令和6年度研究業績>

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション	23
岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	32
東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	33
山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター	35
宇都宮大学農学部附属演習林	36
新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	36
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	36
東京農工大学農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター	42
筑波大学山岳科学センター	43
信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター	46
静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター	50
日本大学生物資源科学部演習林	51
東京農業大学地域環境科学部奥多摩演習林	52
名古屋大学大学院生命農学研究科附属 フィールド科学教育研究センター稲武・設楽フィールド	52
岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター	55
三重大学大学院生物資源学研究科附属 紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設演習林	55
京都大学フィールド科学教育研究センター	57
京都府立大学環境科学部附属演習林	68
鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター	70
島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター	70
愛媛大学農学部附属演習林	70
高知大学農林海洋科学部附属 暖地フィールドサイエンス教育研究センター嶺北フィールド	71
九州大学農学部附属演習林	71
宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター田野フィールド	79
鹿児島大学農学部附属演習林	80
琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター	81

演習林を利用した研究業績及び演習林教職員の研究業績  
2024年度(2024年4月～2025年3月)

北海道大学

北方生物圏フィールド科学センター

- ALTMANOVÁ Nela, Pavel Fibich, Jiří Doležal, Václav Bažant, Tomáš Černý, Julieta G.Arco Molina, Tsutomu Enoki, Toshihiko Hara, Kazuhiko Hoshizaki, Hideyuki Ida, Pavel Janda, Akira Kagawa, Martin Kopecký, Kirill A. Korznikov, Pavel V. Krestov, Yasuhiro Kubota, Vojtěch Lanta, Martin Macek, Marek Mejstřík, Masahiro Nakamura, Mahoko Noguchi, Alexander M. Omelko, Petr Petřík, Takeshi Sakai, Jong Suk Song, Satoshi N. Suzuki, Miroslav Svoboda, Miroslav Šrůtek, Kerstin Treydte, Olga N. Ukhvatkina, Iva Ulbrichová, Anna S. Vozmishcheva, Xiaochun Wang, Jan Altman: Spatial heterogeneity of tree-growth responses to climate across temperate forests in Northeast Asia, *Agricultural and Forest Meteorology*, 362: 110355 10.1016/j.agrformet.2024.110355 (2025.3) :天塩研究林, 雨龍研究林ほか日本各地、極東アジア沿岸部
- ASAKURA Hinako, Ryo Futamura, Senri Moriyama, Satoko Iida, Koume Araki, Masato Ayumi, Shoji Kumikawa, Yuichi Matsuoka, Taro Takahashi, Jiro Uchida, Osamu Kishida, Takuya Sato: Two distinct host-parasite associations mediate seasonal ecosystem linkages, *Biology Letters*, 20(7) :39016002 10.1098/rsbl.2024.0065 (2024.07) :北海道南部の湧水河川
- CAI Yihan, Kiyoto Sawada, Kobayashi Makoto: How microclimate influences the spring phenological responses to decreased snow cover in four tree species seedlings in a boreal forest, *Scientific Reports*, 15(1) 10.1038/s41598-025-94523-y (2025.3.28) :天塩研究林, 雨龍研究林
- CHANG Yu-Lin K., Kentaro Morita, Kanta Muramatsu, Osamu Kishida, Mari Kuroki: Northern shifts in the migration of Japanese glass eels to subarctic Hokkaido Island over the past three decades, *Ocean Dynamics*, 75(1) 10.1007/s10236-024-01651-6 (2025.1.7) :北海道南部の河川、沿岸域
- CHEN Siyu, Yoshiko Kosugi, Linjie Jiao, Ayaka Sakabe, Daniel Epron, Tatsuro Nakaji, Hibiki Noda, Kouki Hikosaka, Kenlo Nishida Nasahara: Winter leaf reddening and photoprotection accessed by vegetation indices and its influence on canopy light-use efficiency of a Japanese cypress (*Chamaecyparis obtusa*) forest, *Agricultural and Forest Meteorology*, 363: 110427 10.1016/j.agrformet.2025.110427 (2025.3) :京都大学桐生水門試験地
- DAUPAGNE Léa, Chiharu Furusawa, Hironori Mieda, Osamu Kishida, Emilien Lasne, édrick Tentelier, Itsuro Koizumi: Form-assortative mating behaviors of individuals from parasitic and non-parasitic populations of Arctic lamprey (*Lethenteron camtschaticum*), *Behavioral Ecology*, 35(6): arae073 10.1093/beheco/arae073 (2024.9.21) :北海道 堀株川, 雄信内川
- DURET Clément, Tiphane Bartet, Alain Hambuckers, Osamu Kishida, Sumio Okada, Yuki Taguchi, Mizuki K. Takahashi, Mathieu Denoël: Loss of habitat suitability and distribution range of the endangered Japanese giant salamander under climate change, *Frontiers of Biogeography*, 18: e133105 10.21425/fob.18.133105 (2025.2.5) :和歌山研究林ほか
- FIGURA Tomáš, Edita Tylová, Kenji Suetsugu, Sabino Alberto Bruno Izai Kikuchi, VSFT Merckx, Alexandra Gredová, Kobayashi Makoto, Jan Ponert, Marc-André Selosse: Japonolirion osense, a close relative of the mycoheterotrophic genus *Petrosavia*, exhibits complete autotrophic capabilities, *BMC Plant Biology*, 24(1) 10.1186/s12870-024-05721-1 (2024.11.8) :天塩研究林ほか
- FUKASAWA Yu, Satsuki Kimura, Yuji Kominami, Masahiro Takagi, Kimiyo Matsukura, Kobayashi Makoto, Satoshi N. Suzuki, Shuhei Takemoto, Nobuaki Tanaka, Mayuko Jomura, Kohmei Kadowaki, Masayuki Ushio, Haruo Kinuura, Satoshi Yamashita: Oak Wilt Disease May Reduce the Initial Decay Rate of Dead *Quercus serrata* Stems by Altering Fungal Communities in the Wood, *Environmental Microbiology*, 27(1): e70026 10.1111/1462-2920.70026 (2025.1) :宮城・大阪・宮崎ほか
- FUKUYAMA Ibuki, Mohamad Yazid Hossman, Yusuke Fuke, Melvin Gumal, Kanto Nishikawa: Banded or striped? Significant colour dimorphism of a bridal snake in Borneo, *Zoologica Scripta*, 54(2): 133-143 10.1111/zsc.12705 (2024.11) :ボルネオ島
- FUTAMURA Ryo, Kentaro Morita, Yoichiro Kanno, Jiro Uchida, Atsushi Okuda, Osamu Kishida: Costs of attaining larger size prior to migration inferred from predation-caused wounds in an anadromous fish, , 10.21203/rs.3.rs-4289981/v1 (2024.7.19) :苫小牧研究林ほか幌内川流域
- HARATANI Hina, Toshiya Yoshida: Scarification under the canopy of Japanese oak: should pre-harvest

- treatment coincide with the masting year of acorns?, *Journal of Forest Research*, 29(6):450-457  
10.1080/13416979.2024.2386185 (2024.8) :雨龍研究林
- HIURA Tsutom, Hiroya Okada, Chisato Terada, Masahiro Nakamura, Nobuhiro Kaneko: Effects of soil compaction on above- and belowground interactions during the early stage of forest development, *Urban Forestry & Urban Greening*, 102: 128565 10.1016/j.ufug.2024.128565 (2024.7) :苫小牧研究林
- HOSOKI Takuya K., Noël M. Clark, Ryo Futamura, Senri Moriyama, Osamu Kishida, Yoichiro Kanno: A comparison of sex - specific markers for two wild masu salmon populations in Hokkaido, Japan, *Aquaculture, Fish and Fisheries*, 4(4) 10.1002/aff2.194 (2024.7.9) :苫小牧研究林ほか
- INOUE Yoshihiro, Hisanori Okamiya, Takayuki Aota, Michael R Crossland, Osamu Kishida: Alien toxic toads suppress individual growth and phenotypic development of native predatory salamanders., *Oecologia*, 207(1):27 10.1007/s00442-024-05658-0 (2025.1.30) :旭川市近郊
- JI Fujiang, Fa Li, Dalei Hao, Alexey N. Shiklomanov, Xi Yang, Philip A. Townsend, Hamid Dashti, Tatsuro Nakaji, Kyle R. Kovach, Haoran Liu, Meng Luo, Min Chen: Unveiling the transferability of PLSR models for leaf trait estimation: lessons from a comprehensive analysis with a novel global dataset, *New Phytologist*, 243(1): 111-131 10.1111/nph.19807 (2024.5.6) :世界各地の主要な気候帯をもつ地域
- KAWAKAMI T., K. Makoto: Differential Influence of Soil Organic Carbon and Calcium on the Community of Lumbricid Earthworms as Ecosystem Engineers in Cool Temperate Forests of Hokkaido, *Eurasian Soil Science*, 57(11):1847-1855 10.1134/s1064229324600568 (2024.8.29) :天塩研究林ほか
- KIMURA Kaede, Ibuki Fukuyama, Kinji Fukuyama: Deep learning-based detector of invasive alien frogs, *Polypedates leucomystax* and *Rhinella marina*, on an island at invasion front, *Biological Invasions*, 27(3) 10.1007/s10530-025-03553-0 (2025.3) :石垣島, 西表島
- KOBAYASHI Haruka, Gaku Kudo, Karibu Fukuzawa, Osamu Seki, Kobayashi Makoto: Belowground traits significantly differ between decreasing and increasing plant species in alpine meadows: implications for vegetation response to climate change, *Alpine Botany*, 135(1):65-78 10.1007/s00035-024-00325-9 (2025.1) :大雪山系
- KOBAYASHI MAKOTO: Cultural extinction under climate change: Threats to the indigenous use of giant conifers in northern forests, *Annals of Forest Research*, 67(2): 1-4 (2024.12)
- KONDOH Michio, Minoru Kasada, Takuzo Abe, Akihide Kasai, Akihiro Dazai, Reiji Masuda, Satoquo Seino, Shota Suzuki, Yukari Suzuki-Ohno, Akifumi S. Tanabe: Community Science Initiatives Utilizing Environmental DNA, *Ecological Research Monographs*, : 83-99 10.1007/978-981-97-0304-3\_6 (2024.6.25) :日本全国の野外フィールド
- KUBO Gumma, Ibuki Fukuyama: First record of amphibian prey of the Oriental Odd-Tooth Snake, *Lycodon orientalis* (Hilgendorf, 1880), in Japan, *Herpetology Notes*, 17: 603-605 (2024.10.6) :京都市
- KURATA Seikan, Shota Mano, Naoyuki Nakahama, Shun Hirota, Yoshihisa Suyama, Motomi Ito: Development of mitochondrial DNA cytochrome c oxidase subunit I primer sets to construct DNA barcoding library using next-generation sequencing, *Biodiversity Data Journal*, 12 10.3897/bdj.12.e117014 (2024.6.18)
- KWON TaeOh, Hideaki Shibata, Tetsuya Takemi, Kentaro Takagi: Canopy height damage by Typhoon Songda in Northern Hokkaido, Japan, in 2004, *Environmental Research: Ecology*, 3(4):045002 10.1088/2752-664x/ad82f0 (2024.10.18) :天塩研究林ほか
- LAIYE Qu, Mingjie Guo, Kobayashi Makoto, Yoko Watanabe, Gang Wu, Takayoshi Koike: Effects of different charcoal treatments on the growth of Japanese larch seedlings inoculated with ectomycorrhizal fungi, *Journal of Forestry Research*, 36(1) 10.1007/s11676-024-01800-z (2024.11.16) :北海道・極東ロシア
- MATSUURA Naru, Hisanori Okamiya, Akira Terui, Masayuki Sakata, Hitoshi Araki, Osamu Kishida: Better habitat or not? Roles of deer wallows in early life history of amphibians, 10.22541/au.173501101.12100997/v1 (2024.12.24) :苫小牧研究林ほか
- MUGANI Richard, Fatima El Khalloufi, Minoru Kasada, El Mahdi Redouane, Mohammed Haida, Roseline Prisca Aba, Yasser Essadki, Soukaina El Amrani Zerrifi, Sven-Oliver Herter, Abdessamad Hejjaj, Faissal Aziz, Naaila Ouazzani, Joana Azevedo, Alexandre Campos, Anke Putschew, Hans-Peter

- Grossart, Laila Mandi, Vitor Vasconcelos, Brahim Oudra: Monitoring of toxic cyanobacterial blooms in Lalla Takerkoust reservoir by satellite imagery and microcystin transfer to surrounding farms, *Harmful Algae*, 135: 102631 10.1016/j.hal.2024.102631 (2024.5) :モロッコ
- NAKAMURA Masahiro, Bingpin Shan, Hino Takafumi, Chisato Terada: Different responses of herbivore abundance to plant genotypic diversity depending on herbivore host specificity, *Trees*, 38(4): 879-890 10.1007/s00468-024-02521-w (2024.5.15) :雨龍研究林, 中川研究林
- NAKAMURA Masahiro, Chisato Terada, Kinya Ito, Tsutomu Hiura et al. : Assessment of the soil microbe community-level physiological profile using EcoPlate and soil properties at 53 planted forest sites across Japan. , *Ecological Research* , 10.1111/1440-1703.12506 (2024.7):北海道大学研究林含む日本全国 53 か所の森林フィールド
- NAKAMURA Masahiro, Chisato Terada, Kinya Ito, Tsutomu Hiura, Hideaki Shibata, Takeshi Miki, Taku M. Saitoh, Masahiro Takagi, Toshiyuki Hougen, Shin ichiro S. Matsuzaki, Mirai Watanabe, Hiroyuki Tado, Norifumi Hotta, Yoshiko Kosugi, Nobuyuki Aiko, Nagahiro Kojima, Nana Katagiri, Koju Kishimoto, Tomohiro Yoshida, Yuuki Tsunoda, Tatsumi Takamiya, Kosuke Ito, Yasuhiro Utsumi, Tetsuro Yoshikawa, Tanaka Kenta, Miho Oda, Naoki Agetsuma, Masataka Kawai, Toru Fujita, Takuo Hishi, Hiromasa Shimada, Tomoaki Ichie, Kazuhiko Hoshizaki, Hajime Kobayashi, Tatsuyuki Seino, Mahoko Noguchi, Dai Nagamatsu, Haruo Saito, Ryunosuke Tateno, Masae Iwamoto Ishihara, Yoichiro Kitagawa, Yoko Hisamoto, Kosuke Homma, Toshihide Hirao, Tatsuya Otani, Motomu Toda, Jinshi Terada, Tomonori Kume, Karibu Fukuzawa, Atsushi Takashima, Koki Kurose, Sakae Fujii, Shunsuke Itoh, Tamihisa Ohta, Kazuhiko Otsuki, Takuo Nagaike, Kyohei Hasegawa, Kobayashi Makoto, Manabu Shirahata, Sawako Matsuki, Masayuki Hatanaka, Satoshi Suzuki, Noriyuki Muro, Tomoyuki Yamoto, Naoyuki Adachi, Nobuhiro Kaneko, Tamon Yamashita: Physiological profiling of the soil microbe community using the EcoPlate and assessment of soil properties at 74 planted forest sites across Japan, *Ecological Research*, 40(2) :228-242 10.1111/1440-1703.12506 (2024.12) :北海道大学研究林含む日本全国 74 か所の森林フィールド
- OHASHI Mizue, Naoki Makita, Masako Dannoura, Karibu Fukuzawa, Yasuhiro Hirano: Mission impossible? Criteria for judging dead fine roots in forest field studies, *JOURNAL OF FOREST RESEARCH*, 30(3): 156-164 10.1080/13416979.2025.2465818 (2025.3)
- OIKAWA Nozomi, Yuji Nakagawa, Toshiaki Owari, Shinichi Tatsumi, Satoshi N. Suzuki: Utilising LiDAR-equipped iPhone in forestry: Constructing 3D models and measuring tree sizes in a planting site, *Ecological Solutions and Evidence*, 6(1) 10.1002/2688-8319.12399 (2025.1):東京大学北海道演習林
- RAM Avtar, Xinyu Chen, Jinjin Fu, Saleh Alsulamy, Hitesh Supe, Yunus Ali Pulpadan, Albertus Stephanus Louw, Nakaji Tatsuro: Tree Species Classification by Multi-Season Collected UAV Imagery in a Mixed Cool-Temperate Mountain Forest, *Remote Sensing*, 16(21):4060 10.3390/rs16214060 (2024.10.31):雨龍研究林
- SHANG Yangke, Minoru Kasada, Michio Kondoh: Rescue or murder? The effect of prey adaptation to the predator subjected to fisheries, *Ecology and Evolution*, 14(12) 10.1002/ece3.70336 (2024.12.4)
- SIVAULT Elise, Jan Kollross, Leonardo Re Jorge, Sam Finnie, David Diez - Méndez, Sara Fernandez Garzon, Heveakore Maraia, Jan Lenc, Martin Libra, Masashi Murakami, Tatsuro Nakaji, Masahiro Nakamura, Rachakonda Sreekar, Legi Sam, Tomokazu Abe, Matthias Weiss, Katerina Sam: Insectivorous birds and bats outperform ants in the top - down regulation of arthropods across strata of a Japanese temperate forest, *Journal of Animal Ecology*, 93(11): 1622-1638 10.1111/1365-2656.14146 (2024.7.24): 苫小牧研究林
- TAKAGI Kentaro, Kojiro Hirayama, Masato Hayashi, Kobayashi Makoto, Keiji Okada, Hiroyuki Oguma, Nobuko Saigusa: Forest structure explains spatial heterogeneity of decadal carbon dynamics in a cool-temperate forest, *Environmental Research Letters*, 19(11): 114022 10.1088/1748-9326/ad774a (2024.10) :天塩研究林
- TAKESHIGE Ryuichi, Kyaw Kyaw Htoo, Masanori Onishi, Farhadur Md. Rahman, Kazuhiko Hoshizaki, Hideyuki Ida, Masae Iwamoto Ishihara, Akira Itoh, Takayuki Kaneko, Ayumi Katayama, Shigeo Kuramoto, Hiroko Kurokawa, Masayuki Maki, Kazuhiko Masaka, Tatsuro Nakaji, Masahiro Nakamura, Naoyuki Nishimura, Mahoko Noguchi, Atsushi Sakai, Atsushi Takashima, Naoaki Tashiro, Naoko Tokuchi, Hiromi Yamagawa, Yusuke Onoda: High-resolution digital canopy height models, terrain models, ortho-mosaic photos, and canopy tree crown shapes derived from UAV-borne LiDAR

- at 22 tree census plots across Japanese natural forests, *Ecological Research*, 10.1111/1440-1703.12555 (2025.3): 日本全国 22 箇所の森林調査サイト
- TIWARI Ravi Mohan, Toshihide Hirao, Satoshi N. Suzuki: Decline in functional diversity during the stem exclusion phase: Long-term tree census of secondary succession in a cool-temperate forest, central Japan, *Forest Ecology and Management*, 568: 122110 10.1016/j.foreco.2024.122110 (2024.9), 中部日本
- UEDA Miki U., Masahiro Nakamura, Tatsuro Nakaji, Kobayashi Makoto, Tsutomu Hiura: Indirect effects of soil warming on litter decomposition via changes in litter quality of dominant tree species in three cool temperate forests. , *Plant and Soil*, 10.1007/s11104-024-07023-9 (2024.10.19): 天塩研究林, 中川研究林, 苫小牧研究林ほか
- UEYAMA Masahito, Yuta Takao, Hiromi Yazawa, Makiko Tanaka, Hironori Yabuki, Tomo'omi Kumagai, Hiroki Iwata, Md. Abdul Awal, Mingyuan Du, Yoshinobu Harazono, Yoshiaki Hata, Takashi Hirano, Tsutomu Hiura, Reiko Ide, Sachinobu Ishida, Mamoru Ishikawa, Kenzo Kitamura, Yuji Kominami, Shujiro Komiya, Ayumi Kotani, Yuta Inoue, Takashi Machimura, Kazuho Matsumoto, Yojiro Matsuura, Yasuko Mizoguchi, Shohei Murayama, Hirohiko Nagano, Taro Nakai, Tatsuro Nakaji, Ko Nakaya, Shinjiro Ohkubo, Takeshi Ohta, Keisuke Ono, Taku M. Saitoh, Ayaka Sakabe, Takanori Shimizu, Seiji Shimoda, Michiaki Sugita, Kentaro Takagi, Yoshiyuki Takahashi, Naoya Takamura, Satoru Takanashi, Takahiro Takimoto, Yukio Yasuda, Qinxue Wang, Jun Asanuma, Hideo Hasegawa, Tetsuya Hiyama, Yoshihiro Iijima, Shigeyuki Ishidoya, Masayuki Itoh, Tomomichi Kato, Hiroaki Kondo, Yoshiko Kosugi, Tomonori Kume, Takahisa Maeda, Trofim Maximov, Ryo Moriwaki, Hiroyuki Muraoka, Roman Petrov, Jun Suzuki, Shingo Taniguchi, Kazuhito Ichii: The JapanFlux2024 dataset for eddy covariance observations covering Japan and East Asia from 1990 to 2023, , 10.5194/essd-2024-615 (2025.2.12): 雨龍研究林, 苫小牧研究林ほか
- UNO Hiromi, Shunsuke Utsumi, Kentaro Morita, Osamu Kishida, Md. Khorshed Alam, Junjiro Negishi: Hydrological Connectivity and Local Environment Alternately Drive Spatial Structure of Floodplain Aquatic Community Across Seasons, *Ecology and Evolution*, 15(2) 10.1002/ece3.70880 (2025.2) : 雨龍研究林
- VAN VELZEN Ellen, Sabine Wollrab, Onur Kerimoglu, Ursula Gaedke, Hans-Peter Grossart, Minoru Kasada, Helena C. L. Klip, Stefanie Moorthi, Tom Shatwell, Patch Thongthaisong, A. E. Friederike Prowe: Flexibility in Aquatic Food Web Interactions: Linking Scales and Approaches, *Ecosystems*, 28(2) 10.1007/s10021-025-00968-7 (2025.3.24)
- YAMAZAKI Haruka, Seiichi Mori, Osamu Kishida, Atsushi J. Nagano, Tomoyuki Kokita: QTL-Based Evidence of Population Genetic Divergence in Male Territorial Aggressiveness of the Japanese Freshwater Threespine Stickleback, *Ecology and Evolution*, 15(1) 10.1002/ece3.70795 (2025.1.9), 苫小牧研究林ほか
- YUZHOU Fang, Ruiqi Zeng, Kobayashi Makoto, Shunsuke Utsumi: Post-landslide interactive effects of plant facilitation and rill erosion on tree seedling colonization toward restoration, *Forest Ecology and Management*, 573: 122341 10.1016/j.foreco.2024.122341 (2024.12), 中川研究林
- ZENG Ruiqi, Shunsuke Utsumi, Yuzhuo Fang, Karibu Fukuzawa, Toshiya Yoshida, Kobayashi Makoto: How do aboveground and belowground functional traits correlate with the demography of tree seedlings regenerated after landslide disturbances?, *JOURNAL OF FOREST RESEARCH*, 30(3): 179-186 10.1080/13416979.2025.2459970 (2025.2.3), 中川研究林
- 伊藤 悠也, 吉田 俊也: アカエゾマツ 5 年生苗の効率的活用, 北方森林保全技術, 42: 27-33 (2025.01), 北管理部
- 馬谷 佳幸, 福澤 加里部: 環境 DNA メタバーコーディングと電気ショッカー採捕調査による魚類相結果の比較, 北方森林保全技術, 42: 8-15 (2025.01) : 天塩研究林
- 奥田 篤志: 苫小牧研究林で観察されたオジロワシの繁殖失敗の事例と近隣で実施された温泉試掘調査の影響, 北方森林保全技術, 42: 22-24 (2025.01): 苫小牧研究林
- 菅野 由莉, 高木 健太郎, 平野 祐也, 奥山 智浩, 藤田 達也, 田中 元久: 掻起し地に成立したカンバ二次林の除伐試験について, 北方森林保全技術, 42: 1-7 (2025.01): 天塩研究林
- 神部 飛雄, 鈴木 義己, 前野 哲輝, 細木 拓也, 奥出 絃太, 山崎 曜, 日下部 誠, 北野 潤: イトヨの環境適応に伴う甲状腺機能調節の進化, 日本生態学会大会講演要旨(Web), 71st (2024): 苫小牧研究林

- 小池 孝良, 増井 昇, 北岡 哲, 佐々木 圭子, 藤戸 永志, 平田 聡之, 渡部 敏裕: 実験苗畑の休作地におけるカバークロップの利用, 北方森林保全技術, 42:34-37 (2025.01): 札幌研究林
- 小池 孝良, 増井 昇, 玉井 裕, 佐々木 圭子, 藤戸 永志, 伊藤 悠也, 渡部 敏裕, 上田 裕文: カラマツ稚苗の成長に及ぼす骨炭と外生菌根菌の影響—樹木葬の墓標木としての期待—, 北方森林保全技術, 42:38-43 (2025.01): 札幌研究林
- 小南 裕志, 深澤 遊, 高木 正博, 鈴木 智之, 竹本 周平, 高梨 聡, 平田 晶子: コナラ枯死木の分解に伴う炭素動態, 日本生態学会大会講演要旨(Web), 71st (2024): 宮城・埼玉・東京・京都・宮崎
- 小山 泰弘, 柳澤 賢一, 鈴木 智之, 西村 尚之: 北八ヶ岳亜高山針葉樹林におけるニホンジカが好む環境条件, 日本森林学会大会学術講演集, 135th (2024): 長野県
- 三枝 弘典, 古澤 千春, 岸田 治, 小泉 逸郎: ヤツメウナギのスニーカーはペア産卵を妨害するか? 繁殖成功度を高めるか?, 日本生態学会大会講演要旨(Web), 71st (2024): 苫小牧研究林
- 坂井 励, 吉田 俊也: 天然林択伐施業における積雪期かき起こしの有効性, 日本森林学会誌, 106(8):225-232 10.4005/jjfs.106.225 (2024.12): 雨龍研究林
- 鈴木 智之, TIWARI Ravi Mohan, 香川 聡: 北方針広混交林における落葉広葉樹と針葉樹の成長量変化と年輪安定同位体比の関係, 日本生態学会大会講演要旨(Web), 71st (2024): 東京大学北海道演習林
- 鈴木 智之, 小山 泰弘, 西村 尚之: 60年前の風倒後の倒木搬出が現在のシカの景観スケールでの分布に与える影響, 日本森林学会大会学術講演集, 135th (2024): 長野県北八ヶ岳
- 高橋 廣行: 苫小牧研究林におけるエコツアーリズムのとりくみ —中間報告—, 北方森林保全技術, 42:25-26 (2025.01): 苫小牧研究林
- パインエー ミヤッツミヤッツ, 陳 淑芬, 荒木 響子, 相原 隆貴, サラマラギーニ, 廣田 充, 津村 義彦, 戸丸信弘, 本間航介, 門松昌彦, 吉田俊也, 小林元, 飯尾淳弘, 大住克博, 永松大, 高木 正博, 種子田 春彦, 木村 徳志, 福岡 哲, 久本 洋子, 後藤 晋: ダケカンバ広域産地試験地のサイト特性[修正版] 演習林 = Miscellaneous Information of The University of Tokyo Forests, 69(63):11-22 10.15083/0002008357 (2024): 北管理部ほか
- 原谷 日菜, 吉田 俊也: ミズナラ樹冠下のかき起こし: 施工 17 年後における天然更新個体の成長と樹形, 北方森林研究, 73:21 10.24494/jfsh.73.0\_21\_24 (2025): 北管理部
- 原 悠子: 丸太橋の可能性, 北方森林保全技術, 42:16-21 (2025.01): 雨龍研究林
- 福澤 加里部: 根の研究の 30 年を展望する 連載を終えて: 編集後記, 根の研究 = Root research, 34(1):4-5 (2025.3)
- 福澤 加里部, 智和 正明, 舘野 隆之輔, 松山 周平, 菱 拓雄, 杉山 賢子, 谷口 武士, 野村 睦: ササ除去が森林土壌の窒素動態に及ぼす影響: 複数サイトにおける観測から, 日本森林学会大会学術講演集, 135th (2024): 中川研究林, 天塩研究林ほか
- 福山 伊吹, HOSSMAN Mohamad Yazid, GUMAL Melvin, 西川 完途: ボルネオ島から発見されたスベトビヤモリグループの 1 新種, 爬虫両棲類学会報, 2024(1) (2024): ボルネオ島
- 細田 理仁, 高木 健太郎: 3 反復航空機 Lidar 測量による 18 年間 2 時期の森林バイオマス変化量の広域評価, 日本農業気象学会全国大会講演要旨(CD-ROM), 2024 (2024), 天塩研究林ほか
- 前田 明日花, 伊藤 悠也, 久保見 日向子, 風張 喜子, 揚妻 芳美, 中路 達郎, 揚妻 直樹: 教育関係共同利用拠点報告, 北方森林保全技術, 42:54-59 (2025)
- 牧田 直樹, 福澤 加里部, 檀浦 正子, 平野 恭弘: 森林生態系における樹木根の発達と機能の最近の理解の進展, 日本森林学会大会学術講演集, 135th (2024)
- 増井 昇, 小池 孝良, 松浦 英幸, 佐々木 圭子, 藤戸 永志, 渡部 敏裕: 開放系オゾン付加施設を用いた植物-昆虫間の関連解析—ハンノキハムシ—シラカンバの事例—, 北方森林保全技術, 42:44-49 (2025.01) : 札幌研究林
- 山貫 緋称, 市井 和仁, 山本 雄平, 寺本 宗正, 孫 力飛, 小嵐 淳, 安藤 麻里子, 永野 博彦, 平野 高司, 高木 健太郎, 石田 祐宣, 高木 正博, 近藤 俊明, 高橋 善幸, 梁 乃申: 土壌観測データの統合解析による土壌 CO<sub>2</sub> 収支の解明, 日本農業気象学会全国大会講演要旨(CD-ROM), 2024 (2024): 日本
- 八巻 岳利, 宮本 敏澄, 奥田 篤志, 佐々木 圭子, 藤戸 永志, 小池 孝良: 実験苗畑の OTC を利用したニレ類立枯病を媒介するベクター飼育の試み, 北方森林保全技術, 42:50-53 (2025.01): 札

幌研究林

- 揚妻 直樹, 揚妻-柳原 芳美:ヤクシカの個体群動態および地域個体群間の遺伝子流動について, 京都大学野生動物研究センター共同利用・共同研究2023年度報告書(ウェブ報告書), (2025): 屋久島
- 吉田俊也:北海道における広葉樹育成の課題, 北方森林研究, 73:1-2 10.24494/jfsh.73.0\_1 (2025)
- 吉田俊也:ヤチダモ高齢級人工林の長期動態, 日本森林学会誌, 106(10):279-284  
10.4005/jjfs.106.279 (2024.12.28):中川研究林
- 林 夏帆, 高木 健太郎, LIANG Naishen, 上田 実希, 岡田 慶一, 森 章:環境変動下での樹木落葉分解における種多様性効果, 日本生態学会大会講演要旨(Web), 71st (2024):天塩研究林
- 和田 龍一, 深山 貴文, 小南裕志, 高梨 聡, 堅田 元喜, 谷 晃, 米村 正一郎, 植山 雅仁, 高木 健太郎, 松見 豊, 梶野 瑞王, 中野 隆志, 高橋 善幸:常緑針葉樹林におけるオゾンフラックス長期観測と気孔からのオゾン吸収量の推定, 大気環境学会年会講演要旨集, 65th (2024)
- 中路 達郎:火山活動とともに生きる樹木, 46-47 (根研究学会 編著: 図解でよくわかる根のきほん: 根の種類、構造、機能から、品目ごとの特徴、樹種による違い、環境へのかかわりまで, 誠文堂新光社, 東京)(2024) ISBN: 9784416623091
- 福澤 加里部:養水分吸収機能 木本, 28-29 (根研究学会 編著: 図解でよくわかる根のきほん:根の種類、構造、機能から、品目ごとの特徴、樹種による違い、環境へのかかわりまで, 誠文堂新光社, 東京) (2024)ISBN: 9784416623091
- 揚妻 直樹:未知の生物 ニホンジカ, esse-sense FORUM2024(2024/09/24~2024/09/25)
- 揚妻 直樹, 持田 浩治, 揚妻-柳原 芳美, 西川 真理:屋久島南部の鳥獣害調査, 現地報告会「まずは相手を知ろう!屋久島を訪れるヒヨドリとは?」(2024/4/6)
- 徳地直子, 揚妻直樹, 山口未花子, 中西もも, 福永真弓:生物多様性と人々の暮らしの共生, esse-sense FORUM2024(2024/09/24~2024/09/25)
- 持田浩治, 西川真理, 揚妻-柳原芳美, 揚妻直樹:まずは相手を知ろう!屋久島を訪れるヒヨドリとは?, 現地報告会「まずは相手を知ろう!屋久島を訪れるヒヨドリとは?」(2024/04/06~2024/05/06)
- 吉田 桃子, 揚妻 直樹:エゾシカの母親は娘に優しい?:仔の性別と兄弟が育仔投資量に与える影響, 第72回日本生態学会(2025/3/18)
- 吉田 俊也:北海道の広葉樹:育てていくために必要なこと, 第136回日本森林学会大会公開シンポジウム「北海道の広葉樹資源を活かす」(2024)
- HOSOKI Takuya K., Noël M. Clark, Ryo Futamura, Senri Moriyama, Osamu Kishida, Yoichiro Kanno: A comparison of sex - specific markers for two wild masu salmon populations in Hokkaido, Japan, *Aquaculture, Fish and Fisheries*, 4(4) 10.1002/aff.2.194 (2024.7), 苫小牧研究林ほか
- KOBAYASHI Haruka, Gaku Kudo, Karibu Fukuzawa, Osamu Seki & Kobayashi Makoto : Belowground traits significantly differ between decreasing and increasing plant species in alpine meadows: implications for vegetation response to climate change, *Alpine Botany*, 135: 65-78  
10.1007/s00035-024-00325-9 (2025.01):大雪山系
- KODAMA MASAFUMI, NAOKO KODAMA, YUKIKO MUKAIDA, TAKUYA K. HOSOKI, KENTA NAKAMOTO, IWAO TANITA, HIDEAKI YAMADA: First record of the genus *Cymadusa* Savigny, 1816 (Crustacea: Amphipoda: Ampithoidae) from Japan, with redescription and DNA barcoding for *C. imbroglio* Rabindranath, 1972., *Zootaxa*, 5551(3):556-568 10.11646/zootaxa.5551.3.6 (2024.12.13): 石垣島
- KODAMA Masafumi, Yukiko Mukaida, Takuya K. Hosoki, Fumihiro Makino, Takafumi Azuma: A new species of the genus *Podoceropsis* Boeck, 1861 (Crustacea: Amphipoda: Photidae) from Kagoshima Bay, Japan, *Plankton and Benthos Research*, 19(3): 141-152 10.3800/pbr.19.141 (2024.8):鹿児島湾
- KODAMA MASAFUMI, YUKIKO MUKAIDA, TAKUYA K. HOSOKI, NAOTO JIMI: A new species of the genus *Lepechinella* Stebbing, 1908 (Crustacea: Amphipoda: Lepechinellidae) from Japan, *Zootaxa*, 5601(1): 127-142 10.11646/zootaxa.5601.1.6 (2025.3):屋久島沖合
- KWON TaeOh, Hideaki Shibata, Tetsuya Takemi, Kentaro Takagi: Canopy height damage by Typhoon Songda in Northern Hokkaido, Japan, in 2004, *Environmental Research: Ecology*, 3:045002  
10.1088/2752-664X/ad82f0 (2024.10.18):天塩研究林ほか

- ZENG Ruiqi, Shunsuke Utsumi, Yuzhuo Fang, Karibu Fukuzawa, Toshiya Yoshida, Kobayashi Makoto: How do aboveground and belowground functional traits correlate with the demography of tree seedlings regenerated after landslide disturbances?, *JOURNAL OF FOREST RESEARCH*, 30(3): 179-186 10.1080/13416979.2025.2459970 (2025.2.3): 中川研究林
- 揚妻 直樹, 揚妻-柳原 芳美: ヤクシカの個体群動態および地域個体群間の遺伝子流動について, 京都大学野生動物研究センター共同利用・共同研究 2022 年度報告書(ウェブ報告書), (2024): 屋久島
- 田原 義太慶, 福山 伊吹, 福山 亮部, 堺 淳: 日本ヘビ類大全 : 日本で見られる種を完全網羅 : 分類から生態、文化まで、美しい写真で紹介, 271(誠文堂新光社, 東京)(2024) ISBN: 4416524129
- 曾 瑞琪: 冷温帯林における山腹崩壊後の樹木定着と機能形質との関係, 北海道大学環境科学院・生物圏科学専攻森林圏フィールド科学コース博士論文 (2024/12) : 中川研究林
- 原谷 日菜: ミズナラ育林: かき起こし地への堅果散布による更新及び初期保育, 北海道大学大学院環境科学院・生物圏科学専攻森林圏フィールド科学コース修士論文(2025/3) : 雨龍研究林
- 細田 理仁: 航空機反復 LIDAR 測量による 10 年スケール 2 時期の北方林バイオマスの変化量と履歴影響の景観スケール評価, 北海道大学大学院環境科学院・生物圏科学専攻森林圏フィールド科学コース修士論文 (2025/3) : 天塩研究林
- 久場 麻未: 個体繁殖法を用いた異クマムシ綱の生活史に関する初の記載的研究, 北海道大学大学院環境科学院・生物圏科学専攻森林圏フィールド科学コース修士論文 (2025/3) : 札幌研究林, 苫小牧研究林
- 松浦 なる: 捕食者に誘導された形態が両生類幼生の逃避パフォーマンスを決定する, 北海道大学大学院環境科学院・生物圏科学専攻森林圏フィールド科学コース修士論文 (2025/3) : 苫小牧研究林
- XIA Yuhong: 苫小牧研究林における緑雪中の雪氷藻類の発生起源とその分布特性, 北海道大学大学院環境科学院・生物圏科学専攻森林圏フィールド科学コース修士論文 (2025/3) : 苫小牧研究林
- ASAKURA Hinako, Ryo Futamura, Senri Moriyama, Satoko Iida, Koume Araki, Masato Ayumi, Shoji Kumikawa, Yuichi Matsuoka, Taro Takahashi, Jiro Uchida, Osamu Kishida and Takuya Sato: Two distinct host-parasite associations mediate seasonal ecosystem linkages, *Biology Letters*, 20(7): 39016002 10.1098/rsbl.2024.0065 (2024.07), 北海道南部の湧水河川
- HIURA Tsutom, Hiroya Okada, Chisato Terada, Masahiro Nakamura, Nobuhiro Kaneko: Effects of soil compaction on above- and belowground interactions during the early stage of forest development., *Urban Forestry & Urban Greening*, 102: 128565 10.1016/j.ufug.2024.128565 (2024.7), 苫小牧研究林
- HOSOKI Takuya, Noel Clark, Ryo Futamura, Senri Moriyama, Osamu Kishida, Yoichiro Kanno: A comparison of sex-specific markers for two wild masu salmon populations in Hokkaido, Japan, *Aquaculture, Fish and Fisheries*, 4(4): e194 10.1002/aff2.194 (2024.9), 苫小牧研究林ほか
- KOIKE T, Koike T, Ueda H : Forest Aesthetics as a basic idea for forest management from the perspectives of light quality, ecosystems, and sustainability in Japan. , *Studia Historiae Oeconomicae* , 42(1): 21-31 10.14746/sho.2024.42.1.003 (2024.4)
- KOYAMA M., Shigetomi K., Tamai Y., Arakawa K., Sano Y.: Constitutive chemical defense mechanism of inner bark of *Sorbus commixta* against *Trametes versicolor*, *Tree Physiology*, 45: tpa006 10.1093/treephys/tpaf006 (2025.1) : 札幌研究林
- NAKAHATA, R., Azuma, W., Tanabe, T., Kawai, K., and Hiura, T. : Genotypic variation appears in fine root morphological traits of *Cryptomeria japonica* trees grown in a common garden. , *Ecological Research* , 39: 717-719 10.1111/1440-1703.12492 (2024.6) : 和歌山研究林
- NAKAMURA Masahiro, Chisato Terada, Kinya Ito et al.: Physiological profiling of the soil microbe community using the EcoPlate and assessment of soil properties at 74 planted forest sites across Japan., *Ecological Research*, 40(2): 228-242 10.1111/1440-1703.12506 (2024.12) : 北海道大学研究林含む日本全国 53 か所の森林フィールド
- NAKAMURA Masahiro, Chisato Terada, Kinya Ito, Tsutom Hiura et al. : Assessment of the soil microbe community-level physiological profile using EcoPlate and soil properties at 53 planted forest sites

- across Japan. , *Ecological Research* , 10.1111/1440-1703.12506 (2024.7) :北海道大学研究林含む  
日本全国 74 か所の森林フィールド
- OISHI, Y.: Cryptogam biomass estimation using taxonomic and life form models for accurate assessment, *Scientific Reports*, 14: 19038 10.1038/s41598-024-69851-0 (2024.8) :雨龍研究林, 苫小牧研究林, 和歌山研究林ほか
- OKABE K, Fujii S, Makino S, Doi K, Nakamura S, Saitoh T, Shimada T: Mite composition in nests of the Japanese Fukasawa mouse, *Apodemus speciosus* (Rodentia: Muridae), *Experimental and Applied Acarology*, 93: 761-786 10.1007/s10493-024-00959-8 (2024.8): 岩手大学滝沢演習林
- SAITOH T, Cohen J.E.: Quantifying factors that explain the slopes of the temporal Taylor' s law of Hokkaido vole populations, *Population Ecology*, 66(3): 125-142 10.1002/1438-390x.12176 (2024.7): 北海道全域
- SAITOH T, Murakami S, Kawai K, de Guia AP, Ohnishi N : Different mtDNA haplotype richness between sibling species of *Myodes* (Rodentia) on Hokkaido mainland and its adjacent islands, Japan., *Mammal Study*, 49(2): 83-96 10.3106/ms2023-0039 (2024.4): 北海道全域
- SAMIA, N. I., Stramer, O., Saitoh, T., & Stenseth, N. Chr: Climate-driven context-dependent structure of population cycles, *Royal Society Open Science*, 11(8): 240047 10.1098/rsos.240047 (2024.8): 北海道中央部から北部地域
- SARAH Schwieger, Ellen Dorrepaal, T. Koike, Agathokleous E., Judith M. Sarneel, Total fortythree: Environmental Conditions Modulate Warming Effects on Plant Litter Decomposition Globally , *Ecology Letter* , 28(e70026): 1-16 10.1111/ele.70026 (2024.12): 世界各地
- SHUTOH K, Michikawa F, Igarashi H, Tsuyuzaki S. : Re-collection of potentially introduced *Symphyotrichum ciliatum* (Ledeb.) G. L. Nesom (Asteraceae, Asteraceae) after half a century in Japan, *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica* , 76(2): 51-55 10.18942/apg.202421 (2025.3): 道央地域
- TAKESHIGE Ryuichi, Kyaw Kyaw Htoo, Masanori Onishi, Farhadur Md. Rahman, Kazuhiko Hoshizaki, Hideyuki Ida, Masae Iwamoto Ishihara, Akira Itoh, Takayuki Kaneko, Ayumi Katayama, Shigeo Kuramoto, Hiroko Kurokawa, Masayuki Maki, Kazuhiko Masaka, Tatsuro Nakaji, Masahiro Nakamura, Naoyuki Nishimura, Mahoko Noguchi, Atsushi Sakai, Atsushi Takashima, Naoaki Tashiro, Naoko Tokuchi, Hiromi Yamagawa, Yusuke Onoda : High-resolution digital canopy height models, terrain models, ortho-mosaic photos, and canopy tree crown shapes derived from UAV-borne LiDAR at 22 tree census plots across Japanese natural forests, *Ecological Research* , : 1-14 10.1111/1440-1703.12555 (2025.2): 苫小牧研究林, 雨龍研究林ほか
- TSUYUZAKI S, Zhou L.: Stable boundaries of *Phragmites australis* marsh development after peat mining in a northern Japan bog, *Ecology and Diversity*, 1 10.70322/ecoldivers.2024.10005 (2024.12): 天塩研究林ほか
- UEDA Miki U., Masahiro Nakamura, Tatsuro Nakaji, Kobayashi Makoto, Tsutomu Hiura: Indirect effects of soil warming on litter decomposition via changes in litter quality of dominant tree species in three cool temperate forests. , *Plant and Soil*, 10.1007/s11104-024-07023-9 (2024.10.19): 天塩研究林, 中川研究林, 苫小牧研究林ほか
- UNO Hiromi, Shunsuke Utsumi, Kentaro Morita, Osamu Kishida, Md. Khorshed Alam, Junjiro Negishi: Hydrological Connectivity and Local Environment Alternately Drive Spatial Structure of Floodplain Aquatic Community Across Seasons, *Ecology and Evolution*, 15(2) 10.1002/ece3.70880 (2025.1): 雨龍研究林
- YAMAGISHI S., Kojima M., Kuroda K., Abe H., Sano Y.: Seasonal variation of vessel pits in sapwood: microscopical analyses of the morphology and chemical components of pit membrane encrustations in *Fraxinus mandshurica*, *Annals of Botany*, 134: 561-575 10.1093/aob/mcae113 (2024.7), 札幌研究林
- YAMAZAKI Haruka, Seiichi Mori, Osamu Kishida, Atsushi J. Nagano, Tomoyuki Kokita: QTL-Based Evidence of Population Genetic Divergence in Male Territorial Aggressiveness of the Japanese Freshwater Threespine Stickleback, *Ecology and Evolution*, 15: e70795 10.1002/ece3.70795 (2025.1): 苫小牧研究林ほか
- YOSHIKAWA Tetsuro, Kumiko Totsu, Yayoi Takeuchi, Taku Kadoya, Tsutomu Enoki, Sakae Fujii, Atsuko S. Fukamachi, Mitsuru Hirota, Kazuhiko Hoshizaki, Naoki Iiyama, Yukio Ishikawa, Hiroki Itô, Hajime Kobayashi, Takashi Kohyama, Yasuo Konno, Akifumi Makita, Akira S. Mori, Dai Nagamatsu, Tohru Nakashizuka, Kanji Namikawa, Mahoko Noguchi, Michinori Sakimoto, Yoshinobu Ozaki,

- Tatsuyuki Seino, Hisashi Sugita, Jun-Ichirou Suzuki, Ryo O. Suzuki, Satoshi N. Suzuki, Koichi Takahashi, Ryunosuke Tateno, Ryuichi Watanabe, Tamon Yamashita, Tomohiro Yoshida, Masae I. Ishihara, Tanaka Kenta, Masahiro Nakamura, Tsutomu Hiura: Forest monitoring data of 45 plots over the Japanese archipelago during the period of 1980–2021., *Ecological Research*, 10.1111/1440-1703.12457 (2024.5): 雨龍研究林, 苫小牧研究林ほか
- 井上 嘉大, 岡宮 久規, 青田 貴之, Michael R. Crossland, 岸田 治: Alien toxic toads suppress individual growth and phenotypic development of native predatory salamanders, *Oecologia*, 207(1): 1-10 10.1007/s00442-024-05658-0 (2025.1): 苫小牧研究林ほか
- 小池 孝良, 増井 昇, 北岡 哲, 佐々木 圭子, 藤戸 永志, 平田 聡之. 渡部 敏裕: 実験苗畑の休作地におけるカバークロープの利用, *北方森林保全技術*, 42: 34-37 (2025.01): 札幌研究林
- 小池 孝良, 増井 昇, 玉井 裕, 佐々木 圭子, 藤戸 永志, 伊藤 悠也, 渡部 敏裕, 上田 裕文: カラマツ稚苗の成長に及ぼす骨炭と外生菌根菌の影響—樹木葬の墓標木としての期待—, *北方森林保全技術*, 42: 38-43 (2025.01): 札幌研究林
- 塚田 晃司: 山間地など通信・電力環境不利地域を想定した森林エリアネットワーク, *電子情報通信学会技術研究報告*, 124(191): 29-30 (2024.9): 和歌山研究林, 苫小牧研究林ほか
- 仲畑 了, 東 若菜, 田邊 智子, 河合 清定, 日浦 勉: Genotypic variations appear in fine root morphological traits of *Cryptomeria japonica* trees grown in a common garden, *Ecological Research*, 39(5): 717-729 10.1111/1440-1703.12492 (2024.6): 和歌山研究林
- 増井 昇, 小池 孝良, 松浦 英幸, 佐々木 圭子, 藤戸 永志, 渡部 敏裕: 開放系オゾン付加施設を用いた植物-昆虫間の関連解析—ハンノキハムシーシラカンバの事例—, *北方森林保全技術*, 42: 44-49 (2025.01): 札幌研究林
- 八巻 岳利, 宮本 敏澄, 奥田 篤志, 佐々木 圭子, 藤戸 永志, 小池 孝良: 実験苗畑の OTC を利用したニレ類立枯病を媒介するベクター飼育の試み, *北方森林保全技術*, 42: 50-53 (2025.01), 札幌研究林
- Aye Myat Myat Paing: Assessing the impact of climate change on performance of *Betula ermanii* using range-wide common garden experiments: Implications for conservation strategies, 東京大学大学院農学生命科学研究科・生圏システム学専攻博士論文 (2025/03), 北管理部
- Cui Yuhao: 冷温帯林におけるエアロゾル中の脂肪族第二級アルコールの起源と大気放出に関する研究, 北海道大学環境科学院・地球圏科学専攻生物地球化学コース博士論文 (2025/02): 苫小牧研究林
- 後藤 暁彦: 系統的に古い通し回遊性サケ科 2 種における回遊多様性の分類と生態的要因, 東京大学大学院農学生命科学研究科・水圏生物科学専攻博士論文 (2025/03), 苫小牧研究林
- 小山 正登: 木材腐朽菌に対する樹皮の恒常的防御機構に関する研究, 北海道大学農学研究院・農学専攻環境フロンティアコース博士論文 (2025/03): 札幌研究林, 苫小牧研究林
- Kyaw Kyaw Htoo: Analysis of crown structure and evaluation of growth strategies of canopy trees using UAV-LiDAR in diverse natural forests of Japan, 京都大学農学研究科・森林科学専攻博士論文 (2025/03), 雨龍研究林, 苫小牧研究林
- 山崎 遥: イトヨの繁殖縄張り行動の集団間変異に関する生態遺伝学的研究, 九州大学生物資源環境科学府・資源生物学専攻博士論文 (2025/03): 苫小牧研究林
- 出口 敬涼: トンボ幼虫の種組成と個体数に影響を与える局所環境と周辺環境 —水草に着目して—, 北海道大学大学院農学院・環境フロンティアコース (2025/03): 北管理部
- 藤谷 権弥: 掻き起こしの施業方法と施工後の経過時間の違いがアカエゾマツの種子に感染する菌類と種子腐敗に与える影響, 北海道大学大学院農学院・環境フロンティアコース修士論文 (2025/03): 雨龍研究林, 北管理部
- 土生川 友香: トドマツ構造材の乾燥技術の検討, 北海道大学大学院農学研究院・環境フロンティアコース修士論文 (2025/03): 北海道大学研究林
- 早川 慧: サケ科魚類の模様の有無が集団パフォーマンスにもたらす影響, 北海道大学大学院環境科学院・生物圏科学専攻動物生態学コース修士論文 (2025/03), 苫小牧研究林
- 早坂 拓海: 肉食性スペシャリストの分布は餌の分布によって説明できるか?, 弘前大学大学院農学生命科学研究科・生物学コース修士論文 (2025/03): 苫小牧研究林
- 森 英寿: Origin of highly depleted peridotites in supra- subduction zones: Whole-rock geochemistry and

- Os isotope of ultramafic rocks in the Kamuikotan Belt, 東京科学大学大学院地球惑星科学系・地球惑星科学コース修士論文 (2025/03):天塩研究林
- 奥田 裕紀:ベンディングローラーを用いた木材曲げ加工の洋酒樽製造への応用, 北海道大学大学院農学研究院・環境フロンティアコース修士論文 (2025/03):北海道大学研究林
- 戸倉 佳音:分布北限の北海道におけるニホンウナギの人との歴史的関わりおよび生態的特性, 東京大学大学院農学生命科学研究科・水圏生物科学専攻修士論文 (2025/03):苫小牧研究林
- 古谷 枝里奈:樹冠下掻き起こし地におけるアカエゾマツ実生の枯死に関わる菌類,北海道大学農学部・森林科学科卒業論文 (2025/03):雨龍研究林
- 加藤 汐夏:雪氷藻類はどこから来るのか? コケとの関係を探る, 横浜国立大学環境情報学府・自然環境専攻・生態学プログラム卒業論文 (2025/03):苫小牧研究林
- 椎窓 さくら:ドロノキ放射柔細胞におけるメタカスパーゼ遺伝子に着目した網羅的遺伝子発現解析, 東京農工大学農学部・環境資源科学科卒業論文 (2025/02):雨龍研究林
- 田野 小春:傷害応答として樹幹木部組織に生じる変化の菌類に対する遮断機能, 北海道大学農学部・森林科学科卒業論文 (2025/02):札幌研究林
- 寺嶋 康樹:マイクロホンアレイを用いたセンサノード間の位置関係推定における環境音の影響を低減する手法の提案と評価, 和歌山大学システム工学部・ネットワーク情報学メジャー卒業論文 (2025/02):和歌山研究林

## 岩手大学

### 農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

- 福島 良樹, 原科 幸爾, 青井 俊樹: (2024) 盛岡市猪去におけるハクビシン (*Paguma larvata*) のねぐら利用と行動圏および活動時間帯. 岩大演報 55: 1-17
- 國崎 貴嗣, 吉川 秀平, 橋本 卓拓: (2024) 粗放的に管理されたスギ人工林における成熟段階での複層混交林化. 岩大演報 55: 19-41
- 佐藤 匠, 鞍懸 重和, 山内 貴義: (2024) 低密度下でのニホンジカの生息数密度モニタリングにおける自動撮影カメラによる Random Encounter and Staying Time model 法の可能性. 岩大演報 55: 43-54
- 関野 登, 渡辺 舞, 村井 彩夏, 廣田 楓, 阿部 香也, 細越 確太: (2024) ウルシ内樹皮の圧搾による新たな漆生産システム (第3報) ~形成層への刺激による収量増加の試み~. 岩大演報 55: 55-72
- Kunisaki, T. & Yoshida, S. (2024) Cross-sectional areaincrement of the lower trunk in aged Sugi (*Cryptomeria japonica*) trees: A heightening trend. *J. For. Plann.* 30: 1-9. 滝沢演習林
- 國崎 貴嗣 (2024) 針葉樹人工林の針広混交林への誘導-古典的な森林経理学からみた研究課題-. *森林計画誌* 58: 13-26: 御明神演習林, 滝沢演習林
- 山崎 遥, 田中 亜季, 石田 恵莉: (2025) オニグルミの更新特性-種子散布, 発芽, 当年生実生の成長-. *東北森林科学会誌* 30(2): 55-64. : 滝沢演習林
- 山崎 遥, 小竹 彪吾: (2025) 重機を用いた天然更新補助作業を実施した施工地における地表徘徊性生物相の変動. *東北森林科学会誌* 30(2): 99-107. : 滝沢演習林
- 山崎 遥, 村松 優, 小野寺 洗皓: (2025) 土壌特性および林相からみたオニグルミの分布状況. 第136回日本森林学会大会講演要旨集: 217. : 滝沢演習林
- K. Okabe, S. Fujii, S. Makino, K. Doi, S. Nakamura, T. Saitoh, T. Shimada. : (2024) Mite composition in nests of the Japanese wood mouse, *Apodemus speciosus* (Rodentia: Muridae). *Experimental and Applied Acarology*, 93(4): 761-786. : 滝沢演習林
- 山下 聡, 服部 友香子, 升屋 勇人, 服部 力, 鳥居 正人, 綾部 慈子, 市原 優, 安藤 裕萌 (2025) スギ林における森林環境と樹木病害発生状況との関係: 東北地方での一事例. 第136回日本森林学会大会要旨集: 167. : 御明神演習林
- Ryuichi Takeshige, Kyaw Kyaw Htoo, Masanori Onishi, MD Farhadur Rahman, Kazuhiko Hoshizaki, Hideyuki Ida, Masae Iwamoto Ishihara, Akira Itoh, Takayuki Kaneko, Ayumi Katayama, Shigeo Kuramoto, Hiroko Kurokawa, Masayuki Maki, Kazuhiko Masaka, Tatsuro Nakaji, Masahiro Nakamura, Naoyuki Nishimura, Mahoko Noguchi, Atsushi Sakai, Atsushi Takashima, Naoaki Tashiro, Naoko Tokuchi, Hiromi Yamagawa, Yusuke Onoda (2025) High-resolution digital canopy height models, terrain models, ortho-mosaic photos, and canopy tree crown shapes derived from UAV-borne

- LiDAR at 22 tree census plots across Japanese natural forests. *Ecological Research*: 御明神演習林  
 竹重 龍一, Htoo Kyaw Kyaw, 大西 信徳, 大西 信徳, MD. Rahman Farhadur, 小野田 雄介: (2025)  
 日本全国の天然林試験区における樹冠木データベースの構築. 第136回 日本森林学会大会要  
 旨集: 192: 御明神演習林
- 松田 航佑: (2025) 超過密なスギ若齢人工林への列状間伐が胸高直径成長に及ぼす効果の定量的  
 検出. 岩手大学農学部卒業論文: 滝沢演習林

## 東北大学

### 大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター

- Yuzu Sakata, Shun K. Hirota, Ayumi Matsuo, Keito Kobayashi, Naoyuki Nakahama, Yoshihisa Suyama:  
 Contrasting patterns of genetic structure and population demography in two *Dicraeus* species feeding  
 on bamboo flowers in Japan. *Biological Journal of the Linnean Society* 143 (2): blad171 (2024)
- Gohta Kinoshita, Takuma Sato, Shota Murakami, Vladimir Monakhov, Alexey P. Kryukov, Lyubov V.  
 Frisman, Yoshihiro Tsunamoto, Yoshihisa Suyama, Takahiro Murakami, Hitoshi Suzuki, Jun J. Sato:  
 Ice-age land bridges to continental islands: repeated migration of the forest-dwelling sable in  
 northeastern Asia. *Journal of Biogeography* 51 (5): 924-939 (2024)
- Mao-Qin Xia, Yu-Xin Luo, Yoshihisa Suyama, Ayumi Matsuo, Shota Sakaguchi, Yu-Guo Wang, Pan Li:  
 Genetic divergence and ecological adaptation of an eastern North American spring ephemeral  
*Sanguinaria canadensis*. *Diversity and Distributions* 30 (4): e13813 (2024)
- Kenji Suetsugu, Shun K. Hirota, Takuto Shitara, Kenya Ishida, Narumi Nakato, Hiroshi Hayakawa,  
 Yoshihisa Suyama: The absence of bumblebees on an oceanic island blurs the species boundary of  
 two closely related orchids. *New Phytologist* 241: 1321-1333 (2024)
- Kaori Tsunenari, Takuro Ito, Masatsugu Yokota, Mayu Shibabayashi, Chiharu Endo, Kuo-Fang Chung,  
 Yoshihisa Suyama, Ayumi Matsuo, Atsushi Abe, Akiyo Naiki, Hiroaki Setoguchi, Takashi Makino,  
 Yuji Isagi: Double migration of the endangered *Tricyrtis formosana* (Liliaceae) in Japan. *Scientific  
 Reports* 14: 957 (2024)
- Kensuke Sugimoto, Rio Kawai, Takahiko Koizumi, Ayumi Matsuo, Yoshihisa Suyama, Inoue Mizuki:  
 Fine-scale clonal structure of the lingonberry *Vaccinium vitis-idea* under the nurse plant *Pinus pumila*  
 vegetation in alpine region, Mt. Norikura. *Journal of Plant Research* 137: 619-626 (2024)
- Yasuyuki Komagata, Takaho Oe, Takayuki Sekine, Yuta Kimura, Shun K. Hirota, Hiroya Taguchi,  
 Yoshihisa Suyama: Small-scale dispersal and gene flow of the agricultural pest two-spotted spider  
 mite in apple orchards: implication from landscape ecological and population genetic analyses.  
*Ecological Research* 39 (3): 341-352 (2024)
- Wei Zhao, Jie Gao, David Hall, Bea Andersson, Jade Bruxaux, Kyle Tomlinson, Andreas D. Drouzas,  
 Yoshihisa Suyama, Xiao-Ru Wang: Evolutionary radiation of the Eurasian *Pinus* species under  
 pervasive gene flow. *New Phytologist* 242 (5): 2353-2368 (2024)
- Seikan Kurata, Shota Sakaguchi, Shun K. Hirota, Osamu Kurashima, Yoshihisa Suyama, Motomi Ito:  
 Phylogeographic incongruence between two related *Geranium* species with divergent habitat  
 preferences in East Asia. *Ecological Research* 39 (3): 273-288 (2024)
- José Said Gutiérrez-Ortega, Miguel Ángel Pérez-Farrera, Mitsuhiko P. Sato, Ayumi Matsuo, Yoshihisa  
 Suyama, Andrew P. Vovides, Francisco Molina-Freaner, Tadashi Kajita, Yasuyuki Watano:  
 Evolutionary and ecological trends in the Neotropical cycad genus *Dioon* (Zamiaceae): An example  
 of success of evolutionary stasis. *Ecological Research* 39 (2): 131-158 (2024)
- Daiki Takahashi, Yoshihisa Suyama, Keitaro Fukushima, Hiroaki Setoguchi, Shota Sakaguchi: Deer  
 grazing drove an assemblage-level evolution of plant dwarfism in an insular system. *Journal of  
 Ecology* 112 (6): 1383-1396 (2024)
- Shota Sakaguchi, Shigeru Fukumoto, Kazutoshi Masuda, Hiroaki Setoguchi, Shun K. Hirota, Yoshihisa  
 Suyama, Daisuke Fujiki, Reiichi Miura, Kazuki Yamamoto, Misyo Ota, Masae I. Ishihara: Evaluating  
 the potential of interpopulation outbreeding to rescue plant populations facing reproductive failures.  
*Ecological Research* 39 (5): 694-705 (2024)
- Shoki Murakami, Takuro Ito, Tatsuya Uemachi, Shinji Fujii, Hidetoshi Kato, Ayumi Matsuo, Yoshihisa  
 Suyama, Masayuki Maki: Phylogenetic relationships and divergence time of *Hydrangea* sect.  
*Macrophyllae* (Hydrangeaceae) revealed by genome-wide SNPs. *Plant Systematics and Evolution*

310: 27 (2024)

- Mayu Mizuki, Yohei Kaneko, Yoshitaka Yukie, Yoshihisa Suyama, Shun K. Hirota, Shinichiro Sawa, Minoru Kubo, Akira Yamawo, Michiko Sasabe, Hiroshi Ikeda: Evolution of secondary metabolites, morphological structures and associated gene expression patterns in galls induced by four closely related aphid species on a host plant species. *Molecular Ecology* 33: e17466 (2024)
- Kenji Suetsugu, Shun K. Hirota, Takahiro Yagame, Tomohisa Yukawa, Yoshihisa Suyama: Taxonomic revision of a formerly monotypic orchid genus *Dactylosteinopoda*. *Phytotaxa* 652 (2): 83-99 (2024)
- Takeshi Yuhara, Hajime Ohtsuki, Shun K. Hirota, Yoshihisa Suyama, Jotaro Urabe: Contrasting population genetic structure of three semi-terrestrial brachyuran crabs on the coast of the Japanese archipelago. *Ecology and Evolution* 14 (6): e11484 (2024)
- Mylena Cabrini, Catarina Lira, Yoshihisa Suyama, Daiki Takahashi, Naoko Ishikawa, Isis Paglia, Marcelo Trovó: Genomic and morphological data reveal a critically endangered new species from the Atlantic Forest, *Paepalanthus salimenae* (Eriocaulaceae). *Phytotaxa* 655 (2): 173–186 (2024)
- Kenji Suetsugu, Shun K. Hirota, Masayuki Ishibashi, Kenya Ishida, Hiroshi Hayakawa, Yoshihisa Suyama: Insular environment-dependent introgression from an arid-grassland orchid to a wetland orchid on an oceanic island. *Evolution Letters* 8 (6): 799-812 (2024)
- Mayu Katafuchi, Satoshi Narita, Yoshiteru Komaki, Atsushi J. Nagano, Tomohisa Yukawa, Yoshihisa Suyama, Shun K. Hirota, Michimasa Yamasaki, Yuji Isagi: Comprehensive genetic analysis reveals the genetic structure and diversity of *Calanthe hoshii* (Orchidaceae), an endemic species of the Ogasawara Islands: Implications for appropriate conservation of a critically endangered species. *Plant Species Biology* 39 (5): 297-305 (2024)
- Makiko Mimura, Marina Takeuchi, Takayuki Kobayashi, Shun K. Hirota, Yoshihisa Suyama, Hirofumi Yamaguchi, Toshihito Tabuchi: Genetic diversity in the traditional cultivars and wild ancestor of near-threatened Japanese iris (*Iris ensata* Thunb.). *Conservation Genetics* 25: 1079-1086 (2024)
- Shota Konaka, Shun K. Hirota, Yukie Sato, Naoki Matsumoto, Yoshihisa Suyama, Yoshihiko Tsumura: Secondary contact zone and genetic introgression in closely related haplodiploid social spider mites. *Heredity* 133: 227-237 (2024)
- Haruka Suzuki, Tomoya Aoki, Chika Mitsuyuki, Yoshihisa Suyama, Yukio Agatsuma, Masakazu N. Aoki: Local versus regional patterns in zoospore dispersal of the kelp *Eisenia bicyclis* (Laminariales, Phaeophyceae). *Phycological Research* 72 (4): 238-248 (2024)
- Kenji Suetsugu, Shun K. Hirota, Yoshihisa Suyama: A new natural hybrid *Goodyera* × *kazumae* (Orchidaceae) from Tomakomai City, Hokkaido Prefecture, Japan. *Taiwania* 69 (3): 309–316 (2024)
- Sachiko Nishida, Atsuko Takano, Yoshihisa Suyama, Satoshi Kakishima: Detection of reproductive interference between closely related *Salvia* species with small scale separated distributions by multifaceted pollination and molecular analyses. *Journal of Plant Research* 137 (6): 1033-1047 (2024)
- Alan Andrade dos Santos, André Felipe Nunes Freitas, Cauê Machado Tompson, Geovane Barbosa, Daiki Takahashi, Yoshihisa Suyama, Catarina Fonseca Lira: Multidisciplinary assessment of a restored mangrove ecosystem in Guanabara Bay, Brazil: linking science and conservation. *Wetlands Ecology and Management* 32: 1003-1025 (2024)
- Tomika Hagiwara, Hagiwara, Kaori Shiojiri, Yoshihisa Suyama, Ayumi Matsuo, Masae Ishihara: Volatile-mediated plant-plant communication in natural beech forests. *Journal of Plant Interactions* 19 (1): 2414103 (2024)
- Pedro Augusto dos Santos Longo, Marianne Azevedo-Silva, Karine Ferreira Ribeiro Mansur, Thais Aparecida Marinho, André Guilherme Madeira, Anete Pereira de Souza, Shun K. Hirota, Yoshihisa Suyama, Gustavo Maruyama Mori, Fosca Pedini Pereira Leite: Towards the understanding of genetic and morphological variations of a highly abundant seaweed-associated marine invertebrate. *Estuarine, Coastal and Shelf Science* 309 (1): 108977 (2024)
- Chikashi Hata, Chiharu Endo, Hiroshi Tanaka, Miho Hiruma, Maiko Kumamoto, Izumi Takenaka, Takashi Makino, Kento Niinaka, Yoshihisa Suyama, Shun K. Hirota, Michimasa Yamasaki, Yuji Isagi: Conservation units and the origin of planted individuals of an endangered endemic species *Lobelia boninensis* in the Ogasawara Islands. *Scientific Reports* 14: 27410 (2024)
- Jahidul Islam, Natsuki Ohtani, Yu Shimizu, Masae Tanimizu, Yoshiaki Goto, Masumi Sato, Eiji Makino, Toru Shimada, Chise Ueda, Ayumi Matsuo, Yoshihisa Suyama, Yoshifumi Sakai, Niel A. Karrow,

- Hiroshi Yoneyama, Ryota Hirakawa, Mutsumi Furukawa, Hidekazu Tanaka, Tomonori Nochi: Freeze-dried fecal microorganisms as an effective biomaterial for the treatment of calves suffering from diarrhea. *Scientific Reports* 14: 28078 (2024)
- Harue Abe, Saneyoshi Ueno, Ayumi Matsuo, Shun K Hirota, Hiroki Miura, Mong-Huai Su, Yun-Guang Shen, Yoshihiko Tsumura, Yoshihisa Suyama, Zhong-Lang Wang: Evolutionary histories of *Camellia japonica* and *Camellia rusticana*. *Ecology and Evolution* 14 (12): e70721 (2024)
- Osamu Kagawa, Shun K. Hirota, Takahiro Hirano, Kazuki Kimura, Genki Kobayashi, Yoshihisa Suyama, Satoshi Chiba, Daishi Yamazaki: The population structure and demography of an intertidal gastropod *Lunella correensis* around the Japanese Archipelago affected by past environmental change. *Marine Biology* 171: 177 (2024)
- Seikan Kurata, Shota Mano, Naoyuki Nakahama, Shun K Hirota, Yoshihisa Suyama, Motomi Ito: Development of mitochondrial DNA cytochrome c oxidase subunit I primer sets to construct DNA barcoding library using next-generation sequencing. *Biodiversity Data Journal* 12: e117014 (2024)
- Seikan Kurata, Shota Sakaguchi, Osamu Kurashima, Risa Ogawa, Yoshihisa Suyama, Sachiko Nishida, Motomi Ito: Refugia within refugium of *Geranium yesoense* varieties: a follow-up study using chloroplast genome sequencing data of specimens from Mt. Asama, Japan. *Biological Journal of the Linnean Society* 142 (1): 1–7 (2024)
- Yayan Wahyu C. Kusuma, Muhammad Imam Surya, Siti Kurniawati, Kusuma Dewi Sri Yulita, Destri, Rosniati A. Risna, Enny Sudarmonowati, Ayumi Matsuo, Kazuki Kurita, Yoshihisa Suyama, Yuji Isagi: Genetic diversity and structure of *Hopea bilitonensis*, an endemic Dipterocarp from Belitung Island, Indonesia. *Journal of Asia-Pacific Biodiversity* 17 (2): 400-405 (2024)
- Yu Fukasawa, Václav Pouska, Radek Bače, Lucie Zibarová, Yuki Kawasaki, Shunsuke Matsuoka, Hirotoshi Sato, Olga Orman, Kamil Král, Miroslav Svoboda: Bark beetle outbreaks in *Picea abies* stands are associated with changes in wood-inhabiting fungal communities and seedling establishment on logs. *Fungal Ecology* 68: 101328 (2024)
- Yu Fukasawa, Hiroyuki Kitabatake: Factors associated with seedling establishment on logs of different fungal decay types—A seed-sowing experiment. *Ecology and Evolution* 14: e11508 (2024)
- Yu Fukasawa, Koji Kaga, Daisuke Akai, Takayuki Takehi: Hyphal connection increases net resource utilization of saprotrophic fungal mycelia by improving local performance: A case study of the cord-forming basidiomycete, *Phanerochaete velutina*. *Fungal Ecology* 71: 101362 (2024)
- Yu Fukasawa, Daisuke Akai, Takayuki Takehi, Yutaka Osada: Electrical integrity and week-long oscillation in fungal mycelia. *Scientific Reports* 14: 15601 (2024)
- Yu Fukasawa, Kosuke Hamano, Koji Kaga, Daisuke Akai, Takayuki Takehi: Spatial resource arrangement influences both network structures and activity of fungal mycelia: A form of pattern recognition?. *Fungal Ecology* 72: 101387 (2024)

## 山形大学

### 農学部附属やまがたフィールド科学センター

- Fukasawa, K., Morosawa, T., Nakashima, Y., Takagi, S., Yokoyama, T., Ando, M., Iijima, H., Saito, M. U., Kumada, N., Tochigi, K., Yoshioka, A., Funatsu, S., Koike, S., Uno, H., Enomoto, T., McShea, W., and Kays, R. (2025) Snapshot Japan 2023: the first camera trap dataset under a globally standardised protocol in Japan. *Biodiversity Data Journal* 13: e141168. :上名川演習林
- 吉田 海人: 中型食肉目におけるドロップネットに対する行動の評価: 箱罟との比較. ,令和6年度食料生命環境学科エコサイエンスコース森林系研究室卒業研究発表会発表要旨集:P-18(2025):上名川演習林
- Sender Altangerel, Ikumi Nezu, Futoshi Ishiguri, Jyunichi Ohshima, Shinso Yokota, Haruna Aiso: Effect of heating treatment on wood quality of *Salix* logs, *International Symposium on Wood Science and Technology 2025* (2025): 上名川演習林
- 島津 桃子, 斉藤 正一, 芦谷 竜矢: 山形県鶴岡市における原木栽培シイタケに誘引される生物, 第29回東北森林科学会大会講演要旨集(2024): 上名川演習林, 生物多様性保全研究園
- 佐々木 瑠偉, 相蘇 春菜, 斎藤 正一, 芦谷 竜矢: オオバクロモジ樹皮の障害に伴うテルペノイド成分の変化, 第7回樹木抽出成分研究交流会要旨(2024): 上名川演習林
- 島津 桃子, 斉藤 正一, 芦谷 竜矢: 山形県庄内地域における原木栽培キノコの腐敗過程における

生物相と揮発成分の生物活性,第75回木材学会大会研究発表要旨集(2025):上名川演習林,生物多様性保全研究園  
齋藤 正一, 芦谷 竜矢:  $\alpha$ -Pinene と limonene のスズメバチ類に対する生物活性,第75回木材学会大会研究発表要旨集(2025):生物多様性保全研究園

## 宇都宮大学

### 農学部附属演習林

松英 恵吾:宇都宮大学船生演習林におけるヒノキ密度効果試験地定期測定資料 (IV), 宇都宮大学農学部演習林報告, 61: 1-6(2025):船生演習林  
松英 恵吾:宇都宮大学船生演習林ヒノキ列状間伐試験林定期測定資料 (III), 宇都宮大学農学部演習林報告, 61: 7-17(2025):船生演習林  
齋藤 忠信, 齋藤 紀雄, 大森 伸也, 阿部 和彦, 有野 祐樹, 齋藤 天, 矢吹 和巳, 大島 潤一:船生演習林ヒノキ新植地におけるハイトシェルターの獣害被害防止効果, 宇都宮大学農学部演習林報告, 61: 15-19(2025):船生演習林

## 新潟大学

### 佐渡自然共生科学センター演習林

指村 奈穂子, 鈴木 正樹, 古本 良, 阿部 晴恵:佐渡島におけるヤマトグサの分布と環境条件の関係,季刊地理学,76(3):93-105(2024):新潟県佐渡市  
Harue Abe, Saneyoshi Ueno, Ayumi Matsuo, Shun K. Hirota, Hiroki Miura, Mong-Huai Su, Yun-Guang Shen, Yoshihiko Tsumura, Yoshihisa Suyama, Zhong-Lang Wang: Evolutionary histories of *Camellia japonica* and *C. rusticana*, *Ecology and Evolution*, ece3.70721(2024): 日本及び東アジア  
Duygu Bozdogan, Shogo Takizawa, Norihiro Furukori, Kosuke Honma, Harue Abe, Hitoshi Sakio, Naoki Harada, Kazuki Suzuki: Pond Water eDNA Reflects Broad Consistency with Surrounding Terrestrial Plant Ecosystems, *Biology*, 14(1): 62(2025) :新潟大学佐渡演習林  
豊田賢治, 松倉君予, 飯田碧, 豊田光世, 阿部晴恵:アカテガニの造巣地としての生木・枯木の根株周辺の利用, 水生動物, AA2025-5 (2024):新潟県佐渡市  
K. Sawada, Y. Watanabe, K. Kobayashi, Y. Magome, H. Abe, T. Kamijo: Multidimensional niche partitioning allows coexistence of multiple snake species, *Journal of Zoology*, jzo.13259(2025) :新潟県佐渡市  
阿部 晴恵 (分担執筆):小池 伸介, 北村 俊平編集, タネまく動物:体長150センチメートルのクマから1センチメートルのワラジムシまで, 文一総合出版, (2024):東京都 (伊豆諸島)  
M.Nakamura, C., Terada, K. Ito, T., (途中略), K. Homma, et al.: Physiological profiling of the soil microbe community using the EcoPlate and assessment of soil properties at 74 planted forest sites across Japan. *Ecological Research* 40(2) (2025) :新潟県佐渡市 他  
本間 航介:フィールド調査のための安全管理マニュアル (日本生態学会監修.野外安全管理専門委員会編著) :175、朝倉書店 (2025) :  
H. Nakayama, R. Takada, T. Miyake, K., Miyake, T. Nirei, H. Sakio: Floral deception in dioecious *Actinidia polygama* (Actinidiaceae) revealed by differential nitrogen investment in male organs: *Plant Species Biology* 39, (2024):  
久保満 佐子, 懸野 友晴, 須貝 杏子, 井上 雅仁, 崎尾 均,立花 寛奈:隠岐諸島の樹木組成の特徴 一対馬諸島と佐渡島との比較から一,日本森林学会誌 106, (2024): 隠岐諸島  
崎尾 均:ここがすごい!水辺の樹木,築地書館 (2024) :全国

## 東京大学

### 大学院農学生命科学研究科附属演習林

Twort VG, Laine VN, Field KA, Whiting-Fawcett F, Ito F, Reiman M, Bartonicka T, Fritze M, Ilyukha VA, Belkin VV, Khizhkin EA, Reeder DM, Fukui D, Jiang TL, Lilley TM: Signals of positive selection in genomes of palearctic *Myotis*-bats coexisting with a fungal pathogen, *BMC Genomics*, 25: 828(2024)  
Maki T, Sannomiya N, Hirao T, Fukui D: Scale-dependent influences of environmental, historical, and

- spatial processes on taxonomic and functional beta diversity of Japanese bat assemblages, *Ecology and Evolution*, 14: e11277(2024)
- Rathnayake RMUB, Chandrathilake GGT, Jayawardana DT, Tanaka N, Gunathilake BM, Buddhima AVPS: Quantifying spatiotemporal dynamics in the Kolonnawa marsh of Colombo, Sri Lanka, *Environmental Monitoring and Assessment*, 196: 10.1007/s10661-024-12808-7(2024)
- Thepparat A, Kamata N, Siriyasatien P, Prempre W, Dasuntad K, Chittsamart B, Sanguanub S: Seasonal Abundance and Diversity of Culicoides Biting Midges in Livestock Sheds in Kanchanaburi Province, Thailand, *Insects*, 15(9): 701(2024)
- Akayama S, Clark B, Furuya K, Mizuuchi Y, Nishisaka R, Goto S: Exploration of the value of Japanese-style gardens in incarceration camps during world war II: the case of the Amache, Colorado, U.S., *International Journal of Heritage Studies*, 30(9) : 1068-1087(2024)
- Mizuuchi Y, Nakamura WK: Does nationality affect landscape perceptions of urban sacred forests? A Japan-China cross-cultural comparison, *Japan Architectural Review International Journal of Japan Architectural Review for Engineering and Design*, 7(1): e12460(2024)
- Parhizkar M, Lucas-Borja ME, Denisi P, Tanaka N, Zema DA: Comparing the effects of hydromulching and application of biodegradable plastics on surface runoff and soil erosion in deforested and burned lands, *Journal of Hydrology and Hydromechanics*, 72: 422-435(2024)
- Kruskop SV, Yuzefovich AP, Dang CH, Zhukova SS, Thanh TH, Tu TV, Fukui D, Motokawa M, Hai TB, Son TN: Surveys of bats (Mammalia, Chiroptera) in the Tay Con Linh Mountains, Vietnam, *Russian Journal of Theriology*, 23: 99-113(2024)
- Győrössi D, Csorba G, Szabadi KL, Estók P, Tu VT, Thong VD, Furey NM, Huang JCC, Tuanmu MN, Fukui D, Zsebók S, Görföl T: The calls of Vietnamese bats: A major step toward the acoustic characterization of Asian bats, *Scientific Reports*, 14: 23335(2024)
- Nakanishi A, Goto S, Sumiyoshi C, Isagi Y: Contribution of external dispersal to pollen pool genetic diversity in a riparian population of *Cercidiphyllum japonicum*, *Tree Genetics and Genomes*, 20(4): 19(2024)
- Farahnak M, Sato T, Tanaka N, Nainar A, Mohd Ghaus I, Kuraji K: Impact of thinning and contour-felled logs on overland flow, soil erosion, and litter erosion in a monoculture Japanese cypress forest plantation, *Water*, 16(20): 2874(2024)
- Huang X, Xu J: Fostering public participation in watershed pollution governance: A case study of civilian environmental supervisors in Guiyang's Dual River Chief System, *Water*, 16(24): 3714(2024)
- Maki T, Fukui D: Wing morphology of Japanese bats: Predicting ecological features for data-insufficient species., *Zoological Studies*, 63: 36(2024)
- Tsunoda H, Hirao T: Vigilance levels of sika deer in nonhunting areas with moderate human activity, *Acta Ethologica*, 28: 27-37(2025)
- Fukasawa Y, Kimura S, Kominami Y, Takagi M, Matsukura K, Makoto K, Suzuki SN, Takemoto S, Tanaka N, Jomura M, Kadowaki K, Ushio M, Kinuura H, Yamashita S: Oak wilt disease may reduce the initial decay rate of dead *Quercus serrata* stems by altering fungal communities in the wood, *Environmental Microbiology*, 27: e70026(2025)
- Gunggot E, Beaver RA, Lucas JJ, George SG, Rasiah A, Wong WVC, Lardizabal MLT, Kamata N: Anthropogenic impacts on bark and ambrosia beetle assemblages in tropical montane forest in northern Borneo, *Insects*, 16(2): 121(2025)
- Meguro F, Higashiyama H, Pommery Y, Wilson LAB, Tu VT, Nojiri T, Fukui D, Koyabu D: The development of orofacial complex in bats: implications for orofacial clefting, *Journal of Anatomy*, 246: 331-344(2025)
- Zhang Y, Tan Y, Chiu C, Onda Y, Gomi T: An individual tree stemflow model integrating branch-leaf cluster structure and drainage processes from multi-platform LiDAR scanning, *Journal of Hydrology*, 654: 132838(2025)
- 蔵治 光一郎: 流域治水における森林の役割ー「流域治水×森林マネジメントシステム」の可

- 能性, *BIOCITY*, 99: 32-39(2024)
- 尾張 敏章: 第 63 回 IUFRO 拡大理事会報告, *IUFRO-J NEWS*, 136: 1-3(2024)
- 蔵治 光一郎: 何が日本の林業を持続困難な産業にしたのか, *建築とまちづくり*, 547: 6-10(2024)
- 蔵治 光一郎: 水・土砂・倒木・流木の複合災害, *森林科学*, 102: 19-21(2024)
- 本郷 悠夏, 森本 淳子, 堀田 亘, 饗庭 正寛, 中村 太士: 表層崩壊後のレガシー活用緑化を植物機能形質に注目して評価する, *日本緑化工学会誌*, 50(1): 37-42(2024)
- 山田 利博: 樹木医学会第 29 回大会開催報告, *樹木医学研究*, 29(1): 73-76(2025)
- 李 婉, 保永 展利, 高橋 絵里奈: 樹木認識と森林・森林環境教育への意識の特徴と関係 - 中国の大学生を対象としたテキストマイニング-, *森林応用研究*, 33(2): 9-17(2025)
- 才木 道雄, 高德 佳絵, 平尾 聡秀, 山田 利博: 秩父山地の老齢天然林で発生した森林火災の延焼範囲における幹の生存および萌芽発生に影響を与える要因, *東京大学農学部演習林報告*, 151: 1-16(2025)
- 洲崎 燈子, ファラナク モイン, 小椋 崇弘: ヒノキ人工林伐採後の光環境と林床植生の変化, *矢作川研究*, 29: 23-32(2025)
- Takagi E, Yamanaka S: Reemergence and sister brood establishment in the bark beetle *Polygraphus proximus* (Coleoptera: Curculionidae: Scolytinae) under laboratory conditions, *Applied Entomology and Zoology*, 59(2): 111-116 (2024): 北海道演習林
- Nakayama M, Abe Y, Atarashi-Andoh M, Tange T, Sawada H, Liang N, Koarashi J: Quantitative importance of subsoil nitrogen cycling processes in Andosols and Cambisols under temperate forests, *Applied Soil Ecology*, 201: 105-485 (2024): 秩父演習林・生態水文学研究所
- Htun NM, Owari T, Tsuyuki S, Hiroshima T: Detecting Canopy Gaps in Uneven-Aged Mixed Forests through the Combined Use of Unmanned Aerial Vehicle Imagery and Deep Learning, *Drones*, 8(9): 484(2024): 北海道演習林
- Tiwari RM, Hirao T, Suzuki SN: Decline in functional diversity during the stem exclusion phase: Long-term tree census of secondary succession in a cool-temperate forest, central Japan, *Forest Ecology and Management*, 568: 122110(2024): 秩父演習林
- Haraguchi R, Hirao T, Yamada T: Quantitative analyses of distribution of the heart rot fungus *Serpula himantioides* in living *Chamaecyparis pisifera* using real-time polymerase chain reaction, *Forest Pathology*, 54: e12881(2024): 秩父演習林
- Iwasaki K, Nagasaka Y, Ishiyama N, Nagasaka A: Thermal imaging survey for characterizing bedrock groundwater discharge, *Hydrological Research Letters*, 18(3): 79-86(2024): 北海道演習林
- Win K, Sato T, Tsuyuki S: Application of Multi-Source Remote Sensing Data and Machine Learning for Surface Soil Moisture Mapping in Temperate Forests of Central Japan, *Information*, 15: 485(2024): 千葉演習林
- Takagi E, Aochi M: Cutting into short logs reduces infestation by the bark beetle *Polygraphus proximus*, *Journal of Applied Entomology*, 148(6): 723-726(2024): 北海道演習林
- Haraguchi R, Hirao T, Yamada T: Occurrence and characteristics of *Serpula himantioides* fruiting bodies on living trees in Japan, *Journal of Fungi*, 10: 572(2024): 秩父演習林
- Djotan AKG, Matsushita N, Fukuda K: Within-site variations in soil physicochemical properties explained the spatiality and cohabitation of arbuscular mycorrhizal fungi in the roots of *Cryptomeria japonica*, *Microbial Ecology*, 87: 136(2024): 秩父演習林
- Djotan AKG, Matsushita N, Fukuda K: Year-round dynamics of arbuscular mycorrhizal fungi communities in the roots and surrounding soils of *Cryptomeria japonica*, *Mycorrhiza*, 34(1-2): 119-130(2024): 秩父演習林
- Kusakabe R, Sasuga M, Yamato M: Ubiquitous arbuscular mycorrhizal fungi in the roots of herbaceous understory plants with hyphal degeneration in Colchicaceae and Gentianaceae, *Mycorrhiza*, 34(3): 181-190(2024): 千葉演習林
- Okada G, Kurokawa E, Sugimoto I, Nishida M, Miyai M, Kondo Y, Hashimoto A, Iida T, Ohkuma M, Degawa Y: A taxonomic re-evaluation of *Hymenostilbe mycetophila*, a hyperparasitic

- synnematous hyphomycete on *Favolaschia nipponica*, with *Kobayasiomyces mycetophilus* gen. et comb. nov. (*Leotiales*), *Mycoscience*, 66(1): 72-87(2024): 秩父演習林
- Shigyo N, Umeki K, Hirao T: Soil microbial identity explains home-field advantage for litter decomposition, *New Phytologist*, 243(6): 2146-2156(2024): 秩父演習林
- Karthigesu J, Owari T, Tsuyuki S, Hiroshima T: Improving the Estimation of Structural Parameters of a Mixed Conifer–Broadleaf Forest Using Structural, Textural, and Spectral Metrics Derived from Unmanned Aerial Vehicle Red Green Blue (RGB) Imagery, *Remote Sensing*, 16(10): 1783(2024): 北海道演習林
- Sano H, Miura N, Inamori M, Unno Y, Guo W, Isobe S, Kusunoki K, Iwata H: Quantitative Genetic Aspects of Accuracy of Tree Biomass Measurement Using LiDAR, *Remote Sensing*, 16(24): 4790(2024): 富士演習林
- Kaneko S, Kim HB, Yoshioka T: Method of designing forest road construction scenario with GIS-based calibration using sustainable forestry model, *Results in Engineering*, 24: 103078(2024): 北海道演習林
- Takagi E: Host preferences of the bark beetle *Polygraphus proximus* Blandford (coleoptera: curculionidae: scolytinae) in Japan during an endemic population phase, *The Coleopterists Bulletin*, 78(4): 537-542(2024): 北海道演習林
- Nakanishi A, Goto S, Sumiyoshi C, Isagi Y: Contribution of external dispersal to pollen pool genetic diversity in a riparian population of *Cercidiphyllum japonicum.*, *Tree Genetics and Genomes*, 20(4): 19(2024): 北海道演習林
- Win K, Sato T: Influence of stand characteristics and management activities on aboveground carbon storage in Japanese cedar and cypress plantations: Sustainable management implications, *Trees, Forests and People*, 18: 100702(2024): 千葉演習林
- Asano Y, Mizuuchi Y, Kishimoto K, Tanaka N, Bunte K: Changes in sediment discharge over the 20th century from a mountain catchment that has experienced severe anthropogenic disturbances, *Earth Surface Processes and Landforms*, 50: e6071(2025): 生態水文学研究所
- Nakamura M, Terada C, Ito K, Hiura T, Shibata H, Miki T, Saitoh T, Takagi M, Hougen T, Matsuzaki S, Watanabe M, Tado H, Hotta N, Kosugi Y, Aiko N, Kojima N, Katagiri N, Kishimoto K, Yoshida T, Tsunoda Y, Takamiya T, Ito K, Utsumi Y, Yoshikawa T, Kenta T, Oda M, Agetsuma N, Kawai M, Fujita T, Hishi T, Shimada H, Ichie T, Hoshizaki K, Kobayashi H, Seino T, Noguchi M, Nagamatsu D, Saito H, Tateno R, Ishihara M, Kitagawa Y, Hisamoto Y, Homma K, Hirao T, Otani T, Toda M, Terada J, Kume T, Fukuzawa K, Takashima A, Kurose K, Fujii S, Itoh S, Ohta T, Otsuki K, Nagaike T, Hasegawa K, Makoto K, Shirahata M, Matsuki S, Hatanaka M, Suzuki S, Muro N, Yamoto T, Adachi N, Kaneko N, Yamashita T: Physiological profiling of the soil microbe community using the EcoPlate and assessment of soil properties at 74 planted forest sites across Japan, *Ecological Research*, 40(2): 228-242(2025): 秩父演習林・富士癒しの森研究所・千葉演習林・生態水文学研究所・北海道演習林
- Oikawa N, Nakagawa Y, Owari T, Tatsumi S, Suzuki SN: Utilising LiDAR-equipped iPhone in forestry: Constructing 3D models and measuring tree sizes in a planting site, *Ecological Solutions and Evidence*, 6(1): e12399(2025): 北海道演習林
- Nakadai R, Suzuki SN: Ecological succession revisited from a temporal beta-diversity perspective, *Forest Ecology and Management*, 580: 122504(2025): 秩父演習林
- Abe Y, Nakayama M, Atarashi-Andoh M, Tange T, Sawada H, Liang N, Koarashi J: Quantitative evaluation of carbon dioxide emissions from the subsoils of volcanic and non-volcanic ash soils in temperate forest ecosystems, *Geoderma*, 455: 117-221(2025): 秩父演習林・生態水文学研究所
- Karthigesu J, Owari T, Tsuyuki S, Hiroshima T: Improving the Individual Tree Parameters Estimation of a Complex Mixed Conifer—Broadleaf Forest Using a Combination of Structural, Textural, and Spectral Metrics Derived from Unmanned Aerial Vehicle RGB and Multispectral Imagery, *Geomatics*, 5(1): 12-(2025): 北海道演習林

- Sato T, Ohosawa K, Ebata K, Matsumoto Y: Stemflow Measurement on Large Leaning *Quercus serrata* Trees: Examination of Stem Lean Effect on Stemflow, Hydrological Processes, 39(1): e70046(2025):生態水文学研究所
- Pei H, Owari T, Tsuyuki S, Hiroshima T, Hong D: Combined Gated Graph Convolutional Neural Networks for multi-modal geospatial data forest type classification, International Journal of Applied Earth Observation and Geoinformation, 136: 104372(2025):北海道演習林
- Fiakpornu Gabriel: Factors influencing the number of mycangium pits of *Platypus quercivorus*, 東京大学 修士論文, 40pp(2024):千葉演習林・北海道演習林・秩父演習林・田無演習林・生態水文学研究所・富士癒しの森研究所
- Nyo Me Htun: Combined application of unmanned aerial vehicle imagery and deep learning for canopy species mapping and gap detection in uneven-aged mixed forests (異齡混交林の林冠樹種マッピングとギャップ検出への無人航空機画像と深層学習の組み合わせ適用), 東京大学 博士論文, 108pp(2024):北海道演習林
- 中島 大雅: 機械学習に適した多点調査による土壌炭素の深度別の面的分布把握 -千葉演習林全域を対象として, 東京大学 卒業論文, 91pp(2025):千葉演習林
- 工藤 舞泉: 葉緑体 DNA の変異と倍数性および形態に基づくオオズミの分類学的再検討, 東京大学 卒業論文, 55pp(2025):北海道演習林・富士演習林
- 高野 瑠里花: 森林内を移動する自動車による種子散布の評価に関する研究, 東京大学 卒業論文, 28pp(2025):秩父演習林
- 熊木 順生: シカによる森林の植生衰退が土壌動物群集に与える影響, 東京大学 卒業論文, 39pp-(2025):秩父演習林・田無演習林
- 田村 大樹: 田無演習林における環境教育プログラムが子どもに与える効果, 東京大学 卒業論文, 35pp(2025):田無演習林
- 玉山 空弥: ノコギリクワガタが保有する酵母に関する研究, 東京大学 卒業論文, 24pp(2025):田無演習林
- 樋口 瑠奈: 削剥プロセスが規定する丘陵地における木本種の地形ニッチと葉形質の関係, 横浜国立大学 卒業論文, (2025):千葉演習林
- 小山 七々子: エゾモモンガの巣箱利用性に関する基礎研究ー自動撮影カメラを用いた巣箱利用率の再検討ー, 帯広畜産大学 卒業論文, 46pp(2025):北海道演習林
- 畑下 真輝: ヒメネズミ *Apodemus argenteus* が利用する巣箱の周囲環境要因〜クマイザサの一斉開花と巣箱利用との関係〜, 帯広畜産大学 卒業論文, --33pp-(2025):北海道演習林
- 千葉 明里: ヒメネズミ *Apodemus argenteus* の集団営巣の構成パターンに関する研究, 帯広畜産大学 卒業論文, 28pp(2025):北海道演習林
- 小林 みのり: ヒメネズミの個体群変動に関する基礎研究ー発生予察調査結果と利用巣箱数との関係ー, 帯広畜産大学 卒業論文, 39pp(2025):北海道演習林
- 大越 光: ヒグマの擦り付け行動の多様性と季節変化および雄性ホルモンとの関係, 酪農学園大学 卒業論文, 86pp(2025):北海道演習林
- 青地 舞: 繁殖資源の乾燥と近縁種の繁殖がトドマツノキクイムシの増殖に与える影響, 東京都立大学 卒業論文, 31pp(2025):北海道演習林
- 岩瀬 友秀: アカガシ・ウラジロガシにおける遺伝的多様性と集団遺伝構造の解明, 名古屋大学 卒業論文, 78pp(2025):生態水文学研究所
- 石垣 夕美江: コナラ (*Quercus serrata* Murray) の樹幹流下特性, 東京農業大学 卒業論文, 26pp(2025):生態水文学研究所
- 岩坪 樹生: 地形や季節による樹冠構造の違いが落葉広葉樹林の樹冠通過雨の空間分布に与える影響, 東京農業大学 卒業論文, 23pp(2025):生態水文学研究所
- 小幡 愛: Future Projections of Distribution Dynamics and Biomass of Dwarf Bamboo in Hokkaido Under Climate Change Using a Dynamic Global Vegetation Model (動的植生モデルを用いた北海道におけるササ類の分布動態とバイオマスの将来予測), 東京大学 修士論文, 30pp(2025):北海道演習林

- 張 遠哲: The impact of forest types and topographic variations on beneath-canopy snow accumulation: insights from UAV-LiDAR (森林タイプと地形変化が林内積雪に与える影響: UAV-LiDAR から得られる知見), 東京大学 修士論文, 50pp(2025): 北海道演習林
- 玉木 麻香: 人間活動が引き起こす非消費型効果がシカの行動形質と時空間的活動に及ぼす影響, 東京大学 修士論文, 47pp(2025): 秩父演習林
- 湯 天禹: 景観構造が都市緑地の鳥類-植物相互作用ネットワークに及ぼす影響, 東京大学 修士論文, 255pp(2025): 秩父演習林
- 兼 祐翔: Does age affect individual differences in habitat use of Ryukyu flying foxes?-An approach using the epigenetic clock-(クビワオオコウモリにおける生息地利用の個体差は年齢が影響しているのか? -エピジェネティッククロックによるアプローチ-), 東京大学 修士論文, 72pp(2025): 田無演習林
- 秋山 礼: 日本産ユビナガコウモリの分布変遷-日本における多様な洞穴は分布拡大にどう影響したか-, 東京大学 修士論文, 45pp(2025): 田無演習林
- ヤン カメイ: Development of Automated Detection and Measurement Methods for Individual Japanese Larch (*Larix kaempferi*) Trees Using Forest Remote Sensing with UAV-LiDAR, 東京大学 修士論文, 74pp(2025): 富士癒しの森研究所
- 中城 拓真: Genetic structure of *Ranunculus nipponicus* at various geographic scales: Implications for conservation and restoration, 筑波大学 修士論文, 41pp(2025): 北海道演習林
- 入江 聖奈: 都市化に対するヒキガエルの生存戦略~水域と陸域における補填的な成長パターンの検証~, 東京農工大学 修士論文, 46pp(2025): 秩父演習林
- 戸口 侑紀: 同所的に生育するカエデ属 *Palmata* 節 6 種の核及び葉緑体 DNA を用いた系統解析と防御戦略の種間差, 日本女子大学 修士論文, 82pp(2025): 秩父演習林
- Aye Myat Myat Paing: Assessing the impact of climate change on performance of *Betula ermanii* using range-wide common garden experiments: Implications for conservation strategies (広域共通圃場試験を用いた気候変動がダケカンバのパフォーマンスに及ぼす影響評価: 保全戦略への示唆), 東京大学 博士論文, 125pp(2025): 北海道演習林
- 原口 竜成: 日本産ナミダタケモドキによる生立木の心材腐朽被害に関する研究, 東京大学 博士論文, 144pp(2025): 秩父演習林
- 鈴木 智之, 尾張 敏章: 富良野の東京大学北海道演習林-北方針広混交林と天然林施業の長期的研究拠点, 図説 日本の森林日本森林学会 (編) 朝倉書店, 10-11(2024): 北海道演習林
- 當山 啓介, 久本 洋子: 東京大学千葉演習林-わが国最古の「大学の森」, 図説 日本の森林日本森林学会 (編) 朝倉書店, 46-47(2024): 千葉演習林
- 軽込 勉, 米道 学, 三次 充和, 久本 洋子, 楠本 大: 千葉演習林における希少な樹種の生育状況, 演習林 (東大), 70: 1-12(2024): 千葉演習林
- 土岐 和多瑠, 石濱 宣夫, 門司 早紀, 松岡 史晃, 湯澤 宣久, 井口 和信, 鈴木 智之: 東京大学北海道演習林のハナカミキリ(鞘翅目カミキリムシ科), 演習林 (東大), 70: 13-23(2024): 北海道演習林
- 白木 克繁, 廣木 颯太郎, 浅野 友子: 生態水文学研究所赤津研究林白坂南谷小流域で面的に行った貫入試験結果, 演習林 (東大), 70: 25-34(2024): 生態水文学研究所
- 池田 正清, 西 泰弘, 斉藤 明子, 櫻井 悠: 千葉県のヒメセスジカクマガソコガネの記録, 鯉角通信, 49: 22-23(2024): 千葉演習林
- 石塚 航, 陳 淑芬, 後藤 晋: 育種価の推定に向けた空間自己相関による立地効果の考慮, 森林遺伝育種, 13(3): 84-90(2024): 北海道演習林
- 辰巳 晋一: 混植実験にみる樹木の多様性と森林の生産性, 森林技術, 991: 16-19(2024): 北海道演習林
- 小林 慧人, 西山 典秀, 杉本 恵里子, 柏木 治次, 若山 太郎, 久本 洋子: 「三百年計画、竹の開花年限に関する実験」の過去から現在まで: 実生起源のモウソウチクにおける長期植栽試験の実態, 森林総合研究所研究報告, 23(4): 135-151(2024): 千葉演習林・田無演習林

- 浅野 友子・佐藤 貴紀・水内 佑輔・田中 延亮：生態水文学研究所の観測研究 100 年—森林水文学・砂防工学への貢献—, 水利科学, 399: 54-94(2024):生態水文学研究所
- 澤田 晴雄：白坂小流域固定試験地における優占樹種と林分構造の変化, 中部森林研究, 72: 22-27(2024):生態水文学研究所
- 岸本 光樹, 田中 延亮, 吉沢 和治, 福角 朗：広葉樹二次林を皆伐し設置したソーラーパネルが表面流量に及ぼす影響, 中部森林研究, 72: 42-44(2024):生態水文学研究所
- 才木 道雄, 鈴木 智之：森林林床火災 5 年後の林床環境の変化と羽化トラップにより捕獲された土壌無脊椎動物群集の動態, 東京大学農学部演習林報告, 150: 1-11(2024):秩父演習林
- 小長谷 啓介：マテバシイと共生する外生菌根菌のフロラ, 日本菌学会会報, 65: 17-21(2024):千葉演習林
- 石塚 航, 陳 淑芬, 後藤 晋：カラマツ類次代検定に立地効果を組み込む-空間自己相関入りモデルによる育種価の推定-, 北海道の林木育種, 67(1): 19-25(2024):北海道演習林
- 植村 慎吾：2023 年度 コア・準コアサイト鳥類調査 越冬期結果報告, モニタリングサイト 1000 陸生鳥類調査情報, 16(1): 3(2024):秩父演習林
- 齋藤 暖生：山梨県山中湖村における観光・レクリエーション事業の史的展開と森林資源の利用, 林業経済, 77(5): 1-13(2024):富士癒しの森研究所
- 尾張 敏章：林分施業法の 60 年:その変遷と課題, 林経協季報「杣径」, 75: 24-31(2024):北海道演習林
- 石塚 航：寒冷域樹木の育種を加速する遺伝的変異の探索と活用, JATAFF ジャーナル, 13(2): 5-10(2025):北海道演習林
- 坂上 大翼, 松下 範久：北海道でアメリカトネリコ植栽木に発生した集団衰退枯死とその原因, 樹木医学研究, 29(1): 27-38(2025):北海道演習林
- 松井 理生, 及川 希, 木村 徳志：トドマツとストロブマツの密度別植栽地における 55 年生植栽木の生育状況, 北方森林研究, 73: 25-27(2025):北海道演習林
- 木村 徳志, 岡平 卓巳, 及川 希, 平間 睦樹, 佐藤 晴樹, 松井 理生, 鈴木 智之：ヨーロッパトウヒ高齢級人工林における伐根造林の試み 在来針葉樹 3 種のコンテナ苗を植栽した事例について, 北方森林研究, 73: 29-32(2025):北海道演習林
- 植村 慎吾：2024 年度 コア・準コアサイト鳥類調査 繁殖期結果報告, モニタリングサイト 1000 陸生鳥類調査情報, 16(2): 3(2025):秩父演習林
- 高木 憲太郎, 植村 慎吾：巣箱カメラで見る鳥の繁殖記録のデータ化に向けて, モニタリングサイト 1000 陸生鳥類調査情報, 16(2): 5(2025):秩父演習林

## 東京農工大学

### 農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター

- Nakamura, M., Terada, C., Ito, K., Hiura, T., Shibata, H., Miki, T., Saitoh, M.T., Takagi, M., Hougén, T., Matsuzaki, S.S., Watanabe, M., Tado, H., Hotta, N., Kosugi, Y., Aiko, N., Kojima, N., Katagiri, N., Kishimoto, K., Yoshida, T., Tsunoda, Y., Takamiya, T., Ito, K., Utsumi, Y., Yoshikawa, T., Kenta, T., Oda, M., Agetsuma, N., Kawai, M., Fujita, T., Hishi, T., Shimada, H., Ichie, T., Hoshizaki, K., Kobayashi, H., Seino, T., Noguchi, M., Nagamatsu, D., Saito, H., Tateno, R., Ishihara, M.I., Kitagawa, Y., Hisamoto, Y., Homma, K., Hirao, T., Otani, T., Toda, M., Terada, J., Kume, T., Fukuzawa, K., Takashima, A., Kurose, K., Fujii, S., Itoh, S., Ohta, T., Otsuki, K., Nagaike, T., Hasegawa, K., Makoto, K., Shirahata, M., Matsuki, S., Hatanaka, M., Suzuki, S., Muro, N., Yamoto, T., Adachi, N., Kaneko, N., Yamashita, T. Physiological profiling of the soil microbe community using the EcoPlate and assessment of soil properties at 74 planted forest sites across Japan. *Ecological Research*, 40(2): 228–242 (2025). FM 大谷山, FM 草木, FM 唐沢山
- Urakawa, R., Toda, H., Cao, Y.: Long-term changes in stream water chemistry in small forested watersheds in the northern Kanto region. *Ecological Research*, 40(3): 264-276(2025): FM 大谷山, FM 草木
- Kobayashi, Y., Sato, M., Uchida, K., Mori, A.S. Misalignment between ecologically rapid and economically optimal forest restoration designs. *Forest Policy and Economics*, 172: 103426 (2025).
- Inoue, K.S, Nakatsuji, K., Koyama, S., Kobayashi, Y., Yoshida, T. Ant utilization of tree trunks in relation

- to environmental factors in a temperate forest. *Acta Oecologica*, 125: 104039 (2024).
- Nakatsuji, K., Kobayashi, Y., Yoshida, T. Microtopography and vegetation generate uneven predation pressure on forest insects. *Acta Oecologica*, 125: 104031 (2024).
- Dollinger, C., Rammer, W., Suzuki, K.F., Braziunas, K.H., Keller, T.T., Kobayashi, Y., Mohr, J., Mori, A.S., Turner, M.G., Seidl, R. Beyond resilience: Responses to changing climate and disturbance regimes in temperate forest landscapes across the Northern Hemisphere. *Global Change Biology*, 30: e17468 (2024).
- Fuse, S., Yoshida, T., Kobayashi, Y. Effects of artificial night lighting on a web-building spider species in urban green spaces. *Acta Oecologica*, 124: 104017 (2024).
- Thom, D., Rammer, W., Albrich, K., Braziunas, K.H., Dobor, L., Dollinger, C., Hansen, W.D., Harvey, B.J., Hlásny, T., Hoecker, T.J., Honkaniemi, J., Keeton, W.S., Kobayashi, Y., Kruszka, S.S.; Mori, A.S.; Morris, J.E.; Peters-Collae, S., Ratajczak, Z., Simensen, T., Storms, I., Suzuki, K.F., Taylor, A.R., Turner, M.G., Willis, S., Seidl, R. Parameters of 150 temperate and boreal tree species and provenances for an individual-based forest landscape and disturbance model. *Data in Brief*, 55: 110662 (2024).
- Iwasaki, Y., Suemori, T., Kobayashi, Y. Predicting macroinvertebrate average score per taxon (ASPT) at water quality monitoring sites in Japanese rivers. *Environmental Science and Pollution Research*, 31: 28538-28548 (2024).
- 石塚 達也: 温帯二次林における甲虫群集の垂直分布, 東京農工大学大学院農学府 修士論文: 42 pp. (2025): FM 唐沢山
- 齋藤 敦: 針葉樹人工林における林冠節足動物食物網への腐食補助, 東京農工大学大学院農学府 修士論文: 48 pp. (2025): FM 唐沢山, FM 草木
- 新川 颯輝: 樹洞内の水生無脊椎動物の群集集合における決定論・確率論的過程, 東京農工大学大学院農学府 修士論文: 39 pp. (2025): FM 唐沢山
- 新井 勝利: 将来木施業地における下層への樹木侵入に及ぼす林床光環境, 東京農工大学大学院農学府 修士論文: 93 pp. (2025): 府中苗畑
- 瀬戸 裕里加: 多摩地域におけるクロモジのクローン増殖法の成否に及ぼす要因, 東京農工大学大学院農学府 修士論文: 48 pp. (2025): 府中苗畑
- 永嶋 春輝: ユーカリ属 8 樹種における葉のポリフェノールとアレロパシー活性, 東京農工大学大学院農学府 修士論文: 53 pp. (2025): FM 唐沢山, 府中苗畑
- 淡野 結子: 都市緑化樹木としてのユーカリの機能～ヒートアイランド現象緩和に着目して～, 東京農工大学 農学部 卒業論文: 168 pp. (2025): 府中苗畑
- 大嶋 瞭太郎: ユーカリ 3 種の葉のポリフェノールによる土壌窒素無機化への影響, 東京農工大学 農学部 卒業論文: 28 pp. (2025): FM 唐沢山
- 磯 良斉: ユーカリ挿し木におけるポリフェノール滲出量と金属イオン処理の関係, 東京農工大学 農学部 卒業論文: 30 pp. (2025): 府中苗畑
- 儘田 祐介: ユーカリの成長と菌根形成に及ぼす影響要因～FM 唐沢山植栽試験地にて～, 東京農工大学 農学部 卒業論文: 82 pp. (2025): FM 唐沢山
- 渡邊 天音: ユーカリの育苗におけるコンテナ容積の影響, 東京農工大学 農学部 卒業論文: 37 pp. (2025): 府中苗畑
- 吉川 愛梨沙: 樹種ごとの葉量の年々変動と気候との関係, 東京農工大学 農学部地域生態システム学科 卒業論文: (2025): FM 草木

## 筑波大学

### 山岳科学センター

- Suneth NERANJAN, Uchida Taro, Yamakawa Yosuke, Hiraoka Marino, Kawakami Ai : Geometrical Variation Analysis of Landslides in Different Geological Settings Using Satellite Images, Case Studies in Japan and Sri Lanka. , *Remote Sensing* 16(10): 1757, DOI: 10.3390/rs16101757(2024): 井川演習林
- Hajika Takafumi, Yamakawa Yosuke, Uchida Taro : Spatial distribution of rainfall-runoff characteristics and peak lag time in high-relief meso-scale mountain catchments where observations are scarce. , *Hydrological Processes* 38(6): e15177, DOI: 10.1002/hyp.15177(2024): 井川演習林

- Cai Yihan, Aihara Takaki, Araki Kyoko, Sarmah Ragini, Tsumura Yoshihiko, Hirota Mitsuru: Response of stomatal density and size in *Betula ermanii* to contrasting climate conditions, The contributions of genetic and environmental factors. *Ecology and Evolution* 14(6): e11349(2024) : 八ヶ岳演習林
- Okane Izumi, Hsieh Huei-Mei, Ju Yu-Ming, Lin Chun-Ru, Huang Chun-Yun, Kuan I-Ching: *Xylaria iriomotensis* sp. nov. from termite nests and notes on *X. angulosa*., *BOTANICAL STUDIES* 66(1): 4, DOI: 10.1186/s40529-024-00447-7(2025): 八ヶ岳演習林
- Okane Izumi, Kurita Akiko, Ono Yoshitaka: Is the Co-Occurrence of *Neophysopella meliosmae-myrianthae* and *N. montana* (Pucciniales) Common on Grapevines in Japan?: *Journal of Fungi* 11(3): 193, DOI: 10.3390/jof11030193(2025): 八ヶ岳演習林
- Nakamura M., Terada C., Ito K., Hiura T., Shibata H., Miki T., Saitoh T.M., Takagi M., Hougén T., Matsuzaki S.S., Watanabe M., Tado H., Hotta N., Kosugi Y., Aiko N., Kojima N., Katagiri N., Kishimoto K., Yoshida T., Tsunoda Y., Takamiya T., Ito K., Utsumi Y., Yoshikawa T., Kenta T., Oda M., Agetsuma N., Kawai M., Fujita T., Hishi T., Shimada H., Ichie T., Hoshizaki K., Kobayashi H., Seino T., Noguchi M., Nagamatsu D., Saito H., Tateno R., Ishihara M.I., Kitagawa Y., Hisamoto Y., Homma K., Hirao T., Otani T., Toda M., Terada J., Kume T., Fukuzawa K., Takashima A., Kurose K., Fujii S., Itoh S., Ohta T., Otsuki K., Nagaike T., Hasegawa K., Makoto K., Shirahata M., Matsuki S., Hatanaka M., Suzuki S.N., Muro N., Yamato T., Adachi N., Kaneko N., Yamashita T.: Physiological profiling of the soil microbe community using the EcoPlate and assessment of soil properties at 74 planted forest sites across Japan. *Ecological Research* 40: 164-175, DOI: 10.1111/1440-1703.12506(2025): 八ヶ岳演習林
- Cai Yihan, Aihara Takaki, Araki Kyoko, Sarmah Ragini, Tsumura Yoshihiko, Hirota Mitsuru: Response of stomatal density and size in *Betula ermanii* to contrasting climate conditions, The contributions of genetic and environmental factors. *Ecology and Evolution* 14(6): e11349 (2024): 筑波実験林
- Konaka Shota, Hirota Shun K, Sato Yukie, Matsumoto Naoki, Suyama Yoshihisa, Tsumura Yoshihiko : Secondary contact zone and genetic introgression in closely related haplodiploid social spider mites. *Heredity* 133(4): 227-237 (2024): 筑波実験林
- Aye Myat Myat Paing : Assessing the impact of climate change on performance of *Betula ermanii* using range-wide common garden experiments: Implications for conservation strategies (広域共通圃場試験を用いた気候変動がダケカンバのパフォーマンスに及ぼす影響評価: 保全戦略への示唆) 東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻博士論文 (2025) : 筑波実験林
- 中村美結: 大起伏山地における連続水文観測に基づく水流出特性の把握, 筑波大学大学院理工情報生命学術院生命地球科学研究群環境科学学位プログラム, 修士論文, (2024): 井川演習林
- 岡田 湧技: 大井川上流域の中小河川におけるトレイルカメラによる流速測定と検証, 筑波大学生命環境学群生物資源学類, 卒業論文, (2024): 井川演習林
- 大塚 千尋: ハナハタザオの遺伝的地域性の解明および塩ストレスに対する応答, 生物資源科学学位プログラム修士論文, (2025): 筑波実験林
- Li yuanyong : Geographic Variation in the Bamboo Spider Mite, *Apponychus corpuzae* Rimando (Acari: Tetranychidae) in Japan the Graduate School of Life and Environmental Sciences 修士論文, (2025): 筑波実験林
- 古川 顕充: カブリダニにおける孵化遅延の種間変異: 共食いとギルド内捕食の影響, 筑波大学大学院 理工情報生命学術院 生命地球科学研究群 生物学学位プログラム修士論文, (2025): 筑波実験林
- 谷田部 龍: 最終氷期に日本に渡来した社会性ハダニ 2 種の適応進化: 共通祖先種との比較による解析, 理工情報生命学術院 生命地球科学研究群 生物学学位プログラム修士論文, (2025): 筑波実験林
- 太田 有紀: Variations in BVOC Emissions from Japanese Cedar: Insights from Common Garden Experiments 東京大学 農学生命科学研究科 生圏システム学専攻修士論文, (2025): 筑波実験林
- 太田 紫菫: 異なる発達段階の冷温帯林における林分構造と成立過程の比較検証, 生物資源学類卒業論文 (2025): 八ヶ岳演習林
- 藤田 翔子: 異なる発達段階の冷温帯林におけるリター分解過程: 八ヶ岳演習林, 生物資源学類卒業論文 (2025): 八ヶ岳演習林

- 周玉琴:農村復興における社会関係の再認識・再構築,ふじのくに地球環境史ミュージアム,口頭,(2025):井川演習林
- 山川 陽祐, 内田 太郎, 輿水 康二:大起伏付加体堆積岩山地における地質構造に着目した降雨流出プロセスの解析,令和6年度砂防学会研究発表会,ポスター,(2024):井川演習林
- 中村 美結, 内田 太郎, 山川 陽祐, Neranjan Suneth:大起伏山地における連続水文観測に基づく降雨流出特性の把握,令和6年度砂防学会研究発表会,口頭発表,(2024):井川演習林
- Yumoto Keisuke, Nakashiro Takuma, Hamaguchi Masaki, Sato Masato, Sato Hikaru, Aoyama Shohei, Endo Yoshikazu, Nakagawa Kunihiro, Kabemura Yuuji, Yanasguta Tamon, Kasai Erika, Ozaki Yoshinobu, Nakamura Takuma, Murata Shusuke, Yamauchi Koshiro, Ikeda Hirosh: Genetic structure and demography of three cicada species in tribe Cicadini at various spatio-temporal scale.,第72回日本生態学会大会,口頭発表,(2025):井川演習林
- 川田 清和: Solving global issue through sustainable use of bioresources.,The 4th Japan-North Africa University Summit with the 20th Anniversary of ARENA, 97-97(2024):八ヶ岳演習林
- 川田 清和: Solving global issue through sustainable use of bioresources.,The 4th Japan-North Africa University Summit with the 20th Anniversary of ARENA, 口頭発表(2024):八ヶ岳演習林
- 相原 隆貴, 荒木 響子, Ragini Sarmah, 蔡一涵, 後藤晋, 戸丸 信弘, 本間 航介, 高木 正博, 吉田 俊也, 飯尾 淳弘, 永松 大, 久本 洋子, 廣田 充, 津村 義彦: 森林限界および南限集団のダケカンバ苗木の生存率:生長の低下:気候環境; 遺伝的多様性の影響. 第11回森林遺伝育種学会大会, ポスター(2024):八ヶ岳演習林
- 岩木呂 愛由, 清野 達之, 小林 元, 田口 裕哉, 陶山 佳久, 戸丸 信弘: 一塩基多型を用いたサワラ集団のクローン構造の解明. 第136回日本森林学会大会 口頭発表(2025):八ヶ岳演習林
- 清野 達之, 小林 元: 中部地方の冷温帯広葉樹二次林におけるダケカンバパッチの動態. 第14回中部森林学会大会, 口頭発表(2024):八ヶ岳演習林
- 高原 光, 前田 紘江, 佐々木 尚子, 林 竜馬, 杉田 真哉, 清野 達之: リタートラップ法によるシラカンバおよびダケカンバの花粉生産量推定. 日本花粉学会第65回大会, 口頭発表(2024):八ヶ岳演習林
- Yumoto Keisuke, Nakashiro Takuma, Hamaguchi Masaki, Sato Masato, Sato Hikaru, Aoyama Shohei, Endo Yoshikazu, Nakagawa Kunihiro, Kabemura Yuuji, Yanasguta Tamon, Kasai Erika, Ozaki Yoshinobu, Nakamura Takuma, Murata Shusuke, Yamauchi Koshiro, Ikeda Hirosh: Genetic structure and demography of three cicada species in tribe Cicadini at various spatio-temporal scale. 第72回日本生態学会大会, 口頭発表(2025):八ヶ岳演習林
- 新 真澄, 伊東 拓朗, 尾関 雅章, 加藤 裕一, 一ノ瀬 久子, 牧 雅之, 津田 吉晃: ウスバサイシン節の保全遺伝学的研究. 第10回山岳科学学術集会, 口頭発表(2024):八ヶ岳演習林
- 上野 健一 (2024) 気象景観としての“雲海“. 第10回山岳科学学術集会, 口頭発表(2024):八ヶ岳演習林
- 奈佐原(西田) 顕郎: タイムラプスカメラによる植物季節観測網: Phenological Eyes Network の20年間. GBIF ワークショップ「多様化する生物多様性調査とそのデータ」, 口頭発表(2024):八ヶ岳演習林
- 筒井 杏子, 升屋 勇人, 岡根 泉: 茨城県守谷市の自然散策公園における *Phytophthora* 属菌の多様性. 日本菌学会第68回大会, 口頭発表(2024):八ヶ岳演習林
- 繁森 有紗, 岡根 泉, 玉井 裕, 山岡 裕一: ヤチダモの枝幹部および冬芽への *Hymenoscyphus fraxineus* の定着. 日本菌学会第68回大会, 口頭発表(2024):八ヶ岳演習林
- 山口 薫, 田渕由 希子, 島村 具仁子, 稲葉 重樹, 岡根 泉, 中桐 昭: 淡水生子囊菌類 *Natipusilla* (*Dothideomycetes*) に近縁な *Pseudaegerita* 様分生子形成半水生菌類. 日本菌学会第68回大会, 口頭発表(2024):八ヶ岳演習林
- 秋成 怜美, 藤川 貴史, 岡根 泉: 常緑樹生葉の担子菌相をメタバーコーディングで探る. 日本微生物資源学会30回大会, ポスター(2024):八ヶ岳演習林
- 宗像 優生, 八畑 謙介, 澤田 聖人: 無毒へびとされてきたヒバカリが弱毒を有しているという仮説の予備的検証. 日本爬虫両棲類学会第63回姫路大会, ポスター(2024):八ヶ岳演習林
- Vanessa Gebre, Yasui Sachiko, Kamijo Takashi: An attempt to compare bat communities over a wide area using automated recordings. 第10回山岳科学学術集会, ポスター(2024):八ヶ岳演習林

今西 貞夫:アカモズの帰還, 日本鳥学会 2024 年度大会, 口頭発表(2024):ハヶ岳演習林  
 Aye Myat Myat Paing, Shigyo N, Lian C, Goto S: Investigating soil and root fungal communities associated with *Betula ermanii* across diverse provenance trials. 第 136 回日本森林学会, ポスター(2025):筑波実験林  
 山野 虎太郎:双翅目に寄生する子囊菌ラブルベニアの研究 筑波大学生物学類卒業研究発表会, 口頭発表(2025):筑波実験林  
 宮田 将斗:キハダシヨウジヨウバエとタカハシシヨウジヨウバエの種間関係 筑波大学生物学類卒業研究発表会, 口頭発表(2025):筑波実験林  
 山野邊 裕樹:異なる植物種から分離された *Phyllosticta* 属菌の宿主特異性に関する研究 筑波大学生物学類卒業研究発表会, 口頭発表(2025):筑波実験林  
 齊藤 温大:間違いの悲劇は避けられるのか?:ハダニにおける生殖的隔離の強化 筑波大学生物学類卒業研究発表会, 口頭発表(2025):筑波実験林  
 小林 燦:Bee hotel とヨシ筒を用いた管住性ハチ類の多様性評価 筑波大学生物学類卒業研究発表会, 口頭発表(2025):筑波実験林  
 吉瀬 遥平:都市緑地における林床植生管理がアカネズミ *Apodemus speciosus* の分布に与える影響 筑波大学生物資源学類卒業研究発表会 口頭発表(2025):つくば市内  
 鈴木 葵:異なる生育地から採取したハナハタザオの発芽特性および開花条件の比較 筑波大学生物資源学類卒業研究発表会 口頭発表(2025):筑波実験林

## 信州大学

### 農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター

Kodaira, M., Aoki, W., Endo, N., Sakuma, D., Hadano, E., Hadano, A., Hashimoto, Y., Gisuusig, S., Yamamoto, K., Sugawara, R., Fukuda, M., Yamada, A.: *Amanita satotamagotake* sp. nov., a cryptic species formerly included in *Amanita caesareoides*, *Mycoscience*, 65: 49–67(2024), doi: 10.47371/mycosci.2023.12.001: 西駒ステーション  
 Misawa, H., Tateishi, Y., Horimai, Y., Mizuno, A., Hida, F., Furukawa, H., Kobayashi, H., Kawai, M., Yamanaka, T., Fukuda, M., Yamada, A.: A useful PCR primer set for the ectomycorrhizal fungus *Tricholoma matsutake* in wild pine rhizosphere based on the nuclear ribosomal DNA IGS2 sequence, *Mycoscience*, 65: 191–198(2024), doi: 10.47371/mycosci.2024.05.001: 西駒ステーション  
 Aoki, W., Fukuda, M., Yamada, A.: Two new *Tricholoma* species in the sect. *Genuina* from pine forests in Japan, *Mycoscience*, 65: 278–287(2024), doi: 10.47371/mycosci.2024.09.001: 西駒ステーション  
 Furukawa, H., Tokuoka, K., Mizuno, A., Katagiri, K., Masuno, K., Tanaka, Y., Shinjiro Oya, S., Yamada, A.: Long-term effects of forest management on the dynamics of *Tricholoma matsutake* harvest over 41 years in a *Pinus densiflora* forest in Nagano Prefecture, Japan. *Mycoscience*, 65: 298–306(2024) doi: 10.47371/mycosci.2024.09.003: 西駒ステーション  
 三木 敦朗:山造りに出会った人びと, 島崎洋路と森林塾, 山本伸幸編, 森林と時間-森をめぐる地域の社会史-, 新泉社:23-45 (2024):信州大学演習林  
 Masahiro Nakamura, Chisato Terada, Kinya Ito, Kazuaki Matsui, Shigeru Niwa, Masae Ishihara, Tanaka Kenta, Tetsuro Yoshikawa, Taku Kadoya, Tsutomu Hiura, Hiroyuki Muraoka, Ken Ishida, Naoki Agetsuma, Ryosuke Nakamura, Hitoshi Sakio, Masahiro Takagi, Akira S. Mori, Megumi K. Kimura, Hiroko Kurokawa, Tsutomu Enoki, Tatsuyuki Seino, Atsushi Takashima, Hajime Kobayashi, Kazuho Matsumoto, Koichi Takahashi, Ryunosuke Tateno, Tomohiro Yoshida, Tatsuro Nakaji, Masayuki Maki, Kazutaka Kobayashi, Karibu Fukuzawa, Kazuhiko Hoshizaki, Kazuhide Ohta, Keito Kobayashi, Motohiro Hasegawa, Satoshi N. Suzuki, Michinori Sakimoto, Yoichiro Kitagawa, Akiko Sakai, Hirofumi Kondo, Tomoaki Ichie, Koji Kageyama, Ayaka Hieno, Shogo Kato, Tatsuya Otani, Yasuhiro Utsumi, Tomonori Kume, Kosuke Homma, Koju Kishimoto, Kazuhiko Masaka, Kenta Watanabe, Motomu Toda, Dai Nagamatsu, Yuko Miyazaki, Tamon Yamashita, Naoko Tokuchi: Physiological profiling of the soil microbe community using the EcoPlate and assessment of soil properties at 74 planted forest sites across Japan, *Ecological Research*, 40: 228–242 (2025): 手良沢山ステーション  
 小田 あゆみ, 高井 野乃子, 武居 玄, 安江 恒, 小林 元:信州大学西駒ステーション亜高山帯常緑針葉樹林における標高別の土壌窒素無機化特性, 信州大学 AFC 報告, 23: 11-17 (2025): 西駒ステーション  
 Yoshiyuki TAKAHASHI, Lifei SUN, Naishen LIANG, Yukio YAMAOKA, Reiko IDE, Yasuo HIROSE, and

- Hajime KOBAYASHI: Comprehensive flux observation research at a core observation platform in Japanese larch plantations, AsiaFlux Conference 2024, Wuhan, Hubei Province, China: (2024)
- Koh Yasue1, Shiho Ino, Gaku Shoji, Tomoka Tsutsumi, Hajime Kobayashi, Masako Dannoura, Miyuki Takeuchi, Akira Kagawa: Seasonal Variation of Photoassimilate Allocation in Radial Growth of Evergreen Conifers, PRWAC 2024, Asahikawa Japan: (2024)
- Tetsuro Yoshikawa, Yayoi Takeuchi, Taku Kadoya, Tsutomu Enoki, Sakae Fujii, Atsuko S. Fukamachi, Mitsuru Hirota, Kazuhiko Hoshizaki, Naoki Iiyama, Yukio Ishikawa, Hiroki Itô, Hajime Kobayashi, Yasuo Konno, Hiroko Kurokawa, Akifumi Makita, Akira S. Mori, Dai Nagamatsu, Tohru Nakashizuka, Kanji Namikawa, Mahoko Noguchi, Michio Oguro, Yoshinobu Ozaki, Michinori Sakimoto, Tamotsu Sato, Hisashi Sugita, Jun-Ichiro Suzuki, Ryo O. Suzuki, Satoshi N. Suzuki, Koichi Takahashi, Ryunosuke Tateno, Ryuichi Watanabe, Hiromi Yamagawa, Tamon Yamashita, Tomohiro Yoshida, Masae I. Ishihara, Tanaka Kenta, Masahiro Nakamura, Tsutomu Hiura: Long-term monitoring data reveal varying responses to climate change and disturbance in compositional shifts within Japanese forest biomes, The Joint Meeting of the Annual Meeting of the Society of Population Ecology and Taiwan-Japan Ecology Workshop 2024, Naha Okinawa: (2024): 西駒ステーション
- 森 健介, 池野 英利, 檀浦 正子, 平野 恭弘, 野口 享太郎, 小林 元, 大橋 瑞江: 樹木細根フェノロジー解析のためのデータ共有システムの紹介と課題, 第 59 回根研究集会, 福井市地域交流プラザ: (2024): 手良沢山ステーション
- 平野 日向, 小林 元, 村井 良徳: 高所栽培はイワベンケイの紫外線防御物質の増加に寄与する, 56 回種生物学シンポジウム, 岡山県総社市サントピア岡山総社: (2024): 西駒ステーション
- 小林 智, 三浦 聖玄, 小林 元, 布施 静香, 田村 実: 中央アルプス将棋頭山北東面のフローラ維管束植物の網羅的同定と垂直分布調査から見えてきたこと一, 第 88 回大会日本植物学会, 宇都宮大学: (2024): 西駒ステーション
- 清野 達之, 小林 元: 中部地方の冷温帯広葉樹二次林におけるダケカンバパッチの動態, 第 14 回中部森林学会大会, 信州大学伊那キャンパス: (2024): 西駒ステーション
- 鍋山 智也, 岩田 拓記, 小林 元: 高山帯ハイマツ生態系における蒸発散の分離 2 手法間の比較, 日本農業気象学会関東甲信越支部 2024 年度例会, 宇都宮大学峰キャンパス: (2024): 西駒ステーション
- 鍋山 智也, 岩田 拓記, 小林 元: 高山帯ハイマツ生態系における蒸発散の分離 2 手法間の比較, 日本農業気象学会 2025 年全国大会, 東海大学熊本キャンパス: (2025): 西駒ステーション
- 安江 恒, 香川 聡, 檀浦 正子, 半 智史, 小林 元: カラマツにおける樹幹および根への光合成産物配分の季節変動, 第 74 回日本木材学会大会, 京都大学: (2024): 構内ステーション
- 岩木 呂 愛由, 清野 達之, 小林 元, 田口 裕哉, 陶山 佳久, 戸丸 信弘: 一塩基多型を用いたサワラ集団のクローン構造の解明, 第 136 回日本森林学会大会, 北海道大学農学部: (2025)
- 坂本 小雪, 小林 元, 安江 恒: 中央アルプス亜高山帯常緑針葉樹林における標高勾配に沿った細根動態, 第 136 回日本森林学会大会, 北海道大学農学部: (2025): 西駒ステーション
- 室谷 楓香, 小林 元: ダケカンバ産地試験地における萌芽特性と種子採取地の林分構造, 第 136 回日本森林学会大会, 北海道大学農学部: (2025): 西駒ステーション
- 森 健介, 池野 英利, 檀浦 正子, 平野 恭弘, 野口 享太郎, 小林 元, 大橋 瑞江: スキャナー法と深層学習を用いた樹木細根フェノロジー解析システム 成果と課題, 第 136 回日本森林学会大会, 北海道大学農学部: (2025): 手良沢山ステーション
- 亀井 優志, 小林 元: 中央アルプス亜高山帯常緑針葉樹林におけるバイオマスの時空間変動, 第 136 回日本森林学会大会, 北海道大学農学部: (2025): 西駒ステーション
- 室谷 楓香: ダケカンバ産地試験地における成長差と萌芽特性および自生地の林分構造, 令和 6 年度信州大学大学院農学研究科修士論文: (2024): 西駒ステーション
- 和賀 亮太: 手良沢山ヒノキ人工林における細根動態および根呼吸のモニタリング, 令和 6 年度信州大学農学部卒業論文: (2024): 手良沢山ステーション
- 百田 有志: 手良沢山ヒノキ人工林における斜面中腹部と下部の従属栄養呼吸におよぼすリターフオールの影響, 令和 6 年度信州大学農学部卒業論文: (2024): 手良沢山ステーション
- 亀井 優志: 西駒ステーション亜高山帯常緑針葉樹林におけるバイオマスの時空間変動, 令和 6 年度信州大学農学部卒業論文: (2024): 西駒ステーション
- Yoshihiro Hosoo, Tomoka Kato, Misa Okayama: Molecular cloning and analysis of sugar transporter gene

- CjSWEET1 in the conifer plant, *Cryptomeria japonica*, 13th International Congress on Plant Molecular Biology, 227 (2024): 構内ステーション
- Akira Saito, Hiroto Suesada, Yoshihiro Hosoo, Kenta Yamaguchi: Verification of strength and adhesive performance of glued laminated timber hardwood and softwood composite from Nagano Prefecture, Japan, International Scientific Conference on Hardwood Processing 2024, 208-217 (2024): 構内ステーション
- Yoshihiro Hosoo, Hikaru Matsuda, Hiroto Suesada, Tomoko Kuwayama, Yuji Okuhara, Takahisa Yoshida: Effects of heat treatment on the physical properties and chemical composition of sugi (*Cryptomeria japonica*) lumbers, International Symposium on Wood Science and Technology 2025, WP-P-15 (2025): 構内ステーション
- 未定 拓時, 園田 真吾: 梁と長尺の面材を用いた枠組壁工法耐力壁の面内せん断性能に関する実験的研究 その2 釘の一面せん断試験による耐力壁の性能推定, 日本建築学会大会学術講演梗概集 (関東), 22166 (2024): 構内ステーション
- 岩垂 昂斗, 未定 拓時, 細尾 佳宏, 奥原 祐司, 吉田 孝久: 異なる乾燥方法を用いた長野県産広葉樹材の力学的特性の把握, 2024 年度日本木材学会中部支部大会, A01 (2024): 構内ステーション
- 齋藤 陽, 未定 拓時, 細尾 佳宏: 広葉樹を用いた異樹種複合集成材における強度性能推定手法の検証, 2024 年度日本木材学会中部支部大会, A08 (2024): 構内ステーション
- 齋藤 陽, 未定 拓時, 細尾 佳宏: 長野県産広葉樹材とスギによる複合集成材の機械的特性, 令和6 年度カラマツ林業等研究発表会, 発表 5 (2025): 構内ステーション
- 齋藤 陽, 未定 拓時, 細尾 佳宏: 広葉樹とスギの複合集成材における全面横圧縮性能及び部分横圧縮性能に関する実験的研究, 第 75 回日本木材学会大会, I19-P-11 (2025): 構内ステーション
- 安田 岳流, 未定 拓時, 細尾 佳宏: ブナの曲げ性能向上のための熱処理条件に関する実験的研究, 第 75 回日本木材学会大会, C19-P-02 (2025): 構内ステーション
- 小玉 啓, 未定 拓時, 細尾 佳宏: 交錯積層が単板積層材の曲げ特性に与える影響, 第 75 回日本木材学会大会, D19-P-08 (2025): 構内ステーション
- 岩垂 昂斗, 未定 拓時, 細尾 佳宏, 奥原 祐司, 吉田 孝久: 異なる乾燥方法が長野県産広葉樹材の力学的特性に及ぼす影響, 第 75 回日本木材学会大会, D19-P-13 (2025): 構内ステーション
- 福島 千遥, 細尾 佳宏, 未定 拓時, 毛利 嘉一, 奥原 祐司, 吉田 孝久: 蒸煮処理によるカラマツ材の物性および化学成分量への影響, 第 75 回日本木材学会大会, E19-P-09 (2025): 構内ステーション
- 小澤 颯人: スギにおけるカリウムトランスポーター遺伝子 CjKUP5 の単離および解析, 信州大学農学部専攻研究論文 (2025): 構内ステーション
- 福島 千遥: 蒸煮処理によるカラマツ材の物性および化学成分量への影響, 信州大学農学部専攻研究論文 (2025): 構内ステーション
- 安田 岳流: ブナの曲げ性能向上のための熱処理条件に関する実験的研究, 信州大学農学部専攻研究論文 (2025): 構内ステーション
- 岩垂 昂斗: 異なる乾燥方法・熱履歴が長野県産広葉樹材の力学的特性に及ぼす影響, 信州大学農学部専攻研究論文 (2025): 構内ステーション
- 小玉 啓: 交錯積層が LVL の引張・圧縮・フラットワイズ曲げ特性と寸法安定性に与える効果, 信州大学農学部専攻研究論文 (2025): 構内ステーション
- 小池 直樹: 長野県産ヒノキの樹幹内半径方向強度分布, 長野県林業総合センター研究報告 39 号 (2025): 手良沢山ステーション
- 伊藤 太陽, 安部 有香子, 城田 徹央, 岡野 哲郎: ヒノキ林縁個体の 1 次枝と 2 次枝の心材量の違い, 第 14 回 中部森林学会大会, 信州大学伊那キャンパス:(2024): 手良沢山ステーション
- 神江 真衣, 城田 徹央: カラマツ若齢個体における辺材幅の垂直分布と樹冠構造の関係, 第 14 回 中部森林学会大会, 信州大学伊那キャンパス:(2024): 手良沢山ステーション
- 牧寄 遼詩: アカマツ択伐跡地における更新木 30 種の樹高成長速度と樹形モデルの関係 第 14 回 中部森林学会, 信州大学伊那キャンパス:(2024): 構内ステーション
- Mai Koue, Tetsuoh Shirota, Koh Yasue: An analysis of sapwood distribution of young Japanese larch trees in association with crown structure, The International Symposium on Wood Science and Technology

2025, 仙台国際センター: (2025): 手良沢山ステーション

黄 鳴強: 令和 6 年度信州大学農学部卒業論文: アカマツーヒノキ林の林床におけるソヨゴのクローン成長(2025): 構内ステーション

伊藤 太陽: 令和 6 年度信州大学大学院農学研究科修士論文: 89 年生ヒノキ林縁個体の枝に形成された心材量の推定(2025): 手良沢山ステーション

相澤 つかさ: 令和 6 年度信州大学農学部卒業論文: 腐植添加による無機質土壌の団粒形成過程と腐植の樹種間差が及ぼす影響(2025): 手良沢山ステーション

長張 湧: 令和 6 年度信州大学農学部卒業論文: 産地流域における実測データに基づいた流出成分の分離と涵養域の推定(2025): 手良沢山ステーション

西津 章紀: 令和 6 年度信州大学農学部卒業論文: 信州大学伊那キャンパスにおけるアリ類群集と立地環境との関係—種特性を考慮した定量化による環境評価の検討—(2025: 構内ステーション)

荒瀬 輝夫, 吉澤 優理, 内田 泰三, 古野 正章: 切土のり面の低木林化にともなう陸生スゲ属植物相の変化, 日本緑化工学会誌, 50(2): 220-226(2024): 構内ステーション

Masamichi Yoshizawa, Teruo Arase: Growth and germination characteristics of three Akebia liana species for revegetation, International Journal of GEOMATE, 28(Issue 126): 118-125(2025): 構内ステーション, 西駒ステーション

荒瀬 輝夫, 吉澤 優理: クコ果実の形態の系統間および年次間差異, 信州大学農学部 AFC 報告, 23: 1-10(2025)

荒瀬 輝夫, 小林 元, 宮本 裕美子: 台風の接近にともなう野外実習開講の可否の判断について, 信州大学農学部 AFC 報告, 23: 9-24(2025)

荒瀬 輝夫, 内田 泰三, 古野 正章: 小標本の場合の連の数による検定について, 環境科学年報 (信州大学), 47: 1-10(2025)

吉澤 優理: アケビ属植物 3 種の外部形態および繁殖・生育特性についての種間差の解明, 信州大学農学部修士学位論文 (2025): 構内ステーション, 西駒ステーション

加藤 泰造: 木曾山脈小黒川流域におけるつる植物の垂直分布, 信州大学農学部専攻研究論文 (2025): 西駒ステーション

高橋 葵: 食用ナッツ類としてみたツノハシバミの形態的変異—地域間および個体内における葉形の変異—, 信州大学農学部専攻研究論文(2025): 西駒ステーション

福島 綾乃: マタタビの正常果と虫えい果における成長過程の比較, 信州大学農学部専攻研究論文 (2025): 構内ステーション

大井川 和心, 小田 あゆみ, 香川 聡, 安江 恒: スギにおける非構造的炭水化物の配分量の経時変化からみた春の光合成生産物の貯蔵動態, 第 75 回日本木材学会大会, 仙台国際センター: (2025): 構内ステーション

山本 陽太, 渡辺 陽子, 大野 泰之, 安江 恒: カラマツにおける異なる時期の摘葉が幹肥大成長および樹体内の各器官への光合成産物の配分に与える影響, 第 75 回日本木材学会大会, 仙台国際センター: (2025): 手良沢山ステーション

FENG YUWEI: 標高によるミズナラとブナの肥大成長と気候要素との関係, 信州大学農学部専攻研究論文 (2025): 西駒ステーション

大井川 和心: スギにおける非構造的炭水化物の配分量の経時変化からみた春の光合成生産物の貯蔵動態, 信州大学農学部専攻研究論文 (2025): 構内ステーション

山本 陽太: 樹木における失葉による光合成産物配分の変化を探る, 信州大学大学院総合理工学研究科修士論文: (2024): 西駒ステーション

樋熊 葉, 三浦 航志郎, 船津 創平, 鈴木 悠花, 高橋 和寿, 升本 宙: 信州大学農学部西駒演習林で採取された大型菌類, 信州大学農学部 AFC 報告, 23: 25-48(2025): 西駒演習林

樋熊 葉: 西駒演習林および木曾駒ヶ岳稜線の大規模菌類相調査, 信州大学農学部専攻研究論文 (2025): 西駒演習林

静岡大学

農学部附属地域フィールド科学教育研究センター

- Takayama, S., Karasawa, R., Imaizumi, F.: Depth-averaged mixture model for development processes of debris flows over a steep unsaturated mobile bed, *Landslides*, 21, 1173–1187 (2024): 演習林外
- Oya, S., Imaizumi, F., Takayama, S.: Field monitoring of pore water pressure in fully and partly saturated debris flows at Ohya landslide scar, Japan, *Earth Surface Dynamics*, 12, 2, 67–86 (2024): 演習林外
- Ballesteros-Cánovas, J. A., Kariya, Y., Imaizumi, F., Machado, A. M. T., Nishii, R., Matsuoka, N., Stoffel, M.: Debris-flow activity in the Japanese Alps is controlled by extreme precipitation and ENSO – evidence from multi-centennial tree-ring records, *Global and Planetary Change*, 231, 104296 (2023): 演習林外
- Satgada, C. P., Egusa, T., Yamakawa, Y., Imaizumi, F.: Forest harvesting affects soil organic carbon and total nitrogen transports by facilitating landslides, *Catena*, 233, 107517 (2023): 演習林外
- Imaizumi, F., Oya, S., Takayama, S.: Initiation and runout characteristics of partially saturated debris flows in Ohya landslide scar, Japan, *Proceedings of 8th International Conference on Debris Flow Hazard Mitigation*, 03013 (2023): 演習林外
- Takayama, S., Hayashi, N., Imaizumi, F.: Experimental study on the effects of local sediment accumulation on a debris flow surge in a steep channel, *Proceedings of 8th International Conference on Debris Flow Hazard Mitigation*, 01026 (2023): 演習林外
- Hanya G, Ohta T, Kurihara Y, He T, Sawada A, Shiroishi I, Kinoshita K.: Mineral acquisition of Japanese macaques: contents in the foods, digestibility and sodium-provisioning experiment, *American Journal of Primatology*, 85(7): e23502(2023): 演習林外
- Kurihara Y.: Scavenging on a carcass of sika deer by introduced raccoon dogs (*Nyctereutes procyonoides*) in spring: a case report in the World Heritage Site of Yakushima Island, Japan, *Mammal Study*, 48(4): 289-295(2023): 演習林外
- Hanya G, Yoshihiro SI, Yamamoto H, Ueda Y, Kakuta F, Hiraki M, Otani Y, Kurihara Y, Kondo Y, Hayaishi S, Honda T, Takakuwa T, Koide T, Sugaya S, Yokota T, Jin S, Shiroishi I, Fujino M, Tachikawa Y.: Two-decade changes in habitat and abundance of Japanese macaques in primary and logged forests in Yakushima: Interim report, *Forest Ecology and Management*, 545: 121306(2023): 演習林外
- 栗原 洋介: 自動撮影カメラで確認された静岡大学演習林周辺(浜松市・川根本町)の哺乳類相, *東海自然誌*, 17: 39-51(2024): 天竜ブランチ・南アルプスブランチ
- 遠藤 圭太, 織部 雄一朗, 北山 朋裕, 村田 崇真, 吉井 嘉子, 横谷 みどり, 花岡 創, 松下 通也, 長谷部 辰高, 玉城 聡, 倉本 哲嗣, 山田 浩雄: 飲料用ペットボトルを再利用した絶滅危惧種オガサワラグワの培養苗の馴化, *日本森林学会誌*, 106: 7-12 (2024): 演習林外
- NAKADA, R., HANAOKA, S., OHSAKI, H., MURAKAMI, S., AKUTSU, H.: Intrafamily variation of grain spirality in a control-pollinated family of hybrid larch, *森林総合研究所研究報告*, 23: 1-11 (2024): 演習林外
- 石塚 航, 成田 あゆ, 今 博計, 米沢 美咲, 来田 和人, 中田 了五, 加藤 一隆, 生方 正俊, 花岡 創: 北海道東部太平洋側地域におけるトドマツ優良個体の新規選抜, *北海道林業試験場報告*, 61: 11-21 (2023): 演習林外
- 遠藤圭太, 花岡創, 松下通也, 生方正俊, 山田浩雄: 細胞外凍結するシラカンバ冬芽の超低温保存, *低温生物工学会誌*, 69: 53-56 (2023): 演習林外
- 武津 英太郎, 長谷部 辰高, 花岡 創: 深層学習を用いた培地上でのスギ花粉発芽の自動分類手法の検討, *関東森林研究*, 74: 149-150 (2023): 演習林外
- Gan, Y., Wang, Q., Song, G.: Non-destructive estimation of deciduous forest metrics: comparisons between UAV-LiDAR, UAV-DAP, and terrestrial LiDAR leaf-off point clouds using two QSMs. *Remote Sensing*, 16, 697. (2024): 中川根演習林
- Song, G., Wang, Q.: Species classification from hyperspectral leaf information using machine learning approaches. *Ecological Informatics*, 76, 102141 (2023): 中川根演習林
- Song, G., Wang, Q., Jin, J.: Fractional-order derivative spectral transformations improved partial least squares regression estimation of photosynthetic capacity from hyperspectral reflectance. *IEEE Transactions on Geoscience and Remote Sensing*, 61, 5510110 (2023): 中川根演習林
- Gan, Y., Wang, Q., Matsuzawa, T., Song, G., Iio, A.: Multivariate regressions coupling colorimetric and

textural features derived from UAV-based RGB images can trace spatiotemporal variations of LAI well in a deciduous forest. *International Journal of Remote Sensing*,44(15),4559-4577 (2023): 中川根 演習林

上野美桜, 上村真由子, 韓 慶民, 飯尾淳弘: 積雪が有機物の分解速度と分解者微生物に与える影響. *関東森林研究* 75/1 35-38 (2024): 演習林外

Takaki Aihara, Kyoko Araki, Ragini Sarmah, Yihan Cai, Aye Myat Myat Paing, Susumu Goto, Yoko Hisamoto, Haruhiko Taneda, Nobuhiro Tomaru, Kosuke Homma, Masahiro Takag, Toshiya Yoshida, Atsuhiko Iio, Dai Nagamatsu, Hajime Kobayashi, Mitsuru Hirota and Yoshihiko Tsumura. Climate-related variation in leaf size and phenology of *Betula ermanii* in multiple common gardens, *Journal of Forest Research* 29/1 62-71 (2023 年): 演習林外

Aihara T, Araki K, Onuma Y, Cai Y, Paing AMM, Goto S, Hisamoto Y, Tomaru N, Homma K, Takagi M, Yoshida T, Iio A, Nagamatsu D, Kobayashi H, Hirota M, Uchiyama K, Tsumura Y. Divergent mechanisms of reduced growth performance in *Betula ermanii* saplings from high-altitude and low-latitude range edges. *Heredity* 131/ 387-397 (2023 年): 演習林外

## 日本大学

### 生物資源科学部演習林

百田 楓太, 山崎 俊, 安部 哲人: コナラ苗におけるツリーシェルターの効果, *関東森林研究*, 76: 37-40(2025): 藤沢演習林

山崎 俊, 百田 楓太, 安部 哲人: ツリーシェルターによるクヌギ苗への成長促進効果の検討とコナラとの比較, *関東森林研究*, 76: 41-44(2025): 藤沢演習林

Hashizume A, Koda R, Nakashima Y: Infection risk associated with carnivore carcasses may govern trophic interactions between maggots and insectivorous passerine birds, *Biology Letters*, 20: 20240069(2024): 八雲演習林

Nakashima Y, Hashizume A, Kanda A: A statistical approach to assess interspecific consumptive competition and functional redundancy in ephemeral resource uses using camera traps, *Ecology and Evolution*, 14: e70031(2024): 八雲演習林

橋詰 茜: 病原体感染リスクが支配する種間相互作用: 死肉目死体をモデルとして, 日本大学大学院生物資源科学研究科博士論文(2025): 八雲演習林

中島 啓裕, 橋詰 茜: 動物の死体は誰が食べるのか? - 感染リスクが支配する生物間相互作用, *科学*, 94(12): 1086-1090(2024): 八雲演習林

杉浦 克明, 大石 康彦, 山田 亮: 野外教育研究者がみる演習林の活用方法 - 日本大学藤沢演習林の事例一, *関東森林研究*, 76: 9-12(2025): 藤沢演習林

山田 陸, 小坂 泉, 佐々木 大和, 鈴木 実蓉, 千本松 武秀, 早川 大, 前野 遥希, 岡 優太, 瀧澤 英紀: 冷温帯と暖温帯に植栽されたブナ個葉のガス交換特性の環境応答, *関東森林研究*, 76: 125-128(2025): 水上演習林、藤沢演習林

松倉 君予, 深谷 美羽, 上村 真由子, 太田 祐子: 菌従属栄養植物ギンリョウソウモドキの鱗片葉に内生する菌類群集, *関東森林研究*, 76: 153-156(2025): 水上演習林

岩田 雄大: 日本大学藤沢演習林における変形菌おおよび発生基物の選好性, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 藤沢演習林

國分 菜美: iPad 3D スキャンを用いた枯死木の現存量と分解速度の推定, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 藤沢演習林

小林 凌大: 樹木根や菌根菌が土壌中の木質有機物の分解速度に与える影響, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 水上演習林

染田 昌哉: 藤沢演習林と栃木県小山運動公園における抜け殻によるセミ類の生息環境の解明, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 藤沢演習林

西 新: スギ材の分解初期における水溶性の糖が分解者の呼吸活性や分解速度に与える影響, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 水上演習林

野中 拓磨: ブナの材と落葉の分解時の微生物の呼吸活性の年々変化とその制御要因について, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 水上演習林

百田 楓太: コナラ (*Quercus serrata*) 苗におけるツリーシェルターの効果 ~成長量と気温~, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 藤沢演習林

- 山岸 勇太: 2種類のライトトラップを用いた藤沢演習林の走光性昆虫相の解明, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 藤沢演習林
- 山口 祐一郎: 藤沢演習林における外来種トウネズミモチ (*Ligustrum lucidum*) の繁殖特性から見た管理対策, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 藤沢演習林
- 山岸 俊: ツリーシェルターによるクヌギへの成長促進効果およびコナラとの比較, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 藤沢演習林
- 山本 陸: 藤沢演習林におけるスズメバチ類および有剣類の種構成, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 藤沢演習林
- 吉田 完知: ツクサの形質の可塑性と都市化の影響, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 藤沢演習林
- 羽部 優衣: 中大型哺乳類の個体数モニタリングの効率化, 日本大学大学院生物資源科学研究科修士論文(2025): 君津演習林
- 秋田 梨湖: 日本大学藤沢演習林と桜山公園の‘冬桜’健全若齢枝の内生菌の比較, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 藤沢演習林
- 加藤 洋樹: 日本大学藤沢演習林のナラ枯れ被害を受けたコナラに発生したオオミコブタケの調査, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 藤沢演習林
- 森井 駿斗: 藤沢演習林の大型菌類相調査, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 藤沢演習林
- 戸田 凜太: 冬虫夏草カメムシタケおよびオサムシタケの培養方法の確立, 日本大学生物資源科学部森林学科卒業論文(2025): 藤沢演習林
- 平野 達也, 安部 鉄雄, 池田 朋弘, 池田 秀子, 小野寺 佳郎, 後藤 直樹, 深澤 延弘, 宮治 悠介, 角田 章子, 太田 祐子: コナラ穿入生存木の倒木を引き起こす腐朽病害の特徴, 樹木医学会第29回大会 2024年11月17日: 藤沢演習林

## 東京農業大学

### 地域環境科学部奥多摩演習林

- Takekoshi N, Fujitani A, Ohnishi N, Kozakai C, Koike S, Yamazaki K: Factors affecting body weight fluctuation in free-ranging Asian black bears, *Ursus* 35: article e21(2024): 栃木県
- 斎藤 梨絵, 神田 幸亮, 玉置 雅紀, 小松 仁, 根本 唯: メタバーコーディング法に基づく福島県のツキノワグマの食性解析. *福島生物* 67: 1-6(2024): 福島県

## 名古屋大学

### 大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター稲武・設楽フィールド

- T. Aihara, K. Araki, R. Sarmah, Y. Cai, A.M.M. Paing, S. Goto, Y. Hisamoto, H. Taneda, N. Tomaru, K. Honma, M. Takagi, T. Yoshida, A. Iio, D. Nagamatsu, H. Kobayashi, M. Hirota, Y. Tsumura: Climate-related variation in leaf size and phenology of *Betula ermanii* in multiple common gardens, *Journal of Forest Research*, 29: 62-71(2024): 設楽フィールド
- Q. Gong, D. Aoki, M. Yoshida, K. Fukushima: Microscopic distribution of taxanes in freeze-fixed stems of *Taxus cuspidate*, *Frontiers in Chemistry*, 12: 1437141(2024): 稲武フィールド
- Rui Kajita, Hisashi Kajimura: Wood mice utilize understory vegetation of leafless dead dwarf bamboo culms as a habitat and foraging site, *Diversity*, 16: 10.3390/d16080458 (2024): 稲武フィールド
- Ryu Takagi and Hisashi Kajimura: Ecological traits of three species of Xiphydria woodwasps from Japan: Host tree species and eggs, symbiotic fungi, and mucus in their bodies, *Forests*, 16: 264 <https://doi.org/10.3390/f16020264>(2025): 稲武フィールド
- Hao Zhao, Reiji Suzuki, Kazuhiro Nakadai, Takaya Arita: Comparing generative models in constructing evolutionary models of bird vocalizations, 第66回 AI チャレンジ研究会予稿集 (SIG-Challenge-066-09), 46-54(2024): 稲武フィールド
- Q. Gong, D. Aoki, E. Mishiro-Sato, M. Yoshida, N. Takabe, H. Takabe, K. Fukushima: Proteomics analysis of specific alkaloid-containing tissues in *Phellodendron amurense*, *ISWST2025*: (2025): 稲武フィールド
- Q. Gong, D. Aoki, E. Mishiro-Sato, M. Yoshida, N. Takabe, H. Takabe, K. Fukushima: Localized

- proteomics analysis of alkaloid-containing tissues in *Phellodendron amurense*, 第8回京都生体質量分析研究会・第3回天然香気研究会 合同国際シンポジウム: (2025): 稲武フィールド
- Gong Qinyue: (招待講演) クライオ二次イオン質量分析と顕微分取で挑むメタボロプロテオミクス, 第28回日本質量分析学会中部談話会: (2025): 稲武フィールド
- Q. Gong, D. Aoki, M. Yoshida, N. Takabe, H. Takabe, E. Mishiro-Sato, K. Fukushima: Seasonal variations of tissue-specific distribution of alkaloids in the freeze-fixed stems of *Phellodendron amurense*, 第24回アジア農科系大学連合(AAACU)隔年会議: (2024): 稲武フィールド
- Q. Gong, D. Aoki, M. Yoshida, N. Takabe, H. Takabe, E. Mishiro-Sato, K. Fukushima: Seasonal variations of tissue-specific distribution of alkaloids in the freeze-fixed stems of mature *Phellodendron amurense*, 20th Annual Conference of the Metabolomics Society, Metabolomics 2024: (2024): 稲武フィールド
- 橋本 侑飛, 今井 貴規: スギにおける植物ホルモンの心材成分生合成への関与, 第75回日本木材学会大会: (2025): 稲武フィールド
- 橋本 侑飛, 今井 貴規: スギにおける心材成分生合成のモデル的検証, 樹木抽出成分研究交流会: (2024): 稲武フィールド
- 伊藤 小太郎, 山本 一清: 地上・航空レーザスキャナによる沢地形把握状況の比較, 第14回中部森林学会大会: (2024): 稲武フィールド
- 松川 悌己, 八木 貴大, 稲垣 哲也, 今井 貴規: 木材の DART(Direct Analysis in Real Time)-MS 分析とケモメトリックス解析, 2024年度日本木材学会中部支部大会: (2024): 稲武フィールド
- 松川 悌己, 稲垣 哲也, 今井 貴規: 木材の DART(Direct Analysis in Real Time)-MS 分析とケモメトリックス解析, 第75回日本木材学会大会: (2025): 稲武フィールド
- Motoki Ohashi, Dan Aoki, Masato Yoshida, Yasuhiro Hirano, Kazuhiko Fukushima: Lignin and suberin chemical structures of the bark and the root bark of *Cryptomeria japonica*, The 2nd International Lignin Symposium: (2024): 稲武フィールド
- 大橋 基希, 青木 弾, 吉田 正人, 平野 恭弘, 福島 和彦: スギの樹皮・根皮におけるリグニンおよびスベリンの構造解析, 第75回日本木材学会: (2025): 稲武フィールド
- 大槻 峻介, 島田 博匡, 山本 一清: 時系列 UAV 空撮画像による間伐域抽出, 第14回中部森林学会大会: (2024): 稲武フィールド
- 齋藤 敦, 梅澤 有, 吉岡 篤司, 新川 颯輝, 吉田 智弘: 針葉樹人工林における節足動物群集とそれらの栄養構造, 第72回日本生態学会大会: (2025): 稲武フィールド
- 鈴木 麗璽, Hao Zhao: 野鳥歌分析ソフトウェア HARKBird チュートリアル, 第23回 HARK 講習会: (2024): 稲武フィールド
- 山本 一清: 森林情報の DX 化と CO2 吸着量について, 人とくるまのテクノロジー展 2024 NAGOYA, Aichi Sky Expo: (2024): 稲武フィールド
- 山岡 祐登: 山地溪流における水温の空間的変動特性の評価, 第14回中部森林学会大会: (2024): 稲武フィールド
- 山岡 祐登, 五味 高志, 小谷 亜由美: 降雨流出プロセスを考慮した山地流域の溪流水温変動特性の評価, 第136回日本森林学会大会: (2025): 稲武フィールド
- 柳瀬 亮太, 谷川 東子, 杵山 哲矢, 黒見 信輔, 金子 祥也, 林 亮太, 山瀬 敬太郎, 藤堂 千景, 池野 英利, 大橋 瑞江, 檀浦 正子, 平野 恭弘: 表層から深さ1.5mまでの土壌炭素及び窒素濃度の変化がスギ細根形態に与える影響, 第59回根研究集会: (2024): 稲武フィールド
- 柳瀬 亮太, 谷川 東子, 藤堂 千景, 里見 信輔, 金子 祥也, 山瀬 敬太郎, 池野 英利, 大橋 瑞江, 檀浦 正子, 杵山 哲矢, 林 亮太, 平野 恭弘: 表層から個体根系最深部までの土壌物理化学特性の変化がスギ細根形態に与える影響, 第60回根研究集会: (2024): 稲武フィールド
- 柳瀬 亮太, 谷川 東子, 藤堂 千景, 黒見 信輔, 金子 祥也, 吉田 陽向, 池野 英利, 大橋 瑞江, 山瀬 敬太郎, 檀浦 正子, 林 亮太, 平野 恭弘: 深さ1mまでのスギ細根次数別形態特性—根系掘取法と断面スキャナ法の比較, 第136回日本森林学会大会: (2025): 稲武フィールド
- Ryu Takagi and Hisashi Kajimura: Ecological traits of three species of *Xiphydria* woodwasps from Japan: Host tree species and eggs, symbiotic fungi and mucus found in their bodies, 27th International Congress of Entomology (ICE2024 Kyoto): (2024): 稲武フィールド
- 柴山 潤太, 梶村 恒: 都市公園に生息するヒヨドリ繁殖環境: なわばりの数と面積からみた選好性, 日本鳥学会 2024年度大会: (2024): 稲武フィールド

- 市岡 幸雄, 梶村 恒: モリアオガエルの地上産卵を誘発する環境要因はなにか?, 日本爬虫両棲類学会第 63 回姫路大会: (2024): 稲武フィールド
- 澤入 健太, 杉浦 公亮, 大谷 忠興, 梶村 恒: 山地源流域に生息するネバタゴガエルの水域環境利用様式の解明: 中部地方固有種の保全をめざして, 第 14 回中部森林学会大会: (2024): 稲武フィールド \*学生発表奨励賞受賞
- 中山 直紀, 梶村 恒: 樹木穿孔性昆虫の繁殖に及ぼす揮発性物質の影響: 高濃度エタノールを注入したスギ・ヒノキ伐倒丸太に誘引される昆虫は何か, その穿孔様式はどのように変化するのか?, 2024 年度生態学会中部地区大会: (2024): 稲武フィールド
- Yukio Ichioka, Hisashi Kajimura: Cameras caught forest food chain: Predators and predation pressure in arboreal and terrestrial eggs of Forest Green Treefrog, 第 72 回日本生態学会大会: (2025): 稲武フィールド
- Rui Kajita, Hisashi Kajimura: Foraging strategies of wood mice for insect-infested chestnut acorns: Do mice change their behavior depending on the type of insect infestation?, 第 72 回日本生態学会大会: (2025): 稲武フィールド
- 澤入 健太, 梶村 恒: ネバタゴガエル幼生の飼育実験: 食わずに成長できるオタマジャクシの伝説は本当か?, 第 72 回日本生態学会大会: (2025): 稲武フィールド
- 鈴木 華実, 梶村 恒: スズタケ実生の成長とそれに影響する外的因子: 有性繁殖後 6 年間の調査に基づく解析, 第 72 回日本生態学会大会: (2025): 稲武フィールド
- 高木 隆, 梶村 恒: クビナガキバチ科昆虫-菌類共生系における寄主木選好性の実証: 菌糸成長の樹種間比較, 第 72 回日本生態学会大会: (2025): 稲武フィールド
- 森脇 佑太, 土岐 和多瑠: 枯死木の腐朽進行に伴う材食性昆虫の変化~スギ・ヒノキの幹と根の比較~, 第 72 回日本生態学会大会: (2025): 稲武フィールド
- 安部 琴子, 柴山 潤太, 梶村 恒: 森林の階層構造と鳥類相の関係: とくにカラマツ・広葉樹混交林分に着目して, 第 136 回日本森林学会大会: (2025): 稲武フィールド
- 柴山 潤太, 安部 琴子, 梶村 恒: 林相の違いや間伐が森林性鳥類群集に及ぼす影響: 30 年前と最近 3 年の比較, 第 136 回日本森林学会大会: (2025): 稲武フィールド
- 中山 直紀, 梶村 恒: エタノール注入スギ丸太による養菌性キクイムシの誘引: 穿入孔の分布解析, 第 136 回日本森林学会大会: (2025): 稲武フィールド
- 野口 楓華, 升屋 勇人, 梶村 恒: クリタマバチの虫えいとその周辺枝葉の菌相: 微小分布と幼虫成長に伴う変遷, 第 136 回日本森林学会大会: (2025): 稲武フィールド \*学生ポスター賞受賞
- 山岡 祐登: 降雨流出プロセスを考慮した山地流域の渓流水温変動特性の評価, 2024 年度名古屋大学農学部卒業論文: (2025): 稲武フィールド
- 東野 誠門: 山地源流部における水生昆虫群集と落葉落枝の関係, 2024 年度名古屋大学農学部卒業論文: (2025): 稲武フィールド
- 宮下 明里: ハナカミキリー-酵母共生系が枯死木内の菌叢に与える影響, 2024 年度名古屋大学農学部卒業論文: (2025): 稲武フィールド
- 橋本 侑飛: スギ辺材における抽出成分生合成誘導に関する研究, 2024 年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2025): 稲武フィールド
- 木俣 朱理: 土壌炭素貯留と植物生育に対するバイオ炭の施用効果, 2024 年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2025): 設楽フィールド
- 齋藤 敦: 針葉樹人工林における林冠節足動物食物網への腐食補助, 2024 年度東京農工大学大学院農学府修士論文: (2025): 稲武フィールド
- Yanase R: Depth-specific fine root traits within the root system of *Cryptomeria japonica* in different soil environments, Master's thesis of Environmental Studies, Nagoya University: (2025): 稲武フィールド
- 柴山 潤太: 山地と都市の緑域環境が森林性鳥類に及ぼす影響, 2024 年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2025): 稲武フィールド
- 高木 隆: クビナガキバチ科昆虫-菌類共生系の多様性と材部における養菌性キクイムシとの競合利用, 2024 年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2025): 稲武フィールド
- 森脇 佑太: 枯死木の腐朽の進行に伴う材依存性昆虫群集の遷移, 2024 年度名古屋大学大学院生命農学研究科修士論文: (2025): 稲武フィールド

Gong Qinyue: Seasonal variations of microscopic distribution of alkaloids in plants, 2024 年度名古屋大学大学院生命農学研究科博士論文: (2025):稲武フィールド  
市岡 幸雄:モリアオガエルにおける樹上-地上間の産卵場所選択の適応的意義と食物連鎖との関係, 2024 年度名古屋大学大学院生命農学研究科博士論文: (2025):稲武フィールド  
梶田 瑠依:森林性ネズミによるクリ堅果の状態に応じた採餌戦略の行動生態学的研究, 2024 年度名古屋大学大学院生命農学研究科博士論文: (2025):稲武フィールド

### 岐阜大学

#### 応用生物科学部附属フィールド科学教育研究センター位山演習林および柳戸試験林

加藤 雅悠, 井手 淳一郎, 大西 健夫, 篠塚 賢一:周辺環境や樹種の違いが森林への窒素沈着量に与える影響の評価, 第 136 回日本森林学会大会 (札幌,2025 年 3 月) ポスター発表 PI-4:位山演習林  
船津 沙月, 中森 さつき, 野澤 秀倫, 安藤 正規:積雪深は同所的に生息するニホンジカとカモシカの冬期生息地利用にどのような影響をあたえるか, 日本哺乳類学会 2024 年度大会 (神戸,2024 年 9 月) ポスター発表 P142:位山演習林  
植村 早詠, 吉田 理紗, 藤垣 遼大, 野澤 秀倫, 安藤 正規:ニホンジカによるクマイザサ群落衰退地点の地形的特徴について, 第 14 回中部森林学会大会(伊那,2024 年 11 月)口頭発表 403: 位山演習林  
田中 隆史, 中森 さつき, 安藤 正規:ニホンジカが樹木の实生に与える影響とその要因, 第 14 回中部森林学会大会 (伊那,2024 年 11 月) 口頭発表 405:位山演習林  
安中 美咲, 山田 雄作, 安藤 正規:カモシカにおける GPS 首輪データを用いた行動圏推定手法の比較, 第 10 回山岳科学学術集会・第 29 回「野生生物と社会」学会合同大会 (静岡,2024 年 12 月) ポスター発表 P-10:位山演習林  
吉田 理紗, 中森 さつき, 藤垣 遼大, 野澤 秀倫, 植村 早詠, 安藤 正規:クマイザサ衰退地点から推定したニホンジカの冬季生息地選択, 第 136 回日本森林学会大会 (札幌,2025 年 3 月) ポスター発表 PL-5:位山演習林  
田中 隆史, 中森 さつき, 安藤 正規:ニホンジカが樹木の实生に与える影響とその要因, 第 136 回日本森林学会大会 (札幌,2025 年 3 月) ポスター発表 PL-7:位山演習林  
中森 さつき, 安藤 正規: 航空レーザ測量データを用いた下層植生衰退地点の検出, 第 136 回日本森林学会大会 (札幌,2025 年 3 月) ポスター発表 PL-28:位山演習林

### 三重大学

#### 大学院生物資源学研究科附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設演習林

Iori Onoda, Yuki Fuchigami, Takahisa Nakai: Quantitative Evaluation of GHG Emissions from Hardwood Furniture in Japan and the Effect of Using Domestic Hardwoods, Buildings, 14(4): 1130 (2024) :  
Hayato Saito, Takahisa Nakai, Keisuke Toba, Toru Kanbayashi: Effect of desuberization and delignification on the cork cell walls of *Cerasus jamasakura* (Siebold ex Koidz.) H. Ohba using FTIR spectroscopy and microscopic observation, BioResources 19(3):5129-5140 (2024) :平倉演習林  
Takafumi Mizuno, Daichi Kondo, Hiroto Kasai, Jun Yamashita, Takuro Ito, Yoshinori Murai, Antony van der Ent, Atsushi Hashimoto, Toshihiro Watanabe: Effects of soil and phylogeny on sulfur and phosphorus concentrations in wild plants on volcanic and non-volcanic soils in Japan., Soil Science and Plant Nutrition, 70, 424-434 (2024) :平倉演習林  
Hayato Saito, Takahisa Nakai, Keisuke Toba, Toru Kanbayashi: Effects of the Presence of Suberin in the Cork of *Cerasus jamasakura* (Siebold ex Koidz.) H. Ohba on the High Toughness Behaviour, Buildings 14(8):2411 (2024):平倉演習林  
Takafumi Mizuno, Daichi Kondo, Hiroto Kasai, Kosuke Kuwabara, Jun Yamashita, Yoshinori Murai, Antony van der Ent, Atsushi Hashimoto, Toshihiro Watanabe: Concentrations and inter-element correlations of seven essential elements in wild plants of Japan., Ecological Research,39, 941-956(2024) :平倉演習林  
Takeshi Torimaru, Hinako Ao, Yasuaki Akaji, Shinji Akada, Yasunori Ohmiya, Yosuke Matsuda, Hiromitsu Kisanuki, Nobuhiro Tomaru: Mining differentially expressed genes in *Fagus crenata* seedlings in response to short - term soil drought stress, Plant Species Biology, 40:254-265 (2025) :福井県,

### 三重県

- Indra Fardahani, Yudai Kitagami, Takeshi Torimaru, Hiromitsu Kisanuki: Effect of host tree site conditions of *Schima wallichii* on vertical structure of epiphytic orchid community Biodiversitas, Journal of Biological Diversity 26(2):715-722 (2025) : West Java, Indonesia
- 田中 紅羽, 板谷 明美, 木佐貫 博光: 大台ヶ原東部における森林衰退: 空中写真による局所的な森林面積の変動, 中部森林研究 72:30-33 (2024) : 大台ヶ原
- 伊神 飛鳥, 吉井 達樹, 沼本 晋也, 松村 直人: 航空レーザデータと UAV 空中写真を用いたスギ人工林における風倒木抽出と特徴量解析, 中部森林研究 72:7-10 (2024) : 平倉演習林
- 外園 哲太, 鳥丸 猛, 板谷 明美, 松村 直人: 三重県野登山におけるブナ天然林の現状について, 中部森林研究 72:34-39 (2024) : 三重県, 平倉演習林
- 末永 和, 板谷 明美, 中田 知沙: 暑熱環境の許容基準にもとづいた森林作業の分類, 中部森林研究 72:1-4 (2024) : 平倉演習林
- 市岡 利之, 岩永 青史, 小川 敬多, 河崎 泰了, 佐々木 康寿, 末定 拓時, 高井 香織, 福島 和彦, 澁上 佑樹, 柳田 智弘, 山崎 真理子, 山出 美弥: Woodcity—都市の木造木質化でつくる持続可能な社会—, 海青社:70-73, 76-78, 125-154 (2024) :
- 木佐貫 博光: 遺存する針葉樹林—地史を物語る痕跡の森. 日本森林学会編 (図説 日本の森林—森・人・生き物の多様なかわり—), 朝倉書店:32 (2025) : 三重県, 岩手県
- 的場 信敬, 平岡 俊一, 石倉 研, 風岡 宗人, 木原 浩貴, 斎藤 文彦, 豊田 陽介, 澁上 佑樹, 村田 和代: 脱炭素地域づくりを支える人材 : 日欧の実践から学ぶ, 日本評論社:109-128 (2025) :
- 宮藤 久士, 河本 晴雄, 梶田 真也, 亀井 一郎: バイオマス, 海青社:45-52 (担当) (2025) :
- 松村 直人: 森林計測技術の革新と森林計画の実際, 山林, 1688:15-23 (2025) : 平倉演習林
- 板谷 明美: 森林作業と熱中症, 三重の林業, 440:11-12 (2024) : 平倉演習林
- 沼本 晋也: 鈴鹿山系朝明川源流域の砂防と緑化～斜面山腹工と植生回復過程～, 三重の林業, 444:11-12 (2025) : 鈴鹿山系
- 北上 雄大: 21世紀に新たに発見された線虫による樹木病害～ブナの葉を枯らす線虫 in アメリカ～, 三重の林業, 445:11-12 (2025) : 平倉演習林
- 石丸 香苗, 澁上 ゆかり, 谷口 慎吾, 上須 道則, 澁上 佑樹: 西表島仲間川マングローブ林床の衰退状況について～利用を通じた資源管理 (第三報) ～, 第 34 回日本熱帯生態学会年次大会 (JASTE 34) 福井市 (2024) :
- 水野 隆文, 桑原 康輔, 安原 輝, 山下 純, 橋本 篤, 上野 大勢, 中村 進一, 渡部 敏裕: 植物標本と蛍光 X 線分析を用いた野生植物の元素集積傾向の解析 (6) 新規マンガン超集積性植物 (群) の発見とその元素集積傾向, 日本土壌肥料学会 2024 年度福岡大会 (2024) : 平倉演習林
- 村山 浩久, 芝原 淳, 神代 圭輔, 長島 啓子, 古田 裕三, 澁上 佑樹: ICT を活用した新たな木材流通 (京都モデル) の構築を目指した基礎的研究—原木の強度選別取引技術の導入による府内の木材加工流通に与える効果の検討, 第 42 回日本木材加工技術協会年次大会, 京都大学 (2024) :
- 中村 峻弥, 鳥丸 猛, 赤路 康朗, 赤田 辰治, 木佐貫 博光: ブナ当年生実生の 2～6 週間の土壌乾燥ストレスに対する生理的・形態的反応, 第 14 回中部森林学会講演要旨集:17, 信州大学 (2024) : 青森県, 福井県
- 山本 剛輝, 笹原 陽, 末永 和, 板谷 明美, 中田 知沙: 夏季の森林作業における発汗量と水分補給, 第 14 回中部森林学会講演要旨集:37, 信州大学 (2024) : 平倉演習林
- 笹原 陽, 山本 剛輝, 末永 和, 板谷 明美, 中田 知, 上尾 智洋, 山本 拓史, 上尾 京子, 小嶋 優人, 新田 昌臣: 森林内の暑熱環境と許容される森林作業, 第 14 回中部森林学会講演要旨集:37, 信州大学 (2024) : 平倉演習林
- 大橋 岬平, 石川 知明, 板谷 明美: 地形と年間伐採搬出材積 (事業量) を考慮した伐採搬出作業システムの検討, 第 14 回中部森林学会講演要旨集:37, 信州大学 (2024) : 三重県
- Hana Kojima, Yuki Fuchigami, Takahisa Nakai : Effect of different allocation methods in plywood manufacturing on assessing product GHG emissions, Eco Balance 2024, 仙台市 (2024) :
- 森 壮汰, 印南 秀彦, 鳥丸 猛, 木佐貫 博光: 防鹿柵内で被圧するササを 8 年間刈りしたトウヒ稚樹の 8 年後の生残と成長, 2024 年度日本生態学会中部地区大会講演要旨集:13, 三重大学

(2024) :大台ヶ原

- 中村 峻弥, 鳥丸 猛, 赤路 康朗, 赤田 辰治, 木佐貫 博光:ブナ当年生実生の間断給水をともなう土壌乾燥ストレスに対する生理的・形態的反応, 2024 年度日本生態学会中部地区大会講演要旨集:15, 三重大学 (2024) :青森県, 福井県
- 上尾 京子, 上尾 智洋, 山本 拓史, 小嶋 優人, 新田 昌臣:三重大学演習林におけるナラ枯れ病調査報告【第2報】, 令和6年度三重大学技術発表会報告集, 32:33-35, 三重大学 (2025) :平倉演習林
- Takafumi Mizuno, Daichi Kondo, Hiroto Kasai, Kosuke Kuwabara, Takuro Ito, Jun Yamashita, Yoshinori Murai, Atsushi Hashimoto, Toshihiro Watanabe: Concentrations and inter-element correlations of seven essential elements in wild plants of Japan, 日本生態学会 2024 年度札幌大会, 札幌市 (2025 年 3 月) :平倉演習林
- 村山 浩久, 芝原 淳, 神代 圭輔, 長島 啓子, 古田 裕三, 淵上 佑樹:ICT を活用した新たな木材流通(京都モデル)の構築を目指した基礎的研究ー京都府版アプリの活用現場における技術者の意識調査ー, 第75回日本木材学会大会, 仙台市:(2025)
- 中村 峻弥, 鳥丸 猛, 赤路 康朗, 赤田 辰治, 木佐貫 博光, 戸丸 信弘:土壌乾燥ストレスに対するブナ実生の発現変動遺伝子の産地間比較, 第136回日本森林学会大会講演要旨集:223, 北海道大学 (2025) :茨城県, 青森県
- 木佐貫 博光, 宮沢 良行, 熊谷 朝臣:大台ヶ原正木峠での森林衰退後に防鹿柵内で繁茂したササの樹液流速の推定, 第136回日本森林学会大会講演要旨集:234, 北海道大学 (2025) :
- 鳥丸 猛:野登山山頂におけるブナ林の現状と課題, 鈴鹿川等源流の森林づくり協議会講演, 亀山市青少年研修センター (2024) :三重県, 平倉演習林ほか
- 淵上 佑樹:木質系建材および木造建築物の環境影響評価に関する動向:第44回木材接着研究会講演会「サステナブルな接着技術と木材利用の最新動向」, オンライン (2024) :
- 沼本 晋也:身近で起こる土砂・地盤災害と対策, 三重大学アート・サイエンスフェスタ講演, 三重大学 (2024) :三重県ほか
- 沼本 晋也:令和6年能登半島地震による土砂災害・地盤災害, 令和6年度三重大学・防災アカデミー講演 能登半島地震から1年, 三重県総合文化センター (2025) :能登半島ほか
- 沼本 晋也:身近な地理の読み方 -防災にいかそう-, 三重防災塾オープンキャンパス, オンライン (2025) :三重県ほか
- 大橋 岬平:地形と年間伐採搬出材積(事業量)を考慮した伐採搬出作業システムの検討, 三重大学生物資源学部修士論文 (2025) :三重県
- 笹原 陽:森林内の暑熱環境と許容される森林作業, 三重大学生物資源学部卒業論文 (2025) :平倉演習林
- 山本 剛輝:森林作業における発汗量と水分補給の現状, 三重大学生物資源学部卒業論文 (2025) :平倉演習林
- 牧野 壮真:三重大学平倉演習林のスギ・ヒノキ人工林における森林クレジットの検討, 三重大学生物資源学部卒業論文 (2025) :平倉演習林
- 山口 航青:UAV 空中写真を利用した間伐確認と作業道判読, 三重大学生物資源学部卒業論文 (2025) :平倉演習林

## 京都大学

### フィールド科学教育研究センター

- Makino Soyoka, Tokuchi Naoko, Akaishi Daisuke, Koyama Lina A., Komai Yukio, Itaya Yoshimi, Maung Nay Lin, Ishimaru Kanae, Oda Tomoki, Shibata Rei, Numamoto Shinya: Citizen-participatory nationwide survey of mountain streamwater chemistry in Japan in 2022: Comparison of nitrate concentrations with the 2003 survey, Ecological Research, 40(3): 277-292(2024):
- Maung Nay Lin, Tokuchi Naoko, Komai Yukio, Shimadera Hikari, Chatani Satoru: The influence of on stream nitrate concentrations in forested watersheds of Miyazaki prefecture, Japan, 21st IWA International Conference on Diffuse Pollution and Eutrophication, (-): -(2024):
- Nay Lin Maung, Naoko Tokuchi, Yukio Komai: Assessing Nitrate Dynamics and Environmental Drivers in Mountain Streams of Kyushu Main Island, Japan, 第136回日本森林学会大会, (-): -(2025):

- 堀沢 栄, 石山 菜々子, 酒井 佳美, 上村 真由子, 鶴川 信, 徳地 直子, 稲垣 哲也: 森林地下環境における木材分解に関係する微生物群集構造の解析—群馬および京都試験地の比較—, 第 75 回木材学会, (-): -(2025): 芦生研究林
- 諸橋 佑星, 北原 壮恭, 長谷川 尚史, 徳地 直子: バックバック型 LiDAR と ULS を用いた地形測量における下層植生の影響, 第 136 回日本森林学会大会, (-): -(2025):
- 遠田 実礼, 徳地 直子, 原田 充, 久保 昌之: 産学連携によるネイチャーポジティブの試み: 地表徘徊性昆虫相から環境の多様性を測る, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025):
- 久保 昌之, 小山 里奈, 吉岡 俊彦, 原田 充, 徳地 直子: 産学連携によるネイチャーポジティブの試み: 工場緑地で土壤微生物の代謝機能を測る, 日本生態学会第 72 回全国大会, (-): -(2025):
- 赤石 大輔, 横部 智浩, 久保 昌之, 餅田 琉羽, 原田 充, 徳地 直子: 産学連携によるネイチャーポジティブの試み: 工場緑地の大気から菌類の多様性を測る, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025):
- Hatano Yuki, Matsuoka Shunsuke, Doi Hideyuki, Tateno Ryunosuke, Hasegawa Motohiro, Osono Takashi: Evaluation of the persistence of *Epichloë* endophyte and its possible effect on fungal assemblages in dead leaf sheaths, *Fungal Biology*, 128(8 Part A): 2325-2332(2024):
- Nakamura Masahiro, Terada Chisato, Ito Kinya, Hiura Tsutomu, Shibata Hideaki, Miki Takeshi, Saitoh Taku M., Takagi Masahiro, Hougou Toshiyuki, Matsuzaki Shin-ichiro S., Watanabe Mirai, Tado Hiroyuki, Hotta Norifumi, Kosugi Yoshiko, Aiko Nobuyuki, Kojima Nagahiro, Katagiri Nana, Kishimoto Koji, Yoshida Tomohiro, Tsunoda Yuuki, Takamiya Tatsumi, Ito Kosuke, Utsumi Yasuhiro, Yoshikawa Tetsuro, Kenta Tanaka, Oda Miho, Agetsuma Naoki, Kawai Masataka, Fujita Toru, Hishi Takuo, Shimada Hiromasa, Ichie Tomoaki, Hoshizaki Kazuhiko, Kobayashi Hajime, Seino Tatsuyuki, Noguchi Mahoko, Nagamatsu Dai, Saito Haruo, Tateno Ryunosuke, Ishihara Masae Iwamoto, Kitagawa Yoichiro, Hisamoto Yoko, Homma Kosuke, Hirao Toshihide, Otani Tatsuya, Toda Motomu, Terada Jinshi, Kume Tomonori, Fukuzawa Karibu, Takashima Atsushi, Kurose Koki, Fujii Sakae, Itoh Shunsuke, Ohta Tamihisa, Otsuki Kazuhiko, Nagaike Takuo, Hasegawa Kyohei, Makoto Kobayashi, Shirahata Manabu, Matsuki Sawako, Hatanaka Masayuki, Suzuki Satoshi, Muro Noriyuki, Yamoto Tomoyuki, Adachi Naoyuki, Kaneko Nobuhiro, Yamashita Tamon: Physiological profiling of the soil microbe community using the EcoPlate and assessment of soil properties at 74 planted forest sites across Japan, *Ecological Research*, 40(2): 228-242(2024): 芦生研究林、北海道研究林標茶区
- Wang Haocai, Wang Hang, Crowther Thomas W, Isobe Kazuo, Reich Peter B, Tateno Ryunosuke, Shi Weiyu: Metagenomic insights into inhibition of soil microbial carbon metabolism by phosphorus limitation during vegetation succession, *ISME communications*, 4(1): ycae128(2024):
- Wang Haocai, Crowther Thomas W., Isobe Kazuo, Wang Hang, Tateno Ryunosuke, Shi Weiyu: Niche Conservatism and Community Assembly Reveal Microbial Community Divergent Succession Between Litter and Topsoil, *Molecular Ecology*, (-): e17723(2025):
- Xiao Junlan, Terrer César, Gentine Pierre, Tateno Ryunosuke, Fan Lei, Ma Mingguo, Yue Yuemin, Yuan Wenping, Peñuelas Josep, Shi Weiyu: Temporal and Phenological Modulation of the Impact of Increasing Drought Conditions on Vegetation Growth in a Humid Big River Basin: Insights From Global Comparisons, *Earth's Future*, 13: e2024EF005720.(2025):
- Nakayama Masataka, Tateno Ryunosuke: Effect of the Addition of Diverse Artificial Root Exudates on Soil Microbial Communities and Nitrogen Cycling Processes in Volcanic Ash Soil of Cool-Temperate Forest, *SSRN*, (-): -(2024): 北海道研究林
- Adachi Kotaro, Yokobe Tomohiro, Shino Sakyu, Matsuoka Shunsuke, Osono Takashi, Hasegawa Motohiro, Tateno Ryunosuke: 森林タイプおよび母材が土壤微生物群集を介して有機物分解と窒素動態に与える影響, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025): 上賀茂試験地
- 横部 智浩, 神津 州佑, 田中 拓弥, 足立 浩太朗, 徳地 直子, 松岡 俊将, 杉山 賢子, 張 曼青, 赤石 大輔, 石原 正恵, 館野 隆之輔: 里山に関わる人々との連携による全国里山土壤調査の取り組み, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025)
- 館野 隆之輔: 企業との連携による新しい里山里海の創成に向けて, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025)
- 紺頼 楓, 横部 智浩, 田中 拓弥, 徳地 直子, 館野 隆之輔: 市民参加型の里山植生調査と里山利用法の検討, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025): 上賀茂試験地
- 細川 奈々枝, 館野 隆之輔, 杜 盛, 劉 美君: 中国黄土高原の半乾燥地に生育する主要 4 樹種の根

- 圏における土壌養分特性, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025)
- 松山 周平, 智和 正明, 榎木 勉, 菱 拓雄, 杉山 賢子, 舘野 隆之輔, 福澤 加里部: 林床の地上部バイオマスの推定に欠かせないパラメータは? ~ ササ優占冷温帯林の場合, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025): 北海道研究林他
- 秦野 悠貴, 松岡 俊将, 舘野 隆之輔, 大園 享司: 子座形成および潜在感染の *Epichloë* を有するヤマモジグサにおける菌類群集の多様性, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025)
- 石橋 和樹, 杉山 賢子, 小林 和也, 中山 理智, 永野 博彦, 松山 周平, 舘野 隆之輔, 松岡 俊輔: 下層植生の刈り取りに伴う土壌微生物の変化, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025): 北海道研究林他
- 大上 迪士, 松岡 俊将, 舘野 隆之輔: 河川水における微生物の供給源の解明を目的とした河川-土壌-大気の群集比較, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025): 芦生研究林
- 田中 拓弥, 横部 智浩, 赤石 大輔, 徳地 直子, 舘野 隆之輔: 上賀茂試験地における里山おーぷんらぼの取り組み, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025): 上賀茂試験地
- 福澤 加里部, 智和 正明, 舘野 隆之輔, 松山 周平, 菱 拓雄, 榎木 勉, 杉山 賢子, 谷口 武士, 野村 睦: ササ除去から年数が経過した森林土壌におけるササ及び樹木の細根バイオマス, 第 136 回日本森林学会大会, - (-): -(2025): 北海道研究林他
- 福澤 加里部, 智和 正明, 舘野 隆之輔, 松山 周平, 菱 拓雄, 杉山 賢子, 谷口 武士, 野村 睦: ササを除去し、時間が経過して、森林の土壌窒素はどう変わったか? 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025): 北海道研究林他
- 鈴木 保志, 吉村 哲彦, 長谷川 尚史, 有賀 一広, 齋藤 仁志, 守口 海, 白澤 紘明: 山岳地域の道路網における収穫材の運搬経路分析による道路規格区分を考慮した運搬効率の検討, 森林利用学会第 31 回学術研究発表会, - (-): -(2024)
- 諸橋 佑星, 北原 壮恭, 長谷川 尚史, 徳地 直子: バックバック型 LiDAR と ULS を用いた地形測量における下層植生の影響, 第 136 回日本森林学会大会, - (-): -(2025): 上賀茂試験地
- Mineo Keito, Nakamura Masaharu, Hasegawa Hisashi, Tokuchi Naoko: The potential of forest chemical industry: in the contexts of Japan and World, XXVI IUFRO World Congress, - (-): -(2024):
- Mori Junko, Saito Kazuyuki, Miyazaki Shin, Machiya Hirokazu, Ise Takeshi, Sueyoshi Tetsuo, Yamazaki Takeshi, Iijima Yoshihiro, Ikawa Hiroki, O'oishi Ryouta, Ohta Takeshi, Katata Genki, Kotani Ayumi, Sato Atsushi, Sato Hisashi, Sugimoto Atsuko, Suzuki Rikie, Tanaka Katsunori, Nitta Tomoko, Hajima Tomohiro, Burke Eleanor, Park Hotaek: Comparison of ground temperature and permafrost conditions in the Arctic simulated by land surface process models of different complexity, *Bulletin of Glaciological Research*, 42: 69-94(2024):
- Uchida Atsuhiko, Kameoka Taishin, Ise Takeshi, Matsui Hidetoshi, Uchida Yukiko: Social Factors of Urban Greening: Demographics, Zoning, and Social Capital, *City and Environment Interactions*, 24: (2024)
- 伊勢 武史, 蔵田 典子: パブリックデータを活用した低コスト・高効率植生識別手法の開発: 既存手法との比較, 日本地球惑星科学連合 2024 年大会, - (-) : -(2024)
- 伊勢 武史: Detecting graminoids in wetlands: a method with UAV and deep learning, *iLEAPS-Japan 研究集会 2024*, - (-): -(2024)
- 高屋 浩介, 蔵田 典子, 高木 陽依, 伊勢 武史, 飯島 慈裕: 深層学習モデルによる人工衛星 Sentinel-2 画像の分析: 環境変動の検出, *ArCS II 最終成果報告会*, - (-): -(2025)
- 伊勢 武史, 蔵田 典子: ディープラーニングによる湿原植生の自動分類, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025)
- 石原 正恵: 解説 1 研究のための森林, *図説日本の森林: 森・人・生き物の多様なかわり*, - (-): -(2024): 芦生研究林
- 萩原 幹花, 石原 正恵: 森林における植物間コミュニケーション, 植物の多次元コミュニケーションダイナミクス: 分子メカニズムから農業応用の可能性まで, - (-): 34-46(2025): 芦生研究林
- Hagiwara Tomika, Shiojiri Kaori, Suyama Yoshihisa, Matsuo Ayumi, Ishihara Masae Iwamoto: Volatile-mediated plant-plant communication in natural beech forests, *Journal of Plant Interactions*, 19(1): 2414103(2024): 芦生研究林
- Nakamura Masahiro, Terada Chisato, Ito Kinya, Hiura Tsutomu, Shibata Hideaki, Miki Takeshi, Saitoh Taku M., Takagi Masahiro, Hougen Toshiyuki, Matsuzaki Shin-ichiro S., Watanabe Mirai, Tado Hiroyuki,

- Hotta Norifumi, Kosugi Yoshiko, Aiko Nobuyuki, Kojima Nagahiro, Katagiri Nana, Kishimoto Koju, Yoshida Tomohiro, Tsunoda Yuuki, Takamiya Tatsumi, Ito Kosuke, Utsumi Yasuhiro, Yoshikawa Tetsuro, Kenta Tanaka, Oda Miho, Agetsuma Naoki, Kawai Masataka, Fujita Toru, Hishi Takuo, Shimada Hiromasa, Ichie Tomoaki, Hoshizaki Kazuhiko, Kobayashi Hajime, Seino Tatsuyuki, Noguchi Mahoko, Nagamatsu Dai, Saito Haruo, Tateno Ryunosuke, Ishihara Masae Iwamoto, Kitagawa Yoichiro, Hisamoto Yoko, Homma Kosuke, Hirao Toshihide, Otani Tatsuya, Toda Motomu, Terada Jinshi, Kume Tomonori, Fukuzawa Karibu, Takashima Atsushi, Kurose Koki, Fujii Sakae, Itoh Shunsuke, Ohta Tamihisa, Otsuki Kazuhiko, Nagaike Takuo, Hasegawa Kyohei, Makoto Kobayashi, Shirahata Manabu, Matsuki Sawako, Hatanaka Masayuki, Suzuki Satoshi, Muro Noriyuki, Yamoto Tomoyuki, Adachi Naoyuki, Kaneko Nobuhiro, Yamashita Tamon: Physiological profiling of the soil microbe community using the EcoPlate and assessment of soil properties at 74 planted forest sites across Japan, *Ecological Research*, 40(2): 228-242(2024): 芦生研究林、北海道研究林標茶区
- Sakaguchi Shota, Fukumoto Shigeru, Fujimura Taro, Hirota Shun K., Yamamoto Kazuki, Ishihara Masae I.: Surviving at the Southern Edge: The Rear-Edge Population of *Viola brevistipulata* var. *acuminata* Persisting in Disturbance-Mediated Refugium, *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica*, 76(1): 1-15(2025): 芦生研究林
- Sakaguchi Shota, Fukumoto Shigeru, Masuda Kazutoshi, Setoguchi Hiroaki, Hirota Shun K., Suyama Yoshihisa, Fujiki Daisuke, Miura Reiichi, Yamamoto Kazuki, Ota Misyu, Ishihara Masae I.: Evaluating the potential of interpopulation outbreeding to rescue plant populations facing reproductive failures, *Ecological Research*, -(-): -(2024):
- Yamada Toshihiro, Aiba Shin-Ichiro, Okubo Kumiko, Suzuki Eizi, Maenaka Hisayuki, Nagano Masahiro, Nakajima Yoshinori, Nagano Toru, Ishihara Masae Iwamoto, Yasumatsu Hiroki, Sawada Yoshimi, Kawashima Kazuyoshi, Takami Kunio: Grow or die: A 49-year growth history of a Japanese warm-temperate tree species, *Ecosphere*, 15(5): -(2024):
- 石原 正恵: 未来型生物多様性モニタリングの一例 LIFEPLAN プロジェクト, モニタリングサイト 1000 森林・草原調査 2004-2022 年度とりまとめ報告書, -(-): 204-205(2025): 芦生研究林
- 石原 正恵: 芦生研究林長の美山日記 2: 変わりゆく大学の森の役割, *北桑時報*, (293): 28-36(2024):
- 石原 正恵: 芦生研究林長の美山日記 3: 人生の先輩から学ぶ, *北桑時報*, (294): 26-32(2025):
- Hagiwara Tomika, Shiojiri Kaori, Kashima Makoto, Kojima Mikiko, Takebayashi Yumiko, Sakakibara Hitoshi, Ishihara Masae Iwamoto: Does drought stress affect plant signaling via VOCs, *Ecological Society of America*, -(-): -(2024): 北白川試験地
- Izumi Shota, Shiojiri Kaori, Matsuoka Shunsuke, Ishihara Masae I., Inoue Mizuki, Sakaguchi Shota, Sakai Masaru, Takahashi Daiki, Takayanagi Atsushi, Nagasawa Koki, Fukushima Keitaro, Fujiki Daisuke, Masuda Kazutoshi, Yamasaki Michimasa: Comparison of butterfly and dragonfly abundances and diversity inside and outside deer enclosure fence, XXVII International Congress of Entomology (ICE2024), -(-): -(2024): 芦生研究林
- 石原 正恵: 芦生研究林における生物多様性保全にむけた保全研究とその課題, *日本生態学会第 72 回全国大会*, - (-) : -(2025): 芦生研究林
- Hagiwara Tomika, Shiojiri Kaori, Kashima Makoto, Matsuo Ayumi, Suyama Yoshihisa, Ishihara Masae: Volatile organic compounds mediated plant-plant communication in natural forests, *Plant molecular phenology and climate feedbacks mediated BVOCs 2024*, -(-): -(2025): 芦生研究林
- Toda Motomu, Ishihara Masae I., Tabata Soichi, Yokozawa Masayuki: An application of directional fractal dimension to evaluate forest structural complexity, *International Symposium on Agricultural Meteorology 2025*, -(-): -(2025): 芦生研究林
- 横部 智浩, 神津 州佑, 田中 拓弥, 足立 浩太朗, 徳地 直子, 松岡 俊将, 杉山 賢子, 張 曼青, 赤石 大輔, 石原 正恵, 舘野 隆之輔: 里山に関わる人々との連携による全国里山土壌調査の取り組み, *日本生態学会第 72 回全国大会*, - (-) : -(2025)
- Izumi Shota, Matsuoka Shunsuke, Ishihara Masae Iwamoto, Mizuki Inoue, Sakaguchi Shota, Sakai Masaru, Takahashi Daiki, Takayanagi Atsushi, Nagasawa Koki, Fukushima Keitaro, Fujiki Daisuke, Masuda Kazutoshi, Yamasaki Michimasa, Shiojiri Kaori: シカ排除柵の内側と外側でチョウ・トンボの個体数と多様性の比較, *日本生態学会第 72 回全国大会*, -(-): -(2025): 芦生研究林
- 境 優, 福島 慶太郎, 中川 光, 高柳 敦, 山崎 理正, 藤木 大介, 井上 みずき, 石原 正恵, 阪口 翔太, 高橋 大樹, 長澤 耕樹, 増田 和俊: 集水域からのシカ排除に伴う土砂流出抑制と水生動物群集の応答: 芦生研究林の事例, *日本生態学会第 72 回全国大会*, - (-) : -(2025) : 芦生研究

- 林
- 太田 果南, 石原 正恵, 高柳 敦: 過採食が 20 年間続く冷温帯天然林におけるニホンジカの環境選好性, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025): 芦生研究林
- Cuaresma Diane Carmeliza N., Gavina Maica Krizna A., Rabajante Jomar F., Tubay Jerrold M., Okabe Takuya, Morita Satoru, Kobayashi Kazuya, Mizumoto Nobuaki, Ito Hiromu, Yoshimura Jin, Kakishima Satoshi, Cooley John R.: Predation-driven geographical isolation of broods in periodical cicadas, *Scientific Reports*, 14: -(2024):
- Kobayashi Kazuya, Naito-Liederbach Annegret Moto, Sadakuni Toshio, Morii Yuta: Long-term data reveals increase in vehicle collisions of endangered birds in Hokkaido, Japan, *Conservation Science and Practice*, -(-): e13250(2024):
- Wu Yao, Fujita Tadahide, Namba Yusuke, Kobayashi Kazuya, Takata Mamoru, Vargo Edward L., Matsuura Kenji: Inter-clonal competition over queen succession imposes a cost of parthenogenesis on termite colonies, *Proceedings of the Royal Society B-Biological Sciences*, 291(2023): 20232711(2024):
- 小林 和也, 山本 淳生, 相馬 優輝, 奥田 賢, 林 大輔: 除草剤による省力化の検討, 第 136 回日本森林学会大会, -(-): -(2025)
- Battulga Batdulam, Nakayama Masataka, Matsuoka Shunsuke, Kondo Toshiaki, Atarashi-Andoh Mariko, Koarashi Jun: Dynamics and functions of microbial communities in the plastisphere in temperate coastal environments, *Water Research*, 264: 122207(2024):
- Fukasawa Yu, Pouska Václav, Bače Radek, Zíbarová Lucie, Kawasaki Yuki, Matsuoka Shunsuke, Sato Hiroto, Orman Olga, Král Kamil, Svoboda Miroslav: Bark beetle outbreaks in *Picea abies* stands are associated with changes in wood-inhabiting fungal communities and seedling establishment on logs, *Fungal Ecology*, 68: -(2024):
- Hatano Yuki, Matsuoka Shunsuke, Doi Hideyuki, Tateno Ryunosuke, Hasegawa Motohiro, Osono Takashi: Evaluation of the persistence of *Epichloë* endophyte and its possible effect on fungal assemblages in dead leaf sheaths, *Fungal Biology*, 128(8 Part A): 2325-2332(2024):
- Shirouzu Takashi, Suzuki Takao K., Matsuoka Shunsuke, Takamatsu Susumu: Evolutionary dependence of host type and chasmothecial appendage morphology in obligate plant parasites belonging to Erysiphaceae (powdery mildew, Erysiphaceae), *Mycologia*, -(-): -(2024):
- Matsuoka Shunsuke, Ito Koichi, Osono Takashi: Geographic distribution of needle litter microfungi in British Columbia, *The harris science review of Doshisha University*, 65: -(2024):
- 長谷川 元洋, 松岡 俊将 (訳): 形質生態学入門, , ,(2025):
- Adachi Kotaro, Yokobe Tomohiro, Shino Sakyō, Matsuoka Shunsuke, Osono Takashi, Hasegawa Motohiro, Tateno Ryunosuke: 森林タイプおよび母材が土壌微生物群集を介して有機物分解と窒素動態に与える影響, 日本生態学会第 72 回全国大会, -(-): -(2025): 上賀茂試験地
- Izumi Shota, Matsuoka Shunsuke, Ishihara Masae Iwamoto, Inoue Mizuki, Sakaguchi Shota, Sakai Masaru, Takahashi Daiki, Takayanagi Atsushi, Nagasawa Koki, Fukushima Keitaro, Fujiki Daisuke, Masuda Kazutoshi, Yamasaki Michimasa, Shiojiri Kaori: シカ排除柵の内側と外側でチョウ・トンボの個体数と多様性の比較, 日本生態学会第 72 回全国大会, -(-): -(2025): 芦生研究林
- 松岡 俊将, 杉山 賢子, 伊藤 公一, 平田 有加, 福本 繁, 林 大輔, 徳地 直子: シカ過採食によるササの消失が土壌微生物相に与える影響, 日本生態学会第 72 回全国大会, -(-): -(2025): 芦生研究林
- 杉山 賢子, 松岡 俊将: 植生間での外生菌根菌群集組成とその時空間動態の比較, 日本生態学会第 72 回全国大会, -(-): -(2025): 北海道研究林
- 大上 迪士, 松岡 俊将, 館野 隆之輔: 河川水における微生物の供給源の解明を目的とした河川-土壌-大気の群集比較, 日本生態学会第 72 回全国大会, -(-): -(2025): 芦生研究林
- 秦野 悠貴, 松岡 俊将, 館野 隆之輔, 大園 享司: 子座形成および潜在感染の *Epichloë* を有するヤマモジグサにおける菌類群集の多様性, 日本生態学会第 72 回全国大会, -(-): -(2025):
- 石橋 和樹, 杉山 賢子, 小林 和也, 中山 理智, 永野 博彦, 松山 周平, 館野 隆之輔, 松岡 俊将: 下層植生の刈り取りに伴う土壌微生物の変化, 日本生態学会第 72 回全国大会, -(-): -(2025): 北海道研究林
- 松岡 俊将: マクロな視点から菌類の多様性と機能を考える, 2024 年度 (第 56 回) 種生物学シンポジウム, -(-): -(2024):

- 包 薩日娜, 田中 拓弥, 館野 隆之輔, 徳地 直子: 里山保全活動の団体運営主体者の活動満足度からみた団体継続運営意識, 環境情報科学 学術研究論文集, 38: -(2024):
- 田中 拓弥, 横部 智浩, 赤石 大輔, 徳地 直子, 館野 隆之輔: 上賀茂試験地における里山おーぷんらぼの取り組み, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025)
- 包 薩日娜, 田中 拓弥, 館野 隆之輔, 徳地 直子: 新しい里山里海を創る人たちを繋ぐコンソーシアム構築に向けた検討, 2024 年度環境情報科学研究発表大会, -(-): -(2024)
- 中西 麻美, 稲垣 善之, 大澤 直哉, 柴田 昌三: ヒノキの雄花生産量と土壌条件および葉の特性との関係, 第 75 回応用森林学会大会, -(-): -(2024)
- 稲垣 善之, 中西 麻美, 深田 英久: 気象条件の異なるヒノキ林における土壌水分と樹木資源利用の関係, 森林総合研究所四国支所年報, 65: 17-23(2024)
- 稲垣 善之, 中西 麻美, 深田 英久: 気象条件の異なるヒノキ林における窒素と水資源の相対的重要性, 第 136 回日本森林学会大会, -(-): -(2025)
- Sato Hirotooshi, Satomi Otomi, Sugiyama Yoriko: Two new species of the *Entoloma quadratum-murrayi* complex in Japan, PLoS ONE, 70(2): e0302695(2025)
- Sugiyama Yoriko, Sato Hirotooshi: Determinants of host specificity in ectomycorrhizal fungi: A focus on host and fungal biogeography, Fungal Ecology, 70: 101350(2024): 北海道研究林
- 杉山 賢子, 松岡 俊将: 植生間での外生菌根菌群集組成とその時空間動態の比較, 日本生態学会第 72 回全国大会, -(-): -(2025)
- 福澤 加里部, 智和 正明, 館野 隆之輔, 松山 周平, 菱 拓雄, 杉山 賢子, 谷口 武士, 野村 睦: ササを除去し、時間が経過して、森林の土壌窒素はどう変わったか?, 日本生態学会第 72 回全国大会, -(-): -(2025)
- 松山 周平, 智和 正明, 榎木 勉, 菱 拓雄, 杉山 賢子, 館野 隆之輔, 福澤 加里部: 林床の地上部バイオマスの推定に欠かせないパラメータは? ~ササ優占冷温帯林の場合, 日本生態学会第 72 回全国大会, -(-): -(2025)
- 石橋 和樹, 杉山 賢子, 小林 和也, 中山 理智, 永野 博彦, 松山 周平, 館野 隆之輔, 松岡 俊将: 下層植生の刈り取りに伴う土壌微生物の変化, 日本生態学会第 72 回全国大会, -(-): -(2025)
- 福澤 加里部, 智和 正明, 館野 隆之輔, 松山 周平, 菱 拓雄, 杉山 賢子, 谷口 武士, 野村 睦: ササ除去から年数が経過した森林土壌におけるササ及び樹木の細根バイオマス, 第 136 回日本森林学会大会, -(-): -(2025)
- 伊藤 公一, 松岡 俊将, 杉山 賢子: パネル討論: 生態学者はネイチャーポジティブに何ができる? ~科学と社会のギャップ~, 日本生態学会第 72 回全国大会, -(-): -(2025)
- 菱 拓雄, 榎木 勉, 館野 隆之輔, 智和 正明, 杉山 賢子, 松山 周平, 福澤 加里部: 長期の下層植生除去が森林土壌動物群集に与える影響, 日本生態学会第 72 回全国大会, -(-): -(2025)
- 杉山 賢子, 松岡 俊将: カラマツ植林地における外生菌根菌群集の時空間動態, 第 136 回日本森林学会大会, -(-): -(2025):
- 鈴木 華実, 梶村 恒: スズタケ実生の成長とそれに影響する外的因子: 有性繁殖後 6 年間の調査に基づく解析, 日本生態学会第 72 回全国大会, -(-): -(2025)
- 張 曼青: 「郷土中国」とポスト「郷土中国」の間への凝視 —中国集団農業時代における郷土性の変遷—, 大阪大学大学院人間科学研究科紀要, 51: -(2025)
- Zhang Manqing: Life Stories of the Last Villagers: Disconnection in the Life Space and Adaptive Strategies of Elderly Women in China's Inland Rural Areas, The International Federation for Research in Women's History(IFRWH2024), -(-): -(2024)
- 張 曼青: 中国内陸農村における「収驚人」の生活史からみる民俗医療の継承と変容—安徽省南部農村を事例に一, 日中社会学会 2024 年度冬季集会, -(-): -(2024)
- 張 曼青: 中国農村の高齢者女性の「声なき声」に いかにかに耳を傾げるのか, 中国女性史研究会 次世代ワークショップ「中国農村をジェンダー研究する」, -(-): -(2024)
- 横部 智浩, 神津 州佑, 田中 拓弥, 足立 浩太郎, 徳地 直子, 松岡 俊将, 杉山 賢子, 張 曼青, 赤石 大輔, 石原 正恵, 館野 隆之輔: 里山に関わる人々との連携による全国里山土壌調査の取り組み, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025)
- 張 曼青: 中国内陸農村の高齢者女性たちの「声なき声」に耳を傾げる意味, 『ポスト体験時代の記憶の継承—アジア地域史の視座から祈念する私たちのダイアローグ— (「21 世紀課題群と東ア

- 「ジヤの新環境」シンポジウムシリーズ③』三好恵真子・吉成哲平 編 ,19: ,(2025)
- 八柳 哲,伊藤 岳,張 曼青,益田 玲爾:環境 DNA 技術を駆使した里海と河川における生物多様性評価 , 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025)
- 張 曼青:南アルプス農山村地域の生業変容を生きる女性たちのライフストーリー, 南アルプスユネスコエコパーク登録 10 周年記念シンポジウム「南アルプスの人々の暮らしと自然を次の世代に」南アルプス学会シンポジウム I(主催:南アルプス学会):南アルプスの次世代に残したい人々の暮らし, -(-): -(2025)
- Makino Soyoka, Tokuchi Naoko, Akaishi Daisuke, Koyama Lina A., Komai Yukio, Itaya Yoshimi, Nay Lin Maung: Citizen-participatory nationwide survey of mountain streamwater chemistry in Japan in 2022 : Comparison of nitrate concentrations with the 2003 survey, *Ecological Research*, 40(3): 277-292(2024)
- Nay Lin Maung, Tokuchi Naoko, Komai Yukio: The influence of partial clear-cutting on stream nitrate concentrations in forested watersheds of Miyazaki prefecture, Japan, IWA 21th International Conference Navigating Diffuse Pollution: Pathways to Carbon Neutrality , -(-): -(2024)
- 駒井 幸雄,Nay Lin Maung,徳地 直子, 牧野 奏佳香:兵庫県全域の渓流水中硝酸態窒素濃度の現状と約 25 年間の変化, 第 59 回日本水環境学会年会, -(-): -(2025)
- Nay Lin Maung, Tokuchi Naoko, Komai Yukio: Assessing Nitrate Dynamics and Environmental Drivers in Mountain Streams of Kyushu Main Island, Japan, 第 136 回日本森林学会大会, -(-): -(2025)
- Makino Soyoka, Tokuchi Naoko, Akaishi Daisuke, Koyama Lina A., Komai Yukio, Itaya Yoshimi, Maung Nay Lin, Ishimaru Kanae, Oda Tomoki, Shibata Rei, Numamoto Shinya: Citizen-participatory nationwide survey of mountain streamwater chemistry in Japan in 2022: Comparison of nitrate concentrations with the 2003 survey, *Ecological Research*, 40(3): 277-292(2024)
- 牧野 奏佳香, 徳地 直子, 赤石 大輔, 駒井 幸雄:シチズンサイエンスのチカラ:市民とともに日本全国の山の健康状態を調査, 総合誌 瀬戸内海, 88: -(2024)
- 萩原 幹花, 石原 正恵::森林における植物間コミュニケーション, 植物の多次元コミュニケーションダイナミクス:分子メカニズムから農業応用の可能性まで, -(-): -(2025)
- Hagiwara Tomika, Shiojiri Kaori, Suyama Yoshihisa, Matsuo Ayumi, Ishihara Masae Iwamoto: Volatile-mediated plant-plant communication in natural beech forests, *Journal of Plant Interactions*, 19(5): 2414103(2024):
- Marc Josep, Montagut Marques, Liu Mingxin, Kuri Thomas Shiojiri, Tomika Hagiwara, Kayo Hirose, Kaori Shiojiri, Shinjiro Umezu: Plant Doctor: A hybrid machine learning and image segmentation software to quantify plant damage in video footage , *Measurement*, 249: 117094(2025):
- Akira Yamawo, Tomika Hagiwara, Satomi Yoshida, Misuzu Ohno, Riku Nakajima, Yusuke Mori, Tamayo Hayashi, Hiroki Yamagishi, Kaori Shiojiri: Interspecific Variations in Interplant Communication and Ecological Characteristics in Trees, *Ecology and Evolution*, 15: e70876(2025):
- 小林 和也, 山本 淳生, 相馬 優輝, 奥田 賢, 林 大輔:除草剤による省力化の検討, 第 136 回日本森林学会大会, -(-): -(2025)
- 永井 貴大:芦生研究林における菌類子実体(きのこ)の発生の調査と過去調査との比較, 研究林・試験地情報, 2023 年度: 45-48(2025):
- 長谷川 敦史:冷凍保存したモウソウチク種子の発芽試験, 研究林・試験地情報, 2023 年度: 49-52(2025)
- Nakamura Masahiro, Terada Chisato, Ito Kinya, Hiura Tsutomu, Shibata Hideaki, Miki Takeshi, Saitoh Taku M., Takagi Masahiro, Hougou Toshiyuki, Matsuzaki Shin-ichiro S., Watanabe Mirai, Tado Hiroyuki, Hotta Norifumi, Kosugi Yoshiko, Aiko Nobuyuki, Kojima Nagahiro, Katagiri Nana, Kishimoto Koju, Yoshida Tomohiro, Tsunoda Yuuki, Takamiya Tatsumi, Ito Kosuke, Utsumi Yasuhiro, Yoshikawa Tetsuro, Kenta Tanaka, Oda Miho, Agetsuma Naoki, Kawai Masataka, Fujita Toru, Hishi Takuo, Shimada Hiromasa, Ichie Tomoaki, Hoshizaki Kazuhiko, Kobayashi Hajime, Seino Tatsuyuki, Noguchi Mahoko, Nagamatsu Dai, Saito Haruo, Tateno Ryunosuke, Ishihara Masae Iwamoto, Kitagawa Yoichiro, Hisamoto Yoko, Homma Kosuke, Hirao Toshihide, Otani Tatsuya, Toda Motomu, Terada Jinshi, Kume Tomonori, Fukuzawa Karibu, Takashima Atsushi, Kurose Koki, Fujii Sakae, Itoh Shunsuke, Ohta Tamihisa, Otsuki Kazuhiko, Nagaike Takuo, Hasegawa Kyohei, Makoto Kobayashi, Shirahata Manabu, Matsuki Sawako, Hatanaka Masayuki, Suzuki Satoshi, Muro Noriyuki, Yamoto Tomoyuki, Adachi Naoyuki, Kaneko Nobuhiro, Yamashita Tamon: Physiological profiling of the soil

- microbe community using the EcoPlate and assessment of soil properties at 74 planted forest sites across Japan, *Ecological Research*, 40(2): 228-242(2024): 芦生研究林・北海道研究林標茶区
- 北川 陽一郎: DF Scanner の森林調査業務への利用について, *研究林・試験地情報*, 2023 年度: 25-28(2025)
- 岸本 泰典: 構内ミニ植物園整備のための植物相調査, *研究林・試験地情報*, 2023 年度: 29-35(2025):
- 小林 和也, 山本 淳生, 相馬 優輝, 奥田 賢, 林 大輔: 除草剤による省力化の検討, 第 136 回日本森林学会大会, -( ): -(2025)
- 松岡 俊将, 杉山 賢子, 伊藤 公一, 平田 有加, 福本 繁, 林 大輔, 徳地 直子: シカ過採食によるササの消失が土壤微生物相に与える影響, 日本生態学会第 72 回全国大会, -( ): -(2025): 芦生研究林
- 宮城 祐太: Google Apps Script を用いたクイズ作成スクリプトの開発, *研究林・試験地情報*, 2023 年度: 36-44(2025):
- Epron Daniel, Mochidome Takumi: Methane concentration in the heartwood of living trees in a cold temperate mountain forest: variation, transport and emission, *Tree Physiology*, tpael22: -(2024): 芦生研究林
- Harada Mikitoshi, Endo Atsuya, Wada Shuji, Watanabe Takeshi, Epron Daniel, Asakawa Susumu: Ubiquity of methanogenic archaea in the trunk of coniferous and broadleaved tree species in a mountain forest, *Antonie van Leeuwenhoek*, 117: 107(2024): 芦生研究林
- Hikaru Nakagawa, Daisuke Fujiki, Hiroo Numata, Luhan Wu, Terutaka Mori, Toshifumi Minamoto: Regional-scale effects of deer-induced forest degradation on river ecosystem dynamics, *Population Ecology*, 66: 196-261(2024): 芦生研究林
- Masahiro Nakamura, Chisato Terada, Kinya Ito, Tsutomu Hiura, Hideaki Shibata, Takeshi Miki, Taku M. Saitoh, Masahiro Takagi, Toshiyuki Hougen, Shin-ichiro S. Matsuzaki, Mirai Watanabe, Hiroyuki Tado, Norifumi Hotta, Yoshiko Kosugi, Nobuyuki Aiko, Nagahiro Kojima, Nana Katagiri, Koju Kishimoto, Tomohiro Yoshida, Yuuki Tsunoda, Tatsumi Takamiya, Kosuke Ito, Yasuhiro Utsumi, Tetsuro Yoshikawa, Tanaka Kenta, Miho Oda, Naoki Agetsuma, Masataka Kawai, Toru Fujita, Takuo Hishi, Hiromasa Shimada, Tomoaki Ichie, Kazuhiko Hoshizaki, Hajime Kobayashi, Tatsuyuki Seino, Mahoko Noguchi, Dai Nagamatsu, Haruo Saito, Ryunosuke Tateno, Masae Iwamoto Ishihara, Yoichiro Kitagawa, Yoko Hisamoto, Kosuke Homma, Toshihide Hirao, Tatsuya Otani, Motomu Toda, Jinshi Terada, Tomonori Kume, Karibu Fukuzawa, Atsushi Takashima, Koki Kurose, Sakae Fujii, Shunsuke Itoh, Tamihisa Ohta, Kazuhiko Otsuki, Takuo Nagaike, Kyohei Hasegawa, Kobayashi Makoto, Manabu Shirahata, Sawako Matsuki, Masayuki Hatanaka, Satoshi Suzuki, Noriyuki Muro, Tomoyuki Yamoto, Naoyuki Adachi, Nobuhiro Kaneko, Tamon Yamashita: Physiological profiling of the soil microbe community using the EcoPlate and assessment of soil properties at 74 planted forest sites across Japan, *Ecological research*, 40(2): 228-242(2024): 芦生研究林
- Shota Sakaguchi, Shigeru Fukumoto, Michimasa Yamasaki: *Gamblea innovans* f. *simplicifolia* (Araliaceae), a New Form Discovered in Honshu, Japan, *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica*, 75: 113-115(2024): 芦生研究林
- Shota Sakaguchi, Shigeru Fukumoto, Kazutoshi Masuda, Hiroaki Setoguchi, Shun K. Hirota, Yoshihisa Suyama, Daisuke Fujiki, Reiichi Miura, Kazuki Yamamoto, Misyu Ota, Masae I. Ishihara: Evaluating the potential of interpopulation outbreeding to rescue plant populations facing reproductive failures, *Ecological Research*, 39: 694-704(2024): 芦生研究林
- Tomika Hagiwara, Kaori Shiojiri, Yoshihisa Suyama, Ayumi Matsuo, Masae Iwamoto Ishihara: Volatile-mediated plant-plant communication in natural beech forests, *Journal of Plant Interactions*, 19(1): -(2024): 芦生研究林
- Yoshitaka Oishi: Cryptogam biomass estimation using taxonomic and life form models for accurate assessment, *Scientific Reports*, 14: -(2024): 芦生研究林
- Shota Sakaguchi, Shigeru Fukumoto, Taro Fujimura, Shun K. Hirota, Kazuki Yamamoto, Masae I. Ishihara: Surviving at the Southern Edge: The Rear-Edge Population of *Viola brevistipulata* var. *acuminata* Persisting in Disturbance-Mediated Refugium, *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica*, 76: 1-11(2025): 芦生研究林
- Sugimoto Ren, Azuma A. Wakana, Komada Natsuki, Ogawa Yuuya: Litter Decomposition of Epiphytic Lichens, Bryophytes, and Vascular Plants on the Forest Floor and Canopy in a Cool-Temperate

Old-Growth Forest, Social Science Research Network, -(-): -(2024): 芦生研究林  
 環境省自然環境局生物多様性センター: モニタリングサイト 1000 森林・草原調査 2004-2022 年度とりまとめ報告書 (速報版) ,-, -(-): -(2024): 芦生研究林  
 環境省自然環境局生物多様性センター: モニタリングサイト 1000 森林・草原調査 2004-2022 年度とりまとめ報告書 (速報版) ,-, -(-): -(2024): 芦生研究林・和歌山研究林・上賀茂試験地  
 環境省自然環境局生物多様性センター: モニタリングサイト 1000 森林・草原調査 2004-2022 年度とりまとめ報告書, -, -(-): 73-76(2025): 芦生研究林  
 環境省自然環境局生物多様性センター: 2024 年度モニタリングサイト 1000 森林・草原調査報告書, -, -(-): -(2025): 芦生研究林・和歌山研究林・上賀茂試験地  
 環境省自然環境局生物多様性センター: 2024 年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業 (陸生鳥類調査) 調査報告書, -, -(-): -(2025): 芦生研究林・和歌山研究林・上賀茂試験地  
 環境省自然環境局生物多様性センター: モニタリングサイト 1000 森林・草原調査 2004-2022 年度とりまとめ報告書, -, -(-): -(2025): 芦生研究林・和歌山研究林・上賀茂試験地  
 環境省自然環境局生物多様性センター: モニタリングサイト 1000 ニュースレターno.18, -, -(-): -(2025): 芦生研究林・和歌山研究林・上賀茂試験地  
 環境省自然環境局生物多様性センター: モニタリングサイト 1000 森林・草原調査 コア・準コアサイト 調査速報 no.17, -, -(-): -(2025): 芦生研究林・和歌山研究林・上賀茂試験地  
 環境省自然環境局生物多様性センター: モニタリングサイト 1000 第4期とりまとめ報告書概要版 1,000か所 20年の膨大なデータが訴える日本の自然の今 身近な生き物がいなくなる, -, -(-): -(2025): 芦生研究林・和歌山研究林・上賀茂試験地  
 京都府南丹市: とれたて新鮮! 森の京丹波っ! 第1回 自然豊かな環境だからこそ楽しめる体験型アクティビティをご紹介!, -, -(-): -(2024): 芦生研究林  
 平田 有加: 白日会創立百周年記念展, 国立新美術館, -(-): -(2024): 芦生研究林  
 平田 有加: 水・森・暮らし 北陸新幹線京都延伸を考える1週間, 堺町画廊, -(-): -(2024): 芦生研究林  
 平田 有加: 2025 Japan in Acquarello 展, 画廊 楽, -(-): -(2025): 芦生研究林  
 村田 紗也, 時任 美乃理, 小野田 雄介, 金子 隆之, 山崎 理正, 高柳 敦, 石原 正恵, 檀浦 正子: 空間解析によるヤドリギの分布特性とその規定要因の探索, 2024 年度日本生態学会近畿地区会例会, -(-): -(2024): 芦生研究林  
 稲岡 諄, 福島 慶太郎, 小杉 賢一朗: 芦生研究林上谷支流の降雨流出に地質条件が及ぼす影響, 2024 年日本地理学会秋季学術大会, -(-): -(2024): 芦生研究林  
 Keisuke Kobayashi, Rinano Suyama, Bunzo Mikami, Masaomi Yamamura, Toshiaki Umezawa : Selective loss of function of lignan O-methylation activity in lignan/flavonoid O-methyltransferase, Annual Conference of the Phytochemical Society of North America 2024, -(-): -(2024): 芦生研究林  
 Shota Izumi, Kaori Shiojiri, Shunsuke Matsuoka, Masae Iwamoto Ishihara, Mizuki Inoue, Shota Sakaguchi, Masaru Sakai, Daiki Takahashi, Atsushi Takayanagi, Koki Nagasawa, Keitaro Fukushima, Daisuke Fujiki, Kazutoshi Masuda, Michimasa Yamasaki: Comparison of butterfly and dragonfly abundance and diversity inside and outside deer exclosure fences, International Congress of Entomology, -(-): -(2024): 芦生研究林  
 Soda Ayaka: Wintering territoriality and its consequence in the subsequent breeding season in the Eurasian wren., International Society for Behavioral Ecology Congress 2024, -(-): -(2024): 芦生研究林  
 Paul Sumonta Kumar, Dannoura Masako, Epron Daniel: Topography and vegetation-based estimates of soil methane flux in a complex forested watershed, Japan Geoscience Union Annual Meeting, -(-): -(2024): 芦生研究林  
 Mochidome Takumi, Dannoura Masako, Hölttä Teemu, Epron Daniel: Clarifying the origin of CH4 emission hot spots in upper tree trunks: Local genesis or axial transport, JpGU 2024 , -(-): -(2024): 芦生研究林  
 Tomika Hagiwara, Kaori Shiojiri, Ayumi Matsuo, Yoshihisa Suyama, Masae Ishihara: Volatile organic compounds mediated plant-plant communication in natural forests , Plant molecular phenology and climate feedbacks mediated BVOCs 2024 , -(-): -(2024): 芦生研究林  
 Taylor Fay, Ryu Heungjin, Koyama Lina: Atmospheric Conditions: Impacts of forest type and weather on

- bat activity in Ashiu's ancient forest, The Annual Meeting of the Mammal Society of Japan, (-):  
 -(2024): 芦生研究林
- 平田 有加: 森花翅獣～6人の作家が見つめる自然～,アーティストトーク, (-): -(2024): 芦生研究林
- 加藤 拓磨, 名波 哲, 荒堀 由希奈, 田中 大樹, 大矢 樹, 永野 惇, 伊東 明: 雌雄異株植物と両性植物の生態特性の違い: 日本産カエデ属樹種における種間比較, 日本植物学会第 88 回大会, (-): -(2024): 芦生研究林
- 堀本 大輝, 稲岡 諄, 正岡 直也, 小杉 賢一朗: 中古生層堆積岩山地の地下水が基底流出に及ぼす影響, 令和 6 年度砂防学会研究発表会「和歌山大会」, (-): -(2024): 芦生研究林
- 森 哲: 京都府北部の芦生の森における爬虫両生類の 40 年間にわたる様相の概観, 日本爬虫両棲類学会第 63 回大会, (-): -(2024): 芦生研究林
- 湯浅 圭亮, Paul Sumonta Kumar, Epron Daniel, 檀浦 正子: 斜面内での位置関係を考慮した土壌二酸化炭素フラックスと周辺樹木の関係性, 日本農業気象学会 2025 年全国大会, (-): -(2025): 芦生研究林
- Taylor Fay: The Search for *Myotis pruinus*: A Tale of Investigating Ashiu's Forest Bats, Ashiu Open Science Meeting, (-): -(2025): 芦生研究林
- Taylor Fay, Ryu Heungjin, Hill David, Fukui Dai, Koyama Lina.: A Tale of Two Bats: Exploring the Vocal Parallels of *Myotis pruinus* and *Pipistrellus endoi* in Ashiu Forest, Japan, The 72nd Annual Meeting of the Ecological Society of Japan, (-): -(2025): 芦生研究林
- 大原 夕奈, Taylor, Fay, 小山里奈: 音声で探る芦生研究林のコウモリ: コキクガシラコウモリとキクガシラコウモリについて, The 72nd Annual Meeting of the Ecological Society of Japan, (-): -(2025): 芦生研究林
- 持留 匠, 檀浦 正子, エプロン ダニエル: 樹木幹メタン放出と樹形の関わり, 第 136 回日本森林学会, (-): -(2025): 芦生研究林
- Murata Saya, Daniel Epron, Dannoura Masako: How mistletoe affects the growth of host trees in a cool-temperate forest: insight using tree-ring isotopes., 日本生態学会第 72 回全国大会, (-): -(2025): 芦生研究林
- 加藤 拓磨, 名波 哲, 奥野 聖也, 永野 惇, 伊東 明: 日本産カエデ属 (*Acer* L.) の性表現による花序構造の違い, 日本生態学会第 72 回全国大会, (-): -(2025): 芦生研究林
- 長沢 誠, 持留 匠, Epron Daniel, 檀浦 正子: クマハギがスギ幹からのメタン放出に与える影響, 第 136 回日本森林学会, (-): -(2025): 芦生研究林
- 松岡 俊将, 杉山 賢子, 伊藤 公一, 平田 有加, 福本 繁, 林 大輔, 徳地 直子: シカ過採食によるササの消失が土壌微生物相に与える影響, 日本生態学会第 72 回全国大会, (-): -(2025): 芦生研究林
- 杉本 廉, 橋本 陽, 東 若菜: 京都府の冷温帯林におけるカプトゴケ属 (*Lobaria*) の景観規模での遺伝的多様性, 日本生態学会第 72 回全国大会, (-): -(2025): 芦生研究林
- 齊藤 晴佳, 澤田 豊, 築瀬 佳之, 村田 功二: 国産広葉樹材のドリフトピン接合部の接合板としての面圧特性, 第 75 回日本木材学会大会, (-): -(2025): 芦生研究林
- 木原 来翔: ニホンイシガメにおける記憶力と社会学習能力の研究, 京都大学 大学院 理学研究科 生物科学専攻 動物学系 修士論文, (-): -(2025): 芦生研究林
- 加藤 拓磨: 日本産カエデ属樹種における雌雄異株種と両性種の繁殖器官および分布域の比較, 大阪公立大学大学院理学研究科生物学専攻 2024 年度修士論文, (-): -(2025): 芦生研究林
- 太田 果南: 原生的な森林における中・大型哺乳類の活動と人為影響 - 芦生研究林の事例 -, 京都大学農学研究科森林科学 2024 年度修士学位論文, (-): -(2025): 芦生研究林
- 村田 紗也: Spatial analyses to understand the local distribution of mistletoes and the impact of infection on host trees, 京都大学農学研究科森林科学 2024 年度修士学位論文, (-): -(2025): 芦生研究林
- 吉村 日和: ニホンジカによる下層植生の過剰採食が森林集水域の物質収支に与える影響, 福島大学農学群食農学類 生産環境学コース 2024 年度 卒業論文, (-): -(2025): 芦生研究林
- 和泉 翔太: シカ過採食からの植生回復が異なる栄養段階の昆虫へ及ぼす影響の評価, 龍谷大学食農科学研究科 2024 年度 修士学位論文, (-): -(2025): 芦生研究林
- 竹田 涼馬: つぶやきと状況映像の組み合わせを用いたフィールドワークにおける気づきの記録,

- 特別研究報告書, (-): -(2025): 芦生研究林
- 中城 拓真, 山田 竜輝, 高木 俊人, 志賀 隆, 仲川 邦広, 黒沢 高秀, 兼子 伸吾, 白濱 雄太, 田中 啓介, 津田 吉晃: 異なる地理的スケールにおけるバイカモの遺伝構造の解明-保全再生への活用-, 日本生態学会第 72 回全国大会, (-): -(2025): 北海道研究林
- 森山 貴登: 北海道研究林におけるスミレモ類の多様な生活史 -地衣体上に生育するスミレモに着目して-, 京都大学農学部森林科学科卒業論文, (-): 1-21(2025): 北海道研究林
- 小林 慧人, 西山 典秀, 杉本 恵里子, 柏木 治次, 若山 太郎, 久本 洋子: 「三百年計画、竹の開花年限に関する実験」の過去から現在まで: 実生起源のモウソウチクにおける長期植栽試験の実態, 森林総合研究所研究報告, 23(4): 135-151 (2024): 上賀茂試験地
- 小林 慧人, 竹重 龍一, 柴田 昌三: 開花竹林の段階的な変化に関する分類方法の検討, 日本森林学会誌, 106(8): 257-262(2024): 上賀茂試験地
- 川嶋 孝典, 長谷川 元洋, 藤井 佐織, 菱 拓雄, 黒川 紘子: 植物リター形質が森林の有機物層の構造を通してトビムシ群集構造に与える影響, 日本生態学会第 72 回全国大会, - (-) : -(2025): 上賀茂試験地
- 眞砂 海斗, 坂崎 貴俊: ドローンを用いた斜面冷気流の観測, 日本気象学会 2024 年度秋季大会, - (-) : -(2024): 上賀茂試験地
- 諸橋 佑星, 北原 壮恭: LiDAR スキャナーを用いた地形把握の精度評価——植生の有無およびプラットフォームの違いに焦点を当てて——, 京大フィールド研×パナソニック「研究交流会」, - (-) : -(2024): 上賀茂試験地
- 足立 浩汰朗: 窒素制限が強い森林において優占樹種と土壌母材が土壌微生物群集および窒素動態に与える影響, 京都大学大学院農学研究科森林科学専攻 2024 年度修士学位論文, (-): -(2025) 上賀茂試験地
- 元家 悠貴: 森林における Cs の斜面方向移動を考慮した土壌中 Cs 濃度および空間線量の将来推計, 京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻 2024 年度修士学位論文, - (-) : -(2025): 上賀茂試験地
- 山本 晴登: 京都市近郊二次林におけるブナ科落葉広葉樹コナラ・アベマキの種子生産: 混交割合の異なる 2 林分での比較, 京都府立大学生命環境学部森林科学科 2024 年度課題研究論文, (-): -(2025): 上賀茂試験地
- 伊藤 大智: 京都市近郊二次林と奈良県春日山原始林における二年成ブナ科常緑広葉樹の種子生産と種子食昆虫が種子生産に与える影響, 京都府立大学生命環境学部森林科学科 2024 年度課題研究論文, - (-) : -(2025): 上賀茂試験地
- 村田 悠: 気候変動がスギ人工林の林齢と渓流水質との関係に与える影響, 福島大学卒業論文, (-): -(2025): 和歌山研究林
- Tomoko Tanabe: Temporal dynamics of carbon allocation to apical and cambial activities corresponding to phenology in *Abies firma*, 10th Pacific Regional Wood Anatomy Conference, (-): -(2024): 北白川試験地
- Tomika Hagiwara, Kaori Shiojiri, Hitoshi Sakakibara, Mikiko Kojima, Yumiko Takebayashi, Makoto Kashima, Masae Ishihara: Does drought stress affect plant signaling via VOCs?, Ecological Society of America 2024 Annual Meeting, (-): -(2024): 北白川試験地
- 神代 花穂, 田邊 智子, 隅田 明洋: モミ (*Abies firma*) 苗木の成長フェノロジーが樹形形成に及ぼす影響, 日本植物学会第 88 回大会, (-): -(2024): 北白川試験地
- 田邊 智子, 鈴木(張) 春花, 香川 聡, 今井 友也, 檀浦 正子, 高橋 けんし: 幹枝生産に使う炭素はいつの光合成で得たものか: モミ苗の例, 第 136 回日本森林学会大会, (-): -(2025): 北白川試験地
- 橋本 叡, 神代 花穂, 田邊 智子, 隅田 明洋: 形態的およびフェノロジカルな特徴によるモミ苗の当年生シュート伸長の表現, 日本生態学会第 72 回全国大会, (-): -(2025): 北白川試験地
- 上原 遼翼, 吉永 新, 秋山 拓也, 重富 顕吾, 杉山 淳司: リグニンの 5-5'型構造に対するモノクローナル抗体の特異性の検討と免疫蛍光標識, 第 75 回日本木材学会大会, (-): -(2025) : 北白川試験地
- 永盛 正晴, 津山 濯, 雉子谷佳男, 吉永 新, 加藤 政和, 須原 弘登: 10 種の広葉樹における樹幹屈曲後に形成される木部のリグニン分布および組成について, 第 75 回日本木材学会大会, (-):

-(2025):北白川試験地

平松 宏基:スギ傾斜幹におけるオボジツ材の特異な細胞壁成分分布, 令和 6 年度京都大学大学院農学研究科森林科学専攻修士論文発, -(2025):北白川試験地

## 京都府立大学

### 環境科学部附属演習林

糟谷 信彦, 宮藤 久士, 村田 功二, 山田 範彦:植栽された有用広葉樹の初期成長 ~センダンとの比較~,第 74 回日本木材学会大会研究発表要旨集, Q14-P-05(2024):大野演習林,大枝演習林,鷹峯演習林,梅ヶ畑演習林,演習林苗畑

上岡 洸太, 長島 啓子:立地環境に基づく地位指数推定手法の比較検証,第 135 回日本森林学会大会,PD-9 (2024):大野演習林

上岡 洸太:樹高成長と立地環境の関係および最適メッシュサイズの検討,森林施業研究会宮崎県肥現地討論会(2023):大野演習林

北野 陽大, 中田 康隆, 長島 啓子:航空レーザ測量データによる森林構造指標を考慮した林相分類手法の検討, 森林 GIS フォーラム 学生コンテスト 2024. 卒業論文部門(2024):大野演習林

北野 陽大, 中田 康隆, 長島 啓子:航空レーザ測量データによる森林構造指標を考慮した林相分類手法の検討, 第 135 回日本森林学会大会. PD-28 (2024):大野演習林

北野 陽大:航空レーザ測量データによる森林構造指標を考慮した林相分類手法の検討. 2023 年度卒業論文:大野演習林

Hiroaki Horiyama, Keisuke Kojiro, Yuzo Furuta: Transition in viscoelastic properties within successive annual rings of radiata pine (*Pinus radiata*), *Journal of Wood Science*, 69(37):(2023):大野演習林

Hiroaki Horiyama, Yuka Miyoshi, Keisuke Kojiro, Yuzo Furuta: Thermal softening properties of various wood species within an annual ring, *Journal of Wood Science*, 69(1):(2023):大野演習林

Hiroaki Horiyama, Waka Fujimoto, Keisuke Kojiro, Takafumi Itoh, Hiromu Kajita, Yuzo Furuta: Proposal for a new method for sustainable and advanced utilization of oil palm trunk waste, *Bioresources and Bioprocessing*, 10(69):(2023):大野演習林

Yuka Miyoshi, Hisashi Abe, Hiroaki Horiyama, Keisuke Kojiro, Yuzo Furuta: Influence of habitat, density, lignin structure, and extraction treatment on thermal-softening properties of water-swollen wood: a study of 87 wood specimens, *Holzforschung*, 78(2):(2024):大野演習林

堀山 彰亮, 神代 圭輔, 岡久 陽子, 今井 友也, 古田 裕三:放射光を用いた木材の微細構造解析~木材の物性発現機構の解明に向けて~,マテリアルライフ学会誌,35(3):72-76(2023):大野演習林

神代 圭輔:木材・プラスチック再生複合材(WPRC)の現状と展望,ぷらすとす,7(73):30-34(2024):大野演習林

上原 一輝, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三, 師岡 敏朗, 三好 由華:水分変化過程における木材の動的粘弾性~周波数分散に関する考察~, 第 9 回材料 WEEK 若手学生研究発表会プログラム,1D-45(2023):大野演習林

安本 琴音, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三:木材の溶媒置換過程における力学的性質の変化, 第 9 回材料 WEEK 若手学生研究発表会プログラム,2A-54(2023):大野演習林

塩見 綾里, 上原 一輝, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三:有機液体による膨潤木材の横圧縮変形, 第 9 回材料 WEEK 若手学生研究発表会プログラム,2D-86(2023):大野演習林

塩見 綾里, 上原 一輝, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三:水・エタノール混合液体により膨潤した木材の横圧縮変形, 公益社団法人日本木材加工技術協会第 41 回年次大会,P106:大野演習林

村山 浩久, 松尾 健司, 神代 圭輔, 長島 啓子, 古田 裕三, 淵上 佑樹:ICT を活用した新たな木材流通(京都モデル)の構築を目指した基礎的研究-府内木材加工実態を踏まえた流通効率化の検討-,公益社団法人日本木材加工技術協会第 41 回年次大会,P405:大野演習林

上原 一輝:水分変化過程における木材の動的粘弾性~不安定性の方向性に関する考察~,第 18 回若手シンポジウム講演概要集,2-B(2023) :大野演習林

塩見 綾里:水・エタノール混合液体によって膨潤した木材が横圧縮変形に及ぼす影響,第 18 回若手シンポジウム講演概要集,3-B(2023) :大野演習林

堀山 彰亮, 楠本 紅音, 神代 圭輔, 古田 裕三, 岡久 陽子, 今井 友也:非平衡状態における木材

- の微細構造変化—小角 X 線散乱からの考察—,第 74 回日本木材学会大研究発表要旨,C13-04-1045(2024) :大野演習林
- 楠本 紅音, 上原 一輝, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田裕三:木化過程にあるモウソウチク (*Phyllostachys pubescens*)の個体内における力学的性質の変化—周波数依存性からの考察—,第 74 回日本木材学会大研究発表要旨, C13-04-1130(2024):鷹峯演習林
- 上原 一輝, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三, 三好 由華:調湿履歴が水分変化過程における木材の動的粘弾性に及ぼす影響,第 74 回日本木材学会大研究発表要旨,C13-04-1315(2024):大野演習林
- 松原 斎樹, 池田 維, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三, 石田 正浩, 森下 正修, 玉井 嘉:木質内装の利用意向,利用したい理由と属性・価値観の関係,第 74 回日本木材学会大会研究発表要旨,G15-05-0945(2024):大野演習林
- 池田 維,松原 斎樹, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三, 森下 正修, 石田 正浩, 玉井 嘉:消費者が木材・木製品に対してもつイメージと個人属性・価値観の関係,第 74 回日本木材学会大会,G15-05-1000(2024):大野演習林
- 上原 一輝, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三, 三好 由華, 山下 香菜:カラマツの力学特性に及ぼすアラビノガラクトンの影響,第 74 回日本木材学会大研究発表要旨,B14-P-22(2024):大野演習林
- 塩見 綾里, 上原 一輝, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三:木材の膨潤異方性が横圧縮変形に及ぼす影響,第 74 回日本木材学会大研究発表要旨,C14-P-12(2024):大野演習林
- 安本 琴音, 楠本 紅音, 上原 一輝, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三:溶媒置換過程における木材の膨潤率と動的粘弾性の変化,第 74 回日本木材学会大研究発表要旨,C14-P-13(2024):大野演習林
- 楠本 紅音, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三, 関 雅子, 三木 恒久, パントンパチャ, 八尾 滋:未利用リサイクル原料を用いた混練型 WPRC の性能評価,第 74 回日本木材学会大研究発表要旨,I14-P-18(2024):大野演習林
- 井原 真夢, 塩見 綾里, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 岡久 陽子:イオン液体を用いた竹接着方法の検討と接着強度評価,第 74 回日本木材学会大会研究発表要旨,I14-P-21(2024):鷹峯演習林
- 堀山 彰亮, 楠本 紅音, 神代 圭輔, 古田 裕三, 吉田元彰, 山名田 敬太, 林田 元宏:ウリン (*Eusideroxylon zwageri*)心材の抽出成分が物性に及ぼす影響,第 74 回日本木材学会大研究発表要旨,M14-P-12(2024):大野演習林
- 村山 浩久, 松尾 健司, 神代 圭輔, 長島 啓子, 古田 裕三, 淵上 佑樹:ICT を活用した新たな木材流通(京都モデル)の構築を目指した基礎的研究-府内木材加工実態を踏まえた現状分析と課題抽出-,第 74 回日本木材学会大会研究発表要旨,Q14-P-01(2024):大野演習林
- 楠本 紅音, 上原 一輝, 堀山 彰亮, 神代 圭輔, 古田 裕三:発筈後 1 カ月のモウソウチク (*Phyllostachys pubescens*)の個体内における木化と力学的性質との関係,第 68 回リグニン討論会講演集,P05 (2023):鷹峯演習林
- 片岡 洋哉:リンゴ酸処理木材における寸法安定性および吸湿性の発現機構の解明,2023 年度卒業論文:大野演習林
- 安本 琴音:水およびエタノールを用いた溶媒置換過程における木材の膨潤率および動的粘弾性の変化,2023 年度卒業論文:大野演習林
- Hiroaki Horiyama: Structure-Property Relationships at Microstructural and Mesostructural Scales in Wood, 2024 年度博士論文:大野演習林
- Akihiro Sumida, Yoshiyuki Inagaki, Takuya Kajimoto, Masumi Katsuno Miyaura, Akira Komiyama, Nahoko Kurachi, Tomiyasu Miyaura, Shigeaki F. Hasegawa, Toshihiko Hara, Kiyomi Ono, Masahito Yamada :
- Allometry of the quasi pipe (qPipe) model for estimating tree leaf area and tree leaf mass applied to plant functional types, Scientific Reports 13:9954 (2023)  
<https://doi.org/10.1038/s41598-023-37112-1>:北海道大学雨龍研究林,岐阜大学位山演習林,名古屋大学稲武演習林
- 岸大地:群落内に生育するサカキ (*Cleyera japonica*) のシュート構造に影響を及ぼす要因の解析,2023 年度修士論文:大枝演習林

岸大地・隅田明洋:サカキのシュート構造と光環境との関係,第135回日本森林学会大会. PH-12  
(2024):大枝演習林

## 鳥取大学

### 農学部附属フィールドサイエンスセンター

Siliang MA, Dai NAGAMATSU: Effects of physical environmental factors and other major trees on the distribution of *Cerasus jamasakura* in the secondary forest, *Vegetation Science*, 41(2): 51-62(2024): 蒜山の森

Takaaki Fujimoto, Te Ma, Tetsuya Inagaki, Satoru Tsuchikawa: The effects of growth rate on the age dependent variation of wood properties evaluated by differential geometry, *Industrial Crops & Products*, 222: 119596(2024): 蒜山の森

Kenta Anraku, Takehiro Kubo & Hirokazu Haga: Influence of hydrological environments on the spawning behavior of landlocked amago salmon in the headwater streams of the Tendani River, Japan, *Ichthyological Research*, 72: 471-476(2025): 蒜山の森

井上 実咲: 森林流域における出水時の窒素と炭素の流出特性, 鳥取大学農学部生命環境農学科 卒業論文: (2024): 蒜山の森

畠山 和佳奈: 森林流域における流路内障害物が水質に与える影響 ~塩水投下法を利用した解析~, 鳥取大学農学部生命環境農学科 卒業論文: (2024): 蒜山の森

江本 諒太: 山地小河川での倒流木調査 ~長期モニタリングに向けた試行と今後の課題~, 鳥取大学農学部生命環境農学科 卒業論文: (2024): 蒜山の森

上野 綾子: 化学合成農薬を使用しないノウサギ防護資材の被害抑制効果, 鳥取大学農学部生命環境農学科 卒業論文: (2024): 蒜山の森

吉田 彩乃: 樹木成長過程の対称性に基づく森林のサステナビリティの定量的評価, 鳥取大学農学部生命環境農学科 卒業論文: (2024): 蒜山の森

## 島根大学

### 生物資源科学部附属生物資源教育研究センター

朝木 翔子: 山陰地方のスギ人工林における森林土壌の水質形成-三瓶演習林と蒜山演習林の比較-, 島根大学生物資源科学部環境共生科学科 卒業研究: pp.17 (2025): 三瓶演習林

澤江 裕也: 積雪形態の異なる2つのスギ人工林の窒素動態の比較, 島根大学生物資源科学部環境共生科学科 卒業研究: pp.13 (2025): 三瓶演習林

藤巻 玲路, 澤江 裕也, 朝木 翔子, 葛西 絵里香, 山下 多聞: 山陰地域のスギ人工林における冬季の窒素流入による土壌窒素動態への影響, 日本生態学会第72回全国大会講演要旨: P1-173 (2025): 三瓶演習林

入江 菜紗, 穴澤 颯馬, 藤巻 玲路, 山下 多聞, 松本 真悟: 三瓶演習林の16年生スギ人工林におけるスギ樹幹の金属含有量, 森林応用研究, 33 (Special): pp.41-44(2025): 三瓶演習林

高橋 絵里奈, 高橋 さやか, 但井 茜香, 葛西 絵里香, 尾崎 嘉信: 島根大学三瓶演習林におけるトレイルカメラの画像による野生動物生息調査, 第136回日本森林学会大会ポスター発表: 三瓶演習林

## 愛媛大学

### 農学部附属演習林

Rachmat HH, Kamiya K, Yulita KS, Hidayat A, Susilowati A. Genetic structuring of the wild *Aquilaria malaccensis* population from Indonesia inferred by trnL-trnF and trnH-psbA. *Iranian Journal of Science*. 48: 541-552. 2024. <https://doi.org/10.1007/s40995-024-01623-x>: インドネシア

Dwiyanti FG, Kustiyaning, NF, Kamiya K, Rachmat HH, Majiudu M, Wat R, Siregar IZ. Evaluation of phenotypic and genetic characteristics of *Dryobalanops aromatica* (Dipterocarpaceae) seedlings growing in peat and mineral media. *HAYATI Journal of Biosciences*. 32: 27-40. 2024. <https://doi.org/10.4308/hjb.32.1.27-40>

Shimamura T, Neishi R, Poesie ES, Momose K, Ninomiya I, Limin SH. A comparison of organic matter dynamics among degraded, dam-restored, and preserved peat swamp forests. *International Journal of Environmental and Rural Development*. 15: 27-34. 2024: インドネシア

- Enoki T, Uchiyama C, Takagi M, Ugawa S, Nabeshima E, Ishii H. Plasticity of leaf functional traits and growth responses to disturbance among cutting cultivars of *Cryptomeria japonica* in southern Japan. *Journal of Forest Research* 26: 440–449. 2024: 愛媛大学、米野々演習林など
- Kimura T, Sato G, Ozaki T, Thang NV, Wakai A. Landslide susceptibility in a highly-cultivated hilly region: artificial slope construction in 1963-1979 and subsequent 2018 landslide event in Omishima western Japan. In: Hazarika H, Haigh SK, Chaudhary B, Murai M, Manandhar S (eds) *Natural Geo-Disasters and Resiliency. Lecture Notes in Civil Engineering (LNCE)*, vol. 445, 463–469. Springer Singapore, 2024. 愛媛県
- 栗本 享宥, 苅谷 愛彦, 山田 隆二, 木村 誇, 目代 邦康, 佐藤 昌人: 岐阜県郡上市水沢上の大規模斜面崩壊: 地形・地質特性および 1586 年天正地震との関係. *日本地すべり学会誌*. 62: 13–21. 2025: 岐阜県
- 横川 佳依, 木村 誇: 正規化植生指数の季節変動が崩壊地抽出精度に与える影響～2016年4月熊本地震によって林地と草地で発生した斜面崩壊を例に～. *令和6年度四国森林・林業研究発表集*. 63–68. 2025: 熊本県
- Indrianingsih AW, Styaningrum P, Suratno, Windarsih A, Suryani R, Noviana E, Itoh K. The effect of extraction method on biological activity and phytochemical content of *Artocarpus heterophyllus* (jackfruit) leaves extract concurrent with its principal component analysis. *Process Biochemistry*. 143: 135–147. 2024.
- Hirano T, Ohkubo S, Itoh M, Tsuzuki H, Sakabe A, Takahashi H, Kusin K, Osaki M. Large variation in carbon dioxide emissions from tropical peat swamp forests due to disturbances. *Communications Earth & Environment*. 5: 221. 2024. <https://doi.org/10.1038/s43247-024-01387-7>. インドネシア
- Dalya N, Tsuzuki H, Oue H. Biomass by an organ in understory vegetation: Study comparison among upper story tree species. *IOP Conference Series: Earth and Environmental Science*. 1277: 012028. 2024. doi: 10.1088/1755-1315/1277/1/012028: インドネシア・ハサヌディン大学演習林
- 寺下 太郎: 「Staatswald」から「ForstBW」へ. 地域森林管理の長期持続性. *日本林業調査会*. 24-31. 2023年9月.
- 渡邊 洋心, 吉田 明恵: 愛媛大学における学生主導によるクラウドファンディングの実践と課題—えひめ学生起業塾による資金調達 プロジェクトを事例に—*大学教育実践ジャーナル*. 24: 75–83. 2025.

## 高知大学

### 農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター嶺北フィールド

- 橋本 直之, 林 美輝, 喜羽 柚衣, 倉本 泰隆, 榎本 真貴: UAV 空撮と SfM 技術を用いた森林情報計測における太陽高度の影響—高知大学農林海洋科学部附属演習林の事例—, *高知大学学術研究報告*, 73, 115-123(2024): 嶺北フィールド
- 喜羽 柚衣, 橋本 直之: 地理情報システムを活用した専門高校向け教材の試作 ～「森林科学」の事例～, *四国 GIS シンポジウム 2025(高松市)(2025)*: 嶺北フィールド
- 喜羽 柚衣, 橋本 直之: 高知県内農業高校での専門教育における地理情報システムの活用, 第 79 回農業農村工学会中国四国支部講演会(鳥取市)(2024): 嶺北フィールド
- 澤田 祐作: 高知県嶺北地域における高標高ウバメガシ人工林の初期成長, *高知大学卒業論文* (2025): 嶺北フィールド
- 筒井 耀貴: 広葉樹材と針葉樹材の積込作業の分析と比較, *高知大学農林海洋科学部卒業論文* (2024): 嶺北フィールド
- 松本 尊広: 作設方法や作設年度が作業道路盤強度に及ぼす影響, *高知大学農林海洋科学部卒業論文*(2024): 嶺北フィールド

## 九州大学

### 農学部附属演習林

- Tiegs SD, Capps KA, Costello DM, Schmidt JP, Patrick CJ, Follstad Shah JJ, LeRoy CJ, the CELLDEX Consortium: Human activities shape global patterns of decomposition rates in rivers, *Science*, 384(6701): 1191-1195(2024): 宮崎演習林ほか
- Liu YY, Chiwa M: Influence of surface soil chemistry on nutrient leaching from Japanese cedar plantations

- and natural forests, *LANDSCAPE AND ECOLOGICAL ENGINEERING*, 20(2): 187-194(2024.4): 福岡演習林
- Xiang Y, Kagawa A, Nagai S, Yasuda Y, Utsumi Y: Isotope Distribution Analysis in H218O Pulse-Labeled Trees Frozen with Liquid Nitrogen, *PHYSIOLOGIA PLANTARUM*, 176(3): e14292(2024.5): 北海道演習林
- Ichihashi R, Katayama A: Aboveground biomass and structural characteristics of poisonous *Pieris japonica* shrub stands dominating under deer pressure, *JOURNAL OF FOREST RESEARCH*, 29(5): 404-408(2024.6): 宮崎演習林
- Li ZQ, Fu DC, Kasahara T, Chiwa M: Long-term Changes in Sulfate and Nitrate Concentrations in Streams in Western Japan Between 1986 and 2023 in Response to Changes in Sulfur and Nitrogen Deposition from the Atmosphere, *WATER AIR AND SOIL POLLUTION*, 235(6): (2024.6): 福岡市
- Abe H, Kume T, Katayama A: Reduction in forest carbon stocks by sika deer-induced stand structural alterations, *Forest Ecology and Management*, 562(-): 121938(2024.6): 宮崎演習林
- 高槻 成紀, 片山 歩美: 宮崎県椎葉村の九州大学宮崎演習林におけるシカの食性, *保全生態学研究*, 29(2): 171-177(2024.6): 宮崎演習林
- 阪上 宏樹, 田中 星夏, 川野 まみ, 古賀 信也, 横尾 謙一郎, 松村 順司: 国内に生育する広葉樹 7 種を対象とした室内耐朽性試験, *木材工業*, 79(6): 221-226(2024.6): 福岡演習林
- Tokumoto Y, Sakurai Y, Abe H, Katayama A: Effects of deer-exclusion fences on soil microbial communities through understory environmental changes in a cool temperate deciduous forest in Southern Japan, *FOREST ECOLOGY AND MANAGEMENT*, 564(-): 121993(2024.7): 熊本県
- Matsuni T, Utsumi Y, Enoki T: Effects of stem size and age on resprouting ability of different tree species after clear-cutting in a warm temperate secondary forest, *JOURNAL OF FOREST RESEARCH*, 29(6): 417-424(2024.7): 福岡演習林
- Enoki T, Uchiyama C, Takagi M, Ugawa S, Nabeshima E, Ishii H: Plasticity of leaf functional traits and growth responses to disturbance among cutting cultivars of *Cryptomeria japonica* in southern Japan, *JOURNAL OF FOREST RESEARCH*, 29(6): 440-449(2024.7): 福岡演習林, 宮崎演習林ほか
- Jeong S, Nanko K, Katayama A, Kume T, Koga S, Otsuki K: Characteristics of throughfall kinetic energy in an unmanaged Japanese cypress plantation laden with dead branches, *CATENA*, 243(-): 108181(2024.8): 福岡演習林
- Enoki T, Orrego M: Effects of *Phyllostachys nigra* var. *henonis* bloom for the first time in 120 years on the dynamics of organic matter and nitrogen in forest: Differences in decomposition processes between leaf and flower, *ECOLOGICAL RESEARCH*, 40(1): 76-81(2024.8): 福岡演習林
- Abe H, Kume T, Katayama A: Sensitivities of soil respiration and heterotrophic respiration to temperature in a cool-temperate forest with sika deer-induced understory vegetation alteration, *EarthArXiv*, (-): (2024.8): 宮崎演習林, (査読なし)
- Ioka R, Ueda S: A new record of yellow-colored nymph of *Hierodula chinensis* Werner, 1929 (Mantodea: Mantidae), *Japanese Journal of Environmental Entomology and Zoology*, 35(3): 63-65(2024.10): 福岡演習林
- Uemori K, Hishi T: Differences in sampling efficiency of each insect order in yellow pan traps with installation of flight interception windows, *Entomological Science*, 27(4): e12591(2024.10): 福岡演習林
- Huang SY, Shiono T, Fujinuma J, Kusumoto B, Zeleny D, Kubota Y: Dispersal limitations and ecological adaptations shape phylogenetic diversity patterns of angiosperm woody plant communities along latitudinal and elevational gradients in East Asian islands, *GLOBAL ECOLOGY AND CONSERVATION*, 54(-): e03049(2024.10): 東アジア
- Ding N, Yu W, Mo J, Rehman F, Kasahara T, Guo J: Does exposure timing of macrolide antibiotics affect the development of river periphyton? Insights into the structure and function., *Aquatic toxicology*, 275(-): 107070(2024.10): 中国
- Abe H, Fu D, Sato T, Tokumoto Y, Hyodo F, Katayama A: Protection of understory vegetation by deer enclosure fences prevent the reduction of beech growth due to soil erosion., *Journal of environmental management*, 371(): 1234146(2024.11): 宮崎県
- Enoki T, Sawae H: Effects of bamboo encroachment-associated litter and soil change on the decomposition

- environment of a warm-temperate secondary broad-leaf forest, *Bamboo Journal*, 33(-): 32-43(2025): 福岡演習林
- 高槻 成紀, 阿部 隼人, 片山 歩美:九州北部の低山地におけるニホンジカの食性, *哺乳類科学*, 65(1): 1-8(2025): 福岡演習林
- Hirakizawa N, Yamauchi T: New distributional records of *Kopidoiulus longus* (Diplopoda: Julida: Mongoliulidae), including low altitude regions, *Biogeography*, 27(-): 1-4(2025.1): 北海道演習林ほか
- Orita T, Hishi T, Kishimoto-Yamada K, Kurokawa H, Ohta M, Hyodo F: Abiotic factors and plant traits affect the soil microbial properties in forests across the Japanese archipelago, *Ecological Research*, 40(4): 559-572(2025.3): 福岡演習林, 宮崎演習林, 北海道演習林ほか
- Takehige R, Htoo KK, Onishi M, Rahman FM, Hoshizaki K, Ida H, Ishihara MI, Itoh A, Kaneko T, Katayama A, Kuramoto S, Kurokawa H, Maki M, Masaka K, Nakaji T, Nakamura M, Nishimura N, Noguchi M, Sakai A, Takashima A, Tashiro N, Tokuchi N, Yamagawa H, Onoda Y: High-resolution digital canopy height models, terrain models, ortho-mosaic photos, and canopy tree crown shapes derived from UAV-borne LiDAR at 22 tree census plots across Japanese natural forests, *Ecological Research*, 40(4): 657-670(2025.3): 宮崎演習林, 北海道演習林
- Nakamura M, Terada C, Ito K, Hiura T, Shibata H, Miki T, Saitoh TM, Takagi M, Hougen T, Matsuzaki SS, Watanabe M, Tado H, Hotta N, Kosugi Y, Aiko N, Kojima N, Katagiri N, Kishimoto K, Yoshida T, Tsunoda Y, Takamiya T, Ito K, Utsumi Y, Yoshikawa T, Kenta T, Oda M, Agetsuma N, Kawai M, Fujita T, Hishi T, Shimada H, Ichie T, Hoshizaki K, Kobayashi H, Seino T, Noguchi M, Nagamatsu D, Saito H, Tateno R, Ishihara MI, Kitagawa Y, Hisamoto Y, Homma K, Hirao T, Otani T, Toda M, Terada J, Kume T, Fukuzawa K, Takashima A, Kurose K, Fujii S, Itoh S, Ohta T, Otsuki K, Nagaike T, Hasegawa K, Makoto K, Shirahata M, Matsuki S, Hatanaka M, Suzuki S, Muro N, Yamoto T, Adachi N, Kaneko N, Yamashita T: Physiological profiling of the soil microbe community using the EcoPlate and assessment of soil properties at 74 planted forest sites across Japan, *ECOLOGICAL RESEARCH*, 40(2): 228-242(2025.3): 福岡演習林, 宮崎演習林, 北海道演習林ほか
- Altmanová N, Fibich P, Dolezal J, Bazant V, Cerny T, Molina JGA, Enoki T, Hara T, Hoshizaki K, Ida H, Janda P, Kagawa A, Kopecky M, Korznikov KA, Krestov P, Kubota Y, Lanta V, Macek M, Mejstrik M, Nakamura M, Noguchi M, Omelko AM, Petrik P, Sakai T, Song JS, Suzuki SN, Svoboda M, Srutek M, Treydte K, Ukhvatkina ON, Ulbrichová I, Vozmishcheva AS, Wang XC, Altman J: Spatial heterogeneity of tree-growth responses to climate across temperate forests in Northeast Asia, *AGRICULTURAL AND FOREST METEOROLOGY*, 362(-): 110355(2025.3): 東アジア
- 扇 大輔, 中村 琢磨, 村田 秀介, 山内 耕司朗, 今村 明雄, 菱 拓雄:九州大学福岡演習林とその隣接民有林におけるコナラ萎凋病の被害と伐倒駆除の経過, *九州森林研究*, - (78): 175-177(2025.3): 福岡演習林ほか
- Fu D, Abe H, Li Z, Katayama A, Fukuzawa K, Hishi T, Chiwa M: Effects of Sasa understory degradation by Sika deer grazing on N cycling in cool temperate forests in western Japan, *Japan Geoscience Union Meeting 2024*, 2024.5, Japan: 宮崎演習林
- Abe H, Fu D, Kume T, Katayama A: Net ecosystem carbon balance reduced by sika deer-induced stand structure alternations in cool-temperate forests, *Japan Geoscience Union Meeting 2024*, 2024.5, Japan: 宮崎演習林
- Alam MM, Yamakita E, Mori Y, Koarashi J, Atarashi-Andoh M, Abe Y, Nakayama M, Hiradate S: Comparison of depth profile properties between a Silandic Andosol and an Aluandic Andosol collected under natural forests in Miyazaki, 7th International Soil Classification Congress, 2024.6, Japan: 宮崎演習林
- Katayama A: Carbon Cycling In An Old Growth Forest In Borneo, *Asia-Pacific Regional Conference on Forest Landscape*, 2024.8, Malaysia: マレーシア
- Jeong S, Nanko K, Katayama A, Kume T, Koga S, Otsuki K: Characteristics of throughfall kinetic energy and sampling strategy in an unmanaged Japanese cypress plantation laden with dead branches, 2023 Summer Meeting of Korean Society of Forest Science, 2024.8, Korea: 福岡演習林
- Uemori K, Hishi T: Seasonal variations of Aculeata communities in deciduous broadleaved forests, revealed by trophic level and detritus dependency, *XXVII International Congress of Entomology*, 2024.8, Japan: 宮崎演習林
- 木立 真凜, 内海 俊介: Intraspecific variation in feeding habits of generalist herbivore insect, *Agelastica*

- coerulea: a contribution of local forest structure, 第40回個体群生態学会(The Joint Meeting of the 40th Annual Meeting of the Society of Population Ecology and the 7th the Taiwan-Japan Ecology Workshop), 2024.9, Japan: 北海道演習林
- Yang M, Koga S: Variation in grain angle within the stem in *Cinnamomum camphora*, The 10th Pacific Regional Wood Anatomy Conference, 2024.9, Japan: 福岡演習林
- Fu D, Abe H, Li Z, Katayama A, Fukuzawa K, Hishi T, Chiwa M: Forest nitrogen cycling influenced by deer browsing in cool-temperature mountain forests: A stand-scale based analysis across four stand structures, EcoSummit 2024, 2024.12, China: 宮崎演習林
- Abe H, Kume T, Katayama A: Reduction in forest carbon stocks by sika deer-induced stand structural alterations, EcoSummit 2024, 2024.12, China: 宮崎演習林
- Li Z, Fu D, Kasahara T, Chiwa M: Response of nitrate concentrations in forested streams to decreased atmospheric nitrogen deposition in the Tatara Watershed, western Japan, EcoSummit 2024, 2024.12, China: 福岡市
- Abe H, Kume T, Katayama A: Stand structural alterations by browsing of sika deer degrade forest carbon stocks stocks, EcoSummit 2024, 2024.12, China: 宮崎演習林
- Endo I, Matsumoto T, Ide J, Abe H, Katayama A, Kume T: Evaluation of root dynamics and the effect of scanning site numbers in a Moso bamboo forest using optical scanner method, US-JAPAN Joint Seminar for Catchment Hydrology, Biogeochemistry, and Sediment Dynamics, 2025.3, Japan: 福岡演習林
- 城戸 克弥:九州大学福岡演習林で得られた甲虫5種の記録, 月刊むし, - (646): 35-36(2024.12):福岡演習林, (査読なし)
- 城戸 克弥:福岡県篠栗町でウマノオバチを採集, KORASANA, - (104): 115(2025.2):福岡演習林, (査読なし)
- 智和 正明, 中村 琢磨:北海道演習林における濁度の異なる隣接した流域の渓流水中の懸濁態窒素・リン濃度の比較, 九州大学農学部演習林報告, - (106): 1-6(2025.3):北海道演習林
- 榎木 勉, 山内 康平, 緒方 健人, 長 慶一郎, 中村 琢磨, 井上 幸子, 南木 大祐, 山内 耕司朗, 鍛冶 清弘, 市橋 隆自:モミ・ツガが優占する温帯混交林の実生動態:九州大学宮崎演習林の長期森林動態モニタリングプロットにおける防鹿柵設置後の変化, 九州大学農学部演習林報告, - (106): 7-10(2025.3):宮崎演習林
- 緒方 健人, 井上 幸子, 山内 康平, 藤山 美薫, 壁村 勇二, 鍛冶 清弘, 村田 秀介, 中村 琢磨, 久保田 勝義, 内海 泰弘, 田代 直明, 榎木 勉:九州大学北海道演習林のカラマツ造林地におけるカラマツハラアカハバチ被害—2014年から2023年までの調査結果, 九州大学農学部演習林報告, - (106): 11-17(2025.3):北海道演習林
- 藤山 美薫, 久保田 勝義, 壁村 勇二, 南木 大祐, 井上 幸子, 中村 琢磨, 山内 耕司朗, 片山 歩美:九州大学宮崎演習林におけるシカの食害に伴うスズタケ消失の動態—2003年および2014年と2024年の比較—, 九州大学農学部演習林報告, - (106): 19-24(2025.3):宮崎演習林
- 智和 正明, 村松 優子, 南木 大祐, 緒方 健人, 中村 琢磨, 山内 耕司朗, 藤山 美薫, 井上 幸子:九州大学農学部附属3演習林における大気沈着,河川水質分析データ(2019–2023),九州大学農学部演習林報告, - (106): 25-26(2025.3):福岡演習林, 宮崎演習林, 北海道演習林
- 中村 琢磨, 扇 大輔, 村田 秀介, 村松 優子, 鍛冶 清弘, 緒方 健人, 長 慶一郎, 井上 幸子, 井上一信, 壁村 勇二, 南木 大祐, 久保田 勝義, 榎木 勉, 内海 泰弘, 菱 拓雄, 智和 正明, 笠原 玉青, 楠本 聞太郎, 古賀 信也, 小林 陽仁:九州大学福岡演習林の暖温帯性広葉樹二次林における皆伐前と10年後の毎木調査結果, 九州大学農学部演習林報告, - (106): 27-30(2025.3):福岡演習林
- 中村 琢磨, 壁村 勇二, 山内 康平, 村田 秀介, 佐々木 寛和, 智和 正明, 内海 泰弘:九州大学北海道演習林の異なる斜面方位や地形における林床植生の組成, 九州大学農学部演習林報告, - (106): 31-34(2025.3):北海道演習林
- 城戸 克弥:九州大学福岡演習林の甲虫類, 九州大学総合研究博物館研究報告, - (22): 19-51(2025.3):福岡演習林
- 竹内 万結, 松永 美月, 佐藤 忠道, 執印 康裕, 久米 朋宣, 篠原 慶規:一ツ瀬川源流部における斜面崩壊発生後の植生回復の条件, 令和6年度砂防学会研究発表会「和歌山大会」, 2024.5, 和

- 歌山県民文化会館ほか(和歌山市):宮崎演習林
- 菱 拓雄:開田高原の半自然草原からの土地利用変化が土壤動物群集構造に与える影響, 第46回日本土壤動物学会大会, 2024.5, 福島大学食農学類 研究棟(福島市):長野県
- 菱 拓雄, 片山 歩美, 福澤 加里部, 兵藤 不二夫:土壤深度がトビムシの群集特性に与える影響, 第46回日本土壤動物学会大会, 2024.5, 福島大学食農学類 研究棟(福島市):宮崎演習林
- Alam MM, Yamakita E, Mori Y, Hiradate S: Consistent changes in the ratios of soil organic carbon to pyrophosphate-extractable aluminum with depth and carbon content in some soils from Kyushu Island, 日本土壤肥料学会2024年度福岡大会, 2024.9, 福岡国際会議場(福岡市):福岡演習林, 宮崎演習林
- 田谷 昌仁, 内田 博, 仲村 昇, 油田 照秋, 細谷 淳, 竹田山原 楽, 小田谷 嘉弥, 宮原 克久, 伊藤 舜, 平野 尚浩, 千葉 聡:東日本に生息する外来鳥類ガビチョウの分子系統および集団遺伝解析, 日本鳥学会2024年度大会, 2024.9, 東京大学農学部キャンパス(文京区):福岡演習林, 宮崎演習林
- 笠原 玉青, Ariane Gourlaouen:竹リターからの溶出が渓流水質与える影響の評価, 応用生態工学会第27回大会, 2024.9, 埼玉会館(さいたま市):福岡演習林
- 照内 歩, 押田 龍夫, 榎木 勉:齧歯類の巣と節足動物との関係ーヒメネズミの繁殖活動による節足動物の生息場所の創出ー, 日本哺乳類学会2024年度大会, 2024.9, 兵庫県立大学神戸商科キャンパス(神戸市):北海道演習林
- 田谷 昌仁:外来鳥類ガビチョウの捕獲手法および性別・年齢の判定について, 2024年度(第38回)日本鳥類標識協会大会東京大会, 2024.11, 東京農業大学世田谷キャンパス(世田谷区):福岡演習林, 宮崎演習林
- 戸口 侑紀, 上田 実希, 中村 琢磨, 平尾 聡秀, 芝野 萌菜実, 齊藤 陽子:同所的に生育するカエデ属 *Palmata* 節6種の核及び葉緑体DNAを用いた系統解析と防御戦略の種間差, 森林遺伝育種学会第13回大会, 2024.11, 東京大学農学部キャンパス(文京区):宮崎演習林
- 新 真澄, 伊東 拓朗, 尾関 雅章, 壁村 勇二, 久保田 勝義, 加藤 裕一, 一ノ瀬 久子, 牧 雅之, 津田 吉晃:ウスバサイシン節の保全遺伝学的研究, 第10回山岳科学学術集会, 2024.12, 静岡大学静岡キャンパス(静岡市):宮崎演習林
- 石橋 総一郎, 守田 侑太郎, 陳 昱通, 住吉 大輔, 上野 貴広, 山本 高広, 呉 濟元, 木原 己人:BI-Tech システムによる在室者の省エネ行動変容の効果検証 第1報 省エネ行動と電力消費量削減効果との関係分析, 2024年度 第64回 日本建築学会九州支部 研究発表会, 2025.3, 九州産業大学(福岡市):福岡演習林ほか
- 守田 侑太郎, 住吉 大輔, 陳 昱通, 石橋 総一郎, 上野 貴広, 山本 高広, 呉 濟元, 木原 己人:BI-Tech システムによる在室者の省エネ行動変容の効果検証 第2報 利用者の属性と行動の関係性, 2024年度 第64回 日本建築学会九州支部 研究発表会, 2025.3, 九州産業大学(福岡市):福岡演習林ほか
- 遠藤 いず貴, 松本 達也, 井手 淳一郎, 阿部 隼人, 片山 歩美, 久米 朋宣:スキャナー法によるモウソウチク林の根系動態の解析と撮影地点数の影響評価, 第136回日本森林学会大会, 2025.3, 北海道大学(札幌市):福岡演習林
- Han S, Kume T, Abe H, Fu DC, Marly O: Can two abandoned *Phyllostachys* stands be carbon source?, 第136回日本森林学会大会, 2025.3, 北海道大学(札幌市):福岡演習林
- Htoo KK, Onishi M, Rahman MF, Takeshige R, Kitajima K, Onoda Y: Crown-based allometric models for estimating stem diameter and biomass in Japanese natural forests using UAV-LiDAR, 第136回日本森林学会大会, 2025.3, 北海道大学(札幌市):宮崎演習林, 北海道演習林
- 榎木 勉, Uchiyama Christmas, 高木 正博, 鶴川 信, 鍋嶋 絵里, 石井 弘明:スギ挿木品種の葉の機能形質の可塑性と攪乱に対する成長反応, 第136回日本森林学会大会, 2025.3, 北海道大学(札幌市):福岡演習林, 宮崎演習林ほか
- 服部 友香子, 市原 優, 安藤 裕萌, 升屋 勇人:主要造林樹種から分離された暗色枝枯病菌の再評価, 第136回日本森林学会大会, 2025.3, 北海道大学(札幌市):宮崎演習林
- 笠原 玉青, Gourlaouen A, 田中 亜季:森林河川におけるモウソウチクのリター破碎とリターからの溶出, 第136回日本森林学会大会, 2025.3, 北海道大学(札幌市):福岡演習林
- 竹重 龍一, Kyaw Kyaw Htoo, 大西 信徳, Farhadur Md. Rahman, 小野田 雄介:日本全国の天然林試

- 験区における樹冠木データベースの構築, 第 136 回日本森林学会大会, 2025.3, 北海道大学(札幌市): 宮崎演習林, 北海道演習林
- 長井 孝祐, Han Siho, 阿部 隼人, 久米 朋宣: 里山のスギ林、広葉樹林、モウソウチク林での土壌呼吸量とその成分の違い, 第 136 回日本森林学会大会, 2025.3, 北海道大学(札幌市): 福岡演習林
- 福澤 加里部, 智和 正明, 館野 隆之輔, 松山 周平, 菱 拓雄, 杉山 賢子, 谷口 武士, 野村 睦: ササを除去し、時間が経過して、森林の土壌窒素はどう変わったか?, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): 宮崎演習林
- 川上 えりか, 菱 拓雄, 片山 歩美: シカによる下層植生の消失が土壌動物に与える影響 -九州ブナ林と山陰ブナ林の比較-, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): 宮崎演習林
- 阿部 隼人, 付 東川, 久米 朋宣, 片山 歩美: シカ採食に伴う森林構造の変化による炭素固定機能の低下, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): 宮崎演習林
- 付 東川, 阿部 隼人, 李 周強, 片山 歩美, 福澤 加里部, 智和 正明: シカ食害によるスズタケの衰退が森林の窒素循環および炭素循環に与える影響, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): 宮崎演習林
- 阿部 隼人, 徳本 雄史, 古賀 みこと, 兵藤 不二夫, 菱 拓雄, 佐藤 忠道, 付 東川, 片山 歩美: シカ排除によるブナ成長・土壌微生物群集・土壌機能の応答: 熊本県白髪岳の事例, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): 熊本県
- 照内 歩, 押田 龍夫: ヒメネズミの営巣が創る生態系-巣材植物種と巢内に生息する節足動物との関係, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): 北海道演習林
- 榎木 勉, 菱 拓雄: 下層植生の除去がミズナラ林の純一次生産に及ぼす影響, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): 北海道演習林
- 高槻 成紀, 片山 歩美, 阿部 隼人: 九州 (福岡、宮崎) のシカの食性, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): 福岡演習林, 宮崎演習林
- 谷川 晴宣, 古賀 みこと, 阿部 隼人, 高橋 あかり, 末吉 功季, 片山 歩美, 東 若菜: 根系露出によるブナ地上部生理機能の変化, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): 宮崎演習林
- 徳本 雄史, 片山 歩美: 鹿食害後の森林における不嗜好性植物の繁茂の影響: アセビを事例として, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): 宮崎演習林
- 木立 真凜, 内海 俊介: 植食昆虫ハンノキハムシの宿主特殊性は森林の不均一性に依存するか?, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): 北海道演習林
- 高橋 大樹, 田口 裕哉, 逢沢 峰昭, 岩泉 正和, 内山 憲太郎, 北村 系子, 熊谷 果穂, 玉城 聡, 津村 義彦, 戸丸 信弘, ワース ジェームズ, 陶山 佳久: 日本産針葉樹の遺伝的集団構造と遺伝的多様性, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): 福岡演習林
- 上森 教慈, 菱 拓雄: 北海道の落葉広葉樹天然林とマツ科人工林の有剣ハチ群集の構造比較, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): 北海道演習林
- 松山 周平, 智和 正明, 榎木 勉, 菱 拓雄, 杉山 賢子, 館野 隆之輔, 福澤 加里部: 林床の地上部バイオマスの推定に欠かせないパラメータは? ~ササ優占冷温帯林の場合, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): 北海道演習林ほか
- 片山 歩美: 趣旨説明: 九州のブナ林で起こっていることを例に, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): -
- 菱 拓雄, 榎木 勉, 館野 隆之輔, 智和 正明, Yoriko SUGIYAMA, 松山 周平, 福澤 加里部: 長期の下層植生除去が森林土壌動物群集に与える影響, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンションセンター(札幌市): 北海道演習林ほか
- Yumoto K, Nakashiro T, Hamaguchi M, Sato M, Sato H, Aoyama S, Endo Y, Nakagawa K, Kabemura Y, Yamashita T, Kasai E, Ozaki Y, Nakamura T, Murata S, Yamauchi K, Ikeda H, Osako Y, Saito Y, Kaneko S, Shiyake S, Tsuda Y: Genetic structure and demography of three cicada species in tribe Cicadini at various spatio-temporal scale, 第 72 回日本生態学会大会, 2025.3, 札幌コンベンシヨ

- ンセンター(札幌市):福岡演習林, 宮崎演習林ほか
- 大村 泰貴, 智和 正明, 仙田 量子, 森 裕樹, 平舘 俊太郎:安定同位体比測定及び窒素量の収支を利用した演習林木本植物が利用する大気由来窒素の推定, 第27回演習林研究発表会, 2025.1, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町):福岡演習林
- 榎木 勉, 鶴川 信, 石井 弘明:九州産スギ6品種の地上部純一次生産と窒素利用, 第27回演習林研究発表会, 2025.1, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町):宮崎演習林ほか
- 南木 大祐, 村田 秀介, 久保田 勝義, 中村 琢磨, 壁村 勇二, 鍛冶 清弘, 山内 康平, 井上 幸子, 榎木 勉, 内海 泰弘:北海道東部のミズナラ造林地における稚樹育成段階での施業法が樹高成長に及ぼす影響, 第27回演習林研究発表会, 2025.1, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町):北海道演習林
- 阿部 修司, 藤本 晶子, 魚住 禎司, ギルギス キロロス, 尾花 由紀, 池田 昭大, 篠原 学, 中溝 葵, 今城 峻, 松下 拓輝, 田中 良昌, 北村 健太郎, 吉川 顕正:基調講演:福岡演習林における超高層電磁気観測, 第27回演習林研究発表会, 2025.1, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町):福岡演習林ほか
- 工藤 柊, 田代 直明:北海道演習林のカラマツ人工林内における広葉樹植生の成立状況, 第27回演習林研究発表会, 2025.1, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町):北海道演習林
- 李 周強, 付 東川, 笠原 玉青, 智和 正明:大気由来の硫黄および窒素沈着物の変化に対する溪流水質の応答, 第27回演習林研究発表会, 2025.1, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町):福岡市
- 菱 拓雄:九大演習林の生態系の特徴と土壤動物研究, 第27回演習林研究発表会, 2025.1, 九州大学農学部附属演習林(篠栗町):福岡演習林, 宮崎演習林, 北海道演習林ほか
- 智和 正明, 岩本 洋子:大気から森林・海洋生態系への反応性窒素成分の沈着, 地球化学, 58(-): 145-159(2024):福岡演習林ほか
- 山内 康平, 田代 直明:あしよろ自然誌 Vol.51 ~サクラ~, 広報あしよろ5月号, 853(-): 21(2024.5): 北海道演習林
- 井上 幸子, 田代 直明:あしよろ自然誌 Vol.52 ~たんぼぼ~, 広報あしよろ7月号, 855(-): 22(2024.7): 北海道演習林
- 緒方 健人, 榎木 勉:あしよろ自然誌 Vol.53 イヌタデ, 広報あしよろ9月号, 857(-): 23(2024.9): 北海道演習林
- 山内 康平, 榎木 勉:あしよろ自然誌 Vol.54 コウヤノマンネングサ(高野之万年草), 広報あしよろ11月号, 859(-): 20(2024.11): 北海道演習林
- 井上 幸子, 市橋 隆自:あしよろ自然誌 Vol.55 ササ, 広報あしよろ1月号, 861(-): 13(2025.1): 北海道演習林
- 緒方 健人, 市橋 隆自:あしよろ自然誌 Vol.56 ハルニレ, 広報あしよろ3月号, 836(-): 18(2025.3): 北海道演習林
- 相 衍:ヤナギ属における木部の通水経路の解析方法の改良に関する研究, 博士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース森林生産制御学分野, -(2024.9):宮崎演習林, 北海道演習林ほか
- 阿部 隼人:Impacts of natural disturbances on forest carbon sequestration: Perspectives from frequent typhoons and prolonged intensive deer herbivory (自然攪乱が森林の炭素隔離機能に及ぼす影響:頻発する台風及び継続するシカによる強度な植生採食の二事例), 博士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース流域環境制御学分野, 1-170(2025.3):宮崎演習林ほか
- Zhu Xiaoyu: Intrinsic wood properties of invasive tree species, Chinese tallow (*Triadica sebifera*), 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース森林生産制御学分野, -(2024.9):福岡演習林
- Kalolaine Kata: Factors influencing cellulose decomposition in forest cypress (*Chamaecyparis obtuse*) plantation subjected to thinning treatments along slope positions, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース流域環境制御学分野, -(2024.9):福岡演習林
- 大家 光太郎:森林蓄積の変化が斜面崩壊規模に及ぼす影響について —宮崎県東臼杵郡椎葉村における事例—, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース森林保全学分野, 1-37(2025.2):宮崎演習林
- 大村 泰貴:窒素収支および窒素安定同位体比を利用した木本植物が利用する窒素の起源推定, 修士論文, 九州大学大学院生産環境科学教育コース土壌学分野, 1-67(2025.3):福岡演習林

- 管 楽:カエデ属 4 種における未成熟材から成熟材への移行について, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース森林生産制御学分野, - (2025.2):宮崎演習林
- 小林 陽仁:暖温帯広葉樹二次林における皆伐 10 年後の林分構造:萌芽がバイオマスと種多様性に与える影響, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース森林生産制御学分野, - (2025.2):福岡演習林
- 秦 瑞澤:クルメツツジ品種の花形態の多様性と関連する遺伝子の単離, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース造林学分野, - (2025.2):福岡演習林
- 李 周強:大気由来の硫黄および窒素沈着量の変化に対する渓流水質の応答, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース流域環境制御学分野, - (2025.2):福岡演習林ほか
- 渡邊 翔大:長期的な下層植生の除去がリター分解に与える影響 - ミズナラ林とカラマツ林における土壌生物の寄与 -, 修士論文, 九州大学大学院森林環境科学教育コース森林生産制御学分野, - (2025.2):北海道演習林
- 末松 裕基:長期利用が軟化木材に与える影響~繰返荷重および時間経過による性能評価~, 修士論文, 九州大学大学院サステナブル資源科学教育コース木質材料工学分野, - (2025.2):福岡演習林
- 張 宇馳:スギ及びカラマツにおける油溶性薬剤浸透経路の動的可視化, 修士論文, 九州大学大学院サステナブル資源科学教育コース木質材料工学分野, - (2025.2):福岡演習林
- 武藤 耀大:自然界において白色腐朽菌と共存する細菌類が木材腐朽に及ぼす影響, 修士論文, 九州大学大学院サステナブル資源科学教育コース森林化学分野, - (2025.2):福岡演習林
- 守田 侑太郎:BI-Tech システムによる在室者の省エネ行動変容の効果検証 -利用者属性と行動の関係性-, 修士論文, 九州大学大学院人間環境学府空間システム専攻, 1-112(2025.2):福岡演習林ほか
- 戸口 侑紀:同所的に生育するカエデ属 *Palmata* 節 6 種の核及び葉緑体 DNA を用いた系統解析と防御戦略の種間差, 修士論文, 日本女子大学大学院理学研究科 物質・生物機能科学専攻, - (2025):宮崎演習林
- 木立 真凜: Among-population variation in the feeding specificity of the leaf beetle, *Agelastica coerulea*: the importance of local forest stand composition (ハンノキハムシ(*Agelastica coerulea*)における摂食特殊性の集団間変異:局所的な林分構造の重要性), 修士論文, 北海道大学大学院環境科学圏生物学専攻, 1-31(2025.3):北海道演習林
- 米田 萌々果:冷温帯林の落葉分解に及ぼす葉質および分離菌の由来の影響, 修士論文, 同志社大学大学院理工学研究科数理環境科学専攻, 1-43(2025.3):宮崎演習林
- 海野 太一: Phylogeographic structure of Japanese stag beetles using mitochondrial DNA variations: Implications for conservation genetics (国内クワガタムシのミトコンドリア DNA 変異を用いた系統地理学的構造:保全に向けて), 修士論文, 筑波大学理工情報生命学術院生命地球科学研究群山岳科学学位プログラム, - (2025.3):宮崎演習林
- 新 真澄: Conservation genetics of *Asarum* genus sect. *Asiasarum* (カンアオイ属ウスバサイシン節の保全遺伝学的研究), 修士論文, 筑波大学理工情報生命学術院生命地球科学研究群山岳科学学位プログラム, - (2025.3):宮崎演習林
- 工藤 柊:九州大学北海道演習林のカラマツ人工林内における広葉樹植生の成立要因, 卒業論文, 九州大学農学部地球森林科学コース, - (2025.2):北海道演習林
- 新宅 優月:竹林と隣接する常緑広葉樹林におけるリター分解の違い, 卒業論文, 九州大学農学部地球森林科学コース, - (2025.2):福岡演習林ほか
- 長井 孝祐:里山のモウソウチク林、スギ林、広葉樹林での土壌呼吸量とその成分の違い, 卒業論文, 九州大学農学部地球森林科学コース, - (2025.2):福岡演習林
- 安藤 康佑:広葉樹材の超音波伝搬速度に及ぼす密度と組織構造の影響, 卒業論文, 九州大学農学部地球森林科学コース, - (2025.2):宮崎演習林
- 江田 咲希:花色の多様性から推定されるクルメツツジ品種の起源種との関係, 卒業論文, 九州大学農学部地球森林科学コース, - (2025.2):福岡演習林
- 山下 葵:白色腐朽菌による G-DHP の変化挙動と、周辺細菌との共生による影響, 卒業論文, 九州大学農学部地球森林科学コース, - (2025.2):福岡演習林
- 石橋 総一郎: BI-Tech システムによる在室者の省エネ行動変容に関する研究 省エネ行動と電力

消費量削減効果との関係分析, 卒業論文, 九州大学工学部建築学科, 1-107(2025.2):福岡演習林ほか

## 宮崎大学

### 農学部附属フィールド科学教育研究センター田野フィールド

- Umata, H., Gale, S.W., Takagi, M., Ogura-Tsujita, Y., Anatomical and ecological characteristics of *Apostasia nipponica*, a basal-most orchid, in light of high mycobiont dependence. 鹿児島大学演習林研究報告, 49: 1-12 (2025): 田野フィールド (演習林)
- Azuma W.A., Takagi, M., Uchiyama, C., Ishii, H., The daily use of stem-water storage in two clonal cultivars of Japanese cedar estimated from sap flow and dendrometer measurements, *Acta Horticulturae*, 1(1419): 135-142 (2025): 田野フィールド (演習林)
- Fukasawa Y., 他, Oak Wilt Disease May Reduce the Initial Decay Rate of Dead *Quercus serrata* Stems by Altering Fungal Communities in the Wood, *Environmental Microbiology*, 27(1) (2025): 田野フィールド (演習林)
- Nakamura M., 他, Physiological profiling of the soil microbe community using the EcoPlate and assessment of soil properties at 74 planted forest sites across Japan, *Ecological Research*, 40(2): 228-242 (2024): 田野フィールド (演習林)
- Enoki, T., Uchiyama, C., Takagi, M., Ugawa, S., Nabeshima, E., & Ishii, H., Plasticity of leaf functional traits and growth responses to disturbance among cutting cultivars of *Cryptomeria japonica* in southern Japan, *Journal of Forest Research*, 29(6): 440-449 (2024): 田野フィールド (演習林)
- Takagi, M., & Shinohara, Y., Rainfall interception in temperate evergreen broadleaved forest and Japanese cypress plantation with abundant lower-layer vegetation in south-west Japan, *Journal of Forest Research*, 30(1): 35-41 (2024): 田野フィールド (演習林)
- Orita, T., Hishi, T., Kishimoto-Yamada, K., Kurokawa, H., Ohta, M., & Hyodo, F., Abiotic factors and plant traits affect the soil microbial properties in forests across the Japanese archipelago, *Ecological Research*, 40(4): 559-572 (2025): 田野フィールド (演習林)
- 相原 直生: 個体領域抽出と点群識別を組み合わせたスギ単木樹冠抽出手法の実証, 宮崎大学農学研究科修士論文, (2025): 田野フィールド (演習林)
- 栄喜 公陽: ヒノキ壮齢林におけるスキャナ法による細根動態の把握, 宮崎大学農学研究科修士論文, (2025): 田野フィールド (演習林)
- 永盛 正晴: 12種の広葉樹における樹幹屈曲後に形成される木部の組織構造およびリグニン組成の変化, 宮崎大学農学研究科修士論文, (2025): 田野フィールド (演習林)
- 苗代 理沙: 木本性つる植物の耐陰性の種間差とフジの生理的統合に関する研究, 宮崎大学農学研究科修士論文, (2025): 田野フィールド (演習林)
- 内藤 佑依: 宮崎大学田野フィールドの広葉樹林における樹冠通過雨と降雨強度の関連性, 宮崎大学農学部卒業論文, (2025): 田野フィールド (演習林)
- 稲葉 光飛: スギ特定母樹の樹冠形成及び樹冠量の定量評価と系統間比較, 宮崎大学農学部卒業論文, (2025): 田野フィールド (演習林)
- 恵本 あまね: 暖温帯林における CWD の現存量に関する研究, 宮崎大学農学部卒業論文, (2025): 田野フィールド (演習林)
- 竹内 龍嘉稀: ドローン空撮画像と深層学習を用いた樹種識別の精度評価, 宮崎大学農学部卒業論文, (2025): 田野フィールド (演習林)
- 橋口 悠太朗: 高齢ヒノキ人工林における TLS および ALS による林分計測の精度検証, 宮崎大学農学部卒業論文, (2025): 田野フィールド (演習林)
- 宮城 かな子: 下層植生の刈払いによる森林性ネズミの堅果貯食場所の誘導実験, 宮崎大学農学部卒業論文, (2025): 田野フィールド (演習林)
- 村松 成美: ヒノキ壮齢林におけるオルソ画像を用いた材積の経年変化の推定, 宮崎大学農学部卒業論文, (2025): 田野フィールド (演習林)
- 靱山 智咲: 下刈り処理と競合植生のタイプの違いがスギ植栽木の成長に及ぼす影響, 宮崎大学農学部卒業論文, (2025): 田野フィールド (演習林)
- 村田 要: 自然降雨時における簡易治山工設置斜面の浸透能の評価, 宮崎大学工学部卒業論文, (2025): 田野フィールド (演習林)

鹿児島大学  
農学部附属演習林

- Enoki T, Uchiyama C, Takagi M, Ugawa S, Nabeshima E, Ishii H: Plasticity of leaf functional traits and growth responses to disturbance among cutting cultivars of *Cryptomeria japonica* in southern Japan. *Journal of Forest Research* 29: 440-449. (2024.07.12) :高限演習林
- Hiejima S, Seino H, Hachisuka R, Watanabe Y, Matsuura T, Mori IC, Ugawa S : Physiological and biochemical traits of dormancy release and growth resumption in Japanese cedar in the warm-temperate zone. *Forest Science* 71: 321-343. (2025.02.20) :高限演習林
- 寺岡 行雄, 林田 真美, 福本 桂子, 牧野 耕輔, 加治 佐剛: 下刈り回数が異なるスギ若齢林内の広葉樹の特徴, 九州森林研究, 78: 89-92 (2025.3) :高限演習林
- 吉永 慶治, 加治 佐剛, 寺岡 行雄: 実測値との比較によるアナログ航空写真からの DCHM の精度検証, 九州森林研究, 78: 151-153. (2025) :高限演習林
- 植原 朗, 芦原 誠一, 牧野 耕輔, 井倉 洋二: 初代演習林長「萬年先生頌徳記念碑」碑文の解説, 鹿児島大学農学部演習林報告, 49: 21-24 (2025.3) :高限演習林
- 米村 栄太, 芦原 誠一, 植原 朗, 牧野 耕輔: 鹿児島大学農学部附属高限演習林気象報告(2023年), 鹿児島大学農学部演習林報告, 49: 21-24 (2025.3) :高限演習林
- 米村 栄太, 芦原 誠一, 植原 朗, 牧野 耕輔: 鹿児島大学農学部附属高限演習林気象報告(2022年), 鹿児島大学農学部演習林報告, 49: 25-44 (2025.3) :高限演習林
- 宿利原 恵, 井倉 洋二, 牧野 耕輔, 内原 浩之, 芦原 誠一, 米村 栄太, 滝沢 裕子: 鹿児島大学農学部演習林における新入生向けキャンプ実習の取組, 第 80 回九州森林学会大会, 2024.10: 高限演習林
- 吉永 慶治, 加治 佐剛, 寺岡 行雄: 航空写真 DSM による樹高成長量の推定, 第 80 回九州森林学会大会 (2024.10) :高限演習林
- 有元 かれん, 加治 佐剛, 寺岡 行雄: 2 時期の点群データを用いた成長解析, 第 80 回九州森林学会大会 (2024.10) :高限演習林
- 欧陽 春鳴, 加治 佐剛, 寺岡 行雄, 福本 桂子, 牧野 耕 輔: 下刈り回数および植栽密度の違いがスギ植栽木の幹曲がりを与える影響, 第 80 回九州森林学会大会 (2024.10) :高限演習林
- 加治 佐剛, 竹本 響, 吉田 茂二郎, 寺岡 行雄, 牧野 耕輔: スギ高齢林分における間伐強度の違いが成長に与える影響, 第 80 回九州森林学会大会 (2024.10) :高限演習林
- 牧野 耕輔, 加治 佐剛: ドローンを用いた皆伐施業地の工程管理についての一考察, 第 80 回九州森林学会大会 (2024.10) :高限演習林
- 橋本 龍平, 堂前 百夏, 前原 千尋, 芦原 誠一, 塩谷 克典, 畑 邦彦, 榮村 奈緒子: 高限演習林におけるニホンジカの分布・密度・食害状況の経年変化, 第 80 回九州森林学会大会 (2024.10) :高限演習林
- 有元 かれん: 地上レーザ計測における樹幹面検出と DBH 測定精度への影響, 鹿児島大学農学部修士論文 (2025.2) :高限演習林
- 橋本 龍平: 高限演習林におけるニホンジカの分布・密度・食害状況の経年変化, 鹿児島大学農学部修士論文 (2025.2) :高限演習林
- 有菌 柊真: ドローン搭載マルチスペクトルからみたスギ林の分光反射特性の季節変動, 鹿児島大学農学部卒業論文 (2025.2) :高限演習林
- 加藤 櫻子: シラスおよび堆積岩の急斜面における崩壊の規模と流木生産量の比較-2016 年高限演習林での豪雨災害を例にして-, 鹿児島大学農学部卒業論文 (2025.2) :高限演習林
- 北村 颯真: 衝突板トラップを用いたスギ人工林と広葉樹二次林の昆虫相の比較, 鹿児島大学農学部卒業論文 (2025.2) :高限演習林
- 杉本 瞭: 高限演習林における鳥類の生息状況—サンショウクイ類に着目して—, 鹿児島大学農学部卒業論文 (2025.2) :高限演習林
- 中園 丈: ドローンレーザを用いたスギとヒノキおよび若齢林と高齢林の林冠構造の違い (2025.2) :高限演習林
- 森重 希咲: 地上レーザ計測による林分調査の再現性, 鹿児島大学農学部卒業論文 (2025.2) :高限演習林

欧陽 春鳴: 植栽密度, 下刈り回数および斜面方位の違いが 18 年生スギの幹曲がりを与える影響, 鹿児島大学農学部卒業論文 (2025.2) : 高隈演習林

## 琉球大学

### 農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター

- Chen B: Typhoon-related tree damage and conservation implications for homestead windbreaks on the Ryukyu Archipelago: a case study of Yonaguni Island, Japan, *Landscape and Ecological Engineering*, 20: 349-362 (2024): 与那国島
- Chen B, Miyagi K, Namihira T, Kayano D, Aragaki M, Suzuki S: What motivates urban dwellers to engage in urban farming? *Sustainability*, 16: 6876 (2024): 沖縄県
- 陳 碧霞, 仲村実優, 金城和俊, 赤嶺 光, 亀山統一, 外間 聡, 安里昌弘: 琉球大学農学部亜熱帯フィールド科学教育研究センター上原 (都市林) 研究園の植物および土壌, 琉球大学農学部学術報告, 71: 20-29 (2024): 上原研究園
- Chen B, Minor J: Key Ecological and Cultural Characteristics of Homestead Windbreak Forest Landscapes in Okinawa, Japan, *Forests*, 16: 103 (2025): 西表島
- Nakamura M, Terada C, Ito K, Hiura T, Shibata H, Miki T, Saitoh T, Takagi M, Hougén T, Matsuzaki S, Watanabe M, Tado H, Hotta N, Kosugi Y, Aiko N, Kojima N, Katagiri N, Kishimoto K, Yoshida T, Tsunoda Y, Takamiya T, Ito K, Utsumi Y, Yoshikawa T, Tanaka K, Oda M, Agetsuma N, Kawai M, Fujita T, Hishi T, Shimada H, Ichie T, Hoshizaki K, Kobayashi H, Seino T, Noguchi M, Nagamatsu D, Saito H, Tateno R, Ishihara M, Kitagawa Y, Hisamoto Y, Homma K, Hirao T, Otani T, Toda M, Terada J, Kume T, Fukuzawa K, Takashima A, Kurose K, Fujii S, Itoh S, Ohta T, Otsuki K, Nagaike T, Hasegawa K, Kobayashi M, Shirahata M, Matsuki S, Hatanaka M, Suzuki S, Muro N, Yamoto T, Adachi N, Kaneko N, Yamashita T: Physiological profiling of the soil microbe community using the EcoPlate and assessment of soil properties at 74 planted forest sites across Japan, *Ecological Research*, 40: 228-242 (2025): 与那フィールドを含む全国
- 高嶋 敦史, 中川 千麗乃: 沖縄島やんばる地域の与那川上流域における溪畔林の林分構造, 九州森林研究, 78: 143-146 (2025): 与那フィールド
- 大和 直暉, 小高 信彦, 高嶋 敦史, 中田 勝士, 久高 奈津子, 久高 将洋, 小林 峻: 沖縄島北部におけるケナガネズミ *Diplothrix legata* (ネズミ科) の巣材と利用樹洞の特徴, 哺乳類科学, 64: 215-225 (2024): 与那フィールドを含む沖縄島北部
- 高橋 良介: やんばる地域の放置イスノキ人工林における 30 年前後の遷移, 琉球大学農学部卒業論文, (2025): 与那フィールド
- 石川 敬: 天然生林に分布するオキナワウラジロガシの斜面位置別の成長 - 樹齢からみた成長特性 -, 琉球大学農学部卒業論文, (2025): 与那フィールド
- 木塚 真美: 沖縄島北部亜熱帯天然生林内の不均一な光環境が葉の形態・形質と樹木の生活史戦略に及ぼす影響, 琉球大学農学部卒業論文, (2025): 与那フィールド Toyama H, Tagane S, Aiba S, Ugawa S, Suzuki E, Yamazaki K, Fuse K, Takashima A, Kadoya T, Takeuchi Y: High plant diversity and characteristic plant community structure in broad-leaved evergreen forests on Amami-Oshima and Tokunoshima Islands, Japan's newest natural World Heritage Site, *Ecological Research*, 38: 403-419 (2023): 与那フィールドを含む中琉球および南九州
- Chen B, Namihira T, Yamamoto B: Transformation of land use, plantation to crop diversification and tourism development on Kauai Island, Hawaii, 琉球大学農学部学術報告, 70: 35-43 (2023): ハワイ
- Chen B: Visitors' perceptions of traditional homestead windbreaks from user-generated comments, *Urban Forestry & Urban Greening*, 85 (2023): 琉球弧
- Jarzebski MP, Su J, Abrahamyan A, Lee J, Kawasaki J, Chen B, Andriatsitohaina RNN, Ocen I, Sioen GB, Lambino R, Saito O, Elmqvist T, Gasparatos A: Developing biodiversity-based solutions for sustainable food systems through transdisciplinary sustainable development Goals Labs (SDG-Labs), *Frontiers in Sustainable Food Systems*, 7 (2023): 全世界
- 草島 勇斗, 陳 碧霞, 泉 水仁, 安里 昌弘: フクギの葉の沖縄そば利用における灰汁汁の適性, 琉球大学農学部学術報告, 70: 7-12 (2023): 沖縄県
- 岸本 咲紀: UAVによる空撮画像を用いたリュウキュウマツの識別手法の検討, 琉球大学大学院農

学研究科修士論文 (2024):与那フィールド  
中村健人:沖縄島北部の山地小流域における降雨流出特性の解明, 琉球大学大学院農学研究科修士論文 (2024):与那フィールド  
中川 千麗乃:やんばる地域の与那川上流域における溪畔林の林分構造, 琉球大学農学部卒業論文 (2024): 与那フィールド  
金城 尚輝:やんばる地域の非皆伐成熟林における樹洞の形成と経年変化, 琉球大学農学部卒業論文 (2024):与那フィールド  
浅井 梨乃:沖縄島北部天然生林での斜面位置における林内光環境の空間的な違いが樹木の成長・繁殖・生存に及ぼす影響, 琉球大学農学部卒業論文 (2024):与那フィールド  
宮崎 翼:沖縄島北部の亜熱帯天然生林における地上部バイオマス成長に基づいた樹種間の成長特性の評価, 琉球大学農学部卒業論文 (2024):与那フィールド  
神谷 公太:亜熱帯広葉樹林の斜面上部での樹種間における葉の形態、形質の違い, 琉球大学農学部卒業論文 (2024):与那フィールド  
桃原 脩斗:沖縄島北部の亜熱帯天然生林に設置したリタートラップの空間代表性を有する捕捉範囲の解明, 琉球大学農学部卒業論文 (2024):与那フィールド

＜演習林所属教員専門分野・キーワード一覧 令和7年11月現在＞

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	85
岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	85
東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	86
山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター	87
宇都宮大学農学部附属演習林	87
新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	87
東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	87
東京農工大学農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター	89
筑波大学山岳科学センター	89
信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター	89
静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター	89
日本大学生物資源科学部演習林	90
東京農業大学地域環境科学部奥多摩演習林	90
玉川大学農学部農産研究センター	90
名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター	91
岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター	91
三重大学大学院生物資源学研究科附属	
紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター	91
京都大学フィールド科学教育研究センター	91
京都府立大学環境科学部附属演習林	92
鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター	92
島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター	93
愛媛大学農学部附属演習林	93
高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター	93
九州大学農学部附属演習林	94
宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター	94
鹿児島大学農学部附属演習林	94
琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター	95

演習林所属教員専門分野・キーワード一覧 令和7年11月現在

「所属」欄：演習林に所属、他：演習林以外に所属

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考	
1. 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター										
揚妻 直樹	あげつま なおき	教授	動物生態学	哺乳類	採食生態	環境利用	保護管理		演	森林圏ステーション長
吉田 俊也	よしだ としや	教授	造林学	林業	天然林	広葉樹	非皆伐施業	地域資源管理	演	北管理部長
中村 誠宏	なかむら まさひろ	教授	群集生態学	昆虫と植物の相互作用	地球温暖化	野外操作実験	生物多様性	間接効果	演	南管理部長、苫小牧研究林長（兼）
車 柱榮	ちや じゅよん	准教授	造林学	森林再生	菌類				演	
高木 健太郎	たかぎ けんたろう	教授	農林気象	フラックス	二酸化炭素	カラマツ	乱流拡散	蒸発散	演	天塩研究林長
中路 達郎	なかじ たつろう	教授	生理生態学	分光観測	生理機能	環境応答	リモートセンシング		演	札幌研究林長
岸田 治	きしだ おさむ	教授	動物生態学	両生類	魚類	適応	外来種	捕食一被食	演	和歌山研究林長
福澤 加里部	ふくざわ かりぶ	准教授	森林生態学	物質循環	細根動態	冷温帯林	攪乱影響	河川水質	演	
小林 真	こばやし まこと	准教授	樹木生態	北方林	攪乱	冬の気候変動	ミミズ	生理生態	演	雨龍研究林長
植竹 淳	うえたけ じゅん	准教授	微生物生態学	バイオエアロゾル	環境DNA	好冷性微生物	氷河		演	檜山研究林長
鈴木 智之	すずき さとし	准教授	植物生態学	森林動態	気候変動	環境変化	北方林	森林管理	演	
野村 睦	のむら むつみ	助教	水文学	河川流出	融雪	水収支			演	中川研究林長
大平 充	おおひら みつる	助教	河川生態学	底生無脊椎動物	魚類	攪乱	土砂動態	流域管理	演	
倉田 正観	くらた せいかん	助教	系統地理学	種子植物	分布変遷	半自然草地	植物分類	保全遺伝	演	
笠田 実	かさだ みのる	助教	生態学	個体群動態	生物多様性	生物間相互作用	進化	群集	演	
2. 岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター										
山本 信次	やまもと しんじ	教授	林政学	森林管理	市民参加	森林教育	都市近郊林	合意形成	演	分野長
白旗 学	しらはた まなぶ	助教	造林学	CO2収支	水分生理特性	樹木生態	スギ人工林		演	

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード					所属	備考
				山村振興	住生活	森林政策	福祉			
高田 乃倫予	たかだ のりよ	助教	林政学						演	
小藤田 久義	こふじた ひさよし	教授	森林資源化学	樹木	木材	抽出成分	生理活性	天然物化学	他	
真坂 一彦	まさか かずひこ	教授	造林学	森林生態学	海岸林	生態系サービス			他	
伊藤 幸男	いとう さちお	教授	森林政策学	林業構造	木材流通	地域社会	木質バイオマス		他	
富山 啓介	とうやま けいすけ	准教授	森林経理学	森林計画	林業収益性	森林計測	森林利用		他	
國崎 貴嗣	くにさき たかし	教授	森林計測学	森林作業	群落生態	サイズ構造	樹林間競争		他	
齋藤 仁志	さいとう まさし	教授	林業生産工学	森林工学	森林路網	作業システム	林業機械		他	
山内 貴義	やまうち きよし	准教授	野生動物管理学	野生動物	哺乳類	生態学	保護管理		他	
松本 一穂	まつもと かずほ	准教授	森林防災工学	水循環	治山・砂防	生態系機能	物質循環		他	
阪上 宏樹	さかがみ ひろき	准教授	木質マテリアル	木質材料	材質	乾燥	改質	保存	他	
松木 佐和子	まつき さわこ	准教授	森林保全生態学	樹木の被食防衛機能	昆虫被害	生物多様性			他	
東 淳樹	あづま あつき	講師	保全生物学	生物多様性	絶滅危惧種	持続的社會	里山管理		他	
山崎 遥	やまざき はるか	助教	森林施業学	天然更新	広葉樹施業	合自然的森林施業			他	

### 3. 東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター

陶山 佳久	すやま よしひさ	教授	森林分子生態学	遺伝的多様性	DNA分析	種子散布	花粉散布	古代DNA	他	
深澤 遊	ふかさわ ゆう	准教授	森林生態学	菌類	分解	生物間相互作用	菌根	倒木	他	
石川 直子	いしかわ なおこ	特任准教授	森林分子生態学	DNA塩基多型	ゲノム	遺伝的多様性	形態発生		他	
赫 英紅	かく えいこう	特任助教	森林生態学	DNA解析	種多様性	MIG-seq分析	集団遺伝	系統解析	他	
CAI MENG-YING	さい めんいん	特任助教	森林遺伝学	集団遺伝学	遺伝的多様性	ゲノム	系統解析		他	

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
----	----	----	------	-------	--	--	--	----	----

#### 4. 山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター

菊池 俊一	きくち しゅんいち	准教授	流域保全管理 学	流域	攪乱	環境保全	森林・緑地再 生	市民協働	他	流域保全部門長
-------	-----------	-----	-------------	----	----	------	-------------	------	---	---------

#### 5. 宇都宮大学農学部附属演習林

大島 潤一	おおしま じゅんいち	准教授	森林資源管理 学	材質育種	材質劣化	森林資源活用			演	演習林次長、教育部主任
有賀 一広	あるが かずひろ	教授	森林工学	森林作業学	森林土木学	林業機械	木質バイオマ ス		他	
石栗 太	いしぐり ふとし	准教授	木材材料学	材質	組織構造				他	演習林研究部主任
逢沢 峰昭	あいざわ みねあき	教授	森林植物学	針葉樹	分布	分類	系統地理	繁殖生態	他	演習林研究部併任
横田 信三	よこた しんぞう	教授	森林化学	樹病	木質バイオマ ス	プロテオミク ス	メタボロミク ス	シラカンバ	他	演習林研究部併任
山本 美穂	やまもと みほ	教授	森林政策学	歴史地理学	経済史	分権的管理	スギ材流通		他	演習林長(兼務)、社会連携部主任(兼務)
松英 恵吾	まつえ けいご	准教授	森林計測学	森林計画	森林空間情報 工学	リモートセン シング	森林資源管理	成長モデル	他	演習林研究部併任
林 宇一	はやし ういち	准教授	森林政策学	林業経済学	林業労働	木材価格			他	演習林研究部併任
酒井 佑一	さかい ゆういち	助教	砂防工学	土石流	斜面崩壊	土砂災害	火山災害		他	演習林研究部併任

#### 6. 新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林

梶本 卓也	かじもと たくや	教授	森林生態学	更新機構	物質生産	森林管理			演	演習林長
本間 航介	ほんま こうすけ	准教授	森林生態学	群集動態	攪乱	ストレス	クローン生長	デモグラフ フィー	演	
阿部 晴恵	あべ はるえ	准教授	森林生態学	植物生態	島嶼	攪乱	保全遺伝	種間作用	演	
蕪木 史弦	かぶらぎ しげん	特任助手	群集生態学	里山	人為攪乱	土壌動物	水生昆虫	生物多様性	演	

#### 7. 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

古井戸 宏通	ふるいど ひろみち	教授	林政学	森林法律	林業経済	林業史	森林社会	土地所有	他	演習林長
鎌田 直人	かまた なおと	教授	森林昆虫学	森林保護	個体群生態学	生物間相互作用 用			演	千葉演習林長
尾張 敏章	おわり としあき	教授	林業経営学	林業経営	森林資源管理	森林施業	森林技術	森林ビジネス	演	北海道演習林長

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード						所属	備考
				森林水文	保水力	流域森林管理	流域治水	山地防災	演		
蔵治 光一郎	くらじ こういちろう	教授	森林流域管理学	森林水文	保水力	流域森林管理	流域治水	山地防災	演	企画部長	
福田 健二	ふくだ けんじ	教授	森林植物学	森林保護	樹木生理学	樹木病害	菌根	内生菌	他	フォレストGX/DX協創センター長	
小林 博樹	こばやし ひろき	教授	情報デザイン	サウインドスケープ	IoT	インタラクティブ	インタフェース	野生動物	他	情報基盤センター	
安村 直樹	やすむら なおき	准教授	林業経済学	林政学	木材需給	木造住宅	木材流通	山村振興	演	生態水文学研究所長	
鴨田 重裕	かもだ しげひろ	准教授	森林化学	二次代謝	更新機構	防御物質	早生樹	森林再生	演	秩父演習林長	
後藤 晋	ごとう すすむ	准教授	森林遺伝育種学	林木育種	局所適応	分子マーカー	繁殖様式	更新動態	演	田無演習林長	
徳永 友花	とくなが ゆか	特任准教授	ネガティブエミッション技術	炭素隔離	環境政策	建築環境	カーボンニュートラル	省エネルギー	演	フォレストGX/DX協創センター副センター長	
楠本 大	くすもと だい	講師	樹病学	抵抗性獲得	シグナル物質	二次代謝	生物間相互作用	樹木医学	演	千葉演習林長補佐	
田中 延亮	たなか のぶあき	講師	森林水文学	水文気象	生態水文	流域試験	山地保全	環境教育	演	北海道演習林長補佐	
福井 大	ふくい だい	講師	哺乳類生態学	生物多様性	空間分布	コウモリ	野生動物管理	機能形態	演	富士癒しの森研究所長	
平尾 聡秀	ひらお としひで	講師	群集生態学	生物間相互作用	生物多様性	食物網	生態系機能	地理的分布	演	フォレストGX/DX協創センター副センター長	
浅野 友子	あさの ゆうこ	講師	森林水文学	山地源流域	降雨流出	物質循環	砂防学		演	生態水文学研究所長補佐・教育研究主任	
齋藤 暖生	さいとう なるお	講師	森林人間関係学	採集活動	環境認識	森林と文化	レクリエーション	コモンズ	演	樹芸研究所長	
鄧 送求	とう そうきゆう	助教	森林計測計画学	林業DX	スマート林業	リモートセンシング	ドローン	森林デジタル在庫管理	演	北海道演習林教育研究主任	
久本 洋子	ひさもと ようこ	助教	森林分子生態学	タケ・ササ類	植物分類学	遺伝子発現解析	花成遺伝子	一斉開花	演	秩父演習林教育研究主任	
坂上 大翼	さかうえ だいすけ	助教	樹病学	病態生理	微生物生態	樹木医学	萎凋機構	腐朽診断	演	秩父演習林長補佐	
三浦 直子	みうら なおこ	助教	森林空間情報科学	リモートセンシング	GIS	LIDAR	森林計測		演	富士癒しの森研究所長補佐、教育研究主任	
井上 広喜	いのうえ ひろき	助教	森林化学	二次代謝	細胞分化・細胞死	組織培養	更新機構		演	千葉演習林教育研究主任	
仲畑 了	なかはた りょう	助教	森林生態学	純一次生産	フェロロジ	細根動態	葉群動態	炭素蓄積	演	樹芸研究所長補佐・教育研究主任	
前原 忠	まえはら ただし	助教	森林動物学	森林動物	土壌動物	個体群生態	群集生態		演	田無演習林長補佐・教育研究主任	
藤原 章雄	ふじわら あきお	助教	森林情報学	森林情報	情報基盤	映像情報	情報公開	フットパス	演	フォレストGX/DX協創センター教育研究主任	

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード			所属	備考
				機能形質	生態系サービス	GIS		
饗庭 正寛	あいば まさひろ	特任助教	群集生態学	生物多様性	生態系サービス	GIS	演	フォレストGX/DX協創センター
Moein Farahnak	もいん ふあらんなく	特任助教	森林水文学	森林土壌	土壌水文学	表面流出防止	演	生態水文学研究所

#### 8. 東京農工大学農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター

本林 隆	もとばやし たかし	教授	応用昆虫学	作物栽培学	アグロエコロジー	化学農薬	生態影響評価	景観管理	他	センター長
吉田 智弘	よしだ ともひろ	准教授	森林保護学	森林生態	土壌動物	森林昆虫	群集生態	垂直構造	演	自然環境教育研究分野長
小林 勇太	こばやし ゆうた	助教	森林生態系生態学	生物多様性	生態系サービス	森林景観モデル	森林動態	生態系修復	演	

#### 9. 筑波大学山岳科学センター

清野 達之	せいの たつゆき	准教授	森林生態学	更新動態	樹形	生理生態	物質生産	多様性解明	演	演習林総括、八ヶ岳演習林長
津田 吉晃	つだ よしあき	准教授	集団遺伝学	分子生態学	進化生物学	生態系管理	気候変動	山岳遭難	演	八ヶ岳演習林(兼)
山川 陽祐	やまかわ ようすけ	助教	森林水文学、砂防学	斜面水文	地下水	斜面崩壊	物理探査		演	井川演習林長
川田 清和	かわだ きよかず	助教	植生学	草原	保全生態	乾燥地緑化	外来種	生物資源	演	筑波実験林長

#### 10. 信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター

荒瀬 輝夫	あらせ てるお	准教授	野生資源植物学	植物生態	緑化	生物分類	環境アセスメント		演	
小林 元	こばやし はじめ	准教授	樹木生理生態学	物質生産	炭素循環	山岳環境	森林動態	人工林	演	演習林主事
室谷 楓香	むろや ふうか	助手	森林生態学	ダケカンパ	萌芽更新	地理変異			演	

#### 11. 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター

花岡 創	はなおか そう	准教授	森林遺伝学	林木育種	遺伝資源管理	機械学習			演	専任
水永 博己	みずなが ひろみ	特任教授	造林学	林冠構造	更新	人工林生態系			演	
檜本 正明	ならもと まさあき	准教授	造林学	森林生態・生理学	乾燥地緑化				他	併任
今泉 文寿	いまいずみ ふみとし	教授	砂防工学	土砂移動					他	森林生態系部門長
飯尾 淳弘	いひお あつひろ	准教授	森林生理生態学	キヤノピーブローセス	アップスケールリング	モデル			他	併任

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
				動物生態	動物行動	哺乳類			
栗原 洋介	くりはら ようすけ	特任助教	動物生態学					演	
王 権	わん くれん	教授	広域生態学	生態系モデル	ガスフラックス				併任
菌部 礼	そのべ れい	助教	広域生態学	リモートセンシング					併任
江草 智弘	えぐさ ともひろ	助教	森林水文学	森林水文					併任
高山 翔揮	たかやま しょうき	助教	砂防工学	土石流	水理実験				併任

### 12. 日本大学生物資源科学部演習林

安部 哲人	あべ てつと	教授	森林生態学	生物多様性	保全生物	外来種	遷移	繁殖生態	他	演習林長
太田 祐子	おおた ゆうこ	教授	微生物学	きのこ	樹病	病害虫	腐朽菌		他	
瀧澤 英紀	たきざわ ひでき	教授	森林水文学	水流出	土石流	水質	土壌水分		他	
小坂 泉	こさか いずみ	准教授	森林気象学	蒸散	微気象	熱フラックス	温暖化		他	
松倉 君予	まつくら きみよ	助教	微生物学	菌根菌	冬虫夏草	相互作用			他	

### 13. 東京農工大学地域環境科学部奥多摩演習林

矢部 和弘	やべ かずひろ	教授	森林科学	森林土工学	林業工学				他	演習林長
桃井 尊央	ももい たかお	准教授	木質科学	木材工学	材形成	樹木年輪年代学	木質材料	木材加工	他	副演習林長
山崎 晃司	やまざき こうじ	教授	動物生態学	大型哺乳類	保護管理	繁殖生理	生息地保全	ツキノワグマ	他	
根本 唯	ねもと ゆい	助教	動物生態学	行動生態	大型哺乳類	放射生態	ツキノワグマ	保護管理	演	演習林教務職員

### 14. 玉川大学農学部農産物研究センター

山崎 旬	やまざき じゆん	教授	生物資源保全学、園芸科学	絶滅危惧種	ラン科植物	植物増殖技術	農業教育		他	農産物研究センター長
飛田 有支	ひだ ゆうし	准教授	栽培学	栽培管理技術					他	農産物研究センター箱根自然観察林担当
横倉 啓	よこくら けい	技術職員	技術指導・施設管理	生態系調査	環境教育	地域連携	トンボ		他	農産物研究センター北海道弟子屈農場（屈科路演習林）現地職員

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考	
15. 名古屋大学大学院生命農学研究所附属フィールド科学教育研究センター										
山本 一清	やまもと かずきよ	教授	森林資源管理学	森林資源管理	森林GIS	森林計画	リモートセンシング	森林計測学	他	センター長
梶村 恒	かじむら ひさし	教授	森林保護学	昆虫	微生物	種子	生物間相互作用	病害虫	演	副センター長(稲武・設楽担当)
16. 岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター										
大西 健夫	おおにし たけお	教授	水文学	物質循環	水文流出過程	水文モデリング	森里海連関		他	森林部門長
玉木 一郎	たまき いちろう	准教授	森林遺伝学	集団遺伝	萌芽更新	系統地理	育苗	グリーンウツドワーク	演	副センター長
17. 三重大学大学院生物資源学研究所附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター										
木佐貫 博光	きさぬき ひろみつ	教授	森林保全生態学	植生	林分構造	森林動態	絶滅危惧種	自然再生	他	演習林長
板谷 明美	いたや あけみ	教授	森林利用学	GIS	リモートセンシング	森林情報	森林作業学	森林土木学	他	研究部長
沼本 晋也	ぬまもと しんや	准教授	森林環境砂防学	治山砂防	山地災害	森林水文	森林環境保全		演	演習林次長
淵上 佑樹	ふちがみ ゆうき	准教授	森林環境学	産業連関分析	環境影響評価	木材流通	トレースability		他	演習林次長
鶴田 健二	つるた けんじ	准教授	森林水文学	水循環	蒸発散	水資源	森林管理		演	
18. 京都大学フィールド科学教育研究センター										
徳地 直子	とくち なおこ	教授	森林生態系生態学	物質循環	生態系	集水域	窒素利用	森里海連環学	演	和歌山研究林長 徳山試験地長
縮野 隆之輔	たての りゅうのすけ	教授	森林生態学	物質循環	物質生産	窒素利用	伐採影響評価	土壌微生物	演	北白川試験地長
長谷川 尚史	はせがわ ひさし	准教授	森林利用学	精密林業	森林資源管理	森林育成	森林利用	GNSS	演	
伊勢 武史	いせ たけし	准教授	陸域生態学	物質循環	シミュレーション	気候変動	森林動態	生態系サービス	演	
石原 正恵	いしはら まさえ	准教授	森林生態学	物質生産	生物多様性	土地利用	生活史	森林動態	演	芦生研究林長
小林 和也	こばやし かずや	准教授	進化生態学	生物多様性	生物群集	分子生態学	数理モデル	社会性昆虫	演	北海道研究林長
坂野上 なお	さかのうえ なお	講師	林業経済学	木材流通	木材消費	木造住宅	市場調査	民俗学	演	上賀茂試験地長
松岡 俊将	まつおか しゅんすけ	講師	生物多様性科学	生物多様性	環境DNA	環境傾度	菌類	生態系機能	演	

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
				窒素循環	窒素利用	ヒノキ	ヒノキ雄花		
中西 麻美	なかにし あさみ	助教	森林生態学	生物間相互作用	ヒノキ	ヒノキ雄花	二次林	演	
杉山 賢子	すぎやま よりこ	助教	菌類生態学	菌類	外生菌根菌	群集動態	きのこ	演	
鈴木 華実	すずき はなみ	助教	森林生態学	生物間相互作用	タケ・ササ類	野ネズミ	植食動物	演	

### 19. 京都府立大学環境科学部附属演習林

古田 裕三	ふるた ゆうぞう	教授	生物材料物性学	木材物性	木質材料	レオロジー	木材組織	標準化	他	演習林長
市栄 智明	いちえい ともあき	教授	樹木生理生態学	繁殖生態	林冠生態	一斉開花	被食防衛	生物間相互作用	他	
平山 貴美子	ひらやま きみこ	准教授	森林生態学	保全生態学	森林動態	種多様性			他	
三好 岩生	みよし いわお	准教授	砂防学	土砂災害	土石流	斜面崩壊	溪流環境	地域防災	他	
神代 圭輔	こうじろ けいすけ	准教授	生物材料物性学	木材物性	木質材料	レオロジー	木材組織	標準化	他	
中田 康隆	なかた やすたか	准教授	森林計画学	森林再生	ゾーニング	流域管理	大規模攪乱	ドローン	他	
佐々木 尚子	ささき なおこ	講師	森林生態学	植生変遷	森林動態	気候変動	攪乱	花粉分析	他	

### 20. 鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター

岩崎 亘典	いわさき のぶすけ	教授	地理情報科学	地理情報システム	ドローン	景観構造・変遷	データ・サイエンス		他	兼任教員
霜村 典宏	しもむら のりひろ	教授	菌類育種栽培学	菌類	きのこ	交雑育種	栽培		他	兼任教員
永松 大	ながまつ だい	教授	植物生態学	森林動態	生物多様性	植生科学	生態系保全	人工林管理	他	兼任教員
山中 啓介	やまなか けいすけ	准教授	育林学	造林	林業技術	海岸緑化	林業種苗の育苗	森林土壌	他	FSC森林管理部門長
芳賀 弘和	はが ひろかず	准教授	緑地防災学	水・物質流出	源流域水文	森林水環境	山地河川	流域間比較	他	兼任教員
藤本 高明	ふじもと たかあき	准教授	環境木材利用学	木材物理学	木材組織学	量的遺伝学	応用分光学	非破壊計測	他	兼任教員
岩永 史子	いわなが ふみこ	講師	樹木生理生態学	緑化	水分生理	水辺林	乾燥地		他	兼任教員
芳賀 大地	はが だいち	助教	農林業政策学	森林政策	林業経済	林家			他	兼任教員

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
----	----	----	------	-------	--	--	--	----	----

21. 島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター

吉田 真明	よしだ まさあき	教授	進化ゲノム生物学	生命情報学	ゲノム解析	進化発生生物学		他	センター長
山下 多聞	やました たもん	准教授	森林土壌学	有機物分解	窒素循環	熱帯林	細根動態	フェロロジー	部門長
橋本 哲	はしもと てつ	准教授	森林水文学	流出平準化機能	水文モデル	積雪・融雪	蒸発散	熱収支	兼任教員
高橋 絵里奈	たかはし えりな	准教授	林学	間伐	陽樹冠	選木基準	密度管理	森林計画	兼任教員

22. 愛媛大学農学部附属演習林

杉森 正敏	すぎもり まさとし	教授	森林資源利用システム	木材工学	材質評価	有節材	スギ	ヒノキ	兼任教員
伊藤 和貴	いとう かずたか	教授	森林化学	木材化学	リグニン	抽出成分	ファイブレーション	環境浄化	兼任教員
杉元 宏行	すぎもと ひろゆき	准教授	森林資源利用システム	木質物性	木質材料	熱分析	レオロジー		兼任教員
都築 勇人	つづき はやと	准教授	森林資源計画	森林計測	測樹	航空レーザー測量	バイオマス		演習林長
寺下 太郎	てらした たろう	准教授	森林教育	森林教育	環境ESD	林業経済	林業労働	林業教育	兼任教員
川崎 章恵	かわさき あきえ	准教授	森林環境管理学	林業経済	森林政策	林業労働者	林業事業体		兼任教員
嶋村 鉄也	しまむら てつや	准教授	森林資源生物学	熱帯林	種多様性	森林動態	物質循環	地域研究	兼任教員
上谷 浩一	かみや こういち	教授	森林遺伝学	集団遺伝	分子進化	系統地理			兼任教員
鍋嶋 絵里	なべしま えり	准教授	森林資源生物学	林冠光合成	環境応答	幹肥大成長	長期変動		兼任教員
木村 誇	きむら たかし	准教授	森林環境制御	砂防	地すべり	土砂動態	航空レーザー測量	地理情報システム	兼任教員
高田 昌嗣	たかだ まさつぐ	准教授	木質バイオマス変換	バイオマス科学	リグニン	樹木細胞壁			兼任教員

23. 高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター

曳地 康史	ひきち やすふみ	教授	植物生理学、植物生理学、分子植物微生物相互作用	植物	細菌	病害防除	植物科学	分子遺伝学	他	暖地フィールドサイエンス教育研究センター長
鈴木 保志	すずき やすし	教授	林業工学	林業用架線	林道・作業道	森林バイオマス	作業システム	集材被害木	他	森林生産環境部門長
森 牧人	もり まさと	教授	農業気象学	農業気象	局地気象	農業施設気象	地域水文	地球温暖化	他	森林生産環境部門副担当教員

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所屬	備考
				森林管理	山村振興	森林経営	森林政策		
松本 美香	まつもと みか	講師	地域林業	リポートセンシング	地理情報システム	環境情報計測	衛星画像処理	他	森林生産環境部門副担当教員
橋本 直之	はしもと なおゆき	講師	地理空間情報学	野生動物	森林管理	生態系改変作用	生物間相互作用	他	森林生産環境部門副担当教員
富田 幹次	とみた かんじ	助教	動物生態学、哺乳類学				ヒグマ	他	森林生産環境部門副担当教員

#### 24. 九州大学農学部附属演習林

古賀 信也	こが しんや	教授	木質資源利用	材質制御	木材組織	非破壊計測	木質エネルギー	木質文化財	演	研究部長 宮崎演習林長
榎木 勉	えのき つとむ	准教授	森林生態学	森林動態	生態系	物質動態	不均一性	島嶼	演	北海道演習林長
内海 泰弘	うつみ やすひろ	准教授	樹木生理学	木材組織学	水分通道	キャビテーション	エンボリズム	植物民俗	演	
智和 正明	ちわ まさあき	准教授	生物地球化学	大気沈着	窒素循環	窒素飽和	活性酸素	森林衰退	演	福岡演習林副林長
久米 朋宣	くめ ともものり	教授	森林水文学	炭素循環	東アジア	森林管理	長期モニタリング	気候変動	演	演習林長
市橋 隆自	いちかはし りゅうじ	准教授	森林生態学	植物生態	つる植物	蒸散	水動態	物質分配	演	北海道演習林副林長
田代 直明	たしろ なおあき	助教	森林生態	生産生態	樹形	光環境	可塑性	生活史	演	
片山 歩美	かたやま あゆみ	准教授	生態系生態学	炭素循環	土壌呼吸	幹呼吸	熱帯雨林	炭素配分	演	福岡演習林長
阿部 隼人	あべ はやと	助教	環境生態学	景観管理	環境変化	攪乱	物質生産	土壌保全	演	

#### 25. 宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター

高木 正博	たかぎ まさひろ	教授	森林立地学	物質循環	二酸化炭素	光合成			演	附帯施設長
光田 靖	みつだ やすし	教授	森林計画学	景観生態学					他	森林部門長

#### 26. 鹿児島大学農学部附属演習林

寺岡 行雄	てらおか ゆきお	教授	森林計画学	ICT林業	低コスト林業	バイオマスエネルギー	竹林管理	持続可能林業経営	他	演習林長
牧野 耕輔	まきの こうすけ	助教	森林政策学	森林管理	林地集約化	素材生産	森林経営	農家林家	演	演習林主任
加治佐 剛	かじさ つよし	准教授	森林計画学	森林計画	森林計測	森林リモートセンシング			他	兼務教員
奥山 洋一郎	おくやま よういちろう	助教	森林政策学	生涯学習	技術者養成	林業技術	森林教育	学校林	他	兼務教員

氏名	よみ	職名	専門分野	キーワード				所属	備考
----	----	----	------	-------	--	--	--	----	----

27. 琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター

赤嶺 光	あかみね ひかる	教授	環境農学	芝草	緑地管理	園芸福祉	コーヒー栽培	他	センター長
陳 碧霞	ちえん びしや	准教授	森林政策、林業経済	集落景観	屋敷林	森林観光	森林レクリエーション	演	
高嶋 敦史	たかしま あつし	准教授	森林計画学	森林計画	天然林動態	長期モニタリング	森林施業	演	琉球弧

## <令和7年度 理事会・総会>

### 令和7年度春季理事会

- (1) 理事会日程、議題等 ..... 99
- (2) 令和6年度決算及び令和7年度予算 ..... 100
- (3) 議事要旨 ..... 101

### 令和7年度秋季総会

- (1) 秋季各種委員会、技術職員連絡会議、理事会日程 ..... 105
- (2) 総会日程、議題等 ..... 106
- (3) 議事要旨 ..... 107

## 理 事 会 次 第

日 時 令和 7 年 5 月 1 6 日 ( 金 ) 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 3 0  
会 場 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター小会議室  
・ 応接室及び Zoom によるハイブリッド開催

- ・ 開会の言葉
- ・ 理事等紹介
- ・ 文部科学省挨拶・講演
- ・ 議 題
  1. 令和 6 年度決算及び令和 7 年度予算案について
  2. 森林管理技術賞選考結果について
  3. 教育関係共同利用拠点の申請等について
  4. 公開森林実習について
  5. 全国農学系学部長会議への報告事項について
  6. 共同研究について
  7. 秋季総会の運営について
  8. 全演協への農業大学校等の入会について
  9. 災害被害情報の収集時期と回数について
  10. その他
- ・ 報告事項
  1. 令和 7 年度技術職員研修について
  2. 令和 7 年度秋季総会について
  3. 令和 7 年度技術職員連絡会議について
  4. 令和 6 年度演習林で発生した災害被害等について
  5. 承合事項について
  6. 全国大学演習林協議会に希望することについて
  7. その他
- ・ 来年度春季理事会の日程について

## 令和6年度決算及び令和7年度予算案

(単位：円)

	項 目	令和6年度予算	令和6年度決算	比較増△減	令和7年度予算	備 考
		(A)	(B)	(B-A)		
収 入	前年度繰越額	1,106,531	1,106,531	0	1,071,059	
	会費	996,200	960,000	△ 36,200	990,000	30,000円×27校+冊子代 ※①
	利息	0	363	363	0	
	その他	0	187,000	187,000	0	
	当期収入合計	2,102,731	2,253,894	151,163	2,061,059	
支 出	春季理事会経費	0	0	0	0	
	秋季総会経費	400,000	421,046	21,046	450,000	
	通信費	0	0	0	0	
	会場経費	100,000	86,530	△ 13,470	350,000	
	表彰経費	100,000	76,918	△ 23,082	100,000	
	旅費	450,000	170,666	△ 279,334	100,000	
	公開森林実習関係経費	180,000	180,015	15	180,000	
	広報活動費	200,000	184,520	△ 15,480	200,000	
	ウェブサイト年間維持管理費	75,000	63,140	△ 11,860	75,000	
	共同研究助成費	0	0	0	100,000	
	予備費	597,731	0	△ 597,731	506,059	
	当期支出合計	2,102,731	1,182,835	△ 919,896	2,061,059	
	次年度繰越金		1,071,059			
	合計	2,102,731	2,253,894		2,061,059	

※① 令和6年度会費徴収の際、各大学から前年度に請求があった演習林年報1冊につき1,500円を上乗せ徴収した。  
1,500円×120冊 = 180,000円となり、徴収額は立替金より4520円不足するが、不足分は全演協経費で負担した。

## 令和7年度 秋季各種委員会・技術職員連絡会議・理事会

会場：ホテルニューイタヤ

公開森林実習運営委員会

9:00～10:00：「第2会議室」（3階）

森林管理技術賞表彰委員会

9:00～10:00：「第4会議室」（3階）

技術職員連絡会議

10:00～12:00：「第4会議室」（3階）

理事会

10:10～12:00：「菊の間」（地下1階）

総会

13:00～16:30：「桜の間」（4階）

## 秋 季 総 会 次 第

日 時 令和7年9月25日（木）13:00～16:30

会 場 ホテルニューイタヤ（原則対面、オンライン参加も可）  
〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り2-4-6

- ・開会の言葉
- ・挨拶 会長（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター・森林圏  
ステーション長）  
宇都宮大学農学部長
- ・文部科学省講演
- ・表彰式 第27回森林管理技術賞

- 議 題
1. 第28回森林管理技術賞の選考方針について
  2. 教育関係共同利用拠点について
  3. 公開森林実習について
  4. 全国農学系学部長会議への報告事項について
  5. 共同研究について
  6. 全国大学演習林分野における文部科学大臣表彰について
  7. その他

- 報告事項
1. 令和7年度春季理事会について
  2. 各大学における最近の動向等（トピックス）について
  3. 各大学における災害の発生と対応について
  4. 技術職員連絡会議の報告等について
  5. 承合事項について
  6. 令和8年度春季及び秋季会議の日程等について
  7. その他

## <各演習林における運営状況についてのアンケート結果>

1. トピックス	1 1 3
2. 演習林の運営費の状況に関して	1 1 7
3. 演習林を管理運営する人員の状況に関して	1 1 9
4. 演習林施設や重機など大型機材の更新状況に関して	1 2 1
5. 今後も演習林を取り巻く運営費や教職員数の状況が変わらなかった場合、 演習林の教育・研究機能は5年後どう変化すると予測するか	1 2 3
6. 全国大学演習林協議会に希望すること	1 2 5

## 各大学における最近の動向等について

### 1. トピックス

#### 【岩手大学】

共同利用に関する更新申請を行った

#### 【東北大学】

実習等による宿泊等のセンターの利用は基本的にはコロナ禍前の状況に戻っている。一方で、外部からの宿泊利用などは完全に戻ったとは言えない。

そのほか、自然共生サイトへの登録準備を進めており、新たな形でのプレゼンスの向上等を模索している。

#### 【山形大学】

令和6年7月に発生した豪雨により発生した演習林全域にわたる大規模林道災害の復旧工事が開始された。全17か所の内、8月現在で進捗率60%程度となっており、年度内に完成する見通しとなっている。

#### 【宇都宮大学】

令和6年9月に本学初めての「公開森林実習」を開催し、協定校9名、本学2名、協定校外3名の参加があり、森林が生み出す生態系サービス「食・住・環境」について体験的な実習を行い好評を得た。

特に、3月に設置した当演習林職員設計のピザ窯でピザ生地からのピザ焼き体験、日光演習林で踏査及び植生観察など自大学では体験できないことを経験する貴重な機会となった。

また、10月には、技術職員研修を開催した。3名の参加があり、高性能林業機械の体験及びバイオマス関連施設の見学等を実施し、参加演習林職員と本学演習林職員との交流も行われた。

#### 【東京大学】

1. 千葉演習林を対象とした社会実験型実証研究に向けて大学院農学生命科学研究科と西松建設株式会社が共同研究契約を締結

[https://www.a.u-tokyo.ac.jp/news/news\\_20240408-2.html](https://www.a.u-tokyo.ac.jp/news/news_20240408-2.html)

2. 『東京大学北海道演習林 創設 125 周年記念誌』を東京大学学術機関リポジトリで公表

<https://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/records/2013624>

3. 『生態水文学研究所 100 周年記念誌』を Web サイトで公開

<https://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/eri/topics/6978/>

#### 4. 富士癒しの森研究所は2025年10月24日に100周年記念式典を行う予定

##### 【東京農工大学】

唐沢山演習林（FM 唐沢山）では、「地域中核大学イノベーション環境強化事業」の予算によって、油圧ショベル（8t クラス）が更新された。また、草木演習林（FM 草木）では、本学内のグローバル教育院が獲得した外部資金に基づいて、初めて高校生に対して宿泊を伴う実習を実施した。数年前から開始されている社会人向け・学内外の野生動物関連の実習と合わせて、学外の教育利用の増加を促進するような取組がなされている。

##### 【信州大学】

信州大学の学内公募である教育研究系技術職員イニシアチブファンドに、演習林技術職員と工学部技術職員が共同して申請した課題「統合技術院内での異分野連携による棚沢川流域住民の防災・減災力の向上に資する河川流量のリアルタイム観測システムの構築」が採択された。本研究では演習林を水源とする棚沢川の流量をインターネットを利用してリアルタイムでモニタリングし、河川の氾濫による土砂災害や洪水の危険性を地域社会へ積極的に公開していくことを目的としている。地域住民の要請により、8月3日の豪雨によって発生した棚沢川の濁り水の原因究明に本システムのデータを使用した。信州大学農学部で開催された「青少年のための科学の祭典 2025 伊那大会」に演習林技術職員がブースを出展した。小学生を対象に滑車模型を使って丸太をつり上げる経験や技術職員の森の仕事について説明した。信州大学見本市への出展のために農場技術職員と共同してアルプス圏フィールド科学教育研究センターの紹介ビデオとポスターの作成を行った。

##### 【静岡大学】

UAV や林内 LiDAR などのデジタル技術を使った教育研究を推進している。宿泊施設の浴室をシャワールーム化することで、海外からの利用者や留学生が利用しやすい環境を整えた。

##### 【東京農業大学】

施設の一部で地盤陥没が発見されたため、地盤調査を実施している状況であり、今後の運営や施設整備等は地盤調査の結果次第である。また、施設までの林道の擁壁の一部にひびが入っており、今後 3~4 年間の工事が予定されている。そのため、その期間の冬期は施設までの道が通行止めとなる。

##### 【玉川大学】

冬季にイタヤカエデから樹液を採集し、メープルシロップの作成を行い、成分に

ついでの研究を進めている。また、森林内の教育、研究用の木道の整備を進めている。

#### 【三重大学】

令和 7 年度の学生実習の多くはコロナ前の規模・日数での開催が計画されている。

三重大学生物資源学部の令和 6 年度の改組によって、演習林を訪問し実習・演習を行う学生数がやや増加した。1 年時に行う日帰りの体験演習の学生が 30～40 名程度増加したため、演習の実施回数を増やして対応している。また、令和 6 年度に入学した学生の年次があがり、令和 7 年度からは森林科学専修に所属した学生に対する専門的な実習がはじまる。森林科学専修の学生の人数も 1～2 割程度増加したため、宿泊や食事への対応が必要となっている。

令和 2 年度から令和 6 年度にかけて演習林内の作業道の延伸・拡幅工事を実施した。林業機械が進入できるエリアが拡張されたことにより、より効率的な伐採・搬出作業が可能となった。今後は維持管理を中心に進め、将来的には作業道の延長を計画している。

#### 【京都大学】

和歌山研究林は 99 年の借地契約期間を終え、2024 年 11 月 28 日に返還に伴う記念イベント「100 年目からの新たな歩み～99 年を振り返る～」を開催しました。林業の先進的な地域に位置する和歌山研究林は、人工林の造成について教育研究を行うように設定されており、樹下植栽をはじめ人工造林など多くの研究が行われてきました。学生たちは、人工林と実際の自然環境を通じて、環境科学や生態学、持続可能な開発について学び、実習を通じて実践的な経験を積むことができました。人工造林が主流でなくなった近年では、環境省のモニタリングサイト 1000 のコアサイトとして森林動態の長期モニタリングや、アマゴによる森と川のつながりなど多くの研究がなされてきました。地上権をお返しした後は、現地での利便性が低くなるものの、研究を続けていけることになりました。今後も次の 100 年に向けて活動してきます。

#### 【鳥取大学】

学内実習がコロナ禍前の水準に戻り、延べ利用者はコロナ禍前の水準に回復しつつあったが、令和 6 年度は約 1,100 人と前年度よりも減少した。しかし、外部利用者に関してはコロナ禍以降初めて 100 名を超え、約 170 名となった。宿泊利用者数は約 750 人と前年度の約 1.5 倍に増加した。

教育研究林蒜山の森で続いていたナラ枯れ被害は沈静化に向かいつつあるが、依然被害木の発生が認められる。被害木については燃料用チップ用に初めて出荷したが、とくに問題点は見られなかったため、今後も継続していく予定である。

また、林内で使用しているグラップルが老朽化していたが、更新することができた。他の重機も老朽化が著しいため、今後の更新が課題となっている。

#### 【島根大学】

嵐の前の静けさか、全学および演習林の予算不足以外には大きな問題は伝わっていません。改組も頓挫して、今年や来年にはなさそうに聞いています。

#### 【愛媛大学】

他学部での剪定、伐採作業が増えてきました。  
自伐による皆伐作業を開始しました。

#### 【高知大学】

高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター（以下FSC）には、演習林に関係する森林生産環境部門（嶺北フィールド）と農場に関係する循環型暖地農業生産部門（南国フィールド）があり、これまでは技術職員はいずれかを専任で担当していたが、近年はより柔軟に業務に対応するため両部門を共通して担当できるよう体制を整えつつある。本年度新採用の石谷菜津美技術職員には、両分野の業務を担当することでどちらの業務にも対応できるよう経験を積んでいただくようにしている。嶺北フィールドに関係する業務では、演習林実習や樹木学実習など森林科学関係の実習支援があるが、当該技術職員は着任早々にも関わらず樹木識別の技能を取得し、樹木学実習の支援を行っていただいている。また、嶺北フィールドの浦部光治係長が、今年度の全国大学演習林協議会森林管理技術賞を受賞したことは、我々関係スタッフにとって望外の喜びであった。

#### 【九州大学】

令和6年8月の台風10号により、宮崎演習林の事務所から丸十地区にむかう国道が大規模崩落により全面通行止めとなった。未だ復旧の目処は立っておらず、また迂回路もないため車両の通行は不可となっている。丸十地区には途中から徒歩での移動となることから、教育研究活動の利用は困難な状況が続いている。

#### 【宮崎大学】

（旧）宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センターは令和7年4月より概算要求により、学部改組と合わせて附属次世代農学教育研究センターに改組しました。

従前の農場、牧場、演習林および水産実験所を有するフィールド科学教育研究センターの機能に加え、地域共創・異分野融合推進部門と称する組織を新しく設けられました。地域や他学部からの利用促進による農学以外の分野との共同で

の教育研究をさらに進めることを目的としています。

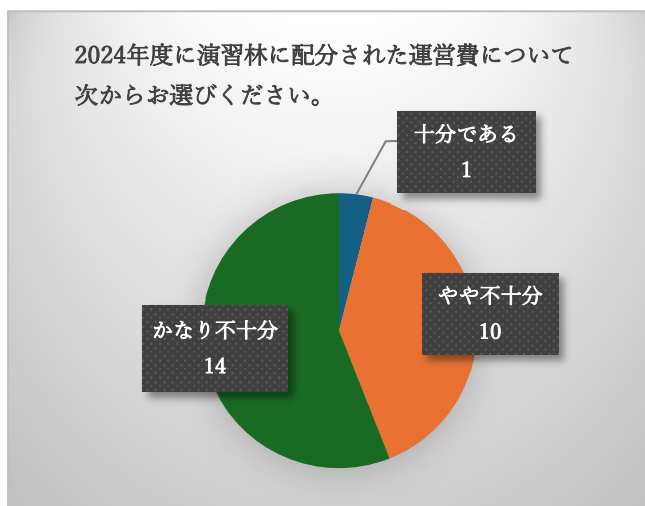
#### 【鹿児島大学】

本年度（R7 年度）開校した「かごしま林業大学校」に鹿児島大学農学部が協力し、ICT 技術や技能研修、林業経営に渡る様々なテーマの 10 プログラムを実施する。林業業界に新規参入する 10 代から 50 歳代までの幅広い年齢層の受講生 13 名への教育・実習を 4 月から開始した。高隈演習林の森林管理に係る技術や機械、スギ人工林を活かしながら各種実習を行う。林業大学校の実習フィールドは専用の林分を用意し、継続・安定的に実習ができるよう整備している。鹿児島県の研修所で学んだ技術を演習林で反復練習することで技能の習得などを目指している。

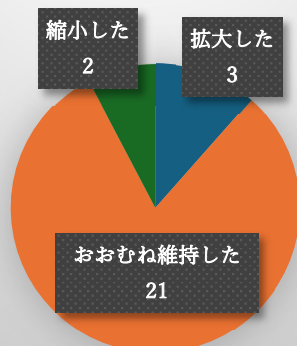
#### 【琉球大学】

与那フィールドの演習林は沖縄県有林を借地して運営しているが、特殊要因経費として国から配分されていた借地料が令和元年（2019 年）度から基幹経費に含まれるように変わり、交付額削減の対象となった。琉球大学は、令和 6 年度までは借地料の額面どおりにフィールドセンターに指定配分予算をつけていたが、今年度は減額する予算案が示されており、本回答の提出時点では農学部と大学財務の間で調整中となっている。

## 2. 演習林の運営費の状況に関してお答えください。



6年前（コロナ前）と比べた場合の2024年度の事業（教育研究・フィールド管理）規模・量について次からお選びください。



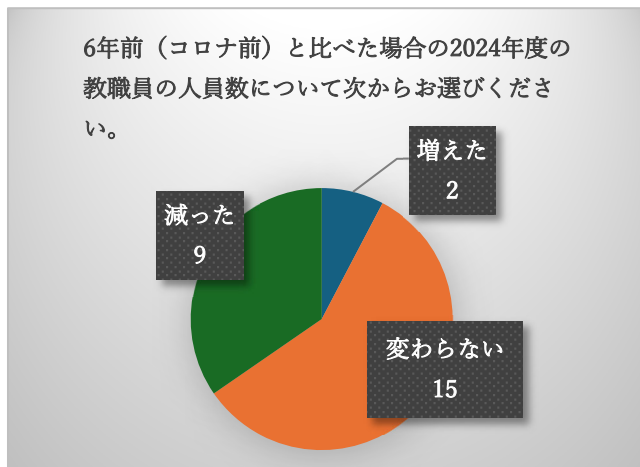
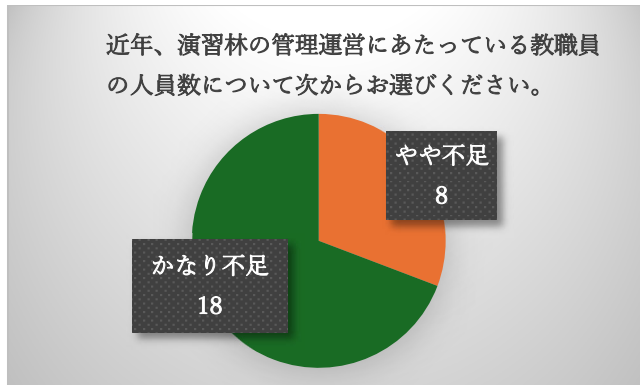
可能であれば、演習林の運営費の状況について概要をご記入ください。

- ・造林補助金や環境譲与税、大学の競争資金などや寄付などの外部資金を活用しているがかなり厳しい状況
  - ・かなり不足
  - ・不足している
  - ・大型機械の修理に多大な費用を要している。また、素材の運搬費（軽油等）の割合も増大している。
  - ・老朽化した重機の修理費用が増加傾向にあり、運営費に占めるそれらの割合が高止まりしている状況である。
  - ・予算の不足分は木材収入のインセンティブで賄っている。
  - ・学部全体の運営費が減少する中で、演習林の運営費も大きく減少している。拠点化事業の予算がなければ運営が難しい。
  - ・人員増加や高額購入・修繕が難しい状況
  - ・大学本部からの運営費は年々漸減しており、林産物の収益化による運営費の維持が求められている。
  - ・事業費：約 4550 万円
- ※地代・収入見合い・拠点経費は含めない
- ・予算、スタッフともに昨年度並みを確保した。
  - ・かなり不足
  - ・2022年に2021年度比で4割削減されてからも引き続き微減を続けている。外部資金獲得を除き、基盤経費からの運営費増額はほぼ望めなくなった。
  - ・2025年度は2024年度に比べて予算が10%超カットされた。
  - ・大きな変化はないが漸減している状況である。
  - ・現在もミッション実現加速化係数（1.6%）が適用され、毎年1.6%の予算減が

続いている。

- ・かなり不足
- ・ここ数年では減少していないが、ギリギリのレベルで維持されているため余裕はない状況。

### 3. 演習林を管理運営する人員の状況に関してお答えください。



可能であれば、演習林を管理運営する人員の状況について概要をご記入ください。

- ・成果や外部収入増が求められているが、人員は変わっていない（欠員の補充のみ）。なお、人員補充は応募者が少なく、人事にかかる労力が増大している。
- ・事務や賄い関係が足りない
- ・目途が立っていない
- ・担当教員 2 名、技術職員常勤 2 名、非常勤 1 名、事務職員 2 名（農場と兼務）
- ・現状は、教員 1 名、事務職員 2 名（うち 1 名再雇用）、技術職員 7 名（うち 1

名再雇用)である。

定年退職後、再雇用職員として5年間の雇用を行っているが、期間満了後の人員補充がされない状況となっている。

- ・専任教員3名、特任助手1名、事務職員2名(内非常勤1名)、技術職員5名(内非常勤3名)、その他1名(庁舎の清掃等補助、シルバー人材派遣から)

- ・教員2名、常勤職員4名、非常勤職員1名で、4ヶ所の演習林の管理運営を担っている。

- ・正規雇用職員は教員2名、技術職員2名。非正規雇用教員1名、非常勤雇用技術職員1名

- ・7月後半から10月末にかけて、実習が連続しており、それ以外の業務の実施が難しい状態にある。常勤の事務職員がいないことが、技術職員の負担につながっている。

- ・教員4名、技術職員2名、事務職員1名

- ・教員1名、技術職員3名、非常勤職員2名

- ・2名

- ・教職員の人員は大きく変わらないが、改組による演習林実習・演習を受講する学生数の増加によって、実質的な負担が増加している。

運営費で雇用していた賃金職員が任期満了に伴い令和6年度末をもって退職した。この後任の人事を進めているが、適任者が見つかっていない。

- ・教員:10名、技術職員:28名(欠員5名)、事務職員:7名(シニア1名含む)

※非常勤職員は含めない

- ・昨年度並みを確保できた

- ・目途が立っていない

- ・技術専門職員2名、特定職員1名(無期30時間/週)、特定職員1名(有期12時間/週)、業務補助員(18時間/週)、事務職員(附属施設全体で)4名(再雇用1名、無期1名、有期2名)

- ・技術職員が不足しており、造林・育林に難が出ている。

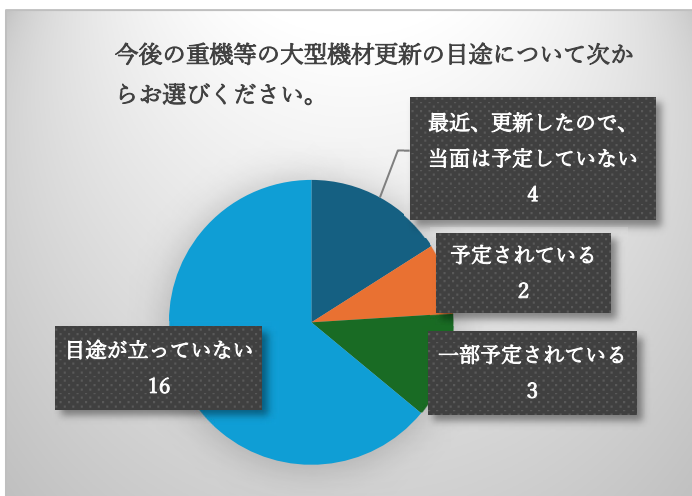
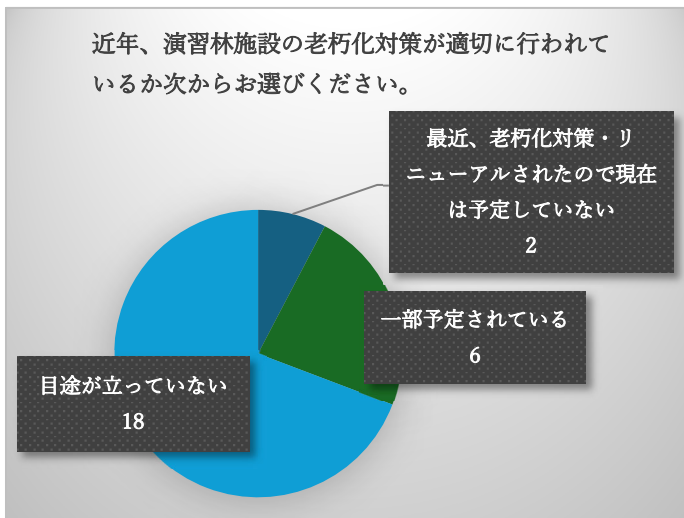
- ・専任の係長が1名と、農場と演習林をともに担当する技術職員が2名で、必要に応じて他の技術職員が補佐にあたるといった形態で運用している。

- ・教員10名、技術職員13名、事務職員(パート含む)16名

- ・減少する予算をやりくりし、職員の全体数は維持しているが、正規雇用が非正規に置き換わっている。技術や知識の持続性が困難である。運営費の資金繰りや外部資金獲得により人数を確保・維持している。

- ・教員1名(常勤)、技術職員(常勤)2名、技術補佐員(非常勤)1名、事務補佐員(非常勤)1名、臨時用務員(非常勤)1名

4. 演習林施設や重機など大型機材の更新状況に関してお答えください。



可能であれば、演習林施設や重機等のフィールド管理機材の更新状況について概要をご説明ください。

・（施設）

改修したい建物が多いが建物が多く順番待ちの状態。建物改修予算の状況

北管理分宿泊施設：2022年3月16日竣工

現在苫小牧研究林を概算要求で申請中

（重機等）

更新したい重機や車両多数。車両は毎年更新要望が有り購入車両の金額にもよ

る組織で2, 3台更新。重機は農場と交代での予算配当となっているが単年度での配当予算額では新規購入は難しく、J-Peaksなど外部資金も活用。

- ・大学運営費予算が毎年逡減されており、重機の老朽化に伴う修理・メンテナンス費用が増加し、運営に影響が生じている。

- ・重機に関してはH8年にバックホウを導入して以降、新規導入・更新無し（最も古いものはS61導入）。毎年修理をしながら運用している。

また、クレーントラック（H11年導入）やダンプトラック（S54年導入）についても更新が無く、老朽化に伴う故障が相次ぎ、車両維持費削減のため令和6年度に廃車とした。現在は必要作業毎にレンタルで対応している。

- ・現在、本学農場、演習林及び雑草管理教育研究センターの3施設を令和8年度から統合の計画があり、その概算要求の中に演習林所有重機の一部を更新の要求中である。

- ・宿泊棟の改修について、文科省の概算要求に申請中である。また、油圧ショベル1台は更新されたが、他の重機の更新の目途は立っていない。

- ・コロナ禍のウッドバブルで潤った木材収入のインセンティブ経費で中古重機を購入した。

- ・建物の老朽化が進んでいるが、対策の目途がたっていない。

- ・ほとんど更新できていない。

- ・施設改修の要望および重機の更新の要望を大学本部に提出しているが、採用の見通しは立っていない。

- ・ホイールローダ(WA80, 100)：2019年更新

- ・古くなっており、修繕費用がかさんでいるが、熱中症対策でエアコンを増設した。

- ・令和4年のウッドショックによって得た収入で、ブルドーザー2台をフロントローダ付きトラクターに更新することができたが、バックホウ2台の経年故障も頻発し、更新する必要がある。

- ・小型の林内作業車（更新したいができない）、小型の運搬車（比較的新しい）、小型の除雪機（比較的新しい）、8人乗り公用車（まだ使えるが走行距離が15キロメートルを超えて故障が増えてきた）、オフロード公用車（まだ使える）、4人乗り軽バン（まだ使える）、事務所兼宿泊所（築50年を超えたコンクリートブロック構造2階建てで更新したいができない）、器具庫（いつからあるか不明の木造建築で更新したいができない）。

- ・水道のろ過装置の更新推奨時期が過ぎているが、高額のため見送られている。

- ・自伐が増えたためトラックの更新をおこないたいが、予算が不足している。

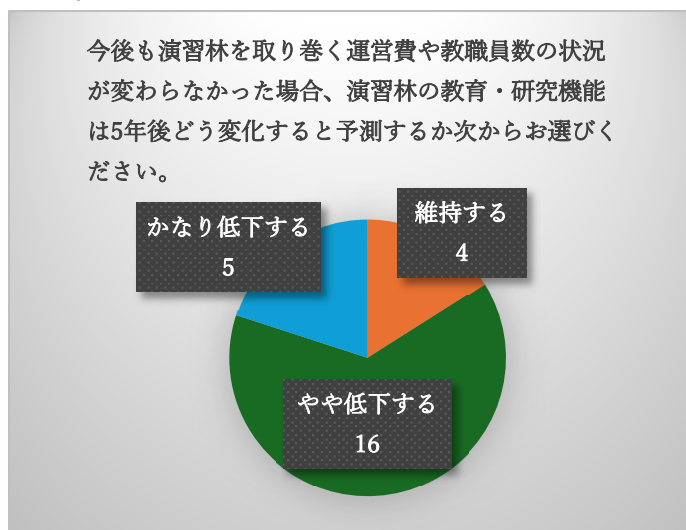
- ・3.5t積のユニッククレーン付トラックが、危急の更新が必要な状況である。

- ・宮崎演習林の老朽化による雨漏り・水道管整備等に対しては個別に対処がなされているが、老朽化した庁舎・宿泊施設そのものの建て替え等については目途が立っていない。演習林全体としては重機の更新頻度はそれほど高くないが、今後

更新する場合は演習林全体の運営費または学内の借入制度等の利用も含めて対応を検討する。

- ・更新を必要とする重機・車輛が複数ある。
- ・コンボは老朽化して更新できないまま廃棄した。必要な時はリースで対応している。現状保有する重機はホイールローダ 1 台のみ。また重機ではないが、2 トントラックも更新できないまま廃棄となった。

5. 今後も演習林を取り巻く運営費や教職員数の状況が変わらなかった場合、演習林の教育・研究機能は 5 年後どう変化すると予測するか次からお選びください。



可能であれば 演習林の教育・研究機能の予測の概要をご記入ください。

・運営費が不十分な状態が慢性化しており、施設や機材の更新が適切に行われず、人員不足もあって研究・教育機能は徐々に低下させていくしかないと予測される。

・5 年後の予測は非常に難しいが、運営費や教職員数の状況が変わらないのであれば、教育・研究機能も大幅には変わりえないだろう。ただし、主要教員の定年退職によって教員の入れ替わりがあるため、5 年後の時点では若干の機能低下の可能性はある。

・毎年 10%を超える予算削減が続いているため、教育・研究機能の低下は否めない。様々な方面からの外部予算の獲得に努めているが、演習林の必要性・重要性を当学としてこのまま軽く見るのであれば施設としての存立は危うい。

・先に回答の通り、本学 3 施設（演習林含む）の計画がありこの先の予測ができない状況である。

- ・教員・技術職員の老齢化による教育・研究機能の劣化が懸念される。
- ・予算が減少していることで、これで通りの活動ができなくなる可能性がある。
- ・設備・施設の老朽化と教職員の多忙化により機能不全となり、事故や労災も懸念される。
- ・大型機材の更新予算が確保できないままだんだんと老朽化している。ひとたび故障すれば、それに伴い教育・研究の受け入れ体制を見直さざるを得なくなるだろう。
- ・演習林職員が高齢化しており、計画的に若手職員の採用が必要である。
- ・実習、卒論修論の調査、研究などほぼ専任と兼任の教員によるものであり、1名しかいない専任、2名しかいない兼任のうち2人がぬけると、教育も研究もかなり熱量は低下すると考えられます。
- ・教育、研究機能に必要な林道維持が難しくなる。
- ・演習林実習などの教育機能は現状から低下させることなく維持できるように、また研究機能もできるだけ維持できるように努力はしているが、明確な予測は難しい状況である。
- ・演習林の教育・研究機能の発揮に対する要望は増加しているが、現状の運営費および教職員数が維持されたとしても、それら要望のすべてには応えることはできず、現状維持ができれば良いがやや低下すると思われる。
- ・教育・研究・地域貢献の全般に取り組んでゆく。教育関係共同利用、社会人教育(履修証明、BP)を引き続き実施する。スマート林業の教育研究拠点を目指す。
- ・教育研究の需要は確実に増えている。一方で予算は漸減し、1名しかいない教員も歳をとることから、持ちこたえられなくなる可能性が高い。

2～5の質問に関して展望や対応策を検討されていればご記入ください。特に、一部施設の閉鎖や統廃合などの検討や計画が進められていれば答えられる範囲でご記入ください。

- ・複数施設の共同運営を模索中。
- ・外部研究費の獲得や、自然共生サイトへの登録などによる新たなプレゼンス向上への道を模索するなどによる対応を行なっている。大規模な施設の閉鎖や統廃合の予定はなく、各種施設の老朽化が進んでいるが、基盤インフラの中には整備や修繕が進む部分も一部ある。
- ・様々な方面からの外部予算の獲得に努めている。
- ・先に回答の通り、3施設の統合が8年度より実施されることは、ほぼ決定事項であり、統合されると農学部から離れ、全学組織の研究推進機構の組織となる。そのための概算要求で、所有重機の一部(1台)を更新、教員増員の要求を入れているが演習林部門への教員配置計画は無い状態である。

その要求順位も演習林重機は低位であり、要求が通るか否か現在のところ微妙なところである。

統合されると、教育及び社会共創重視となり伐採面積も大幅減少となる、そのため演習林職員の対外的な公開講座への参画など外部からの演習林利用を促進すべく職員の意識改革や積極的な広報に注力することとなる。

・2025（令和7）年に研究科から附属演習林フォレスト GX/DX 協創センターに小石川樹木園が移管された。小石川樹木園は、森林植物学に関する教材を植栽・提供するために1909（明治42）年に本学理学系研究科附属植物園の北側0.66haを永久借用して設置された植物実験圃場に由来し、1943（昭和18）年に林学科樹木実験圃場、2004（平成16）年に研究科附属施設となり小石川樹木園に改称され、樹木に関する生理学、病理学、遺伝・育種学や、森林昆虫の生態学・生理学等の教育研究と実験材料の提供を行っている。

・正規雇用の教職員数を増やし、次世代を担う若手の教職員を育成する。

・和歌山研究林の借地契約期間を終え返還しました。モニ1000調査などは京都地区から出張で調査等実施している。ただし施設についての統廃合などの予定はない。

・法人のビジョンも不確かで、予算も絞られている中で、演習林の展望を描けない状態です。閉鎖すべき施設はすでに閉鎖され、残りは600haの森林と三瓶演習林庁舎のみです。このうち300haに満たない三瓶演習林と付随する庁舎をどのように維持し活用するかが現在の課題です。

・老朽化が目立ってきた宿泊施設については、教職員のウェルビーイング維持向上の観点から、全学に対して全面改修の要求を出していく予定としている。

・運営費以外の収入について検討している。

・外部資金獲得など運営費獲得に向けて努力している。なお、演習林事務係が農学部附属施設の事務係に統合されるなど既に事務の統廃合が2024年度に行われている。

## 6. 全国大学演習林協議会に希望することがあればご記入ください（文部科学省への要請など）

・大学全体への予算減少のあおりを受けて、演習林への配分予算が大幅減少しており、何とかそれを食い止めて欲しいと思っている。

大学演習林は、地域の環境保全にも貢献しており、それが日本全体の環境保全の一部も担っていると考えられ、また、国土強靱化にも貢献している。

大災害発生時には、演習林所有の重機等を使用した不明者捜索や早期復旧作業にも協力が可能であり、地域社会への貢献が可能である。

・全国農学系学部長会議にて、全国大学附属農場協議会から、農場技術職員向け

の文部科学大臣賞を今年度から新たに設けることになり、早くも今年度から実施の運びとなったと聞いた。大臣賞には農場協議会が文部科学省に受賞候補者を推薦する手順だそうであるが、全国大学演習林協議会としても演習林技術職員向けの文部科学大臣賞を新たに設け、全演協から文部科学省に受賞広報者を推薦する（農場協議会と同様の）制度を作ってもらようよう強力に働きかけていただきたい。

- ・演習林施設（宿泊施設、林道等）に対する財政的支援を充実させてほしい。
- ・本学から特にこれは、という具体的な希望事項はありませんが、全演協からの全国演習林に対する教育・研究支援の環境向上についての要請に期待しています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。
- ・これまでどおり、またこれまで以上に情報交換の場として機能することを期待する。
- ・重機・車両・建物の要求枠を作っていただきたい。
- ・演習林の教員は、通常の研究に加えて森林や施設の管理運営、地域貢献などの業務も求められることから、厳しい状況に置かれている人が多いのではないかと思います。また、夏季や春季の休業期間にも実習が多く組まれるなど、通常の学部教員とは異なる勤務実態も多くみられると思います。演習林のような実習施設は大学の教育研究の実践の場として欠かせないものですので、文科省に実態を把握してもらって事態の改善に繋がるようにしていただけたらありがたいです。

<令和7年度 全国演習林協議会 公開森林実習報告書>

公開森林実習ポスター .....	129
公開森林実習実施状況 .....	130
公開実習報告	
令和7年度 公開森林実習報告 京都府立大学 .....	131

# 令和7年度公開実習ポスター



あなたが実習でいつも訪れる森はどのようなところでしょうか。日本国内には北から南まで様々なタイプの森林があります。いつもの見慣れた森だけではなく、いろんな森に入りたいと思いませんか？ この公開森林実習は、あなたの大学の授業として他の大学の実習を受けられる仕組み（単位互換制度）です。

## 日本の森を制覇しよう2025

- 筑波大学 森林水文・砂防学実習** 2025年7月28日～8月1日  
テーマ：水や土砂の移動プロセスを現地調査と流域環境の見学により学ぶ  
場 所：筑波大学山岳科学センター井川演習林
- 静岡大学 富士・南アルプス生態学実習** 2025年8月5日～8月8日  
テーマ：富士山とその周辺の多様な森林生態系と生態系サービスの保全  
場 所：静岡大学フィールドセンターの3つのフィールド
- 京都大学 夏の北海道東部の人と自然の関わり** 2025年8月6日～8月10日  
テーマ：北海道東部の自然環境と人のつながりを学ぶ  
場 所：京都大学北海道研究林
- 信州大学 自然の成り立ちと山の生業演習** 2025年8月19日～8月22日  
テーマ：中部山岳域における自然の成り立ちと山の生業  
場 所：信州大学野辺山ステーション・筑波大学ハッ岳・川上演習林ほか
- 岩手大学 森林管理実践実習** 2025年8月25日～8月29日  
テーマ：高性能林業機械操作体験を通じた冷温帯林の森林・林業技術の学習  
場 所：岩手大学御明神演習林・滝沢演習林ほか
- 琉球大学 亜熱帯林体験実習** 2025年8月25日～8月28日  
テーマ：世界自然遺産の亜熱帯林を有する「やんばる地域」での人と自然の共生  
場 所：琉球大学与那フィールドおよび周辺地域
- 東京大学 森林と溪流と土砂の測量実習** 2025年8月25日～8月29日  
テーマ：地形や山から川に流れ出る土砂を測ろう  
場 所：東京大学附属演習林生態水文学研究所
- 北海道大学 野生動物管理実習** 2025年8月26日～8月29日  
テーマ：野生動物管理のために必要な基礎的な調査技術の習得、分析と議論  
場 所：北海道大学苫小牧研究林
- 三重大学 公開森林実習** 2025年8月26日～8月29日  
テーマ：源流域森林における多面的機能の保全と利用を考える  
場 所：三重大学附帯施設演習林
- 岩手大学 冷温帯林と持続的森林・林業** 2025年9月1日～9月5日  
テーマ：森林観察や化学学習を通じた冷温帯林の植生・利用・管理  
場 所：岩手大学御明神演習林・滝沢演習林・八幡平ほか
- 新潟大学 フィールドワーカーのためのリスクマネジメント入門** 2025年9月1日～9月4日 / 9月16日～9月19日  
テーマ：野外調査を安全に遂行するための実践的トレーニング  
場 所：新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林
- 九州大学 生態水文学実習** 2025年9月2日～9月5日  
テーマ：森林生態系の水・物質循環の研究調査プロジェクトによる実践的学習  
場 所：九州大学富崎演習林
- 信州大学 木材工学演習** 2025年9月2日～9月5日  
テーマ：各種木材加工の道具・機械を用いた演習林間伐材からのベンチ作製  
場 所：信州大学農学部構内ステーション
- 信州大学 森林利用デザイン演習** 2025年9月2日～9月5日  
テーマ：木材搬出技術および森林経営デザイン能力の習得  
場 所：信州大学農学部長沢山ステーション
- 東京大学 森林科学総合実習** 2025年9月2日～9月5日  
テーマ：北海道の天然林生態系とその持続的管理  
場 所：東京大学附属演習林北海道演習林
- 京都大学 近畿地方の奥山・里山の森林とその特徴** 2025年9月3日～9月5日  
テーマ：近畿地方の奥山・里山の森林生態系の特徴と課題および森と人の関わり  
場 所：京都大学上賀茂試験地・芦生研究林・北白川試験地
- 京都府立大学 公開森林実習** 2025年9月8日～9月11日  
テーマ：人工林の毎木調査、間伐木選定と樹幹解析  
場 所：京都府立大学大野演習林
- 高知大学 森林フィールド演習** 2025年9月9日～9月12日  
テーマ：植生・毎木調査、森林遷移の観察、炭焼き、野焼き、哺乳類調査体験  
場 所：高知大学嶺北フィールド
- 北海道大学 森林保全実習** 2025年9月15日～9月19日  
テーマ：自然科学と社会科学の視点から北海道の自然資源管理を読み解く  
場 所：北海道大学中川研究林
- 信州大学 山岳環境保全学演習** 2025年9月16日～9月19日  
テーマ：高山～亜高山帯の動植物、登山道・山小屋からみた山岳環境の保全  
場 所：信州大学農学部西駒ステーション
- 京都大学 森林・里山の生態系サービスを学ぶ** 2025年10月4・18日、11月8・29日、12月13日  
テーマ：森林・里山の生態系サービスを体験的に学ぶ  
場 所：京都大学上賀茂試験地
- 信州大学 農林フィールド基礎実習** 2025年10月4・5・11・12日（計4日間）  
テーマ：森林から農地までの自然をまなび、水・人・緑のつながりを考える  
場 所：信州大学農学部構内ステーション他
- 北海道大学 森林空間機能学演習** 2026年2月13日～2月16日  
テーマ：冬の北海道で森林のもつ機能を学び・発表し・議論する  
場 所：北海道大学中川研究林
- 山形大学 雪山実習** 2026年2月18日～2月20日  
テーマ：積雪環境と森林・樹木の相互関連の理解  
場 所：やまがたフィールド科学センター上名川演習林
- 宇都宮大学 日光・森林フィールド実習** 2026年2月18日～2月20日  
テーマ：森林が生み出す生態系サービス「食・住・環境」を学ぶ  
場 所：宇都宮大学日光演習林・船生演習林ほか
- 北海道大学 暖温帯林施業実習** 2026年3月2日～3月6日  
テーマ：南紀熊野における森林施業と照葉樹林  
場 所：北海道大学和歌山研究林
- 宮崎大学 日本一の照葉樹林とスギ林業** 2026年2月24日～2月27日  
テーマ：常緑広葉樹林の植生、利活用と保全およびスギ人工林施業  
場 所：宮崎大学田野フィールド（演習林）、綾ユネスコエコパークほか
- 鹿児島大学 屋久島の森と人** 2026年3月10日～3月13日  
テーマ：屋久島の自然と人の関わり（「大隅の森と人」との連続の受講を推奨）  
場 所：屋久島
- 鹿児島大学 大隅の森と人** 2026年3月14日～3月17日  
テーマ：森林や自然環境と密接に関わる地域の暮らしと文化について学ぶ  
場 所：鹿児島大学高隅演習林および大野地区



くわしくは  
「公開森林実習」で検索！

全国大学演習林協議会



令和6年度 全国大学演習林協議会 公開森林実習実施状況

大学名	実習名	日程	受講者数			備考
			協定内	協定外	合計	
筑波大学	森林水文・砂防学実習	令和6年7月22日～26日	0	1	1	学内3名
静岡大学	富士・南アルプス生態学実習	令和6年8月6日～9日	6	14	20	学内3名
京都大学	夏の北海道東部の人と自然の関わり	令和6年8月6日～10日	3	8	11	
東京大学	森林と溪流の土砂の測量実習	令和6年8月19日～23日	0	2	2	
信州大学	自然の成り立ちと山の生業演習	令和6年8月20日～23日	0	2	2	学内8名
新潟大学	フィールドワーカーのためのリスクマネジメント実習	令和6年8月26日～29日, 9月2日～5日	4	0	4	
岩手大学	森林管理実践実習	令和6年8月26日～30日	1	2	3	
北海道大学	野生動物管理実習	令和6年8月27日～30日	2	0	2	学内16名
信州大学	山岳環境保全学演習	令和6年8月27日～30日	-	-	0	台風により中止
高知大学	森林フィールド演習	令和6年8月27日～30日	-	-	0	台風により中止
京都府立大学	温帯針葉樹林実習	令和6年9月2日～5日	0	0	0	学内35名
岩手大学	冷温帯林と持続的森林・林業	令和6年9月2日～6日	2	0	2	学内24名
琉球大学	亜熱帯林体験実習	令和6年9月3日～6日	12	0	12	
信州大学	森林利用デザイン実習	令和6年9月3日～6日	0	2	2	学内13名
信州大学	木材工学演習	令和6年9月3日～6日	3	0	3	
東京大学	森林科学総合実習	令和6年9月3日～6日	0	0	0	
九州大学	生態水文学実習	令和6年9月3日～6日	1	0	1	1名コロナ感染により辞退
京都大学	近畿地方の奥山・里山の森林とその特徴	令和6年9月4日～6日	5	5	10	
北海道大学	森林保全実習	令和6年9月9日～13日	1	0	1	学内23名
三重大学	公開森林実習	令和6年9月10日～13日	0	0	0	学内5名
島根大学	山陰のもり入門	令和6年9月17日～19日	9	0	9	学内13名
宇都宮大学	日光・森林フィールド実習	令和6年9月18日～20日	9	3	12	学内2名
京都大学	森林・里山の生態系サービスを学ぶ	令和6年10月5日, 19日, 11月16日, 3日, 12月14日	1	4	5	
信州大学	農林フィールド基礎実習	令和6年10月5日～6日, 12日～13日	3	0	3	学内1名
山形大学	雪山実習	令和7年2月19日～21日	9	0	9	学内26名
北海道大学	森林空間機能学演習	令和7年2月14日～17日	4	0	4	学内10名
宮崎大学	日本一の照葉樹林とスギ林業	令和7年2月25日～28日	11	0	11	
北海道大学	暖温帯林施業実習	令和7年3月3日～7日	3	0	3	学内25名
鹿児島大学	屋久島の森と人	令和7年3月14日～17日	17	4	21	
鹿児島大学	大隅の森と人	令和7年3月18日～21日	9	1	10	
合計			115	48	163	

京都府立大学では、2025年9月8日から11日にかけて「公開森林実習」を実施しました。今年度は、静岡大学から1名の学生が参加し、本学森林科学科の学生と共に4日間の実習に取り組みました。本学の公開森林実習では、森林科学の基礎的な調査技術を学ぶことに加え、他大学の学生と交流しながら学ぶことも大切な目的の一つとしています。今回も異なる大学の学生同士が協力して作業を進めることで、互いの視野を広げる貴重な機会となりました。実習は、京都府南丹市美山町に位置する大野演習林で行いました。大野演習林は、明治から大正期にかけて造成されたスギ人工林を中心として、アカマツ、クリ、コナラ、ケヤキなど多様な樹種が残る教育フィールドです。このような多様な森林環境の中で、学生たちは森林調査の基礎から応用までを段階的に学びました。

初日は、京都府立大学下鴨キャンパスに集合し、大野演習林へ移動しました。現地では実習の目的、安全管理、作業手順に関するガイダンスが行われ、その後、班ごとに分かれて毎木調査を実施しました。胸高直径、樹高などを正確に測定し、得られたデータから林分の現況を把握しました。2日目には、伐採した樹幹から円板を採取し、それらを用いて年輪を読み取り、樹幹解析を行いました。年輪幅の変化を読み取りながら樹木の成長過程を把握し、材積の推移を分析することで、森林が長い時間をかけて形成されていくプロセスを科学的に理解することができました。3日目は、透水試験を実施しました。土壌の透水性を測定し、森林の水文環境や土壌特性について理解を深めました。森林を多角的に評価する実習内容は、学生の興味と学習意欲を高めるものとなりました。最終日の4日目には、地形測量を中心とした実習を行いました。測量機器を用いて、毎木調査プロットの面積を算出する手法を学びました。フィールドにおける丁寧な測量作業の重要性を実感する機会となり、実践的な知識の習得につながりました。

今回の公開森林実習は、森林科学の基礎的な技術を体系的に身につける場となっただけでなく、フィールドでの協働作業を通じて多様な学びを得る機会となりました。京都府立大学では、今後も森林に関わる専門の人材の育成と、実践的な教育の充実を図っていく予定です。



写真. スギ人工林における毎木調査の様子

## <全国大学演習林協議会規約類・会員名簿>

全国大学演習林協議会規約	1 3 5
森林管理技術賞授与規程	1 3 7
公開森林実習運営委員会内規	1 3 9
全国大学演習林協議会技術職員連絡会議会則	1 4 0
全国大学演習林協議会の役員選出に関する申し合せ	1 4 1
全国大学演習林協議会会員名簿（令和7年12月1日現在）	1 4 2

# 全国大学演習林協議会規約

(名称及び事務局)

第1条 本会は全国大学演習林協議会と称し、その事務局を会長の所属する大学（会長校）に置く。

(会員)

第2条 本会は全国大学の演習林長またはこれに準ずるものをもって構成する。

(目的及び事業)

第3条 本会は森林科学を中心とする教育研究の発展に資するため、演習林等に関する調査及び研究を行い、各大学相互間の連絡を図り、あわせて演習林等の整備並びに改善の促進を期することを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 演習林等の設置並びにその整備に関する協議、研究、調査
- (2) 演習林等の運営（予算、定員、試験研究項目、学生演習等）に関する調査及び研究
- (3) 演習林等に関する資料の収集及び整備
- (4) 各大学演習林等における相互の連絡調査
- (5) 関係当局への上申並びに当局の諮問に対する答申
- (6) 大学演習林等における職員の教育支援、研究支援、維持管理に関する貢献に対する表彰
- (7) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(年報の発行)

第5条 本会に大学演習林年報編集部を置き、年1回年報を発行する。  
編集部には部長を置き編集及び発行に関する事務の処理にあたる。

(役員及び期間)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長1名
  - (2) 副会長1名
  - (3) 理事若干名
  - (4) 監事2名
- 2 会長は本会を代表し会務を統轄する。
  - 3 副会長は会長を補佐し会長に事故ある時、会長の職務を代理する。
  - 4 理事は会長の統轄のもと会務を処理する。
  - 5 監事は会務の監査を実施し、理事会に監査報告を行う。
  - 6 役員の実選出方法については別に定める。

第7条 役員の実任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

(総会)

第8条 総会は必要に応じて会長が召集する。  
会員の3分の1以上の要求があったときは、会長は総会を召集しなければならない。  
会長が適当と認めたときは、総会の召集に代えて書面による表決を求めることがで

きる。

第9条 総会の議長は会長がこれに当たる。

第10条 総会の議事は出席会員の過半数をもってこれを決め、可否同数のときは議長がこれを決める。

第11条 総会で議すべき事項は次の通りとする。

- (1) 演習林等の設置及び運営に関する協議、研究、調査事項の審議
- (2) 予算決算
- (3) 規約の制定及び変更
- (4) その他の重要な事項

(顧問)

第12条 本会に顧問若干名を置くことができる。

会長は総会の承認を経て顧問を委嘱する。

顧問は会長の諮問に答え、又は必要に応じ総会に出席し意見をのべるものとする。

(理事会及び委員会)

第13条 本会に会長が必要と認めた事項の検討及び審議並びに総会の審議事項の調整等を行うため、理事会を置く。

理事会は会長、副会長、理事で構成する。

理事会の議長は会長がこれに当たる。

理事会は必要に応じて委員会を置くことができる。

理事会は必要に応じて会長が招集する。

(会費及び会計)

第14条 本会の経費は次に掲げるものをもって支弁する。

- (1) 会費
- (2) 寄付金
- (3) その他収入

第15条 本会の会費は1カ年30,000円とする。

第16条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

附 則

この規約は、昭和26年5月28日より施行する。

<中間の改正規約の附則は省略した。>

附 則

この規約は、平成16年5月12日より施行する。

附 則

この規約は、平成20年9月18日より施行する。

附 則

この規約は、平成25年12月20日より施行する。

## 森林管理技術賞授与規程

第1条 全国大学演習林協議会規約第4条第6項に基づき、森林管理技術賞表彰委員会（以下「委員会」という）を以下のように定める。

第2条 委員会は、大学演習林等における教育・研究への貢献もしくは演習林等の維持管理に関する貢献に対する森林管理技術賞の選考を行う。

第3条 授賞の対象は、大学演習林等の職務にあたる職員とし、以下の各号のいずれかに該当するものについて、それぞれ若干名を対象とする。

- 1) 特別功労賞：長きにわたり演習林等の教育・研究基盤の整備を通じてその発展に多大な貢献をしたもの
- 2) 技術貢献賞：優れた森林管理技術の開発もしくは普及に多大な貢献をしたもの
- 3) 学術貢献賞：重要な教育・研究材料の収集・提供・公開を通じて学術的もしくは社会的に多大な貢献をしたもの
- 4) 若手奨励賞：応募時の年度に40歳未満あるいは採用後10年未満の職員で、演習林等の維持管理を通じて教育研究・地域連携に顕著な貢献をしたもの

第4条 委員会の委員は全国大学演習林協議会の各ブロックから選出し、会長が委嘱する。委員長は全国大学演習林協議会副会長に委嘱する。

- 2 委員長及び委員の任期は2年とする。
- 3 副委員長は次期会長選出予定ブロックの委員の互選により決定する。委員長に事故あるときは副委員長が委員長の任務を代行する。
- 4 委員長が任期途中で辞任したとき、会長は後任の全国大学演習林協議会副会長を委員長に委嘱し、後任委員長の任期は前任者の残任期間とする。
- 5 委員が任期途中で辞任したとき、全国大学演習林協議会の当該ブロックは委員を選出することができるものとし、選出された委員は会長が委嘱する。後任委員の任期は前任者の残任期間とする。

第5条 森林管理技術賞の選考手続きを以下のように定める。

委員会は毎年全国大学演習林協議会の会員大学より候補者の推薦を募る。

委員会では協議の結果多数意見をもって森林管理技術賞の選考を行い、委員長は報告書を添えてその結果を会長に報告する。

第6条 会長は選考結果を理事会に諮り、森林管理技術賞の受賞者を決定する。

### 附 則

この規定は、平成10年9月17日より施行する。

この規定は、平成12年9月19日より施行する。

この規定は、平成19年9月19日より施行する。

この規定は、平成20年9月18日より施行する。

この規定は、平成22年9月16日より施行する。

この規定は、平成26年9月25日より施行する。

この規定は、令和元年9月19日より施行する。

## 公開森林実習運営委員会内規

平成21年 5月 8日制定  
平成22年 5月 7日改正  
平成23年 9月15日改正  
平成24年 9月20日改正  
平成26年 9月25日改正

### 1. 設置目的

全国の大学演習林が共通履修科目として開講する「公開森林実習」について、情報の一元化、別々の大学によって実施される実習科目の統一性の確保、開講にむけての側面支援等をスムーズに行うために、全国大学演習林協議会（以下「全演協」という。）の中に「公開森林実習運営委員会」を設置する。

### 2. 委員会の構成と委員長

- 1) 委員会は次に掲げる委員をもって構成する。
  - ① 公開森林実習実施校の担当者
  - ② 委員長が指名する者
- 2) 委員長は委員の互選により定める。
- 3) 委員会に事務局をおき次の事項を取り扱う。
  - ① 実施計画の取りまとめ
  - ② 年度活動のとりまとめおよび報告書作成
  - ③ ウェブサイトの管理
  - ④ ポスター作成
  - ⑤ その他

### 3. 委員の任期

委員長及び委員の任期は、春季会議終了後から2年間とする。

### 4. 委員会の開催

委員長は、必要に応じて、原則として全演協の春季会議及び秋季総会時に委員会を招集し、会議を開催する。委員会の結果は会長に報告し、必要に応じて会員校に報告する。

## 全国大学演習林協議会技術職員連絡会議会則

### 1. 名 称

本会は「全国大学演習林協議会技術職員連絡会議」（以下「技術職員連絡会議」と称する。

### 2. 設置目的

技術職員相互の情報交換を通じて技術の向上を図り、各大学の演習林等の運営に寄与することを目的とする。

### 3. 組 織

- ①技術職員連絡会議は、全国大学演習林協議会に所属する大学の技術職員をもって構成する。
- ②各大学においては、代表技術職員又は連絡担当者を選定する。
- ③相互の連絡調整として事務局を置く。
- ④事務局は、全国大学演習林協議会会長校に置き、事務局長は同校の技術職員が務め、他の技術職員がこれを補佐する。

### 4. 会 議

- ①開催は、原則として年1回とし、その時期は全国大学演習林協議会秋季総会時とする。
- ②会議では、技術職員相互の情報及び意見の交換を行うとともに、技術職員に関わる諸問題についての検討を行う。

### 5. 連絡体制

- ①事務局は、代表技術職員・連絡担当者名簿を各年度の4月1日現在で作成し、会員大学に送付する。
- ②各大学の代表技術職員・連絡担当者は、年度途中に、それぞれに異動があった場合、その都度、事務局に連絡するものとし、事務局はその都度、新たな代表技術職員・連絡担当者名簿を会員大学に送付する。

### 6. 報 告

技術職員連絡会議において要望等がまとまれば、事務局から全国大学演習林協議会総会に報告するものとする。

#### 附 則

この会則は、平成16年5月12日から施行する。

#### 附 則

この会則は、平成17年9月15日から施行する。

#### 附 則

この会則は、平成20年9月18日より施行する。

## 全国大学演習林協議会の役員選出に関する申し合せ

全国大学演習林協議会規約（昭和26年5月28日施行）第6条から第8条に基づき、役員を選出に  
関して次のように定める。

### 1. 会長

- (1) 北海道大学、東京大学、京都大学、九州大学を会長持ち回り校とし、その演習林等の長から輪番  
で会長を選出し、総会へ推薦し、決定する。
- (2) 任期途中で会長を交代する場合は、当該会長選出大学の次期演習林等の長を選出する。
- (3) 会長を決定するための総会が開催されない場合は、総会の招集に代えて書面による表決を求める  
ことができる。

### 2. 理事及び副会長

- (1) 理事は、会長が選出された大学を除く以下の大学の演習林等の長とし、会長が委嘱する。
  - (i) 前条(1)に規定する会長持ち回り校
  - (ii) 下記4つのブロックのうち、会長が選出された大学が所属するブロックの大学
    - ① 北ブロック(6大学)  
北海道大学、岩手大学、東北大学、山形大学、宇都宮大学、新潟大学
    - ② 東ブロック(8大学)  
東京大学、東京農工大学、筑波大学、信州大学、静岡大学、日本大学、東京農業大学、玉川大学
    - ③ 西ブロック(7大学)  
京都大学、名古屋大学、岐阜大学、三重大学、京都府立大学、鳥取大学、島根大学
    - ④ 南ブロック(6大学)  
九州大学、愛媛大学、高知大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学
- (2) 理事の互選により理事の内1名を副会長に選出し、会長が委嘱する。
- (3) 任期途中で理事及び副会長を交代する場合は、当該役員選出大学の次期演習林等の長を選出する。
- (4) ブロックの構成の変更は、総会の承認を経るものとする。
- (5) ブロックの構成変更を承認するための総会が開催されない場合は、総会の招集に代えて書面によ  
る表決を求めることができる。

### 3. 監事

- (1) 監事は、その任期が理事会を担当する任期と重ならないブロックの会長持ち回り校以外から1名  
ずつを会長が推薦し、総会の承認を経るものとする。
- (2) 会長、副会長、理事、各種委員会委員長は監事を兼ねることができない。
- (3) 監事は原則として4月以降春季理事会までに前年度の会務監査を実施する。
- (4) 任期途中の監事を交替する場合は、当該監事選出大学の次期演習林等の長を推薦する。
- (5) 監事を承認するための総会が開催されない場合は、総会の招集に代えて書面による表決を求める  
ことができる。

#### 附 則

この申し合せは、平成25年12月20日から施行する。

#### 附 則

この申し合せの施行後最初に選出された監事の任期は、平成27年3月31日までとする。

#### 附 則

この申し合せは、平成26年9月25日から施行する。

全国大学演習林協議会会員名簿（令和7年12月1日現在）

		大学名	郵便番号	住所	電話番号	Eメールアドレス	林長等名
北 ブ ロ ッ ク	1	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	060-0811	札幌市北区北11条西10丁目	011-706-2590		揚妻直樹
	2	岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター	020-8550	岩手県盛岡市上田三丁目18-8	019-621-6234 019-621-6231		山本信次
	3	東北大学大学院農学研究所附属複合生態フィールド教育研究センター	989-6711	宮城県大崎市鳴子温泉字蓬田232-3	0229-84-7311		西田瑞彦
	4	山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター	997-0369	山形県鶴岡市高坂字古町5-3	0235-28-2880		菊池俊一
	5	宇都宮大学農学部附属演習林	329-2441	栃木県塩谷郡塩谷町大字船生7556	0287-47-0057		山本美穂
	6	新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林	952-2206	新潟県佐渡市小田94-2	0259-78-2613		梶本卓也
東 ブ ロ ッ ク	7	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林	113-8657	東京都文京区弥生1-1-1	03-5841-5233		古井戸宏通
	8	東京農工大学農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター	183-8509	東京都府中市幸町3-5-8	042-367-5813		吉田智弘
	9	筑波大学山岳科学センター	384-1305	長野県南佐久郡南牧村野辺山462-4	0267-98-2412		清野達之
	10	信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター	399-4598	長野県上伊那郡南箕輪村8304	0265-77-1520		岡野哲郎
	11	静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター	426-0001	静岡県藤枝市仮宿63	054-641-9500		今泉文寿
	12	日本大学生物資源科学部演習林	252-0880	神奈川県藤沢市亀井野1866	0466-84-3768		安部哲人
	13	東京農業大学地域環境科学部奥多摩演習林	198-0212	東京都西多摩郡奥多摩町水川2137	0428-83-3351 03-5477-2235		根本 唯
	14	玉川大学農学部農産研究センター	194-8610	東京都町田市玉川学園6-1-1	042-739-8288		飛田有支
西 ブ ロ ッ ク	15	名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター・稲武・設楽フィールド	464-8601	愛知県名古屋市中種区不老町	052-789-4180 052-789-4181		梶村 恒
	16	岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター	501-1193	岐阜県岐阜市柳戸1-1	058-293-2972		大西 健夫
	17	三重大学大学院生物資源学研究所附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター・附帯施設演習林	514-8507	三重県津市栗真町屋1577	059-231-9505		木佐貴 博光
	18	京都大学フィールド科学教育研究センター	606-8502	京都府京都市左京区北白川追分町	075-753-6442		徳地直子
	19	京都府立大学環境科学部附属演習林	606-8522	京都府京都市左京区下鴨半木町1-5	075-703-5681 075-703-5637		古田裕三
	20	鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター	680-8553	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	0857-31-5604		山中啓介
	21	島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター	690-1102	島根県松江市上本庄町2059	0852-32-6590		山下多聞
南 ブ ロ ッ ク	22	愛媛大学農学部附属演習林	790-8566	愛媛県松山市榑味3-5-7	089-946-9538		都築勇人
	23	高知大学農林海洋科学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター	783-8502	高知県南国市物部乙200	088-864-5137		鈴木保志
	24	九州大学農学部附属演習林	811-2415	福岡県糟屋郡篠栗町大字津波黒394	092-948-3117 092-948-3104		久米朋宣
	25	宮崎大学農学部附属次世代農学教育研究センター・田野フィールド（演習林）	889-1702	宮崎県宮崎市田野町乙11300	0985-86-0036		高木正博
	26	鹿児島大学農学部附属演習林	890-0065	鹿児島県鹿児島市郡元1-21-24	099-285-3532		寺岡行雄
	27	琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター	903-0213	沖縄県中頭郡西原町字千原1	098-895-8820		赤嶺光

電話番号欄の二段書きは、上段林長室、下段研究室



令和8年3月31日 発行

編集発行責任者 全国大学演習林協議会  
会長 揚妻 直樹  
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター別棟  
〒060-0809 北海道札幌市北区北9西9